

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第137集

鉄 平 遺 跡

平成14年度東駿河湾環状道路建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2003

財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第137集

鉄 平 遺 跡

平成14年度東駿河湾環状道路建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2003

財團法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所

序

東駿河湾環状道路は沼津・三島市街地の慢性的な交通渋滞を緩和し、伊豆地方へのアクセスの迅速化を目的として建設が予定されている。一方で当遺跡が立地する駿東郡長泉町は古くより遺跡が集中する地域として知られている。当研究所は、平成2年よりこの東駿河湾環状道路関連の緊急調査を実施しており、当遺跡もその一環として平成11年より調査が開始された。

今回の調査では、旧石器時代から縄文時代後期まで、数々の遺構・遺物が出土している。旧石器時代の成果としては、第Ⅲ黒色帯において土坑が7基検出された。この土坑群は箱根西麓において検出されていたものと同様のものである。從来から、箱根西麓の地域性と考えられていたが、今回当遺跡での発見をもって、愛鷹山山麓に広がる可能性が示唆された。これは当時の文化圏や生業を考える上で、大変貴重なものである。また、縄文時代草創期に先駆けて、槍先形尖頭器の文化層が検出された。これは、箱根烟宿産の黒耀石を用いた中・小型の槍製作跡であり、保持してきた石器の修繕と入れ替えの場であったと考えられる。

縄文時代の遺構としては、早期末～前期初頭の木島式期の集落が検出されている。3～4基の住居の単位が2ヵ所で検出されており、それぞれ土器型式において若干の時期差がある。これらと同期の集落は北側に隣接する池田B遺跡において検出されているが、関東系の下吉井式土器を中心としたものである。異系統の土器を持つ集団が同一尾根上に集落を構えていたことになる。厳密な同時期性は証明できないが、この地域の早期集落のあり方について学的に興味深い資料を提示できた。

東駿河湾環状道路関連遺跡は、当遺跡を含めて旧石器時代、縄文時代の貴重な発見を提示してきた。これらの遺跡資料が、以後、有用に活用されることを願う次第である。

現地調査、及び本書の作成にあたっては、国土交通省沼津工事事務所並びに静岡県教育委員会、長泉町教育委員会をはじめとする関係機関各位の御理解と御協力に厚くお礼を申し上げたい。また、猛暑や寒風吹きすさぶ中、作業にあたられた現地作業員、細かな作業を根気よく続けた整理作業員の方々に、この場をお借りして深く感謝する次第である。

2003年3月

財団法人 静岡県埋蔵文化財調査研究所

所長 斎藤 忠

例　　言

- 1 本書は駿東郡長泉町下長岸に所在する鉄平遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 現地調査は東駿河湾環状道路建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務として、国土交通省中部地方整備局沼津工事事務所の委託を受け、静岡県教育委員会文化課の指導のもと、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所が以下のとおり実施した。
- <1区> 1次調査 平成10年8月～9月 2次調査 平成10年10月～12月
- <2区> 1次調査 平成12年2月～3月 2次調査 平成12年4月～10月

- 3 資料整理は平成14年4月より平成14年10月まで実施した。
- 4 調査体制は以下のとおりである。

平成10年度　現地調査

所長 斎藤 忠、常務理事兼総務部長 伊藤友雄、総務課長 杉木敏雄、
会計係長 杉田 智、調査研究部長 石垣英夫、調査研究一課長 佐野五十三、
調査研究員 岸岡崇浩 笹原千賀子

平成11年度　現地調査

所長 斎藤 忠、副所長 山下 晃、常務理事兼総務部長 伊藤友雄、
総務課長 杉木敏雄、会計係長 大石真二、調査研究部長 佐藤達雄、
調査研究二課長 遠藤喜和、調査研究員 笹原千賀子

平成12年度　現地調査

所長 斎藤 忠、副所長 山下 晃、常務理事兼総務部長 伊藤友雄、
総務課長 杉木敏雄、会計係長 大橋 薫、調査研究部長 佐藤達雄、
調査研究二課長 笹原修二、調査研究員 白鳥直樹（4～8月）佐野暢彦（9～10月）
笹原千賀子

平成14年度　資料整理

所長 斎藤 忠、副所長 鮎田英夫、常務理事兼総務部長 久田徳幸、
総務課長 本杉昭一、会計係長 大橋 薫、調査研究部長 山本昇平、
調査研究部次長兼資料課長 采野克巳、調査研究部次長兼調査研究二課長 佐野五十三、
調査研究員 笹原千賀子

- 5 本書の執筆は第II章を技術員吉村たまみ、その他を笹原千賀子が担当した。
- 6 黒耀石の原産地分析は、国立沼津工業高等専門学校教授望月昭彦氏に依頼した。
- 7 作業の迅速化を図るため、石礫尖端の一部を㈱シン技術コンサルに委託した。
- 8 遺物写真は当研究所三島整理事務所において撮影した。
- 9 出土遺物の石材鑑定・個体別資料分類は技術員森嶋富士夫がおこなった。
- 10 本書の編集は財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所がおこなった。
- 11 発掘調査にかかる記録資料については、静岡県教育委員会文化課が保管する。

凡例

本書の記載については、以下の基準に従い統一を図った。

- 1 本書で用いた遺物・構造等の位置を表す座標値は、すべて日本測地系（ベッセル）による。
- 2 調査区の方眼設定は、上記日本測地形（平面直角座標第図系）の軸線を基準に、国家座標（-94400.0, 35850.0）=（A, 1）を原点とし、南から北方向へA-Z、西から東方向へ1-22までのグリッドを設定した。
- 3 出土遺物は、土器・石器=S、礫=Rとしそれぞれに4桁の遺物番号を付して取り上げた。
- 4 土器挿図中のNoは同一個体の場合数字の枝番としてアルファベットを用いた。
- 5 石器の実測は原則として三角投影法によった。
- 6 本文中に用いる色彩に関する用語・記号は、新版『標準土色帖』（農林水産技術会議事務局監修 1992）を使用した。
- 7 遺構番号は、文化層ごとに通し番号を付した。
- 8 本文中の遺構・遺物に関する標語・略語は以下のとおりである。

名					
Ku	栗色土層	BB0	休場層直下黒色帶	SCB	第Ⅱスコリア層
FB	富士墨上層	SC I	第Ⅰスコリア層	BBIII	第Ⅲ黒色帶
Jn	漁撈層	BB I	第Ⅰ黒色帶	SCIIIa	第Ⅲスコリア帶スコリアI
YLC	休場層上位	Ma	ニセローム層a	SCIIIbI	第Ⅲスコリア帶黒色帶I
YLM	休場層中位	Nb	ニセローム層b	SCIIIb4	第Ⅲスコリア帶スコリアI
YLL	休場層下位	BB II	第Ⅱ黒色帶		
遺構					
住	堅穴式住居	集	集石	堅	堅穴式遺構
土	上 壴	燒	燒土		
遺物					
ト---	タタキ面	ト-----	イ研ぎ面	タタキの範囲	
ト---	スリ面	ト-----	使用痕	スリの範囲	

略語	產地名	略語	產地名	略語	產地名
WDTY	和田 澄山群	SWID	諏訪 呈ヶ台群	HNKI	箱根 黒岩橋群
WDRB	和田 小深沢群	TSTY	蓼科 冷山群	AGKT	天城 和幹群
WDTN	和田 上岸橋西群	IIMIJ	箱根 布宿群	KZOB	神津島 恩馳島群

岩石和名	岩石英名	略語	岩石和名	岩石英名	略語
ガラス質黒色安山岩	Glassy black andesite	GAn	砂岩(細粒)	Fine sandstone	FSS
黒耀石	Obsidian	Ob	砂岩(中粒)	Medium sandstone	MSS
ホルンフェルス	Hornfels	Hor	砂岩(粗粒)	Corsc sandstone	CSS
頁岩	Shale	Sh	粘板岩	Slate	Sl
緑色凝灰岩	Green tuff	GT	珪質粘板岩	Siliceous slate	SSI
硬質凝灰岩	Hard tuff	HT	流紋岩	Rhyolite	Rhy
硬質細粒凝灰岩	Hard fine tuff	HFT	滑石	Talc	Ta
細粒安山岩	Fine andesite	FAn	輝石安山岩	Pyroxene-andesite	An(Py)
多孔質安山岩	Vesicular andesite	VAn	角閃石片岩	Amphibole-schist	Amp
玄武岩	Basalt	Ba	アブライト	Aplitite	AP
多孔質玄武岩	Vesicular basalt	VBa	デイサイト	Dacite	Da
無斑質安山岩	Aphyric andesite	AAAn	チャート	Chert	Ch

目 次

例 言

凡 例

第Ⅰ章 調査の概要

第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査の方法	2
第3節 調査の経過	2

第Ⅱ章 遺跡の概要

第1節 地理的・歴史的環境	5
第2節 基本上層と遺跡の土層堆積	8

第Ⅲ章 旧石器時代の遺構と遺物

第1節 第Ⅲ黒色帯（第Ⅰ文化層）の遺構	11
第2節 第Ⅱ黒色帯（第Ⅱ文化層）の遺構と遺物	15
第3節 第Ⅰ黒色帯（第Ⅲ文化層）の遺構と遺物	17
第4節 休場層下位（第Ⅳ文化層）の遺構と遺物	23
第5節 休場層上位（第Ⅴ文化層）の遺構と遺物	31
第6節 富士黒土層（第Ⅵ文化層）の遺物	43

第Ⅳ章 縄文時代草創期の遺構と遺物

第Ⅴ章 縄文時代の遺構と遺物

第1節 遺構	49
第2節 遺構外出土の遺物	76

第VI章 その他の時代の遺構

第VII章 調査の成果

附表 1 旧石器時代の遺物一覧表	135
2 旧石器時代の礫一覧表	139
3 縄文時代の石器計測表	141
4 個体別分類一覧表	145
附編 1 黒曜石原産地分析	149
附編 2 鉄平遺跡の陥穴に関する自然科学調査	153

挿図目次

第1図 グリッドと調査範囲	1	第39図 尖頭器・有舌尖頭器	45
第2図 周辺の遺跡	6	第40図 有舌尖頭器	46
第3図 遺跡と周辺の地形	7	第41図 土坑平面・断面図	47
第4図 土層堆積状況	8	第42図 繩文時代の造構配置図	50
第5図 土層柱状図	9	第43図 1号住居跡出土状況	51
第6図 B B II層造構全体図	12	第44図 1号住居跡完掘状況	52
第7図 土坑平面・断面図(1)	13	第45図 1号住居跡出土遺物	53
第8図 七坑平・断面図(2)	14	第46図 2・4号住居跡	54
第9図 B B II層遺物分布	15	第47図 2・4号住居跡遺物出土状況	55
第10図 B B II層出土遺物	16	第48図 2・4号住居跡出土遺物	55
第11図 B B I層遺物分布	17	第49図 3号住居跡	56
第12図 B B I層1号ブロック器種別分布	18	第50図 9号住居跡	56
第13図 B B I層1号ブロック石材別分布	18	第51図 3・9号住居跡遺物出土状況	57
第14図 B B I層2号ブロック器種別分布	19	第52図 3号住居跡出土遺物(1)	57
第15図 B B I層2号ブロック石材別分布	19	第53図 3号住居跡出土遺物(2)	58
第16図 B B I層3号ブロック器種別分布	20	第54図 9号住居跡出土遺物	58
第17図 B B I層3号ブロック石材別分布	20	第55図 5号住居跡	60
第18図 B B I層出土遺物(1)	21	第56図 5号住居跡出土遺物	60
第19図 B B I層出土遺物(2)	22	第57図 6号住居跡	61
第20図 Y L下位全体図	24	第58図 6号住居跡出土遺物	61
第21図 Y L下位礫群平面・垂直分布(1)	25	第59図 6号住居跡遺物出土状況	62
第22図 Y L下位礫群平面・垂直分布(2)	26	第60図 6号住居跡出土遺物	62
第23図 Y L下位礫群平面・垂直分布(3)	27	第61図 7号住居跡	63
第24図 Y L下位出土遺物(1)	28	第62図 7号住居跡遺物出土状況	63
第25図 Y L下位出土遺物(2)	29	第63図 7号住居跡出土遺物	64
第26図 Y L下位出土遺物(3)	30	第64図 8号住居跡	65
第27図 Y L上位全体図	32	第65図 10号住居跡	66
第28図 Y L上位石器ブロック器種別分布	33	第66図 10号住居跡遺物出土状況	66
第29図 Y L上位石器ブロック個体別分布	34	第67図 8号住居跡出土遺物	67
第30図 Y L上位石器ブロック石材別分布	35	第68図 10号住居跡出土遺物	67
第31図 Y L上位礫群平面・垂直分布(1)	36	第69図 集石(1)	69
第32図 Y L上位礫群平面・垂直分布(2)	37	第70図 集石(2)	70
第33図 Y L上位出土遺物(1)	39	第71図 集石内出土遺物	70
第34図 Y L上位出土遺物(2)	40	第72図 土坑平面・断面図	71
第35図 Y L上位出土遺物(3)	41	第73図 焼土跡平面・断面図	72
第36図 Y L上位出土遺物(4)	42	第74図 土坑・焼土内出土遺物	73
第37図 細石刃核・細石刀	43	第75図 竪穴状遺構跡	74
第38図 繩文時代草創期全体図	44	第76図 1号土坑	74

第77図	石斧集積遺構	75	第103図	IV群 d類土器(3)	105
第78図	I群土器分布図	80	第104図	IV群 d類土器(4)	106
第79図	I群 a類土器(1)	81	第105図	V・VI・VII群土器分布図	107
第80図	I群 a類土器(2)	82	第106図	V群土器	108
第81図	I群 a類土器(3)	83	第107図	V・VI群土器	109
第82図	I群 a類土器(4)	84	第108図	VI・VII群土器	110
第83図	I群 a類土器(5)	85	第109図	縄文時代石器分布図	113
第84図	I群 a類土器(6)	86	第110図	石鏃(1)	114
第85図	I群 a・b類土器	87	第111図	石鏃(2)	115
第86図	I群 b類土器(1)	88	第112図	石鏃(3)	116
第87図	I群 b類土器(2)	89	第113図	石匕	117
第88図	I群 b類土器(3)	90	第114図	石斧(1)	118
第89図	II群土器分布図	91	第115図	石斧(2)	119
第90図	II群 a類土器	92	第116図	石斧・装飾品	120
第91図	II群 b類土器	93	第117図	石鍤・敲石	121
第92図	II群 b・c類土器	94	第118図	敲石	122
第93図	III群土器分布図	95	第119図	磨石・敲石(1)	123
第94図	III群 a類土器(1)	96	第120図	磨石・敲石(2)	124
第95図	III群 a類土器(2)	97	第121図	磨石・敲石(3)	125
第96図	III群 b類・胸部	98	第122図	磨石・敲石・凹石	126
第97図	IV群土器分布図	99	第123図	磨石・敲石・凹石・石皿	127
第98図	IV群 a類土器	100	第124図	磨石・敲石・石皿	128
第99図	IV群 a・b・c類土器	101	第125図	中・近世遺構分布図	129
第100図	IV群 c類土器	102	第126図	溝状造構平面・断面図	130
第101図	IV群 d類土器(1)	103	第127図	中・近世土坑平面・断面図	131
第102図	IV群 d類土器(2)	104			

挿表目次

表1	作業工程	3	表8	細石刃核・細石刃黒曜石原産地一覧表	48
表2	東駿河湾環状道路関連遺跡一覧表	4	表9	十坑計測表	48
表3	土坑計測表	12	表10	草創期石器一覧表	48
表4	B B II層石材別遺物一覧表	15	表11	集石計測表	68
表5	B B I層石材別遺物一覧表	22	表12	土坑計測表	71
表6	Y L下位石材別遺物一覧表	27	表13	焼土跡計測表	73
表7	Y L上位石材別遺物一覧表	37	表14	中・近世土坑計測表	130

写真図版

図版 1	B B III層土坑検出状況	5号集石
	7号土坑検出状況	4号集石
	7号土坑上層断面	8号集石
	6号土坑上層断面	8号集石
図版 2	第II文化層遺物出土状況 1	図版14 9号集石
	第II文化層遺物出土状況 2	9号集石完掘
図版 3	第III文化層 2・3号石器ブロック	10号集石
	第III文化層 1号石器ブロック	10号集石完掘
図版 4	第IV文化層 1号礫群	10号焼土跡完掘
	第IV文化層 2号礫群	29号土坑完掘
	第IV文化層 3号礫群	図版15 14号土坑完掘
図版 5	第IV文化層 4号礫群	中近世土坑
	第V文化層 1号礫群	近世溝
	第V文化層 2号礫群	近世溝土層断面
	第V文化層 3号礫群	図版16 第II・第III文化層出土石器
	Y L U層 6号土坑	第II文化層石核
図版 6	2～5号住居検出状況	第V文化層石核
	2号住居跡	図版17 第IV文化層の石器 (Y LM～Y L L層)
図版 7	3号住居跡	図版18 第V文化層の石器 (Y L U層)
	4号住居跡	図版19 繩石刃
図版 8	8号住居跡	繩石刃石核
	5号住居跡	繩文時代草創期槍先形尖頭器
図版 9	6・7号住居跡	図版20 有舌尖頭器
	6号住居跡石皿出土状況	図版21 1号住居跡埋甕
	9号住居跡土器出土状況	1号住居跡出土土器
図版10	10号住居跡	図版22 3・9号住居跡出土土器
	9号住居跡	3号住居跡出土土器
図版11	1号住居跡遺物出土状況	7号住居跡出土土器
	1号住居跡柱穴と壁溝	図版23 2・4号住居跡出土土器
	1号住居跡石囲い炉	5号住居跡出土土器
	1号住居跡敷石と埋甕	6号住居跡出土土器
図版12	ベンダント出土状況	10号住居跡出土土器
	石斧出土状況	7号焼土跡出土土器
	11号焼土跡出土土器	図版24 11号焼土跡出土土器
	1号集石	I群 a類土器 1
	1号集石完掘	図版25 I群 a類土器 2
図版13	2号集石	図版26 I群 b類土器
	6号集石	図版27 II群 a類土器

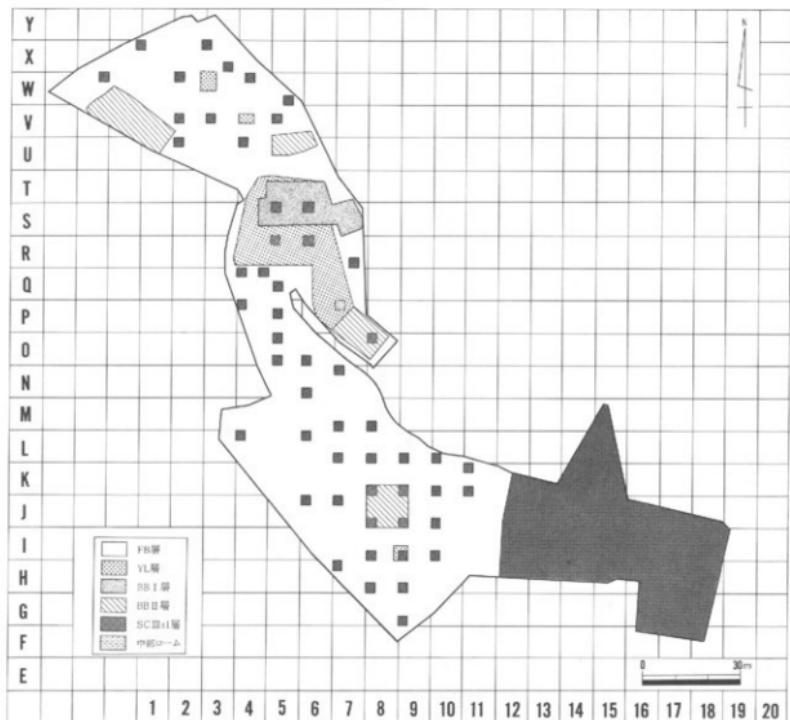
II群 b	頹土器	図版33	VI群土器	
図版28	III群土器		石製裝飾品	
図版29	IV群 a	頹土器	石錘	
	IV群 a + b	頹土器	敲石	
図版30	IV群 c	頹土器	図版34	石鎌
図版31	V群 a	頹土器	石匕・磨製石斧	
	V群 b	頹土器	図版35	打製石斧
図版32	VII群土器			

第Ⅰ章 調査の概要

第1節 調査に至る経緯

東駿河湾環状道路は、沼津市岡宮の第一東名インターチェンジから第二東名長泉ジャンクション、国道246号バイパスを結び、三島市塚原において国道1号線を経由して、熱海函南線に至る全長15kmの高規格幹線道路である。これは伊豆縦貫自動車道の一部として平成元年に基本計画区間が策定され、平成2年に路線予定地域の遺跡確認踏査がおこなわれた。その結果、周知の遺跡を含む42ヶ所が埋蔵文化財包蔵地として報告された。この報告を受け、平成2年より指導機関として静岡県教育委員会文化課、調査機関として静岡県埋蔵文化財調査研究所が記録保存を目的とした発掘調査を開始した。調査を開始して12年目を迎えるに際して、当遺跡を含めて31ヶ所が調査を終了しており、現地調査・資料整理は現在も進行中である。

このような状況の中、鉄平遺跡は平成10年より1次調査を開始し、断続的に現地調査をおこない、平成12年10月に終了した。



第1図 グリッドと調査範囲

第2節 調査の方法

遺跡全体を把握するために、国家座標 ($X, Y = (-94400.0, 35850.0)$) 上を (A, 1) の原点とし、X軸方向 (南—北) をアルファベット、Y軸方向 (西—東) に数字を付し遺跡全体に10mの方眼を設定して便宜的なグリッドとした。しかし東駿河湾環状道路内の遺跡を同一座標で管理する必要性から、全ての遺物、遺構に関しては、国家座標 (日本測地形 平面直角座標第Ⅷ系) のX・Y座標と水準値を付して調査をおこなった。本遺跡の報告では、特に旧石器時代の遺物の出土地点についてこの座標値を用いている。

調査は、用地取得の事情から先行した南側地区を1区、北側部分を2区として分割して行っている。1区は1次調査の結果遺跡の範囲と出土層位が限られていたため、対象となる約600m²について重機によって遺構検出面となるB-B III層まで除去した後遺構検出作業をおこなった。2区は縄文時代の包含層である富士黒土層までを全面精査した。それ以下旧石器時代の調査は、1グリッドに対して3×3mのテストピットを設定し、遺物・遺構を検出したテストピット周辺を重機によって拡張する方法をとった。地形図の作成は、光波測距器によって約1mメッシュで測定した座標データーをグラフソフトによって図化した。基本的に遺構の検出面において地形測量を実施している。

記録作業は、遺構平面図と遺物出土地点図等を光波測距器によって座標データーを観測することによっておこなった。図化作業は㈱シン技術コンサルの遺跡管理システムを用い、これらは座標データーとして保管されている。また、遺物出土状況図や土層図については、グリッド法を用いた手実測によって1/20～1/10の図面を作成した。

写真記録は35mmと6×7版中型カメラを併用し、フィルムはカラーネガ、白黒、リバーサルを用いた。

第3節 調査の経過

1区の1次調査は平成10年の8～9月に池田B遺跡の1次調査とともにおこなった。20m四方のグリッドに対して、3×3mのテストピットを2ヶ所設定して調査したところ、第Ⅲスコリア層において直径約1mの円形土坑を検出した。これを受けて同年10月から池田B遺跡の2次調査と並行して、この土坑の調査を開始した。その結果箱根西麓で発見されているものと同じように列をなして掘られている可能性が強くなり、その列の先端が未貢収地に伸びていたため、平成10年度の調査はここで終了し、地形測量をおこなって作業を終了した。

2区の1次調査は、平成12年2～3月におこなった。尾根の頂部に立地する池田B遺跡と当遺跡の間は緩やかに傾斜しており、表土採集によって縄文時代中期の土器を拾うことができたが、テストピットによって調査したところ、畑の擾乱によって中期の包含層は破壊され、平坦地に早期の包含層を確認した。また、遺跡の西側には深い谷が入るが後世の改変によって垂直に切り取られ遺物を検出することはできなかった。

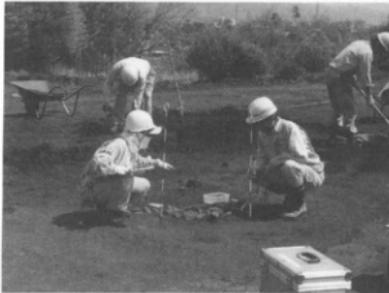
この結果を受け、平成12年4月より2区の2次調査を開始した。当初廃土処理の必要性から調査区の中央に走る舗装道を境に東側(2-A区)の調査から開始した。4月中旬、重機による表土除去をおこなったところ、富士黒土層に掘りこまれた埋甕を発見、周辺の精査によって縄文時代中期後半の敷石住居を検出した。機械による耕作によって敷石の大半は失われていたが、柱穴と住居のプランを確認した。丘陵の平坦地では、早期末から前期初頭の住居跡や遺物が多数検出された。このため当初残す予定だった私道の下の調査もおこなった。この結果、尾根の頂部に1列に並ぶ住居が9基検出された。この2-A区

の調査と並行し、工事用道路整備の関連で1区南側の調査を開始した。一部縄文時代の包含層が残っており、集石11基と石斧の埋納遺構を検出した。縄文時代の調査終了後下層の調査をテストピットによつておこなったが、遺物の検出は見なかつた。BBⅢ層の土坑検出のため、引き続いて重機による中間層除去を5月下旬よりおこなつた。精査の結果土坑が3基検出された。平成10年の調査結果とあわせると7基になり、尾根を横断するように配置していたため地形測量を実施して調査を終了した。

2-B区の調査は9月より着手した。尾根頂部に早期末の遺構が検出されたが、大半は早期前半の撲糸文系の土器群となり、遺構も集石が中心となつた。旧石器時代の調査は遺物の検出されたテストピットの周辺を重機で掘り下げる方法をとつた。この結果休場層、第Ⅰ黒色帯、第Ⅱ黒色帯で石器ブロックを検出した。10月下旬、全ての掘削作業を終了して現地の埋め戻しをおこなつた。

表1 作業工程

	平成10年				平成11年				平成12年				平成14年			
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
1区	1次調査															
		2次調査														
2区								1次調査					2次調査			
資料整理	基礎整理								基礎整理							



作業風景

表2 東駿河湾環状道路関連遺跡一覧表

整理番号	市町村	遺跡名	内容	報告書
沼津市				
1	4	上松沢平	縄文早期前半集落	資料整理中
2	3	虎杖原1号墳	終末期古墳	資料整理中
3	2	寺林	旧石器時代(YL層)石器群	資料整理中
4	1	丸尾北	調査予定(縄文草創期～中期後半)	
長泉町				
6	54	桜畠上	調査予定(旧石器～縄文時代)	
9	37	池田B	縄文早期末～前期初頭集落	2000「池田B遺跡」
10	38	鉄平	縄文早期末～前期初頭集落、BBⅢ層土坑群	2002「鉄平遺跡」
11	48	大平	(1期) 中世土坑墓・集石墓	1998「大平遺跡」
			(2期) 中世土坑墓・集石墓、弥生前期末住居跡	2001「大平遺跡II」
			(3期) 調査予定	
三島市				
14	2	北ノ入A	縄文中期前半集落	1999「北ノ入A遺跡」
16	4	長兵衛平	縄文	1998「長兵衛平遺跡」
17	5	小池	縄文早期後半包含層、中期前半集落	1998「小池遺跡」
18	6			
19	7	池倉B	縄文早期後半～中期前半	1998「池倉B遺跡」
20	8	上ノ池	旧石器(YL,BB0,BB I, BB II, BB III層)石器群	1998「上ノ池遺跡」
22	10	八田原	押型文系土器、BBⅢ層土坑群	1997「八田原遺跡」
23	11	加茂ノ洞B	BBⅢ層土坑群	1996「加茂ノ洞B遺跡」
27	15	焼場	鎌倉古道、縄文早期後半(東海系)～前期	1994「焼場遺跡(A地点)」、1996「焼場遺跡(B地点)・五百石遺跡」
28	16			
29	17	下原	旧石器(YL層)石器群、BBⅢ層土坑群	1995「下原遺跡I」、1996「下原遺跡II」、1998「下原遺跡III」
30	18	押出シ	縄文中期後半集落	1999「押出シ遺跡(遺構編)」、 2000「押出シ遺跡(遺物編)」
31	19	生茨沢	後期古墳、BBIV～V層石器群	1999「生茨沢遺跡」
32	20	中峰	旧石器時代	1998「中峰遺跡」
33	21	桧林A	縄文草創期石槍・有舌尖頭器	1998「桧林A遺跡」
38	26	田頭山	調査中 古墳群	
39	27	大明神洞	調査予定	
40	28	長命洞B	調査予定	
41	29	大場向山B	調査予定	

第Ⅱ章 遺跡の概要

第1節 地理的・歴史的環境

鉄平遺跡は愛鷹山南東麓の静岡県駿東郡長泉町、池田B遺跡の南東部に位置する。隣接する西側の尾根には、上野E遺跡や茶木畠遺跡などがある。

長泉町は東を三島市、西を沼津市、南北を駿東郡清水町・裾野市に接しており、南東に細長い町である。また河川が多い町で、桃沢川は位牌岳中腹の渓流から南東方向へ、梅ノ木沢川は愛鷹山池の平東方の標高700m付近に源をもち裾野市との境界を流れる。両川とも黄瀬川に合流し愛鷹山の裾部を横切るよう流れ狩野川に至る。そして三島市との境界を境川が流れている。これらの川によって作られた扇状地と愛鷹山裾部の丘陵地とで町は形成されている。

愛鷹山は、小御岳、箱根山とともに数十万年前に噴火を開始し、その後約10万年前にその活動を停止した。そして約8万年前には小御岳を覆うように出現した古富士火山が噴火を始め、溶岩や泥流を大量に噴出した。古富士時代からの多量の火山灰は偏西風にのり神奈川・東京・千葉方面にまで飛散し、厚い所では10m程のローム層を形成した。愛鷹ローム層は、上部・中部・下部ローム層に分かれている。このローム層が堆積した愛鷹山麓の裾部は、比較的平坦で西は富士川、東は裾野市まで広がっており昔から人々の生活条件に適していた為、上部ローム層を主として旧石器時代～縄文時代の数多くの遺跡が存在している。

鉄平遺跡の遺跡範囲は緩やかな傾斜をもつ幅広い下長窓字鉄平の尾根に位置しているが、今回調査対象となった範囲は幅約50m、北西から南東へ約200m、標高100m程の細長い調査区である。調査区の北端部はやや急な斜面地だが、南に向かうほど緩やかな傾斜となる。尾根の頂部では、縄文時代早期末～前期初頭の木島式土器を作り住居跡が9基と、調査区北側の斜面地で縄文時代中期後半の敷石住居跡が1基検出された。

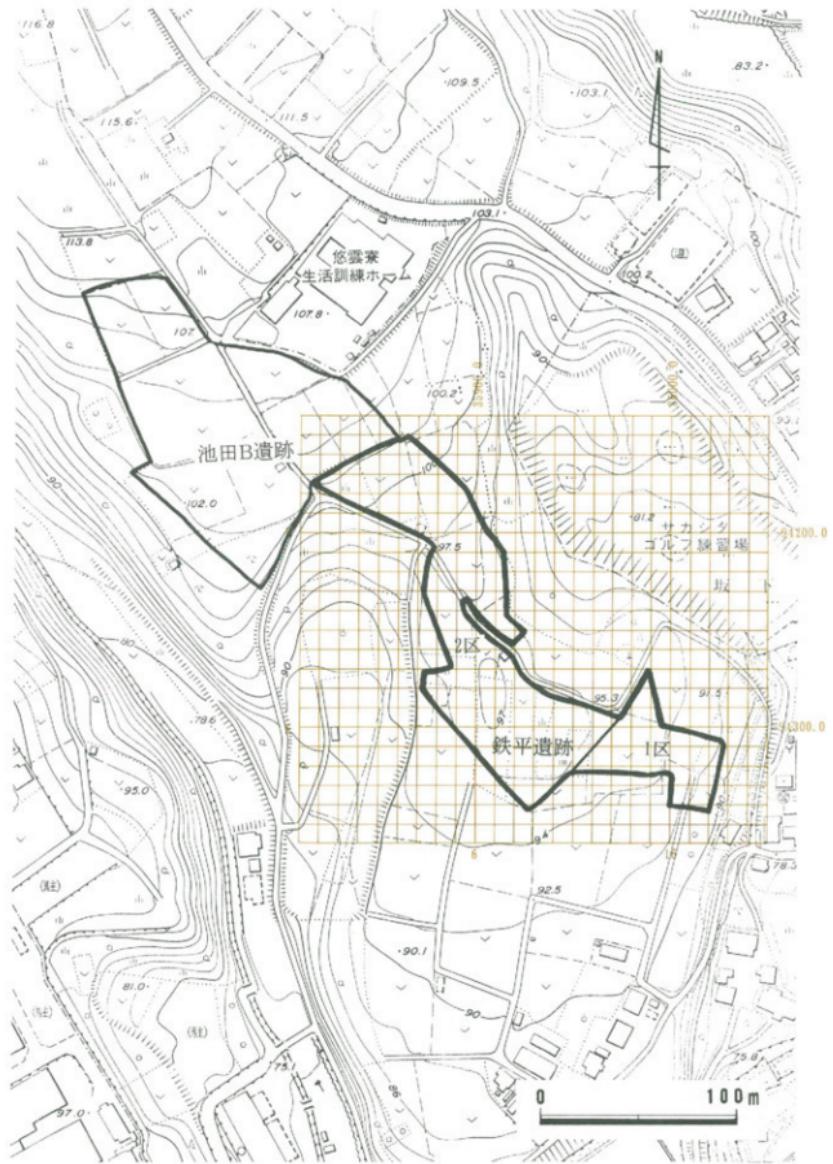
縄文時代早期末～前期初頭、木島式期の構造が検出された遺跡は、木島式土器標式遺跡の富士川町木島遺跡をはじめ、沼津市清水柳北遺跡・平沼吹上遺跡、長泉町梅ノ木平遺跡、裾野市上川遺跡などがある。これらの遺跡から木島式土器と共に隆溝文系土器は、下吉井式土器・神之木台式土器である。また資料整理中の第2東名長泉工区No.1地点でも住居跡の覆土から木島式土器が出土している。その他、包含層から木島式土器が出土した遺跡は、富士川町物見堂遺跡・山王遺跡、富士市天間沢遺跡・花川戸遺跡、富士宮市出水遺跡、沼津市土手頭遺跡・荒勾遺跡、長泉町中峰遺跡、上野E遺跡・桜畠遺跡などがある。これらの遺跡からも神之木台式・下吉井式土器が木島式土器と共に検出されている。なお、鉄平遺跡の北西に隣接する池田B遺跡では11基中10基の住居跡が下吉井式期のものであるが、東海系の土器は包含層から木島式土器が数点出土したのみであった。

また同時期の石器組成の特徴として石錐の出土数は石鏃・磨石などに比べ少ないのが、平沼吹上遺跡と土手頭遺跡（詳細不明）では、石器全体の約50%を占めるほどの出土が報告されている。特に平沼吹上遺跡では木島式期の遺構数から考えても石錐の出土数は突出しており、1軒の住居跡からは35点もの石錐が出土している。しかし、その他の周辺遺跡からはこのような報告ではなく、鉄平遺跡でも石錐は3点のみの出土となり同時期の石器組成と同様な結果となった。なお、池田B遺跡では鉄平遺跡の出土数を上回る約40点の石錐が住居跡などの構造が多く分布する調査区南側を中心に出土している。

縄文時代中期後半の敷石住居跡が検出された遺跡は、富士宮市滝ノ上遺跡、沼津市大谷津遺跡、二島市北山遺跡・千枚原遺跡・十石洞遺跡・押出山遺跡などがある。



第2図 周辺の遺跡



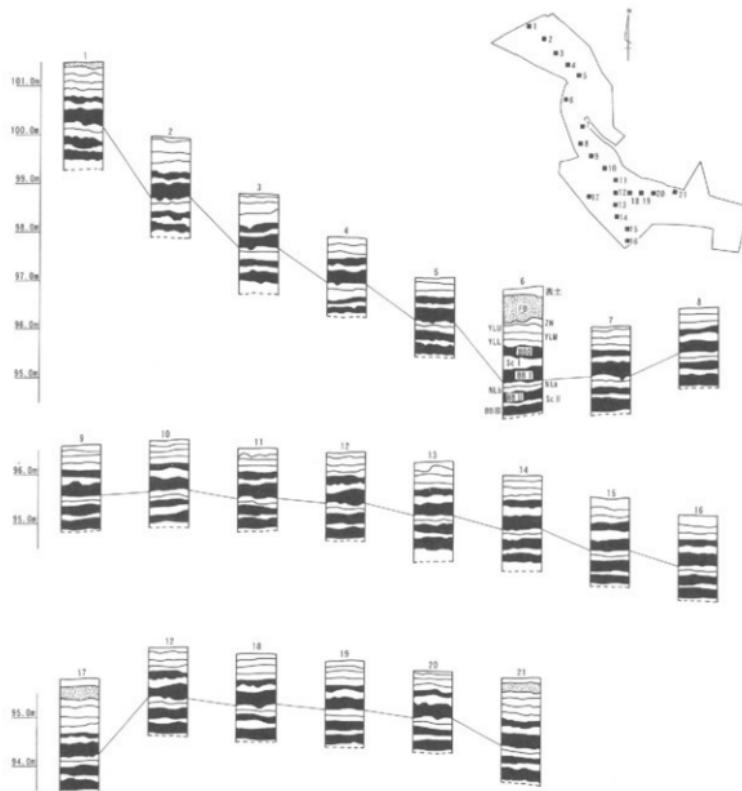
第3図 遺跡と周辺の地形

第2節 基本土層と遺跡の土層堆積

1. 概観

愛鷹山麓のローム層は、堆積順に下部ローム層・中部ローム層・上部ローム層に分けられる。上部ローム層は関東ローム層の立川ロームに相当し、火山碎屑物が堆積したスコリア層と火山噴火の休止期に植物が繁殖・腐食などの影響により黒色化が進んだ黒色帶との互層から成っている。

今調査範囲は北西から南東に細長い調査区で、その中央部を尾根の頂部が南北に走っている。第4図で示したように、北端部から調査区中心部まではやや急傾斜で、中心部から南端部は緩傾斜地である。発掘調査以前は畑作が行われており、所々にその影響を受けており北半分の残りは悪かったが、その他の土層堆積状況は良好だった。



第4図 土層堆積状況

<柱状図>

<層名>

<色調>

0 m

	V V V			
1	表土			
2	新規スコリア	新規SC		5YR4/3
	暗褐色土	Ku層相当		5YR4/4
	富士黒土層	FB	● □	5YR4/2
	漸移層	Zn		7.5YR4/4
	休場層上位	YLU	▲	7.5YR6/6
	休場層中位	YLM	} ▲	7.5YR6/8
	休場層下位	YLL		7.5YR5/6
	休場層直下黒色帶	BBO		7.5YR5/8
	第Ⅰスコリア層	SC I		7.5YR4/6
	第Ⅰ黒色帶	BB I	▲	7.5YR3/2
2	ニセロームa	NLa		5YR5/8
	ニセロームb	NLb		7.5YR5/6
	第Ⅱ黒色帶	BB II	▲	7.5YR5/8
	第Ⅲスコリア層	SC II		5YR3/4
	第Ⅲ黒色帶	BB III	○	5YR3/2
	第Ⅲスコリア帶スコリア1	SC III s1		5YR4/4
	第Ⅲスコリア帶黒色帶1	SC III b1		5YR4/6
	第Ⅲスコリア帶(スコリア)			5YR4/4
3	第Ⅲスコリア帶(黒色帶)			7.5YR4/4
	第Ⅲスコリア帶スコリア4	SC III s 4		5YR4/4
	スコリア質土			7.5YR4/4
	スコリア質土	BB IV~BB VII層相当		7.5YR4/6
	ローム質土			7.5YR4/6
4	ローム質土			7.5YR4/6

第5図 土層柱状図 (1/20)

2. 基本土層と遺構・遺物

1層は耕作土である。2層は新規スコリア層で白色バミス・オレンジスコリアを含む。遺物は確認されなかったが、新規スコリア層を切るように中近世の土坑・溝が検出された。3層は暗褐色土であるが栗色土層相当であると考えられる。オレンジスコリア・上半部に白色バミスを含む。

4層は富士黒土層である。直徑3～5mmのオレンジスコリアを含み、粘性は下半部に向かい強くなる。暗褐色土が落ち込んだ状態で、縄文時代中期後半の住居跡が検出された。また縄文時代早期末～前期初頭の遺物包含層となる。5層は漸移層で漸移的に4層から変化している。ロームのパッチを含み肩境は波状を呈する。富士黒土層が落ち込み縄文時代早期末～前期初頭にかけての遺構が検出された。

6～8層は休場層で、上位からYLU・YLM・YLL層に分層できる。YLU層は粘性が強く、やや退色した感じである。YLM層は、直徑3～5mmのオレンジ・茶色スコリアを含む。YLL層は、直徑3～5mmの赤色・オレンジスコリアを多く含む。この休場層からは、旧石器時代の礫群・石器ブロックを検出した。

9層は休場層直下黒色帯で、直徑5～8mmの赤色・オレンジスコリアを含み黒色の発色が大変弱い。10層は第Ⅰスコリア層で、黄・黒・赤色スコリアのブロックを含む。11層は第Ⅰ黒色帯で、上半部に赤色スコリアが集中する。発色は大変良く、遠目からでも確認できる。石器ブロックを検出した。

12～13層はニセローム層で上位からa・b層に分層できる。NL a層は、直徑1～5mmの黒色スコリア・直徑1mmの赤色スコリアの集積層である。NL b層は、a層に比べてスコリアの含有量が減りローム質になる。a・b層の肩境には、始良丹沢火山灰がパッチ状に含まれている。

14層は第Ⅱ黒色帯で、NL b層から漸移的に変化する。15層は、第Ⅱスコリア層で、直徑8～15mmの赤色スコリアをブロック状に含む。14・15層の発色は、大変弱い。石器ブロックを検出した。

16層は第Ⅲ黒色帯で、直徑8～20mmの赤色スコリアを含みクラックが入りやすい。また発色は大変良く、第Ⅰ黒色帯と共ににはっきりと確認できる。

17～21層までは、第Ⅳスコリア帯でs1層は、直徑2～3mmの赤色スコリアを多量に含み、直徑5～8mmの黒色スコリアを含む。b1層はs1層と類似するが、スコリアの含有量が減り青白色岩片を含む。s4層は、非常に固い赤・黒色スコリア塊である。s1層上面で第Ⅲ黒色帯の土坑が確認される。

22・23層はスコリア質土で、22層はSCⅢ b1層に類似している。23層は22層と類似しているが、所々にスコリア塊を含み土色はやや明るい。

24・25層はローム質土で、24層は直徑8～18mmの茶・黒色スコリアを少量含み、直徑5～10mmのオレンジスコリアを含む。25層は直徑2～3mmの赤色スコリアを含み、24層より粘性が強くなる。第Ⅲ黒色帯の土坑は、25層よりも下部のペアスコリア付近まで掘りこまれている。

また、第Ⅳスコリア帯下に愛鷹南麓では第Ⅳ黒色帯～第Ⅲ黒色帯が確認されるのが通常だが、当遺跡では黒色帯の発色が悪く、肩厚も薄いため分層が不可能であった。

引用・参考文献

- 県史編さん室 1990 「静岡県史 資料編1 考古」静岡県教育委員会
長泉郷土誌編集委員会 1965 「長泉町郷土誌」長泉町教育委員会
渡谷昌彦他 1981 「木島」 富士川町教育委員会
池谷信之他 1985 「平沼吹上遺跡発掘調査報告書」 沼津市文化財調査報告書 第36集
池谷信之他 1997 「土手上遺跡（d・e区-1）発掘調査報告書」 沼津市文化財調査報告書 第63集
闇野哲夫他 1989 「清水柳北遺跡発掘調査報告書 その1」 沼津市文化財調査報告書 第47集
青木玲二他 1996 「富士山 自然から文化史まで」

第Ⅲ章 旧石器時代の遺構と遺物

概要

旧石器時代の遺構は、第Ⅲ黒色帶、第Ⅱ黒色帶、第Ⅰ黒色帶、休場層で検出されている。第Ⅲ黒色帶（第Ⅰ文化層）では土坑が7基検出された。第Ⅱ黒色帶（第Ⅱ文化層）では、2基の石器ブロック、第Ⅰ黒色帶（第Ⅲ文化層）では3基の石器ブロックが検出されている。また休場層からはY.L.L層を中心としてナイフ形石器を中心とした文化層（第IV文化層）、槍先形尖頭器を中心とした文化層（第V文化層）が検出された。富士黒土層からは細石刃も出土している（第VI文化層）。

これらの6文化層から出土した遺物は、黒曜石については螢光X線による産地同定をおこない、遺物数が多い、第Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ文化層については個体別分類作業をおこなった。ホルンフェルスについては風化が著しいために個体別分類はおこなっていない。

個体別分類は肉眼、あるいは20倍の実体顕微鏡下で、色調や含有物、光沢などの項目にそって分類した。詳細は附表4に表記した。

第1節 第Ⅲ黒色帶（第Ⅰ文化層）の遺構

第Ⅲ黒色帶では、土坑が7基検出されている。検出面は第Ⅲスコリア帯内であるが、他遺跡の調査例や、土坑内堆積土の最上部に第Ⅱスコリア層が自然堆積として観察できることから、掘り込み面は第Ⅲ黒色帶内にあるものと考えられる。調査は、テストピットによって上層の遺物が存在しないことを確認したのち、重機で第Ⅲスコリア帯スコリア1まで掘り下げて遺構の検出をおこなった。なお、調査区外の道路建設予定地については、対象面積に対して約10%の確認調査をおこない、遺構の有無を確認している。

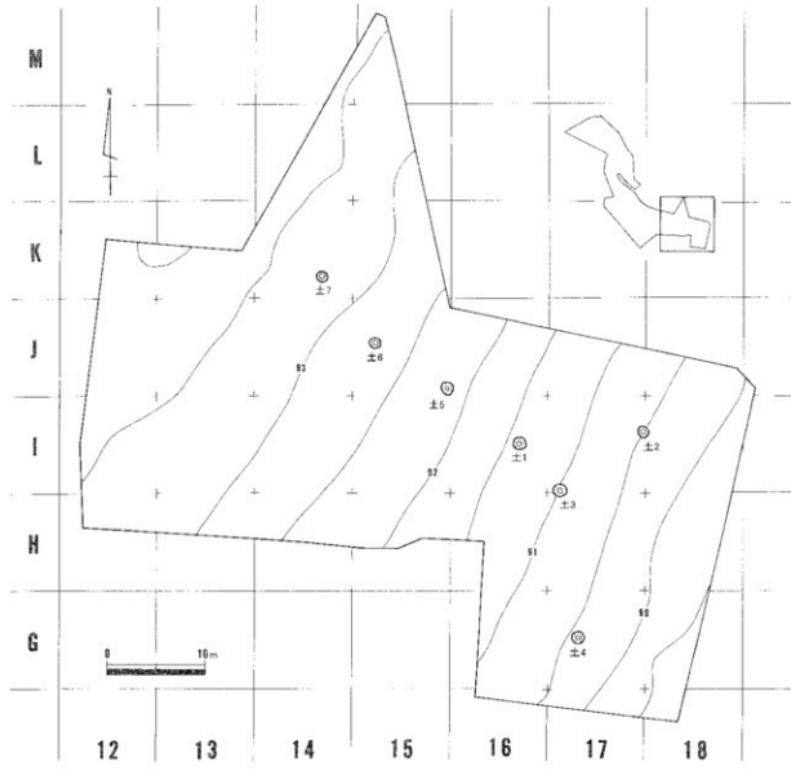
これらの土坑は、開口部の直径が約1mの円形を呈し、底部に向かってやや狭くなる断面ラッパ形で、深さ約1.5mを測る。ただし上半部径が下半より大きくなるのは、開口時の壁の崩落によるものが多いと考えられ、掘削直後はやや上半が広がる円柱形を呈していたと予想できる。各土坑の法量と特記事項については表3で示す。

土坑内の覆土は、自然堆積の状況を示しており、土坑壁の崩落と第Ⅲ黒色帶相当層の流入土の混土と考えられる。標準堆積層とともに截ち割りを行った3・6・7号土坑の土層観察では、第Ⅲスコリア帯下ローム層の土坑壁に縦方向のクラックが多数観察された。長期間、開口状態にあったため自然環境の影響で土坑壁にクラックが入ったと考えられる。また7基全ての土坑の底部は2枚目のペアスコリア層で止まっており、7・8号土坑の底部には、粒子の細かなスコリアや粘性土の堆積が確認された。これは、第Ⅲスコリア帯以下のローム層（当遺跡では以下の黒色帶、スコリア層は検出されていない）の排水作用が悪いため一定の期間滞水状態にあったことを示す。

検出された7基の土坑は、個体差が少なく、規模や形態が類似する。また、尾根の端部に列をなして作られている。これらの特徴は、他の遺跡においても指摘されている。現在までに、この土坑が初めて調査された初音ヶ原遺跡を筆頭に、焼場遺跡、下原遺跡、加茂ノ洞B遺跡、八田原遺跡など箱根山麓を中心として同期の土坑の事例が報告され、箱根山麓特有の遺構として注意されてきた。しかし、当遺跡や資料整理途中ではあるが第2東名関道遺跡（沼津市、長泉町）で新しい調査例が増え、土坑が愛鷹山麓にも広がっていることが確実になってきた。いずれも単体ではなく、複数あるいは列をなして作られているのが特徴で、数は全遺跡を通して100基を超える。中でも初音ヶ原遺跡では56基が検出され、調査

者は尾根を横断する4本の列を想定している。

各遺跡の土坑は深さや平面形の直径に若干の違いはあるものの、その差異は遺跡ごとの特徴としてとらえられることはなく、全ての土坑が初音ヶ原遺跡の偏差の中に吸収される。また、初音ヶ原遺跡や加茂ノ洞B遺跡のように個々の土坑が近接して作られている遺跡の中でも、遺構同士の切り合い関係や人為的な埋め戻しの例は認められない。そして前後する時期や、神奈川などの周辺地域に同様の遺構が検出されないことは、非常に規格性の高いものが、短期間にこの愛鷹・箱根山麓に集中して作られたことを示している。

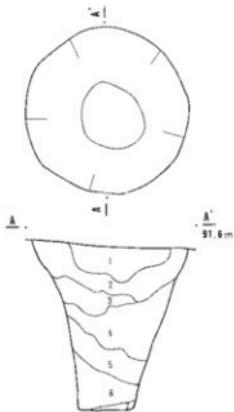


第6図 BBⅡ層構造全体図 (1/500)

表3 土坑計測表

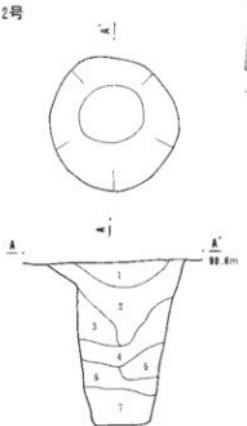
土坑番号	最大径(m)	最大深(m)	備考
1号	1.36	1.34	
2号	1.08	1.32	
3号	1.39	1.51	下半部土坑壁にクラック多
4号	1.34	1.46	
5号	1.28	1.19	
6号	1.16	1.53	底部に粘性土堆積
7号	1.14	1.35	底部に粘性土堆積

1号



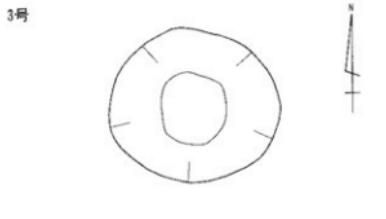
- 1 水玉層相当
- 2 黒色スコリア質土、直深6.1~6.5mの
赤色スコリアを多量に含む
- 3 黒褐色スコリア質土、3と類似するが外子スコリアがへる
- 4 順次褐色スコリア質土、ルーム質土(壁かきの施用か?)を
2の上位に含む。データ不足である。
- 5 4に類似するがスコリアが少くなりローム化する
跡性がある
- 6 壁面褐色ローム質土、黒色スコリア赤色スコリアを含むが
ローム質土である
- 7 明褐色ローム

2号

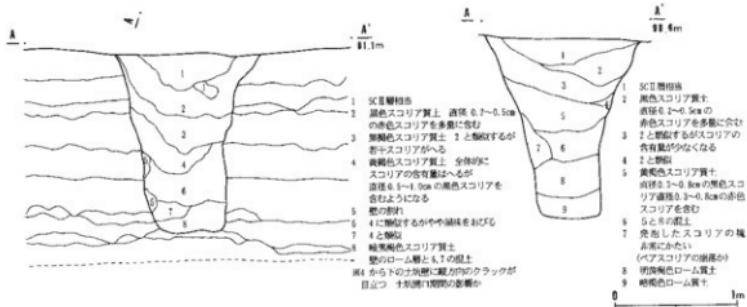
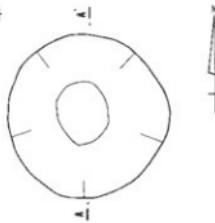


- 1 水玉層相当
- 2 黒色スコリア質土、直深6.5~7.0mの黒色スコリア
を含む3~6.5cmの赤色スコリアを多量に含む
- 3 植生褐色スコリア質土、3と同じスコリアを含む
- 4 黑褐色スコリア質土、非常にかたいスコリアを含む
直深6.5mの泥層か
- 5 3と類似
- 6 褐褐色スコリア質土
- 7 ルーム質土、直深6.5~7.0mのスコリアを含む

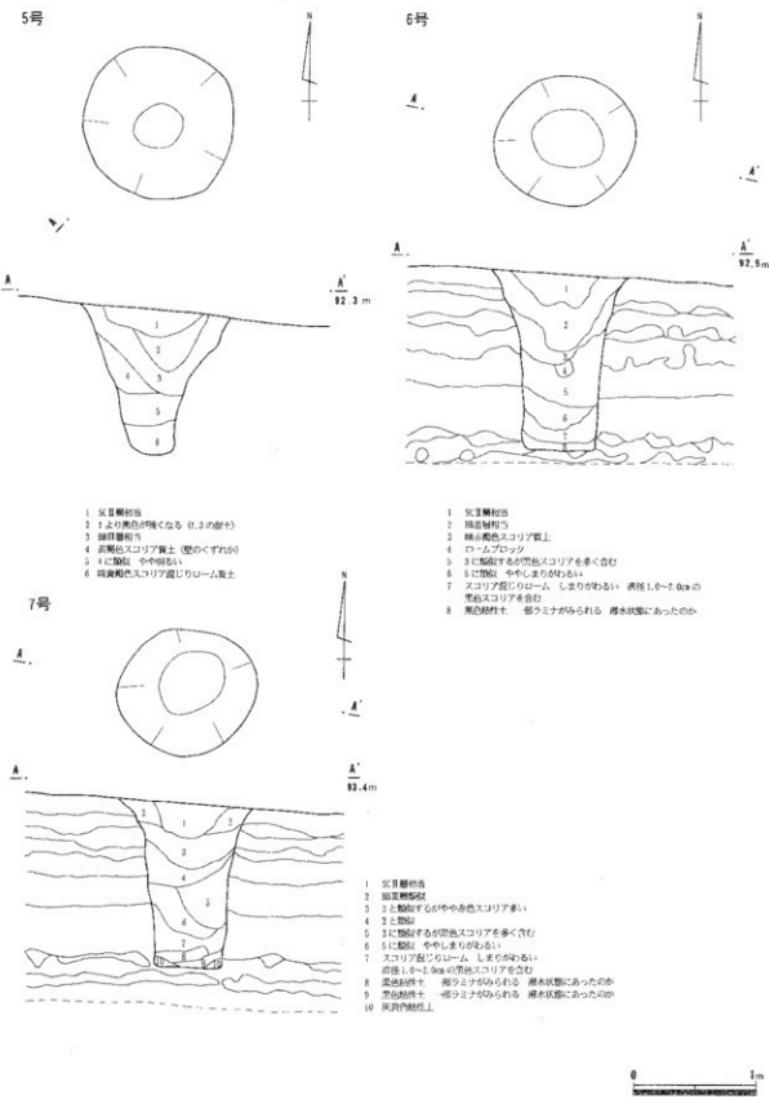
3号



4号



第7図 土坑平面・断面図(1)

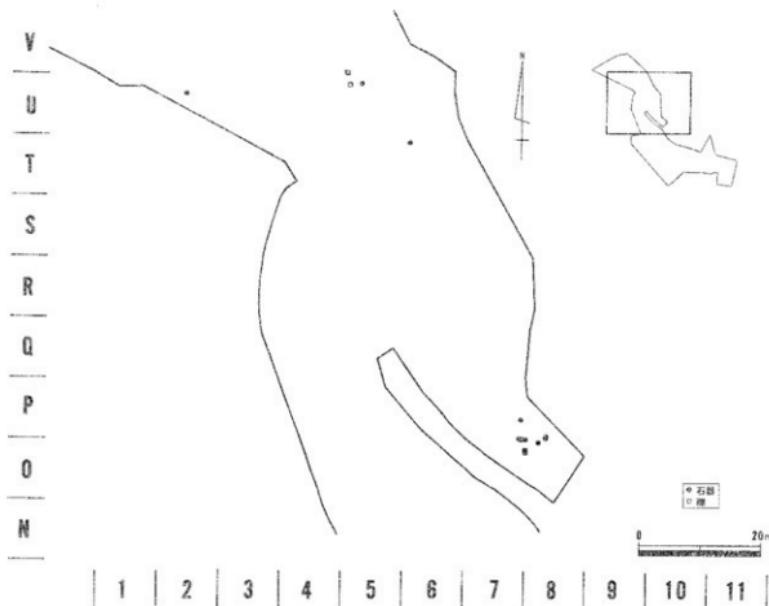


第8図 土坑平面・断面図(2)

第2節 第II黒色帶（第II文化層）の遺構と遺物

第II黒色帶上面、O 8 グリッドを中心として石器ブロックを1基検出した。使用痕のある剥片2点を含んだ剥片・碎片7点からなり、約10m四方に散漫な分布を示す。石材はホルンフェルスとガラス質黒色安山岩、祐神産の黒耀石で接合関係はない。この外にガラス質黒色安山岩の石核1点が出土したため、周囲を拡張して調査したが、この外に遺物は検出されなかった。

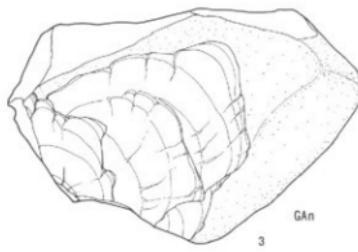
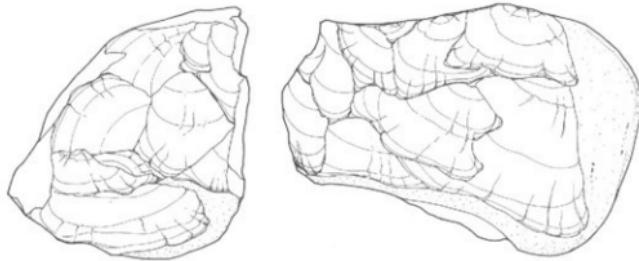
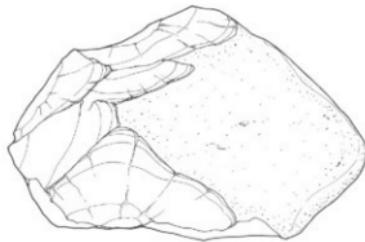
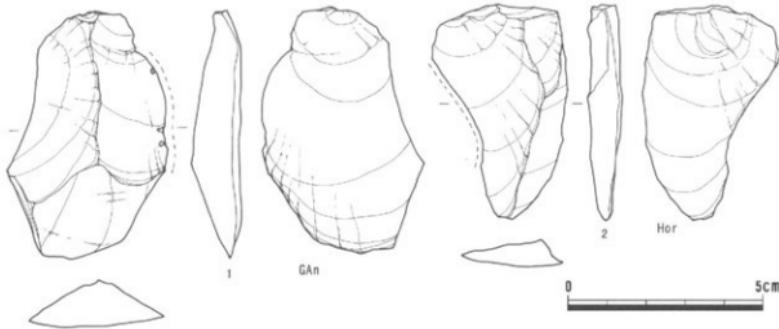
1と2は使用痕のある不定形な縦長剥片である。剥片の長軸方向の縁辺部に微細な剥離痕が観察される。3はガラス質黒色安山岩の角礫を用いた石核である。素材の平坦面に剥離を加えて打面とし、不定形な剥片を削出したもので、90度の打面転移をおこなっている。



第9図 BB II層遺物分布

表4 BB II層石材別遺物一覧表

	黒耀石 AGKT	ガラス質安山岩	ホルンフェルス	合計
石核				
フレイク	1	2	3	6
チップ	1	3	2	3
合計	2	3	5	10



第10図 BB II層出土遺物

第3節 第I黒色帶（第III文化層）の遺構と遺物

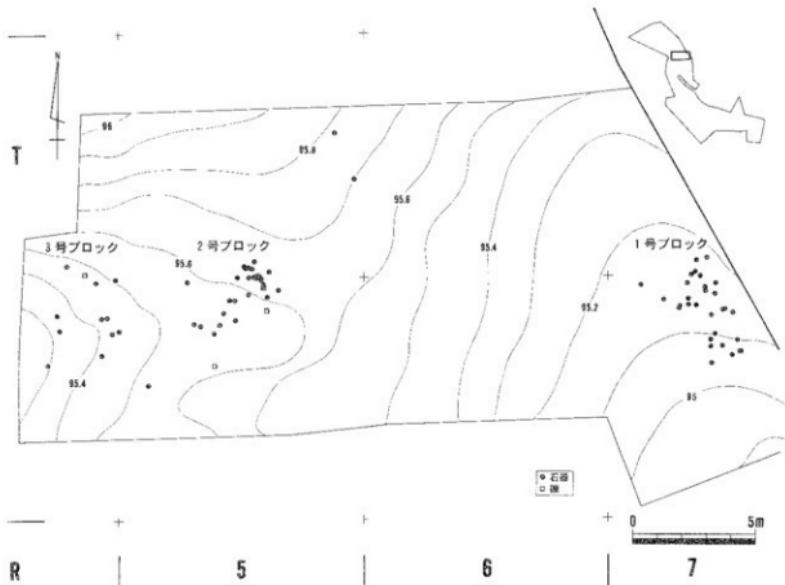
調査区中央部で3基の石器ブロックが検出された。現地は斜面から平坦地へ移る地形の変換点にあたり、尾根幅が最短になる。層位的には第I黒色帶下部からニセローム上面にかけての出上である。調査はテストピットを設定し、遺物が検出された範囲を拡張調査する方法をとった。

<1号石器ブロック>

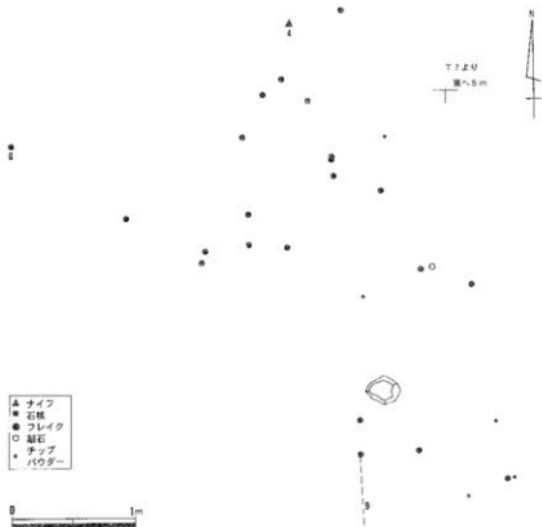
30点の石器からなる。ホルンフェルスの剥片を中心とした石器ブロックで、安山岩の磨石と礫石を中心に分布する。比較的大型の剥片が分布しており、石核も検出されていることから、剥片剥離作業をおこなったものと考えられる。ただし風化が著しく、剥離面や使用痕の観察が不可能なため個々の石器に対する詳細な記述は不可能である。この他に黒耀石製(5)とホルンフェルス製(4)のナイフ形石器各1点が出土した。5は蓼科産の黒耀石を用いており、打点側を先端部に配して二側線にプランティングを施したものである。先端部が欠損している。4も同じく打点側を先端部に配した二側縁加工のもので、基本的に素材剥片の使い方や調整方法は類似している。この他に拳大の礫を素材としたホルンフェルス製の石核が出土したが、風化が著しく固化していない。原礫面を打面として剥片を剥離していると考えられる。

<2号石器ブロック>

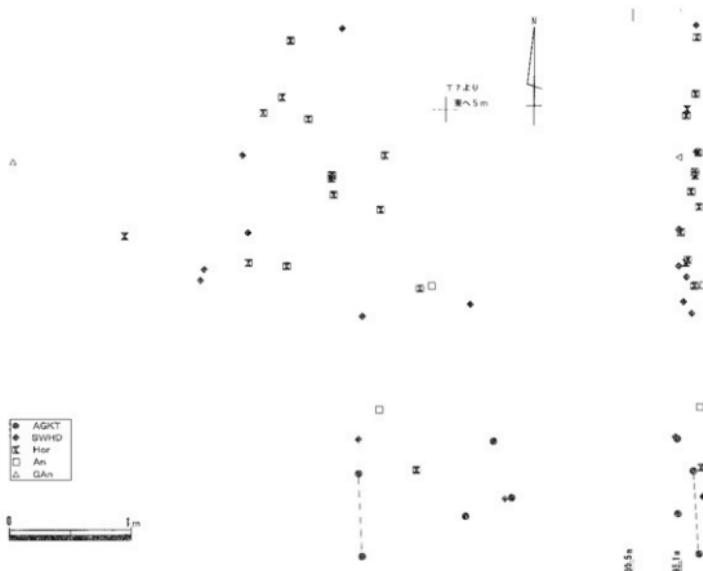
29点の石器からなる。天城柏崎産の黒耀石の剥片・碎片とホルンフェルスの剥片を中心で、ブロックの南側に台石が検出された。黒耀石の接合資料として9~11を図示した。9、10は剥片剥離の打撃の衝



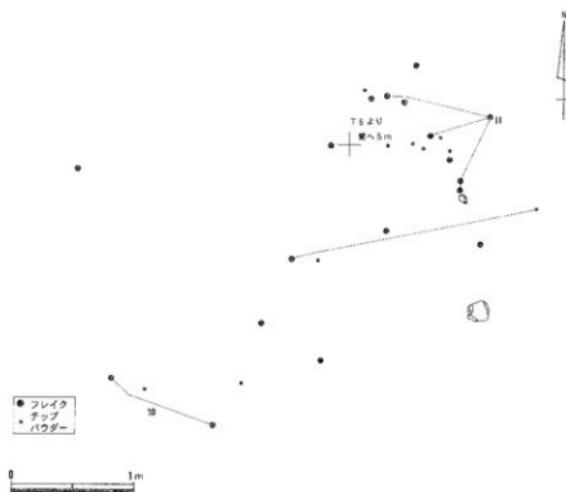
第11図 BB I層遺物分布



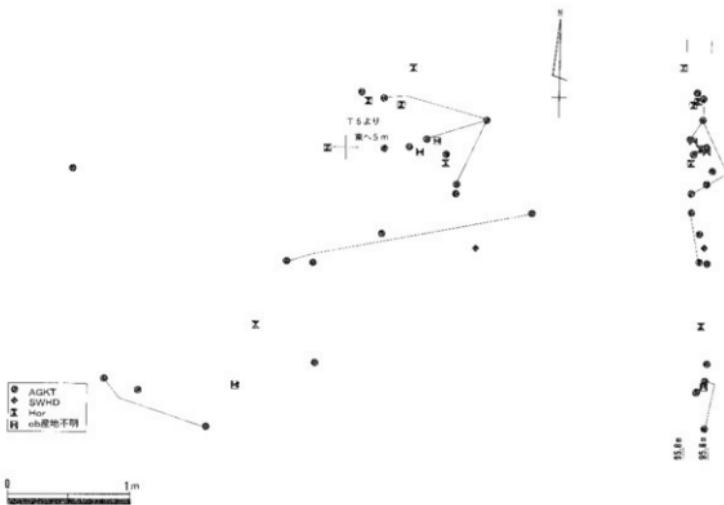
第12図 BB I層1号ブロック器種別分布



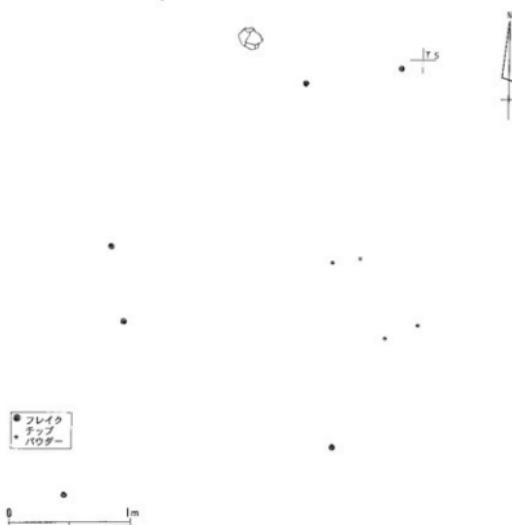
第13図 BB I層1号ブロック石材別分布



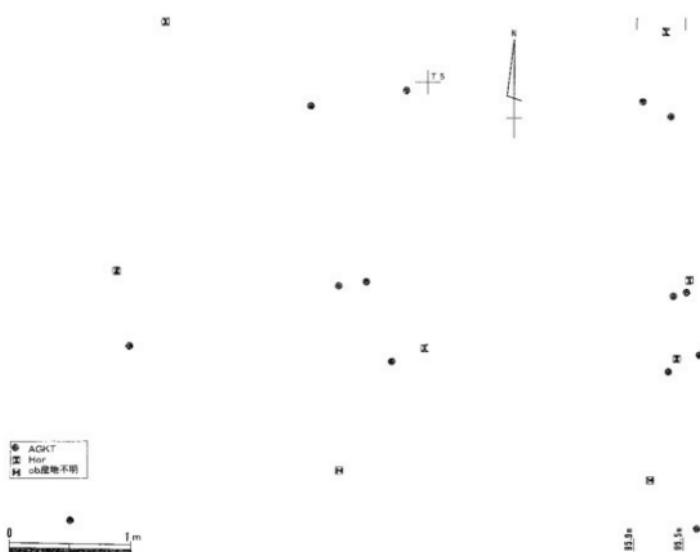
第14図 BB I層2号ブロック器種別分布



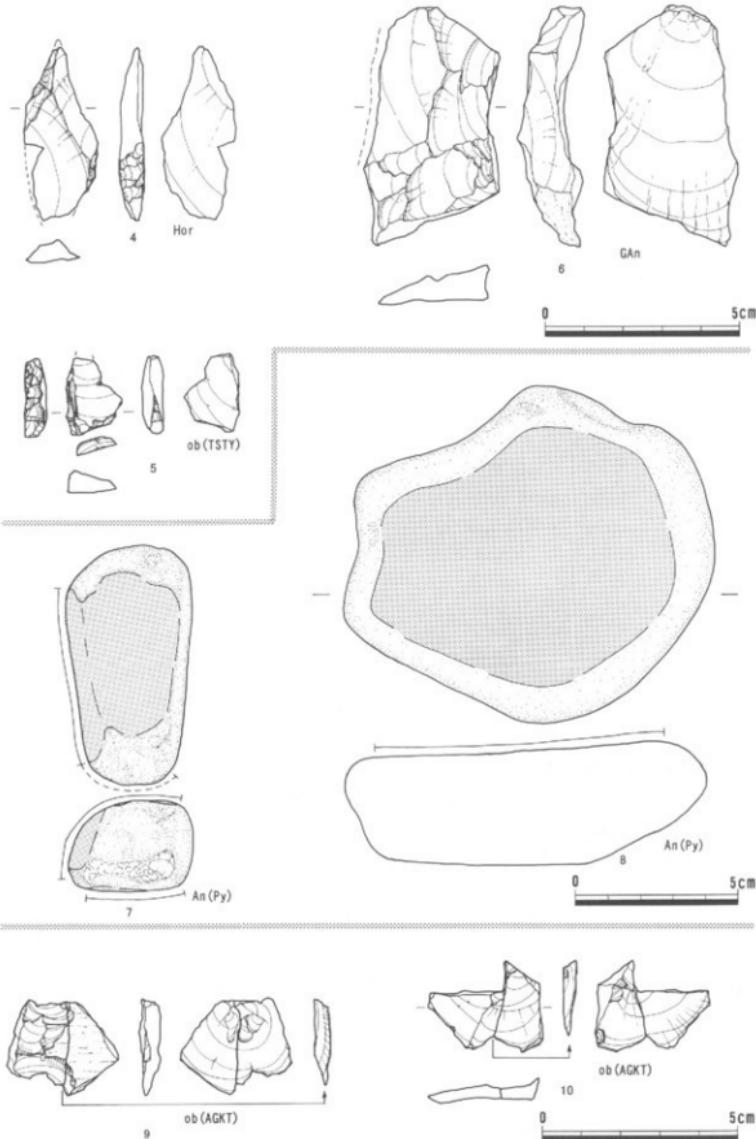
第15図 BB I層2号ブロック石材別分布



第16図 BB I 層3号ブロック器種別分布



第17図 BB I 層3号ブロック石材別分布



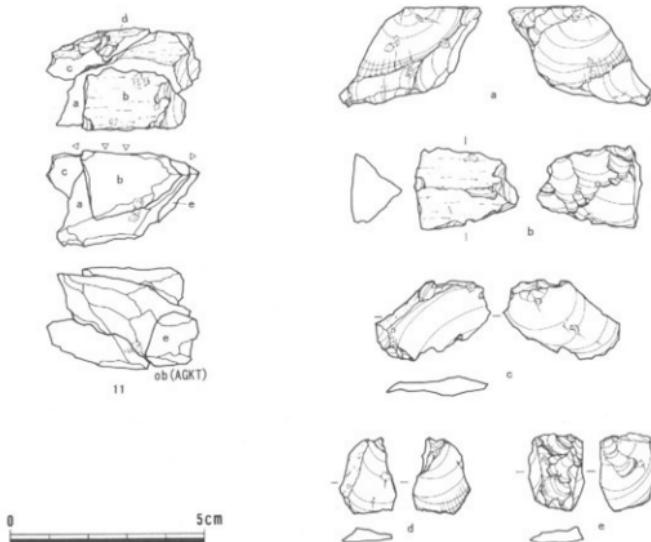
第18図 BB I層出土遺物(1)

擊による折れである。11は柏崎産の黒耀石の原礫面を打面として不定形な剥片を剥離しているもので、石材は不純物を多く含み粗悪である。

<3号石器ブロック>

11点の石器からなる。散漫な分布を示し、天城柏崎産の黒耀石の剥片・碎片とホルンフェルスの剥片が含まれる。

これら3基のブロック間では遺物の接合関係はなかったが、2号ブロックと3号ブロックはその組成内容と分布の状況、また地形的に西側に緩やかに傾斜していることから、一つの石器ブロックとして理解することができる。



第19図 BB I層出土遺物(2)

表5 BB I層石材別遺物一覧表

	黒耀石																	ガラス質安山岩	ホルンフェルス	輝石質安山岩	合計
	A G K T 1	A G K T 2	A G K T 3	A G K T 4	A G K T 5	A G K T 6	A G K T 7	A G K T 8	A G K T 9	A G K T 10	A G K T 11	S W H D 13	S W H D 14	S W H D 15	S W H D 16	T S T Y 4	測定不可				
ナイフ																1	1	1	2		
敲石・磨石																		2	2		
リフレイク																	1	1			
フレイク	1	6	1	3	1	2	1	2		2		2	4	1	1	1	1	1	20		
チップ		4					1	1	3	1	2	1				1	3	17			
バウダー										1						1		4			
合計	1	11	1	3	1	4	2	2	3	4	2	3	4	1	1	1	3	24	276		

第4節 休場層下位（第IV文化層）の遺構と遺物

6基の礫群が検出された。礫の底部垂直分布はYLM～YL L層にかけてだが、石器はYLU層下部～BB O層上部にかけて出土している。遺物の出土状況は非常に散漫な分布を示し、調査区全体を見ると礫群とほぼ重なるが、遺物の集中地点（石器ブロック）を作らない傾向がある。また、出土した遺物はナイフ形石器が中心で、剥片や碎片を殆ど含まない。ナイフ形石器の石材は信州産の黒耀石で、個体別分類の結果、一個体一遺物という状況が判明した。よってここでは遺構として礫群を扱った後、各遺物について述べる。

1. 磨群

1号磨群は18点の赤化した礫からなる。散漫に分布しており、接合関係はない。分布範囲よりナイフ形石器が1点出土している。

2号磨群は39点の赤化した礫からなる。やや集中して検出されており、垂直レベルもそろっている。磨群内で接合関係があり、接合資料が3号磨群付近まで移動している。割れ面が赤化していることから、繰り返し使用されたものと考えられる。3号磨群は8点の赤化した礫からなる。

4号磨群は31点の赤化した礫からなる。散漫に分布しているが、分布範囲内で接合関係があることから、集合していたものが拡散したと考えられる。これら2～3号磨群は集中して出土しており、垂直分布もまとまっていることから同時期のものと考えることができる。

5号磨群は19点の非赤化礫と27点の赤化礫からなる。細かな剥片が多いが、接合関係はない。

6号磨群は10点の赤化した礫からなる。接合関係はなく、散漫な分布を示す。

2. 出土遺物

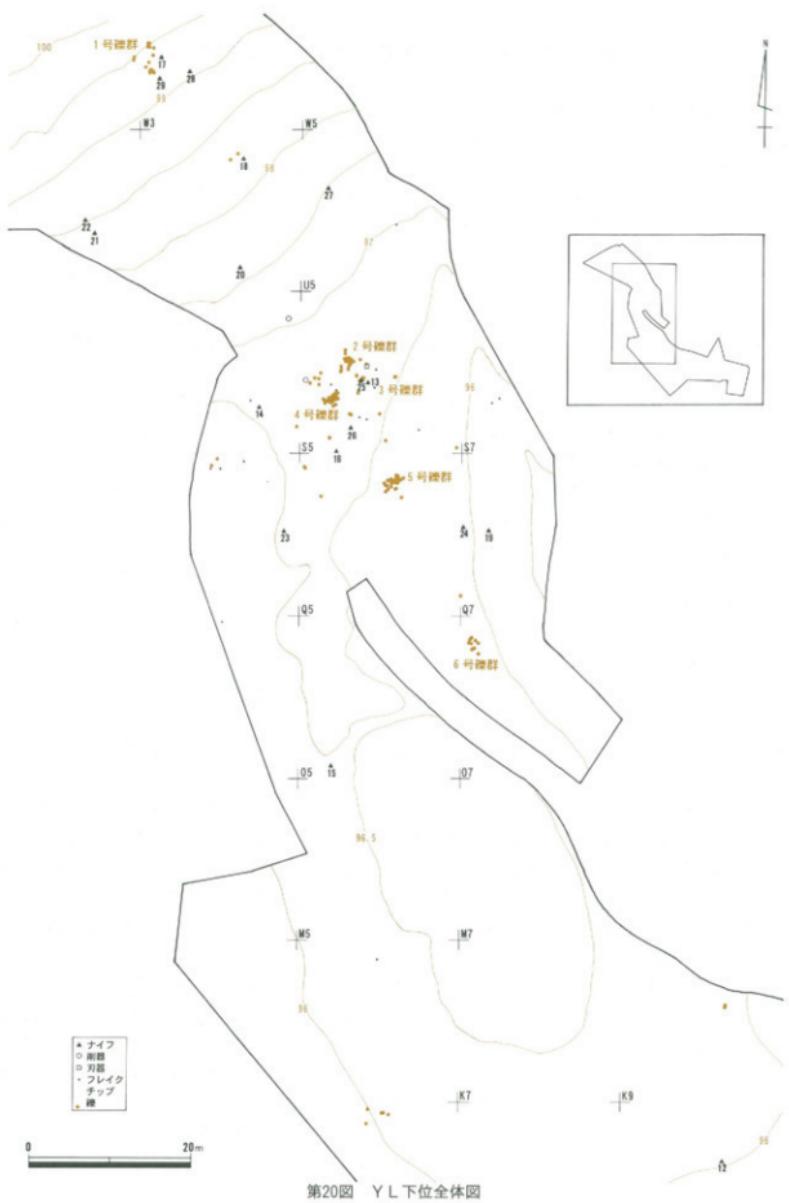
出土遺物はナイフ形石器18点、削器2点、石刃・縦長剥片2点のほか剥片類が12点である。

ナイフ形石器は12～29が該当する。12～15、17～20は二側加工のナイフ形石器である。星ヶ台産の黒耀石の石刃を素材として、素材の打点側を基部として用いたものである。先端部は欠損している。13は和田岬産の黒耀石を素材としており、打点側を基部として用いる。基部の加工はバルブを取り去るように行われているが、球頭の影響で不充分である。先端部欠損。14は和田岬産の黒耀石の石刃を素材としており、打点側を先端部に置き、側縁のプランディングでバルブを取り去る。基部裏面には平坦な剥離が加えられる。17は星ヶ台産の黒耀石の厚めの剥片を素材として、基部、側辺とともに裏面に平坦な剥離を加えるものである。プランディング部分を打面として裏面を調整し、改めてプランディングの一部を調整している。18～20は小さめの縦長剥片を素材としており、素材の打点側を先端部に用いている18、20は、基部の裏面に平坦な加工を加える。

16、21、22は基部と先端部に加工のあるものである。16は縦長の剥片の打点側を基部として用いており、素材剥片の軸がナイフの軸と同一になる。21、22は素材剥片を逆位に用い、バルブを除去して先端部をつくりだしたものである。

23は石刃を素材とし、先端部を加工、基部は折り取られている。背面に原礫面を残す。24～28は欠損品である。27は上部が欠損したあと、折損部分に調整が加えられている。

29は剥片の末端部と打点部を折り取って作った台形石器で、基部は発掘時の欠損で不明だが、平坦な剥離が施されているようである。背面には節理面が大きく残り、刃部には使用によるものと考えられる微細な剥離が観察される。



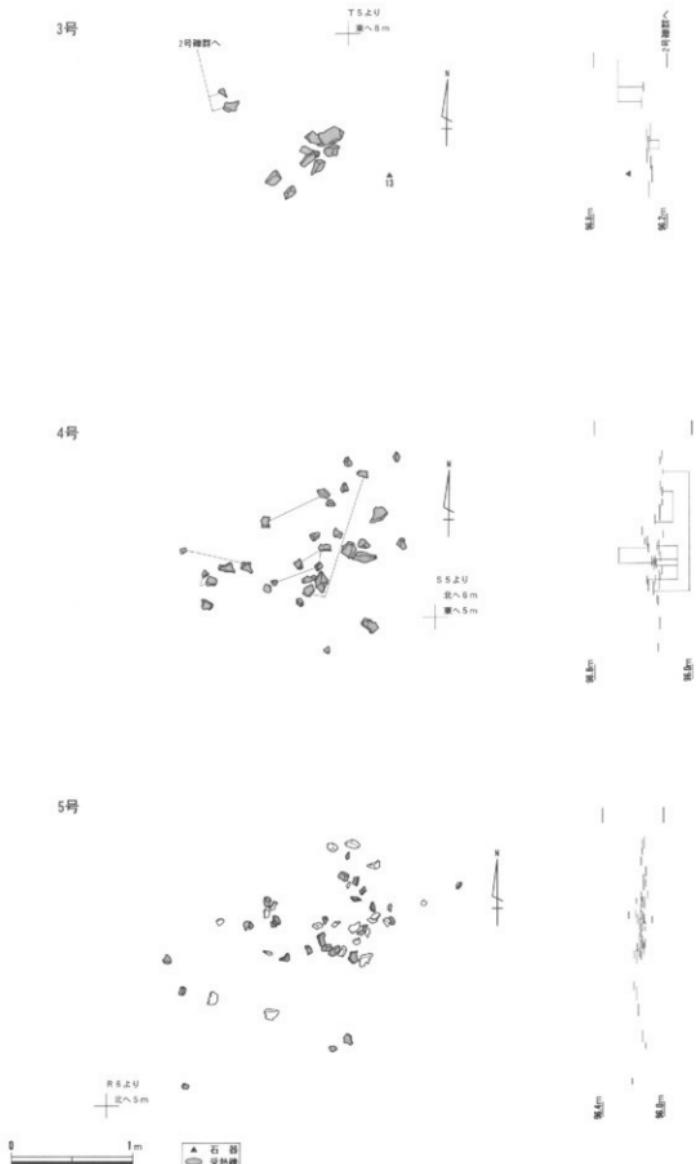
1号



2号



第21図 Y L 下位砾群平面・垂直分布(1)



第22図 Y L 下位砾群平面・垂直分布(2)

30は剥片の縁辺部に抉入状の加工を施した削器である。31は分厚いチャートの剥片を用いてその鋭利な縁辺部に細かな剥離を連続して加えたものである。

32はホルンフェルス製の石刃である。33は縦長剥片状ではあるが、背面の剥離面の方向が全て同じ方向であることから岡化した。この他に剥片類が12点出土した。

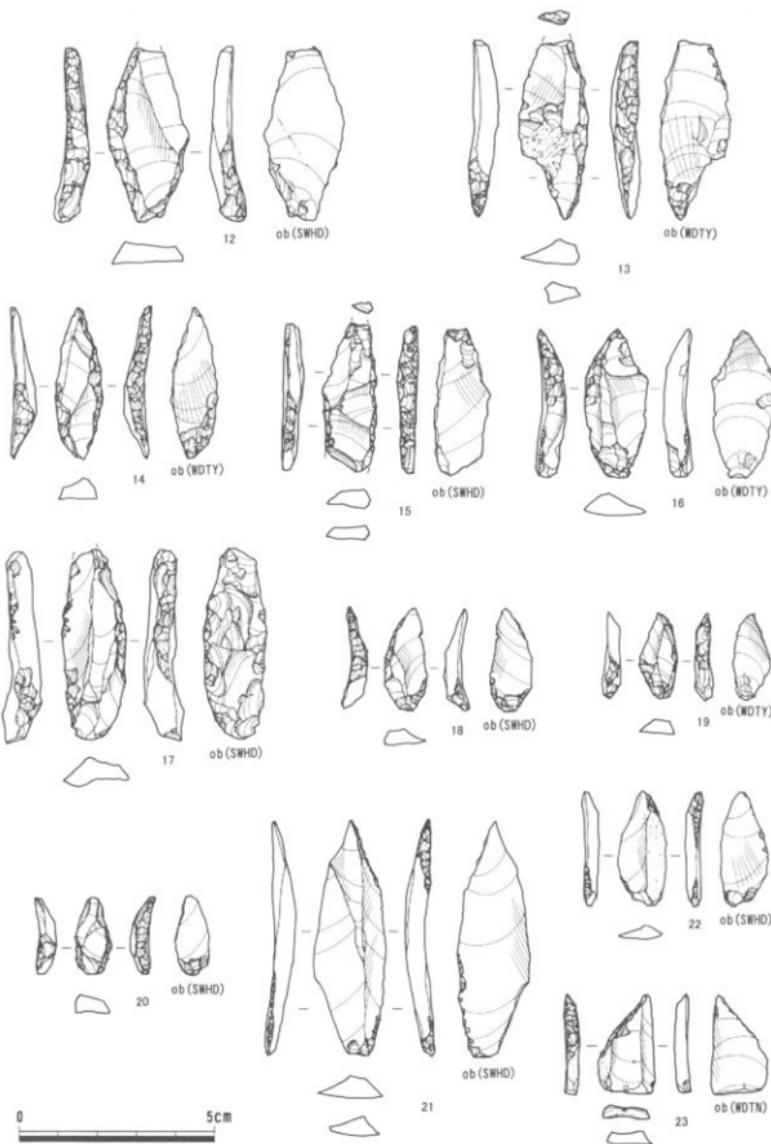
先にも述べたが、これらの遺物の出土状況は調査区内に散漫に分布している。ただし、S 5 グリッド周辺では後述の第V文化層の遺物包含層と平面的に重なっているため、第V文化層の天城産黒耀石が一部混入している可能性がある。



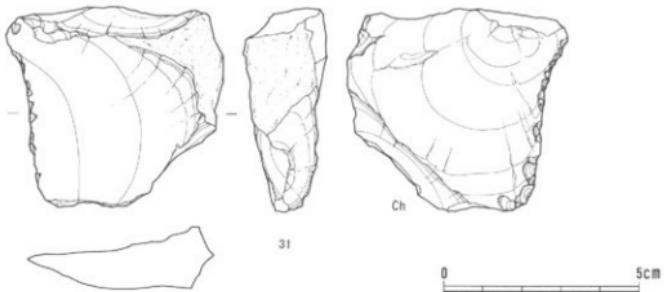
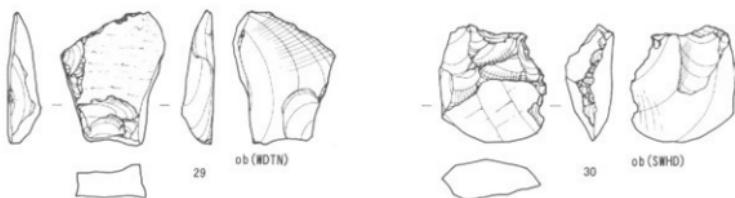
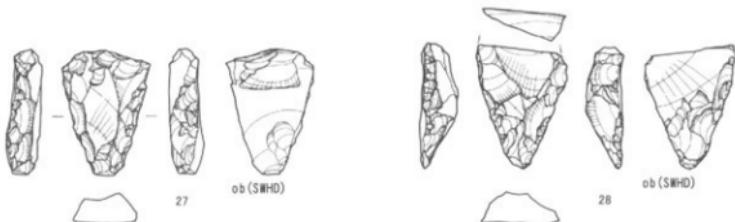
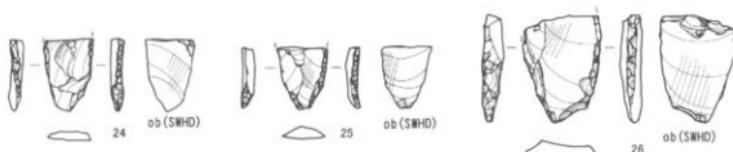
第23図 Y L 下位疊群平面・垂直分布(3)

表6 Y L 下位石材別遺物一覧表

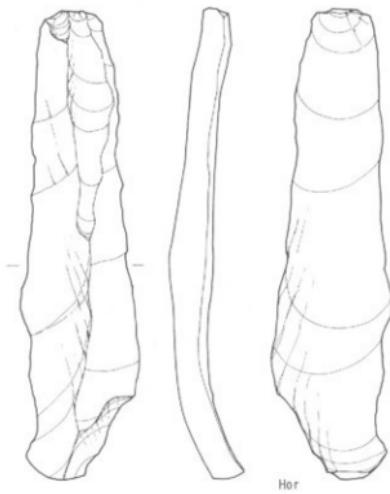
		黒耀石		ガラス質安山岩	ホルンフェルス	硬質細粒基灰岩	チャート	合計																										
A	G	A	G	A	Z	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	T	S	W	W	W	W	W	W	W									
K	K	K	K	O	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	T	Y	W	W	W	W	W	W									
T	T	T	B	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	N	Y	D	D	D	D	D	D									
2	5	7	3	1	4	6	8	9	10	11	20	21	22	23	25	26	5	1	2	1	3	4	5	5	5									
ナイフ						1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	18						
削器																			1									1	2					
石刃																														2				
ブレイク																														1				
チップ																														3	1	6		
パウダー																														1				
合計																														1	5			
																																1		
																																	1	



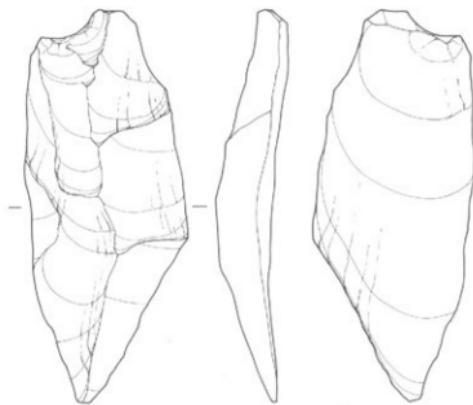
第24図 Y L 下位出土遺物(1)



第25図 Y L 下位出土遺物(2)



32



33



第26図 Y L 下位出土遺物(3)

第5節 休場層上位（第V文化層）の遺構と遺物

4基の礫群と2基の石器ブロックが検出された。礫群の基底部レベルはYLUの中部から下部にある。これら礫群と第IV文化層の礫群とはレベル差にして約25~30cmあり、上下の礫の接合関係もなかった。

石器ブロックは、畠宿産の黒耀石を中心としたものである。YLM上位～漸移層までレベル差を持って出土した。

1. 石器ブロック

石器はS5グリッドを中心に30m四方に集中して出土している。これらを東西に2分割し、2ヵ所の石器ブロックとして報告する。

<1号ブロック>

139点からなる。中心は箱根畠宿産の黒耀石である。特に個体別分類でHNHJ1とした資料は、石核、チップやパウダーを含み、未製品1を含む尖頭器4点が出土している。尖頭器の製作跡と考えられ、原礫面を残す剥片や尖頭器製作時の貝殻状の剥片も出土している。このことから、剥片剥離作業から尖頭器の加工、残核の廃棄までの全工程がおこなわれたものと考えられる。しかし接合状況は良好でなく、残された剥片も小塊のものが多いことから、多くの剥片は遺跡外に持ち出されたものと考えられる。この他のナイフや槍先形尖頭器は一母岩一個体のものが多く、チップなどを伴わないことから、搬入品であることがわかる。黒耀石の他にガラス質黒色安山岩やホルンフェルスの剥片も残されているが、これらの石材については剥片剥離作業をおこなった痕跡はない。

<2号ブロック>

34点からなる。分布は散漫で、IINHJ1以外の尖頭器は一母岩一個体である。尖頭器は12点が出土しており、3号礫群を中心として円形に分布している。全体の35%以上が尖頭器である。

上記2基の石器ブロックは、所有している石材は類似しているが、分布のあり方は1号ブロックに集中地点が明確に見えるのに対して、2号ブロックは石器の数も少なく分布も散漫である。このことからこの2基のブロックは独立するものではなく、1号から2号へ、何らかの理由で遺物が移動した結果と考えられる。

2. 磯群

前述したが、これらの礫群の基底部はYLUの中位から下位にあり、レベル差は少ない。平面分布、垂直分布は石器ブロックと重なるため両者は有機的なつながりを持っていると考えられる。また1、2、4号礫群は1号石器ブロックの東側縁辺を取り巻くように分布している。

<1号礫群>

36点からなる。うち33点が赤化している。礫群内と単体で出土している礫との接合関係がある。平面分布は南側にやや散らばる傾向があるが、接合状況を見ると北側の一群の一部と考えられる。

<2号礫群>

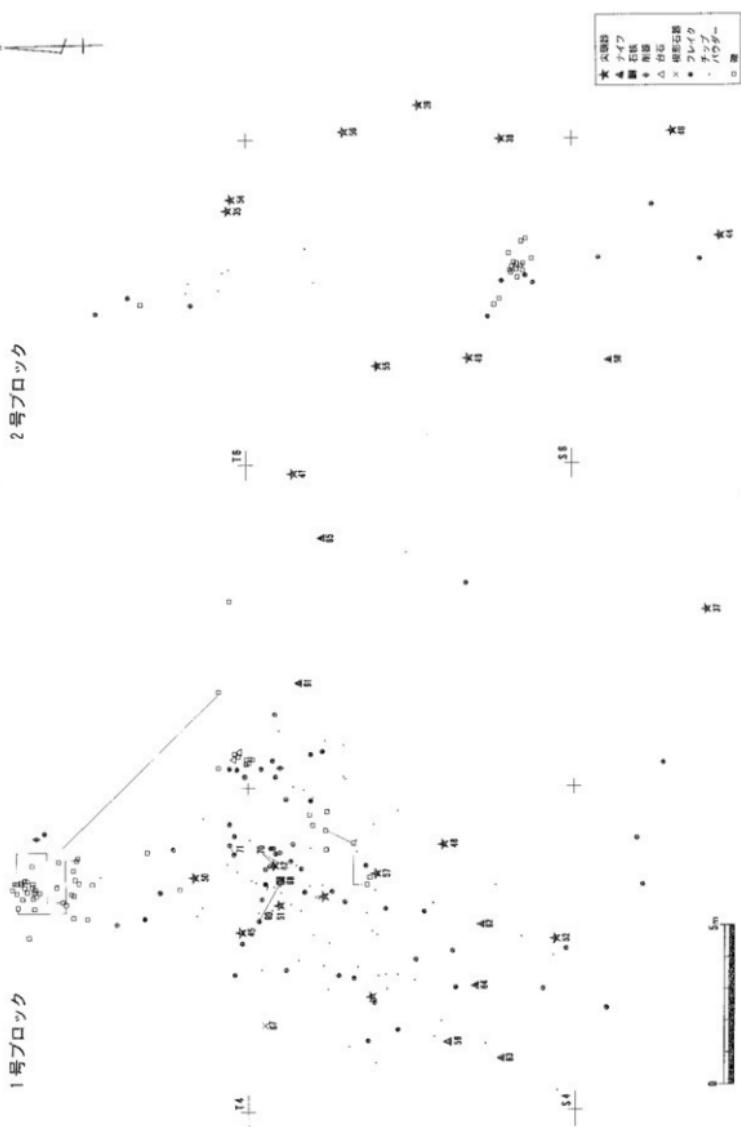
9点の赤化した礫と2点の台石状の大型礫からなる。周辺に黒耀石のチップが分布する。

<3号礫群>

19点からなる。うち11点が赤化している。50~150gの小型の礫が中心で接合関係はないが、礫の外表面が非常に良く焼けている。2号石器ブロックの中心に位置し、この礫群の周りにナイフ形石器や尖頭器が点々と出土している。また西側に人頭大の配石がある。



第27図 YL上位全体図



第28図 Y L上位石器ブロック器種別分布

1号ブロック

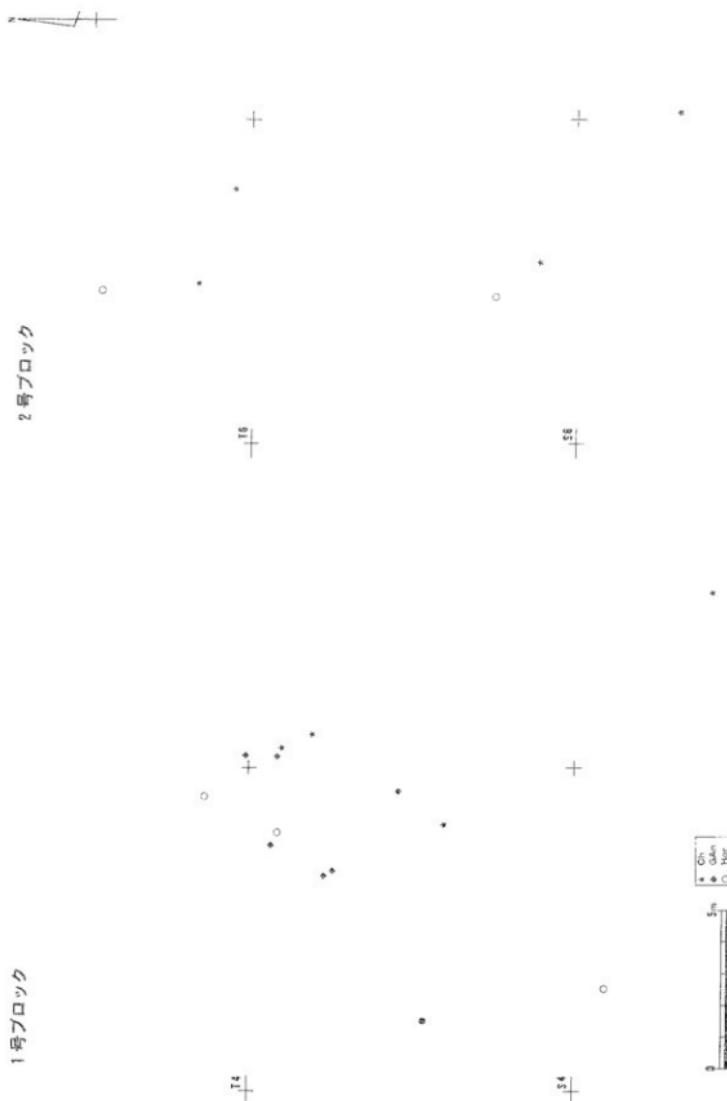
2号ブロック



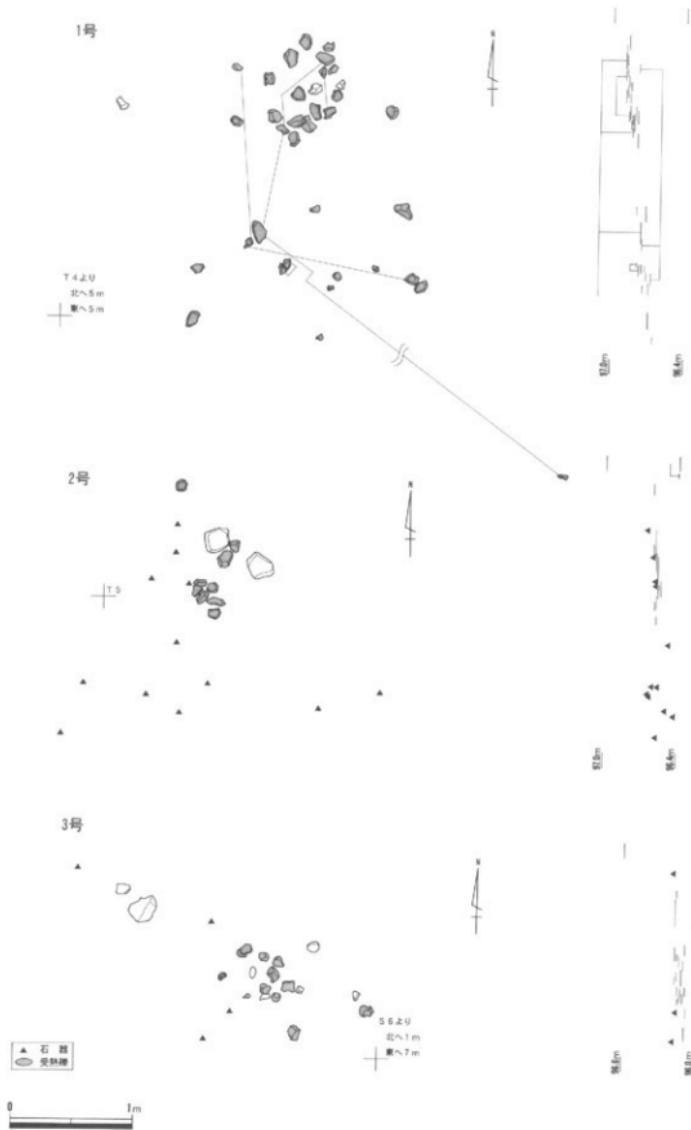
第29図 Y L上位石器ブロック個体別分布

1号ブロック

2号ブロック

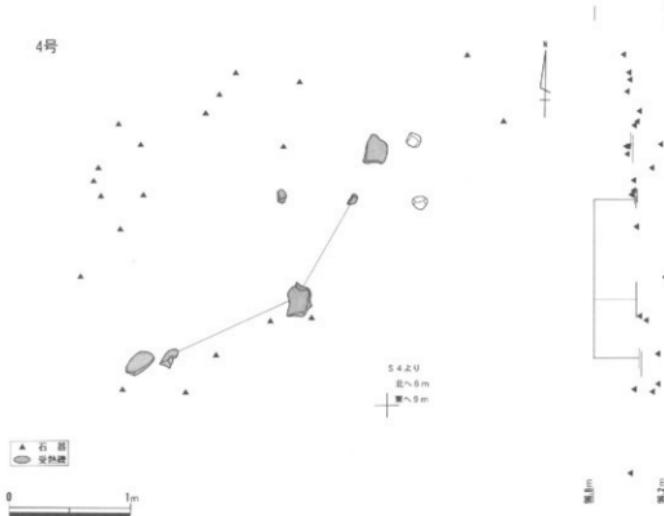


第30図 Y L 上位石器ブロック石材別分布



第31図 Y L上位砾群平面・垂直分布(1)

4号



第32図 Y L上位礫群平面・垂直分布(2)

表7 Y L上位石材別遺物一覧表

		黒耀石																				ガラス質安山岩	ホルシナーフェルス	合計				
A	G	K	T	13	14	15	16	17	H	N	H	N	N	N	N	H	S	W	W	W	W	W	W	T	T	T	T	D
A	G	G	T	13	14	15	16	17	A	G	G	G	G	G	G	H	S	S	S	S	S	S	T	T	T	T	D	
G	G	G	Y	Y	Y	Y	Y	J	N	N	N	N	N	N	N	N	W	W	W	W	W	W	S	S	S	S	Y	
K	K	K	K	K	K	K	K	J	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	T	T	T	T	B	
T	T	T	T	T	T	T	T	J	J	J	J	J	J	J	I	D	D	D	D	D	D	D	Y	Y	Y	Y	Y	
13	14	15	16	17	1	2	3	6	7	8	9	1	2	3	5	7	10	12	18	19	24	26	1	2	3	5	6	

ナイフ		1	1	1																							8
尖頭器		10	1						1	1	1	1	1					1	1		1	1			1	4	24
楔形石器		1							1																		2
石刀																											1
石核																											1
Rフレイク																											1
ブレイク	1																										1
チップ	1	1																									1
パウダー																											6
合計									130	1	1	2	2	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	181	

<4号礫群>

人頭大の礫3点と小型の礫5点からなる。大型の礫を含めて6点が赤化している。受熱時の破碎と思われる接合資料がある。

3. 石器

181点が出土した。第4節でも述べたが、これらの石器の集中地点は第IV文化層の平面分布の一部となり、出土レベルだけでは上下の文化層を分離することが不可能な遺物もある。このため、現地において

ての出土レベルによる文化層別の取り上げデータをもとに、黒耀石に付いては個体別分類作業をおこなった。この結果、特に軽いチップ類が上下に拡散している傾向があり、出土遺物数の多い HNHJ1 の個体については石核や槍先形尖頭器の出土状況から企点を当文化層に所属させる作業をおこなった。個体別分類の結果は、巻末の附表に掲載した。

(1) 槍先形尖頭器 (34~57)

34~42は全長が約4~5cmの中型尖頭器である。34、35は両面加工のもので、直接打撃によると考えられる加工によって面的調整が成されており、34の正面右縁辺部はステップフレイキングを起こしている。35の先端部は欠損後調整を加えた痕跡がある。36は黒耀石製の綫長剥片を素材としたもので、縁辺部を平坦な剥離で加工したものである。腹面先端部には縦方向の衝撃によるものと考えられる剥離（使用痕）が観察される。基部折損。37は綫長の剥片を素材として縁辺部に両面より剥離を加えたものである。39、40は基部が欠損しているが、両面加工の尖頭器である。先端部に細かな調整が加えられているが、パンチ痕は観察されない。41、42は尖頭器の未製品である。直接打撃による粗い加工が施される段階で、断面が半月形を呈し、素材剥片の形状を残す。42には剥片が1点接合（70）する。

43~57は全長が約2.5~3.5cmの小型の尖頭器である。素材剥片の縁辺部に加工を加えたものである。加工は全周に及ばないものもあり、ナイフ形石器と形態的に類似するものがあるが、加工がプランディング状か、平坦剥離かによって2器種を分類した。43~45は誠筋星ヶ台産の黒耀石を使用しており、剥片の縁辺部に加工を加えるもので、先端部は鋭く尖っている。それぞれ母岩は異なる。44、46は先端部に剥突によると考えられる剥離が観察される。49、51、52、54~57は同一母岩と考えられる資料である。いずれも剥片の縁辺部に平坦な剥離を加えたものであり、57は加工がやや急斜なのでナイフ形石器とも考えられる。また、この母岩（HNHJ1）には中型の尖頭器の39、41、42も含まれる。

(2) ナイフ形石器 (58~65)

58~61は綫長の剥片を素材とした二側縁加工のもので、58、60、61は剥片の打点側をナイフの基部としたものである。いずれも剥片とナイフの基軸がほぼ一致する。59は素材剥片の打点側を先端部としたものである。基部は折り取っている。61の基部にはバルブを取り去った平坦剥離が観察できる。63は貝殻状の剥片の末端部にプランディングを加えたものである。微細剥離が観察される。64は基部を破損する。また右縁辺部は先端部から続く加工が残るが、微細剥離が観察されるため刃部として考えた。

これらナイフ形石器は全て黒耀石製であり、58が IINIIJ1 で同一個体が多い他は、全て…母岩一個体となる。

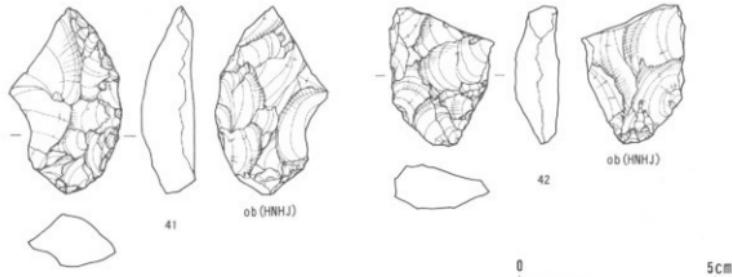
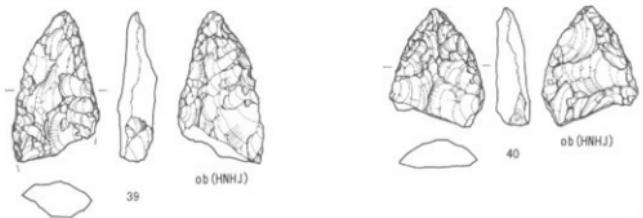
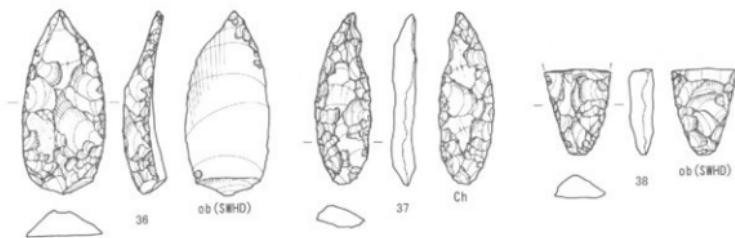
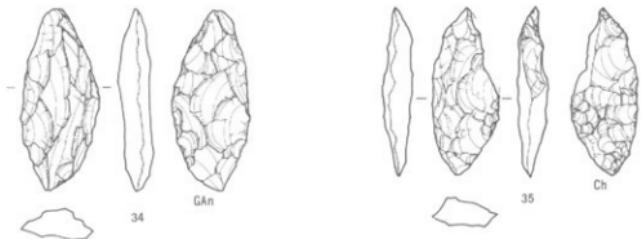
(3) その他の石器

楔形石器が2点出土している（66、67）。剥片の対極する縁辺部が衝撃によって剥離しているものである。67は石核からの転用で、上下の打面より綫長の剥片を剥離している。

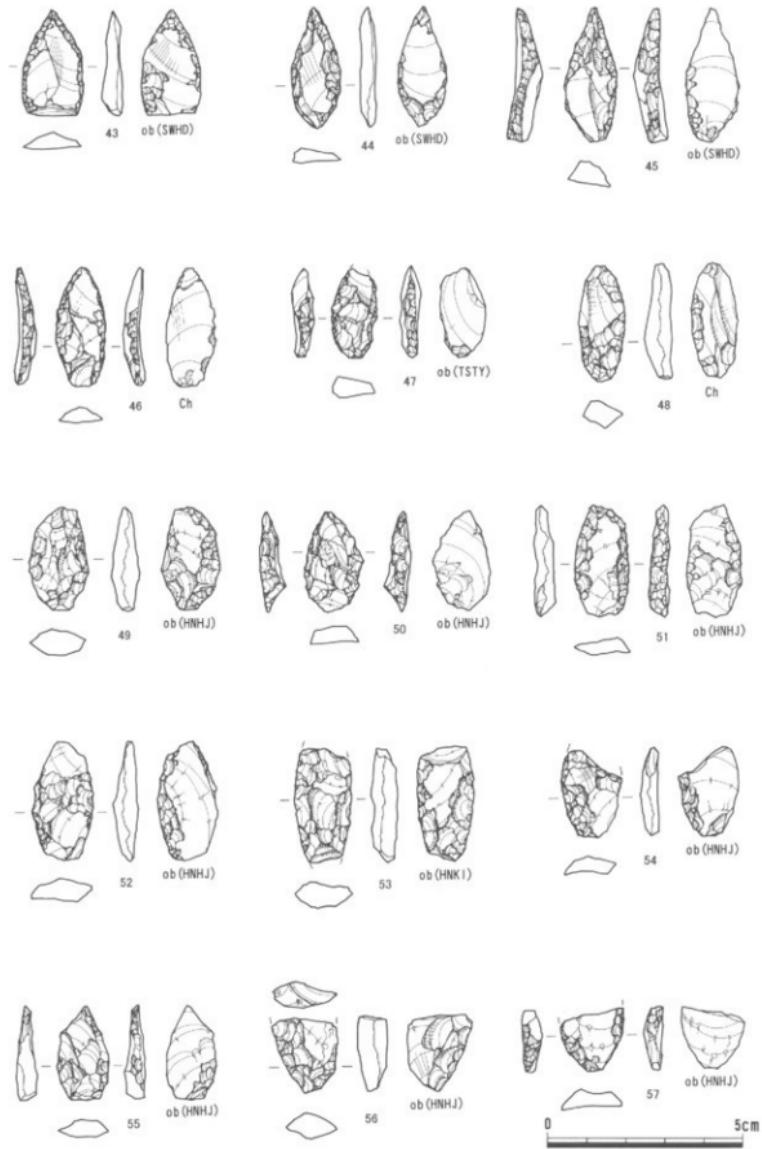
68は細宿産黒耀石の石核で、打面と作業面を入れ替えながら縁辺部より剥片を剥離するものである。よってこの残核の作業面は亀甲形をなす。本文化層では唯一出土した石核であり、母岩は HNIIJ1 に分類されている。

(4) 接合資料

3組の接合資料があるが、全て HNIIJ1 の個体である。69は68の石核と剥片の接合例である。前段階の作業面を打面へ転じて、石核の縁辺部から中心方向に剥片を剥離したものである。70は尖頭器の未製品と調整剥片の接合例である。縁辺からの直接打撃によって貝殻状の剥片を剥離したものである。この剥片が出土した周辺には同様の貝殻状の剥片が分布していたが、この1点が接合したのみであった。71は剥片の折れによる接合資料である。これは、剥片が剥離された際に、打撃の衝撃によって2分割されたものと考えられる。剥片の一部には原処面が残る。



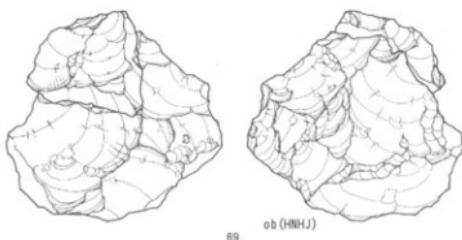
第33図 Y L 上位出土遺物(1)



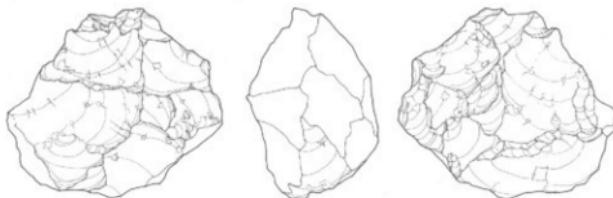
第34図 Y L 上位出土遺物(2)



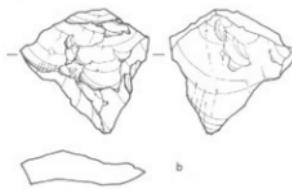
第35図 Y L 上位出土遺物(3)



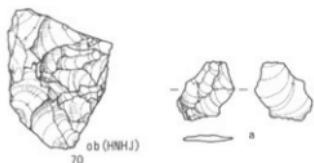
69 ob (HNHJ)



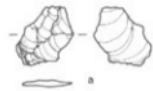
a (68)



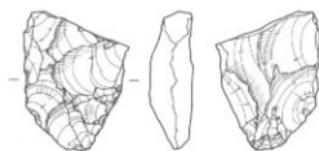
b



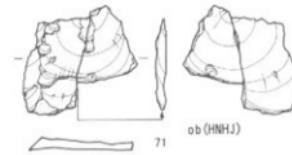
70 ob (HNHJ)



a



b (42)



71 ob (HNHJ)

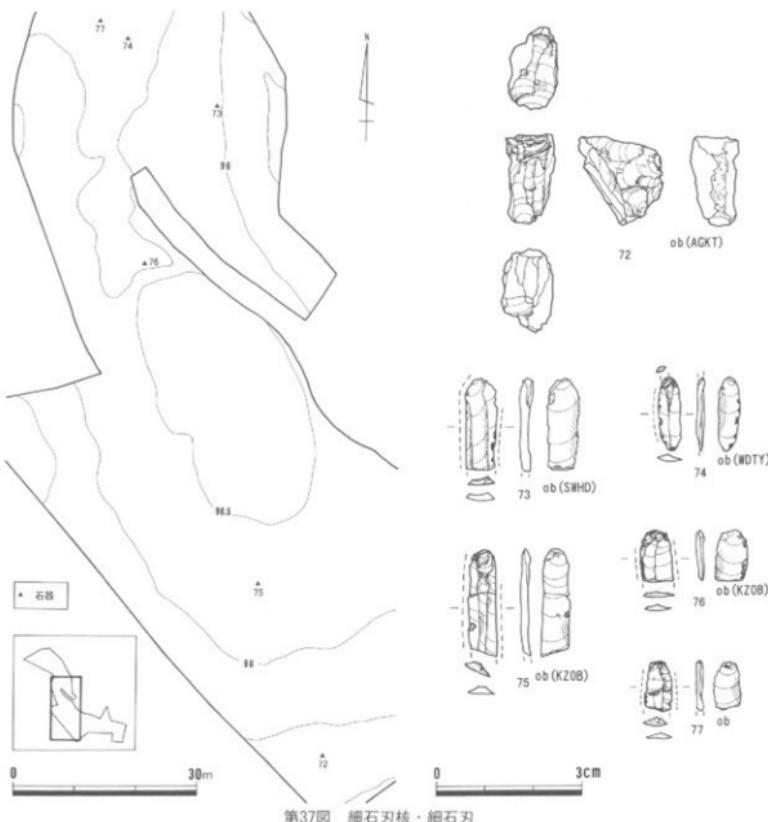


第36図 Y L 上位出土遺物(4)

第6節 富士黒土層（第VI文化層）の遺物

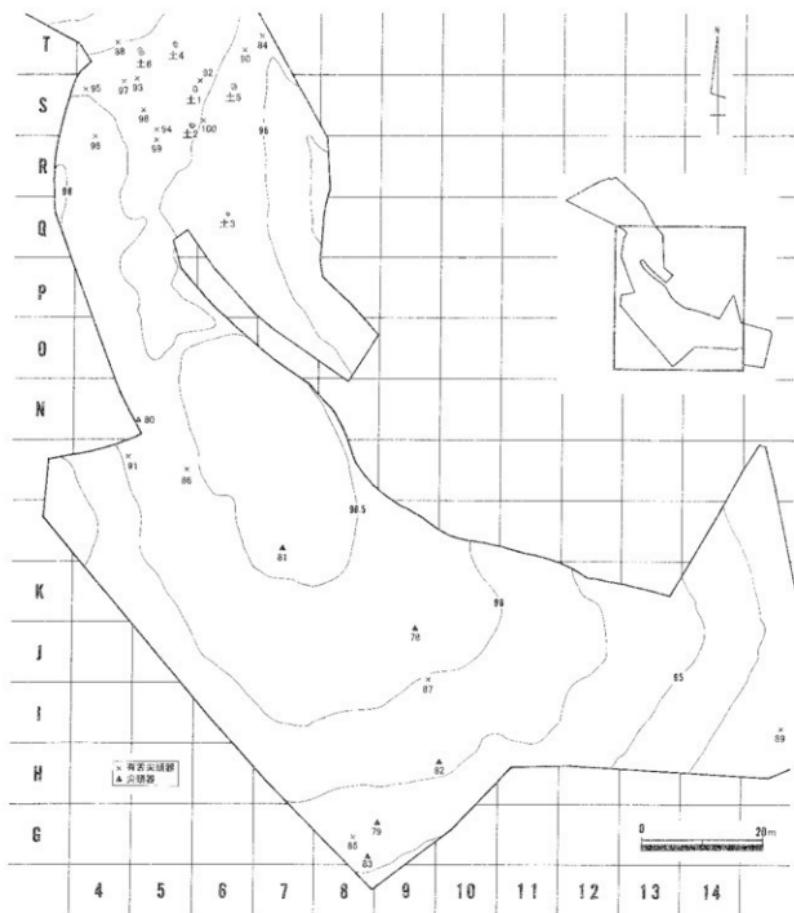
富士黒土層下部において細石刃5点、細石刃核1点が出土した。全て黒耀石製である。これらは集中地点を作ることなく、調査区内に点々と出土した。

72は天城柏崎産の黒耀石を素材とした、野岳・休場型の細石刃核である。打面を頻繁に転移させて細石刃を剥離している。最終形態が楔形になった残核だが、一部に原礫面を残すため、原石はさほど大きな物ではなかったと考えられる。73～77は細石刃で、原産地分析ができなかった（表面の風化による）77以外のものは、和田岬産1、星ヶ台産1、神津島産2で、個体別分類の結果では、全て母岩が異なる。これらは74が完形の他は全て末端部が折り取られ、上半部のみの出土となった。縁辺部には使用痕（微細剥離）が観察される。本調査では、チップや調整剥片等の細石刃製作に関する資料は検出されなかつた。

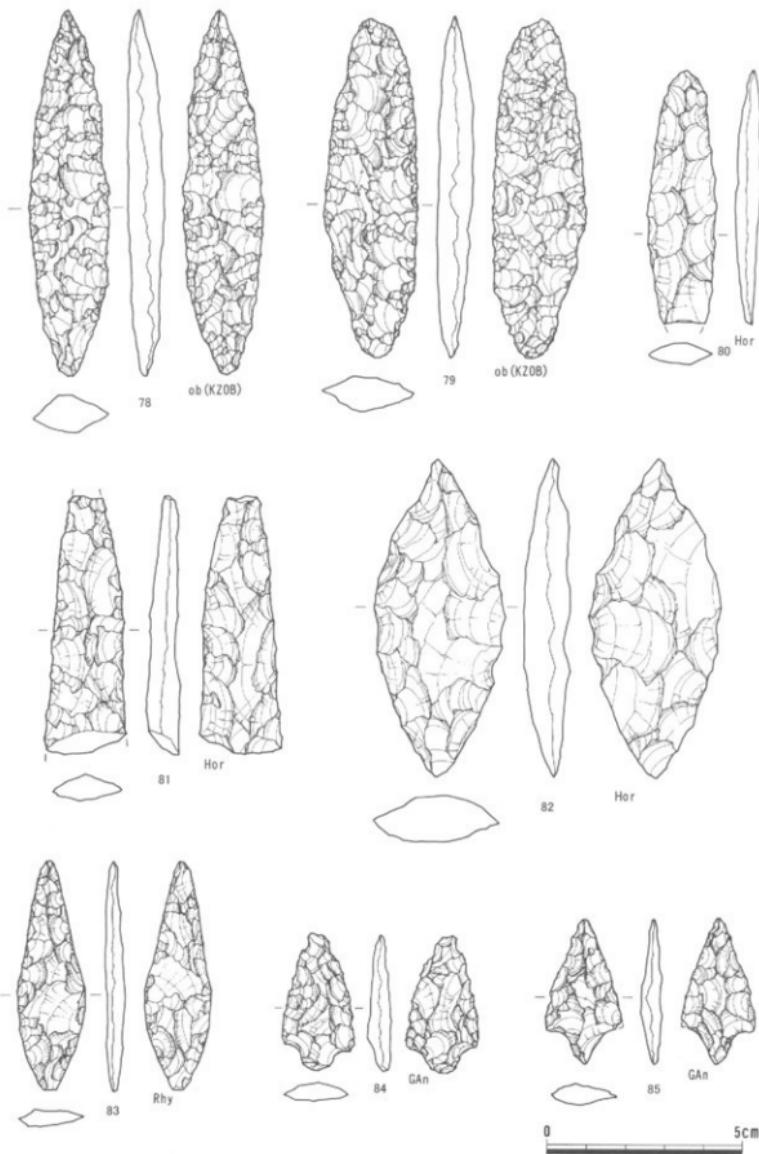


第IV章 縄文時代草創期の遺構と遺物

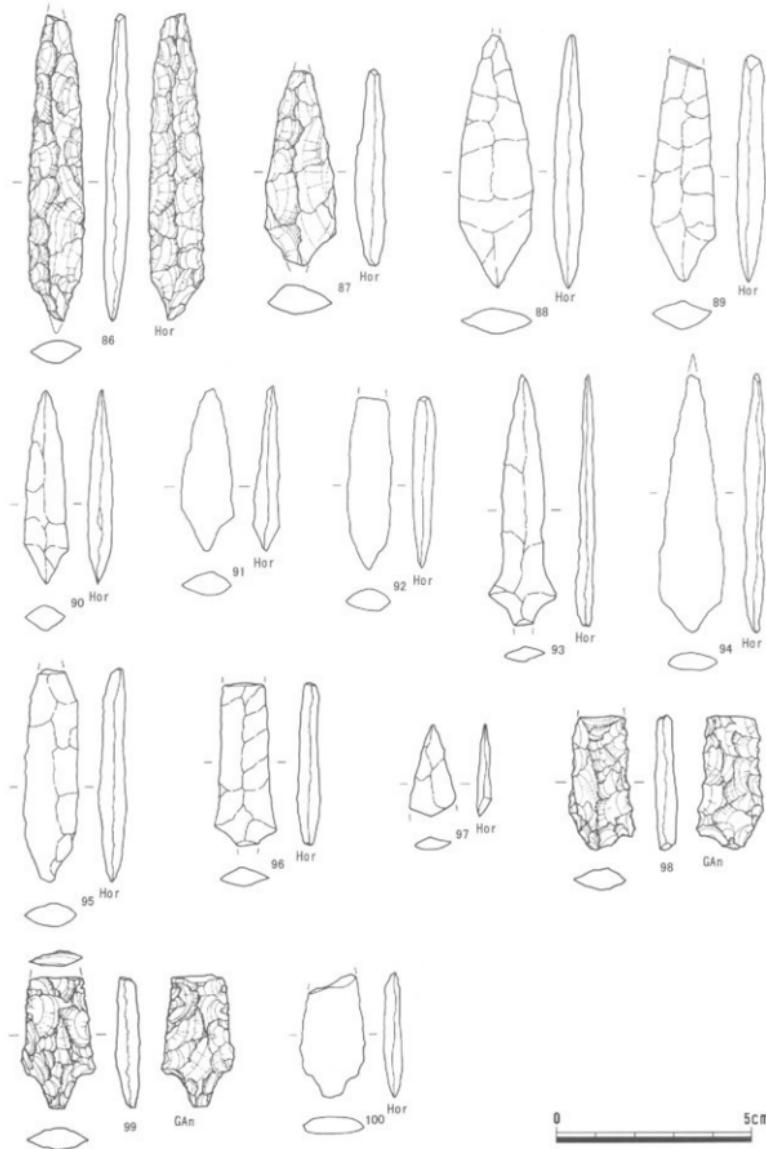
縄文時代草創期の遺物は富士黒土層下部～休場層上面にかけて出土している。また、土坑が6基検出されており、覆土の状態からⅡ石器時代末～草創期のものと考えられる。遺構の時期は厳密には不明であるが、当章で取り上げる。



第38図 縄文時代草創期全体図 (1/800)



第39図 尖頭器・有舌尖頭器



第40圖 有舌尖頭器

1. 遺構

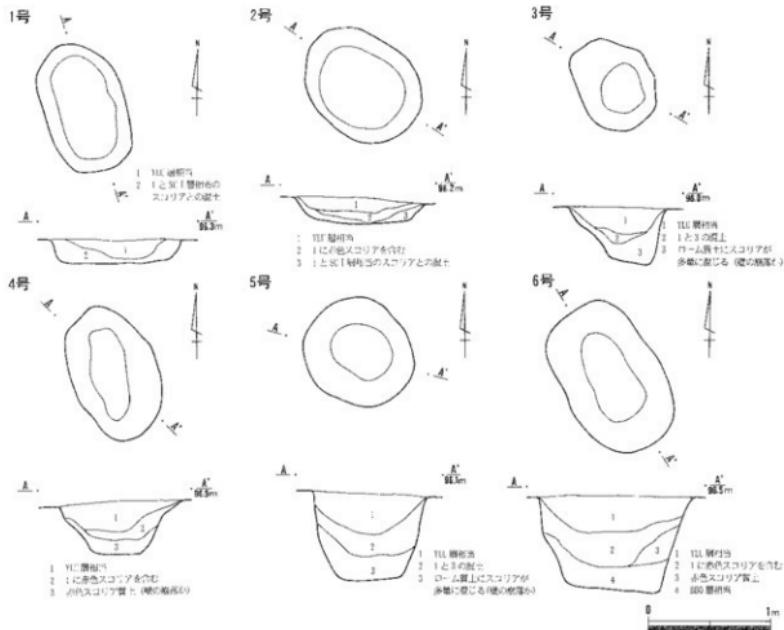
土坑が6基検出された。いずれもYL U層を主要な覆土として持ち、不定型な3号を除くと平面形が椭円形を呈する。底部には逆茂木の痕跡はない。土坑は図上では深さが0.2~1mであるが、1、2号は検出面がYL L層と低かったため、実際にはいずれも1m以上あったと考えられる。

2. 遺物

尖頭器が6点、有舌尖頭器が17点出土している。土器は出土しなかった。

78~83は尖頭器である。78、79は沖津島産黒縞石を用いたもので、厚目の身の縁辺部に押圧剥離による細かな調整を加えたものである。このため縁辺部は鋸歯状となる。80、81はホルンフェルス製のもので、やや小型である。82はホルンフェルス製の木葉形の尖頭器で、周縁部を直接打撃による大まかな打撃によって加工している。細部の調整の有無については風化のため観察できなかった。83は流紋岩製で、最大幅を下方に持つ。縁辺部に細かな剥離を加えることで先端部と基部を整形する。

84~100は有舌尖頭器である。84と85は幅広・短身のもので、いずれもガラス質黒色安山岩製。86、87、94、95は返刺が未発達で、長身で胸部がやや外側に張るものである。最大幅は返刺部分に有る。96、98、99は欠損品であるが、本来は長身、幅狭で、返刺と舌部の区別が明瞭なものになると想われる。96、100も形態的に類似するが、風化が激しく判然としない。これらの有舌尖頭器は形態による出土位置の偏りは見られない。



第41図 土坑平面・断面図

表8 細石刃核・細石刃黒耀石原産地一覧表

細石刃核	黒耀石						合計
	AGKT18	KZOB1	KZOB2	SWHD2	WDTY2	測定不可	
細石刃核	1	0	0	0	0	0	1
細石刃	0	1	1	1	1	1	5
合計	1	1	1	1	1	1	6

表9 土坑計測表

土坑番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土坑番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
1号	1.09	0.67	0.17	4号	1.12	0.70	0.44
2号	1.04	0.80	0.20	5号	0.92	0.83	0.71
3号	0.78	0.63	0.47	6号	1.37	0.82	0.80

表10 草創期石器一覧表

図版番号	遺物番号	出土層位	石材	個体名称	縦長 (mm)	横長 (mm)	厚 (mm)	重 (g)
78	5950	FB	黒耀石	尖頭器	9.4	2.05	1	15.3
79	7979	ZN	黒耀石	尖頭器	9.7	2.5	0.9	17
80	6998	FB	ホルンフェルス	尖頭器	(6.45)	(1.69)	(0.65)	(7.7)
81	5444	FB	ホルンフェルス	尖頭器	(6.61)	(2.04)	(0.85)	(11.5)
82	7127	FB	ホルンフェルス	尖頭器	8.06	3.36	1.16	30.3
83	7786	FB	流紋岩	尖頭器	5.9	1.75	0.5	3.9
84	3517	FB	ガラス質黒色安山岩	有舌尖頭器	3.51	1.82	0.61	2.9
85	7509	FB	ガラス質黒色安山岩	有舌尖頭器	3.75	2	0.6	2.5
86	5184	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(7.84)	(1.4)	(0.62)	(8.1)
87	7794	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(5)	(1.75)	(0.75)	(6.9)
88	4871	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(6.46)	(1.89)	(0.74)	(8.6)
89	1174	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(5.74)	(1.65)	(0.71)	(7.5)
90	743	KU	ホルンフェルス	有舌尖頭器	4.94	1.12	0.62	3.3
91	6442	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	4.12	1.35	0.62	2.9
92	4479	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(4.38)	(1.11)	(0.54)	(3.1)
93	4241	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(6.42)	(1.73)	(0.48)	(3.3)
94	4460	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(6.53)	(1.68)	(0.48)	(5.6)
95	3951	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(5.45)	(1.4)	(0.68)	(5.8)
96	8191	YLU	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(4.18)	(1.58)	(0.58)	(42)
97	2746	FB	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(2.35)	(1.2)	(0.38)	(6.9)
98	4538	FB	ガラス質黒色安山岩	有舌尖頭器	(3.4)	(1.8)	(0.6)	(3.3)
99	4660	FB	ガラス質黒色安山岩	有舌尖頭器	(3.4)	(2)	(0.65)	(3.8)
100	1151	KU	ホルンフェルス	有舌尖頭器	(3.14)	(1.64)	(0.45)	(2.9)

第V章 縄文時代の遺構と遺物

第1節 遺構

縄文時代の遺構としては、早期末～前期初頭の住居跡を9基、中期後半の住居跡1基、集石11基などが検出された。

1. 住居跡

1号住居を除いて、他の住居跡は富士黒土層（F B層）中に構築面があると考えられるが、確認面は漸移層～休場層の上層である。

(1) 1号住居

中期後半の柄鏡形の敷石住居である。表土を除去した際に敷石の一部と石圓炉の一部を検出した。耕作による搅乱が著しく（第43図参照）、敷石の一部が残るのみであった。また南向きの緩斜面上に位置していたため、柄鏡の「柄」部分の掘り込みは削平されていた。

＜形状＞柄鏡形、側壁溝を持つ。

＜炉・埋窯＞炉は一边が約60cmの方形の石圓い炉。一部に焼土粒を含む覆土は確認できるが、燃焼面はなし。炉石も赤化していないことから、殆ど使用されていないと考えられる。埋窯は張り出し先端部より検出された。深さ約50cmのピットに菅利V式並行の深鉢を正位に埋納したもので、埋納後周辺に敷石を施している。

＜床＞敷石は埋甕と石圓い炉の周辺で認められるのみ。耕作による搅乱によって剥がされたものもあるが、住居の築造当初より床の一部分にのみ石が敷かれていたものと考えられる。石材は板状のものは玄武岩質の溶岩が中心で、円礫は砂岩や安山岩が中心である。円礫に関しては、住居の縁辺部に多く分布しており、打痕や磨痕を持つものもある。

＜柱穴＞主柱穴は3基確認したのみであったが、住居の掘り込みを開く様に10基と、張り出し部の両脇に4基小柱穴が確認された。

＜遺物＞101は埋甕である。口縁部と胴部を低い隆帯で区切り、口縁部には2本単位の縱方向の沈線を施し、胴部は4区画した後、区内をハの字状の連続刺突で満たす。102は住居の炉周辺で出土したもので、沈線による区内にハの字の連続刺突を施す。103～106は住居の掘り込み外で出土したものであるが、柱穴の状況から考えると構造物の内部からの出土と考えられる。108は有茎の石鏹で、先端部と茎部が欠損する。この欠損は縱方向の圧力によって生じたもので、使用時の衝撃が原因と考えられる。109～115は敷石と考えていたものに含まれていた使用痕が観察されるものである。

(2) 2号住居

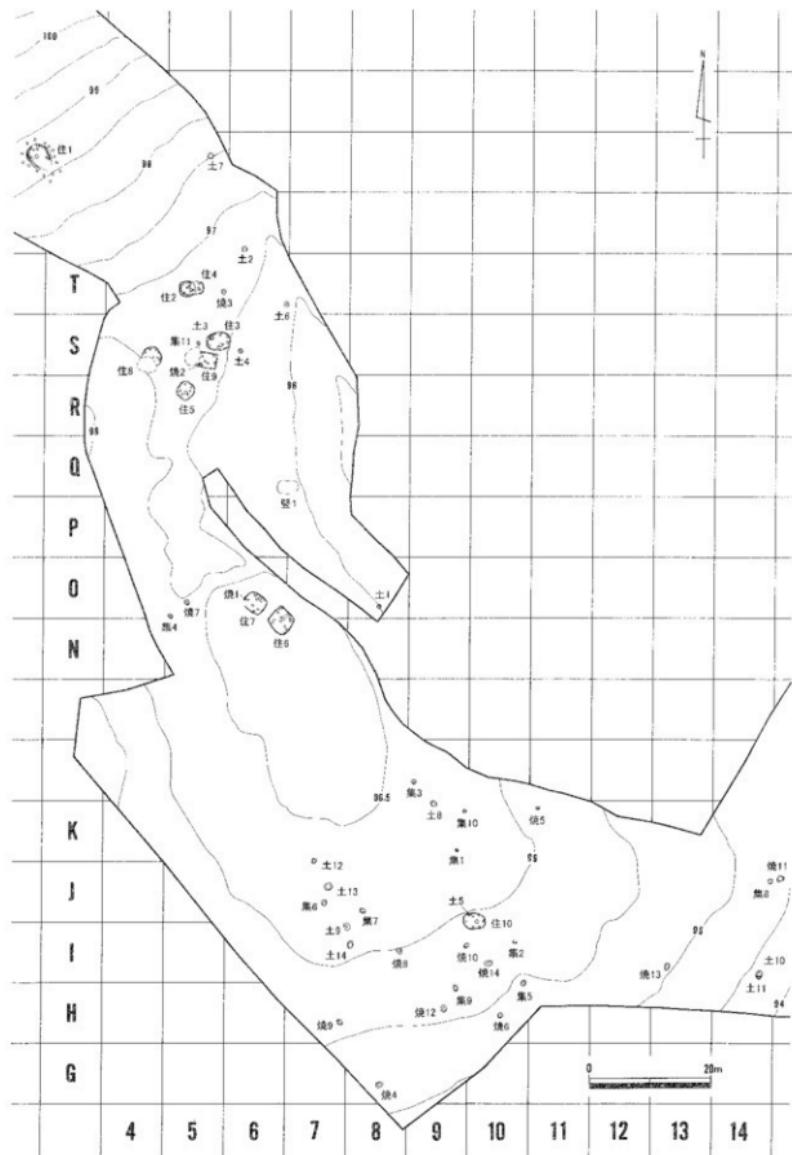
早期末～前期初頭と考えられる。4号住居を切って作られている。漸移層上面においてFB層の落ち込みとして確認した。

＜形状＞隅丸方形 長軸2.55m、短軸2.49m

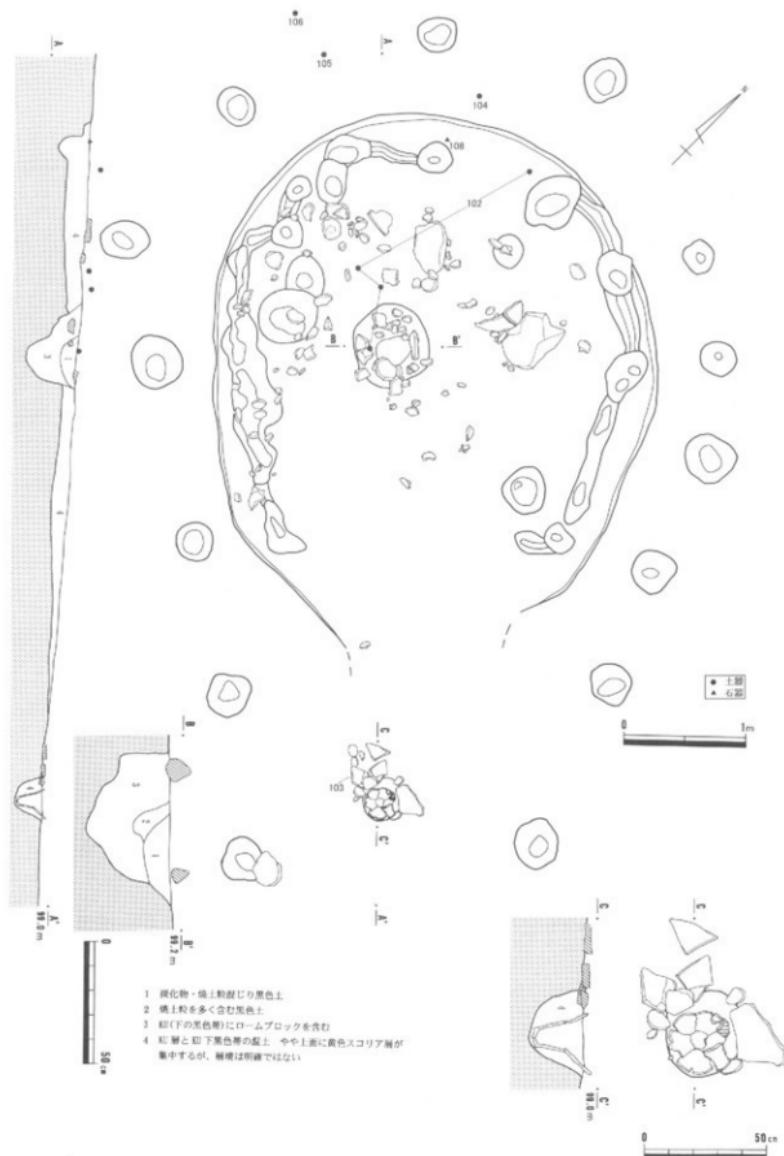
＜炉＞焼土範囲として確認した。皿状に焼土粒が散るが掘り込みはない。

＜床＞硬化面等は確認されなかったが、検出面で炭化物粒、焼土範囲が確認できたことから生活面に近いと考えられる。

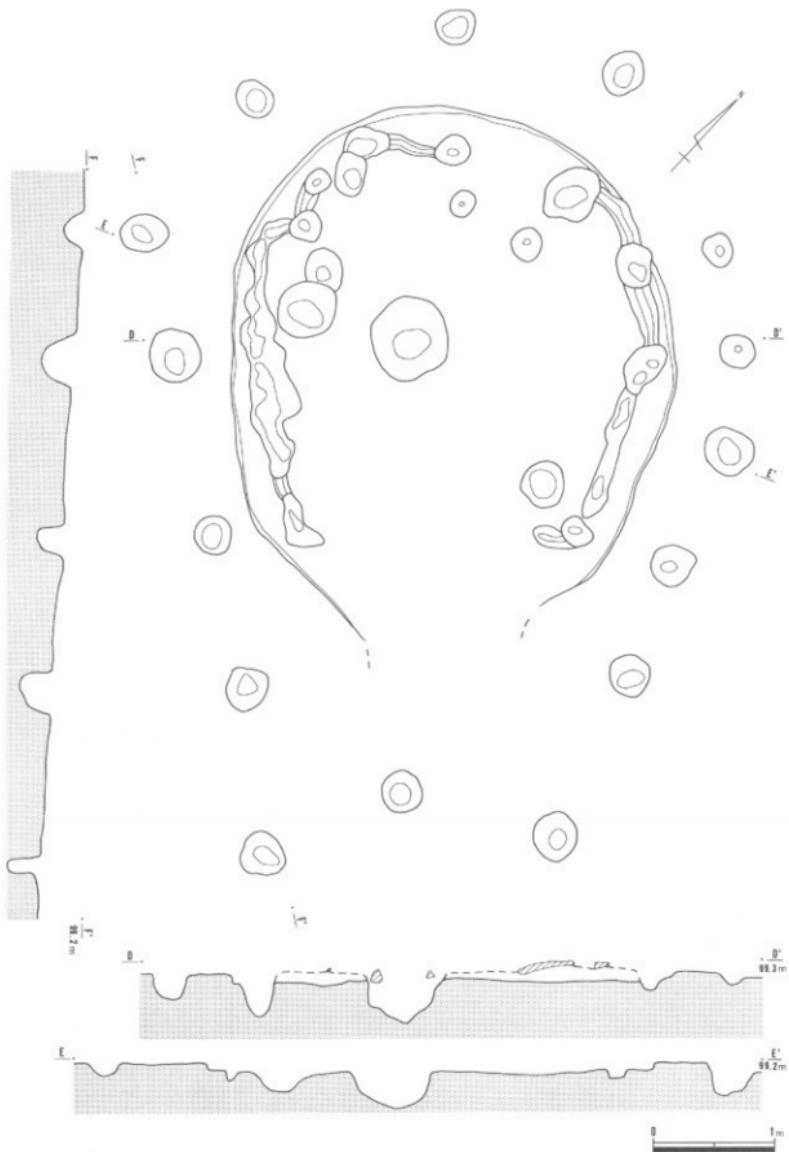
＜柱穴＞住居壁際に5基、中心に2基検出された。深さは15～20cmである。



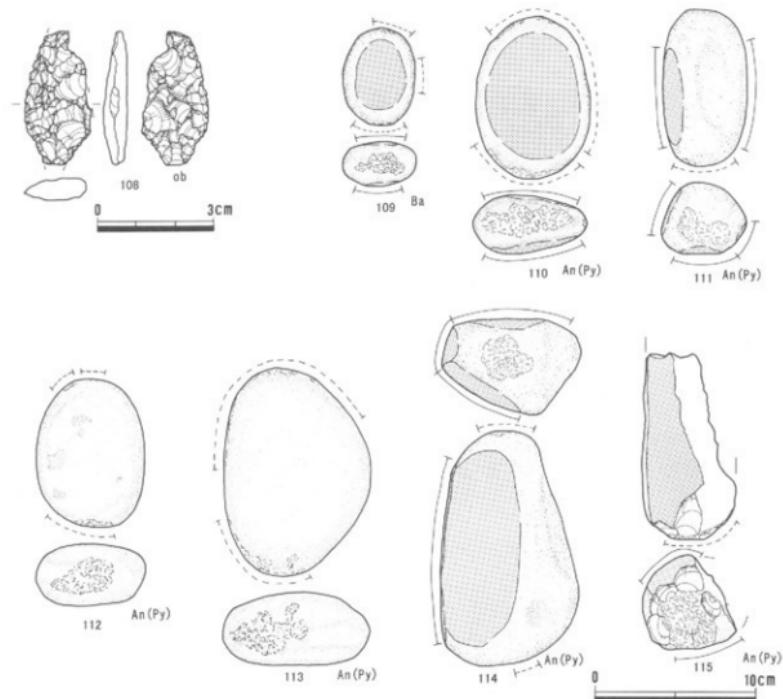
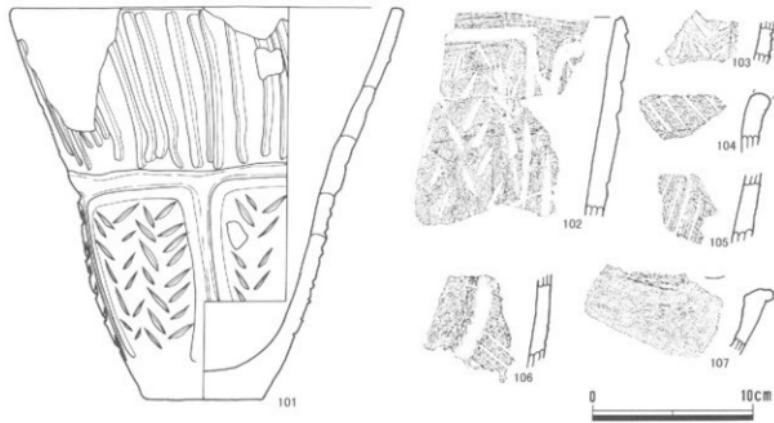
第42図 繩文時代の遺構配図 (1/800)



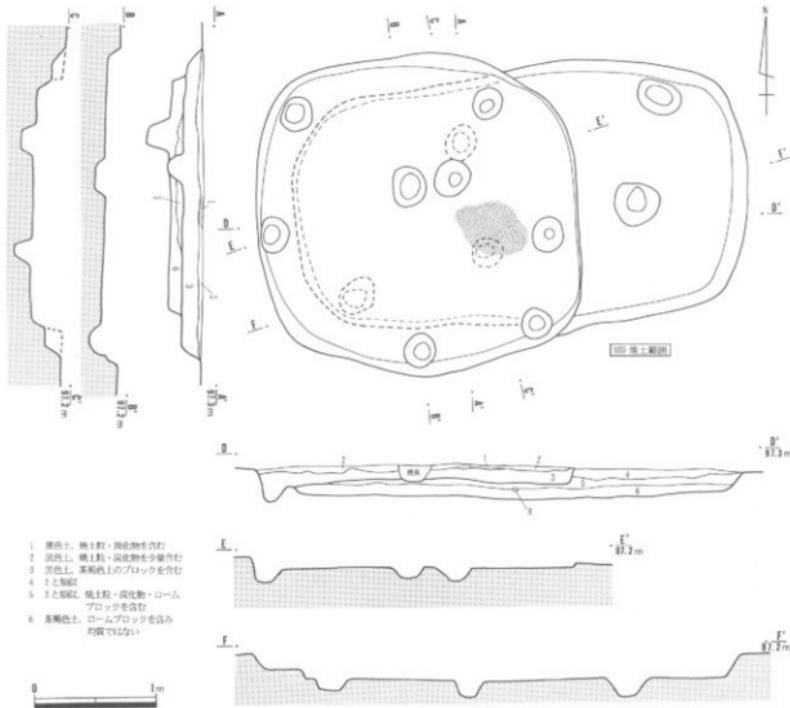
第43図 1号住居跡遺物出土状況



第44図 1号住居跡完掘状況



第45図 1号住居跡出土遺物



第46図 2・4号住居跡

<遺物>第48図に示した遺物は2・4号住居から出土した遺物である。重なっている部分より出土したものは帰属が不明だが、その殆どが2号住居より出土したものと考えられる。116~119はⅢ群の隆帯文系の土器である。120~122は木島式土器の無文の胸部破片である。

(3) 4号住居

早期末～前期初頭と考えられる。2号住居の検出作業中にFB層の落ち込みとして確認した。切り合ひ関係は比較的容易に判断できた。

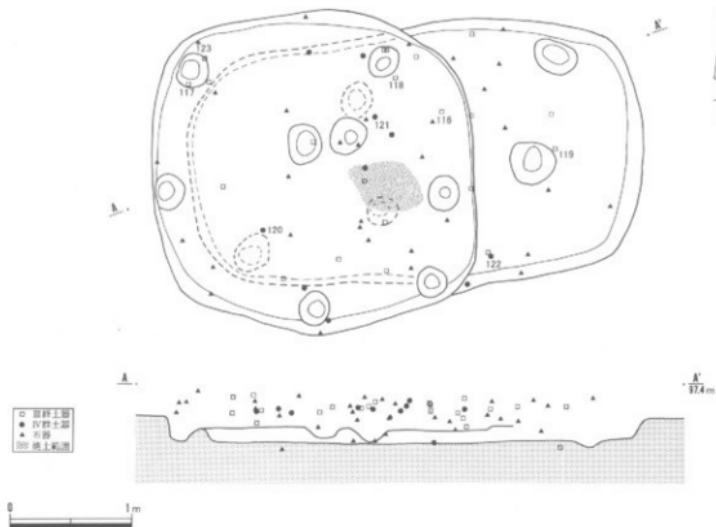
<形状>隅丸長方形 長軸3.64m、短軸2.11m

<炉・床>不明

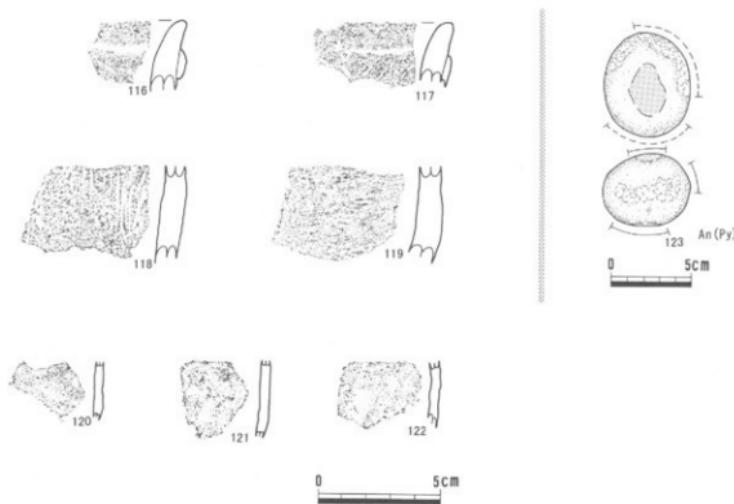
<柱穴>深さによって深いものを4号住居のものとした。5基確認された。

(4) 3号住居

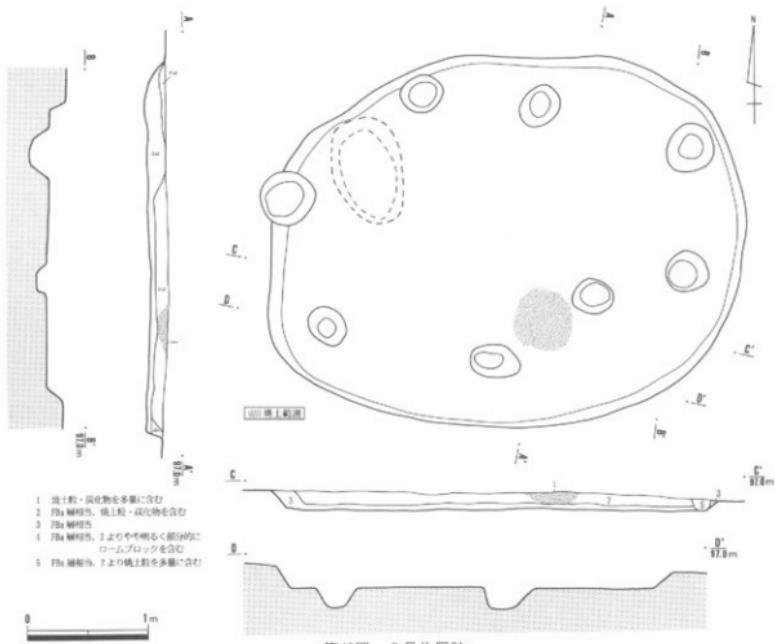
早期末～前期初頭と考えられる。遺構の掘削が漸移層まで達していなかったために住居のプランの確認は困難であった。



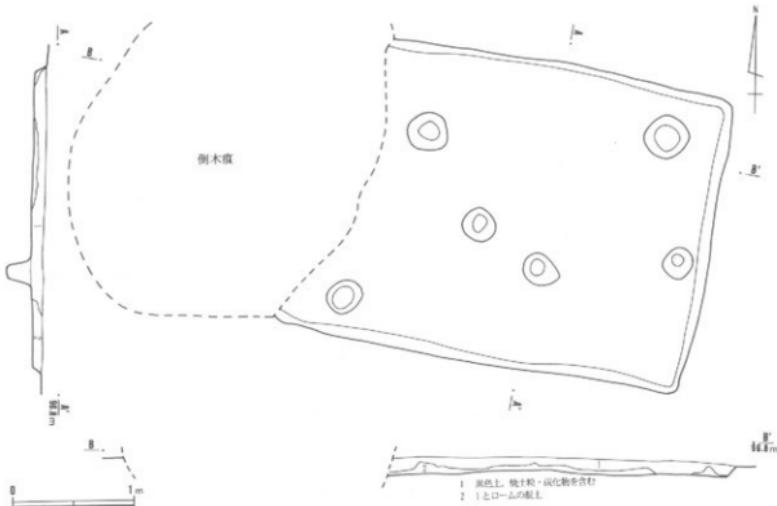
第47図 2·4号居住跡遺物出土状況



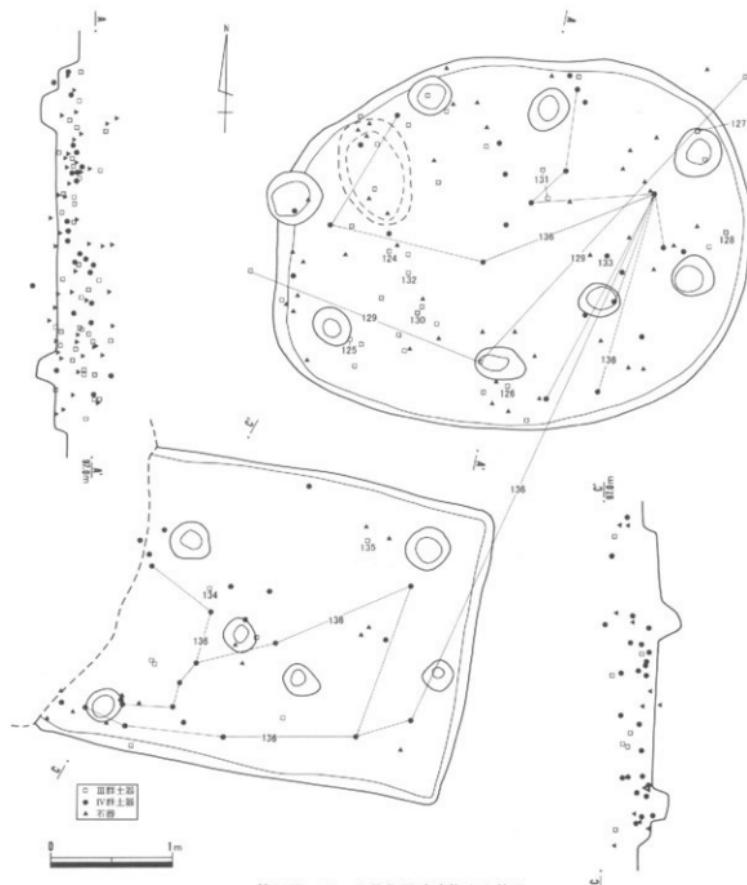
第48図 2·4号居住跡出土遺物



第49図 3号住居跡



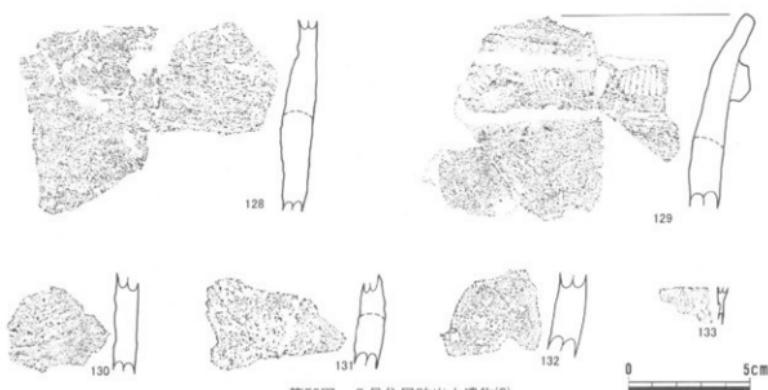
第50図 9号住居跡



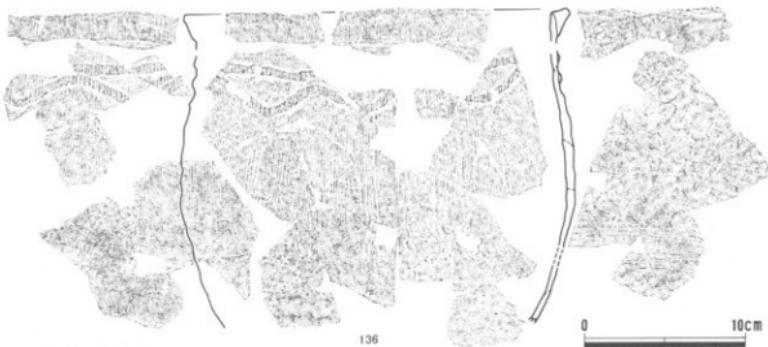
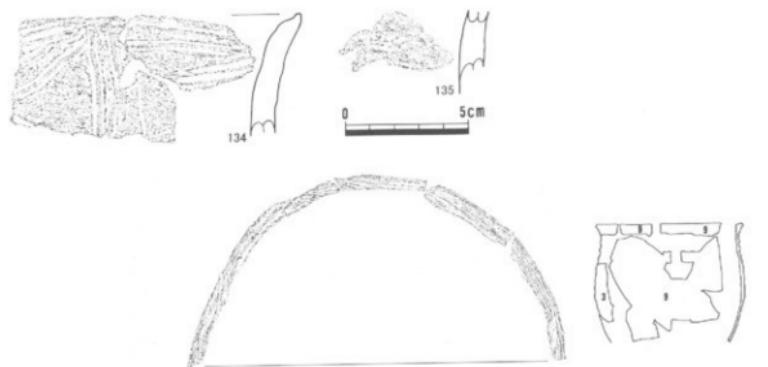
第51図 3·9号住居跡遺物出土状況



第52図 3号住居跡出土遺物(1)



第53図 3号住居跡出土遺物(2)



第54図 9号住居跡出土遺物

＜形状＞楕円形 長軸3.91m、短軸2.82m

＜炉＞焼土範囲として確認した。皿状に焼土粒が散るが掘り込みはない。

＜床＞生活面の把握はできなかった。

＜柱穴＞壁に沿って8基を確認した。柱穴の並びから推測すると南壁は30cmほど内側に入る可能性がある。

＜遺物＞隆帯文系の上器片が出土している。胎土に纖維痕を残し、厚手で裏面には条痕が観察される。

129は隆帯上に貝殻の背面による押圧文が施されている。133は木島式土器の胴部破片である。136は約1m南で検出された9号住居出土のものと接合関係がある。また覆土中より黒曜石のチップや剥片が多量に出土した。廃棄行為によるものと考えられる。

(5) 9号住居

早期末～前期初頭と考えられる。倒木痕によって一部破壊されている。覆土には全体的に焼土粒と炭化物粒が混入し、検出は比較的容易であった。

＜形状＞長方形 長軸3.41m、短軸2.59m

＜炉・床＞不明

＜柱穴＞深さ15～20cmの柱穴が6基検出された。

＜遺物＞3号住居のものと接合関係がある木島式土器が出土している。出土状況からは従来の所属住居がどちらなのか（または双方とも廃棄）は判別できなかった。また134、135は下吉井式土器であるが、覆土中より出土しているものの、レベルが高いことから136との共伴関係はないものと考えられる。

(6) 5号住居

早期末～前期初頭と考えられる。

＜形状＞隅丸長方形 長軸2.88m、短軸2.72m

＜炉＞焼土範囲として確認した。皿状に焼土粒が散る。一部住居の掘り方より深く焼土が広がる。

＜床＞面としては確認できなかったが、図中3と4の間に炭化物粒が集中していたため、生活面はここにあると考えられる。

＜柱穴＞深さ20～30cmで、6基が確認された。

＜遺物＞隆帯文系の上器片が出土している。胎土に纖維を含み、隆帯上には貝殻の押圧文様を施したものである。石器は折損した特殊磨石が出土した。

(7) 6号住居

早期末～前期初頭と考えられる。表土下でプランを確認した。

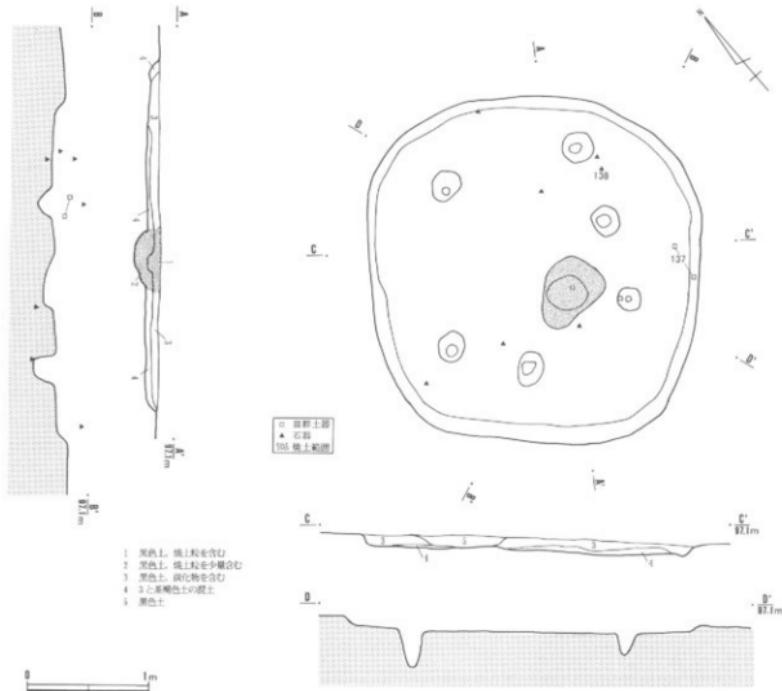
＜形状＞方形 長軸3.97m、短軸3.56m

＜炉＞焼土範囲として2ヶ所確認したが、ほとんど掘り込みは無く、北側のものは面上に焼土粒が少量散布しているのみで、層としては確認できなかった。

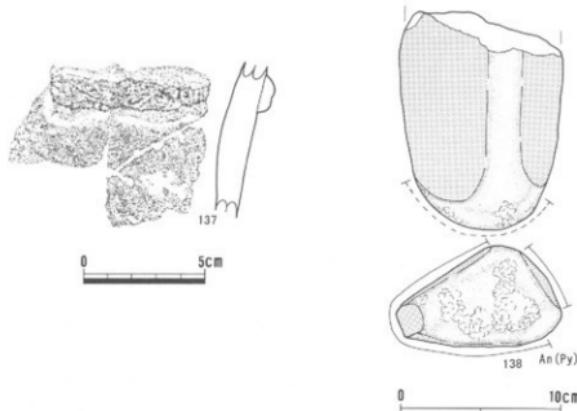
＜床＞面としては確認できなかったが、遺物の状況から図中5の上面と考えられる。なお、生活面の下面は、中央部がやや深く掘られており、住居構築時に埋め戻し、床を整地した状況が看取される。

＜柱穴＞11基を確認した。

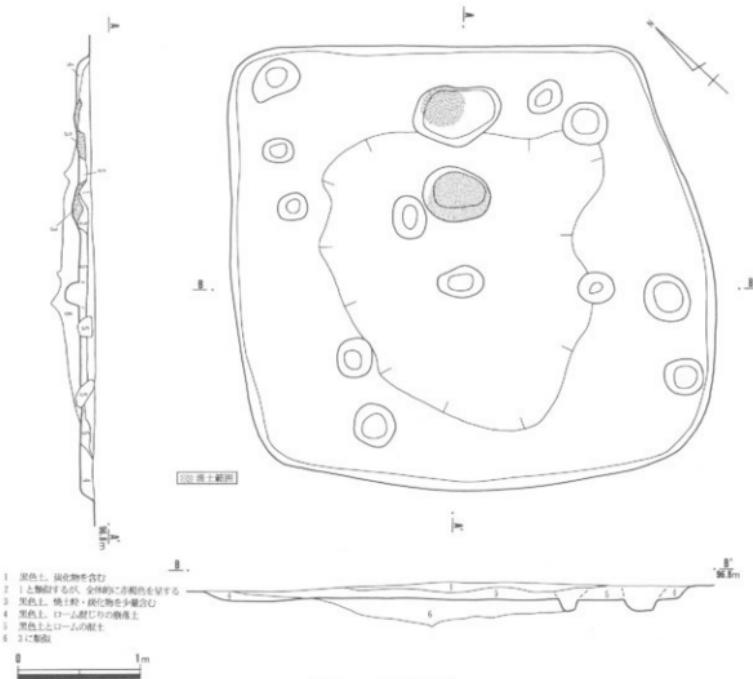
＜遺物＞生活面で石皿や磨石・敲石、台石が出土した。土器の垂直分布は若干の浮き沈みがあるが、隆帯文系土器の胴部破片（139、140）と木島式土器（141～149）が出土している。141～143は胴部破片で斜方向の細線文が施される。



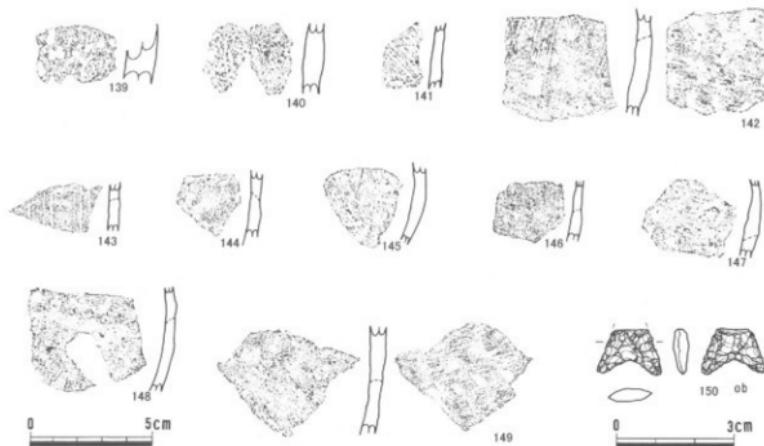
第55図 5号住居跡



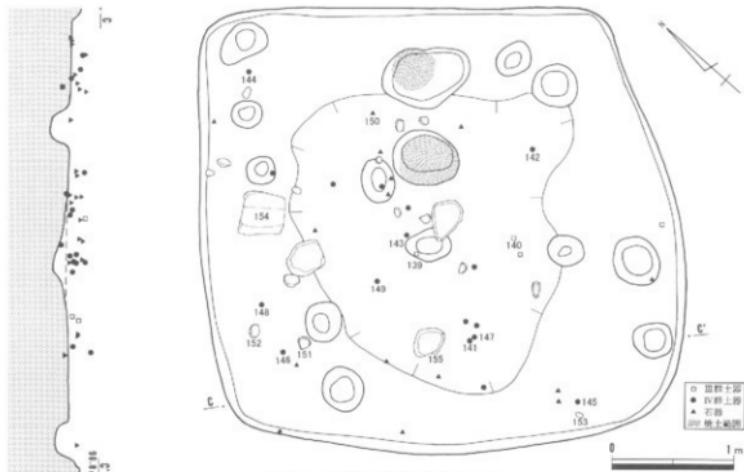
第56図 5号住居跡出土遺物



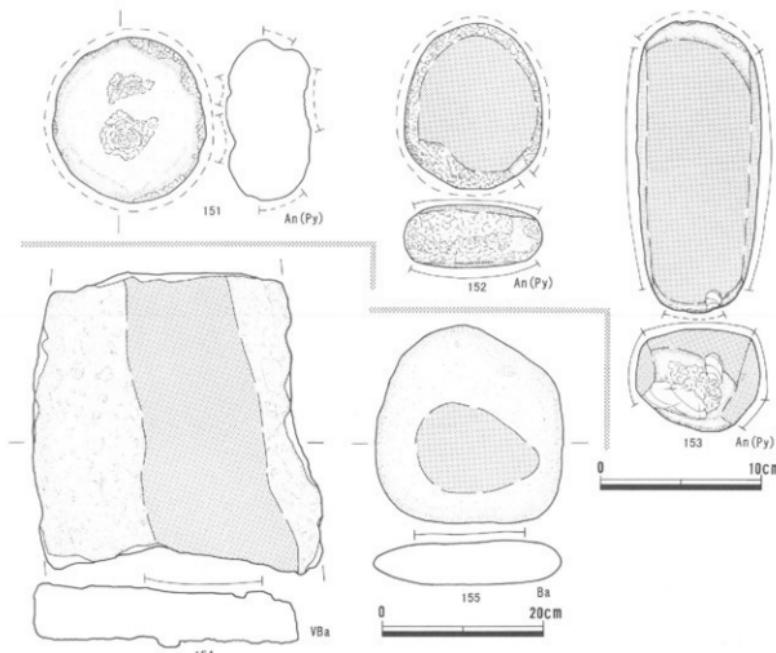
第57図 6号住居跡



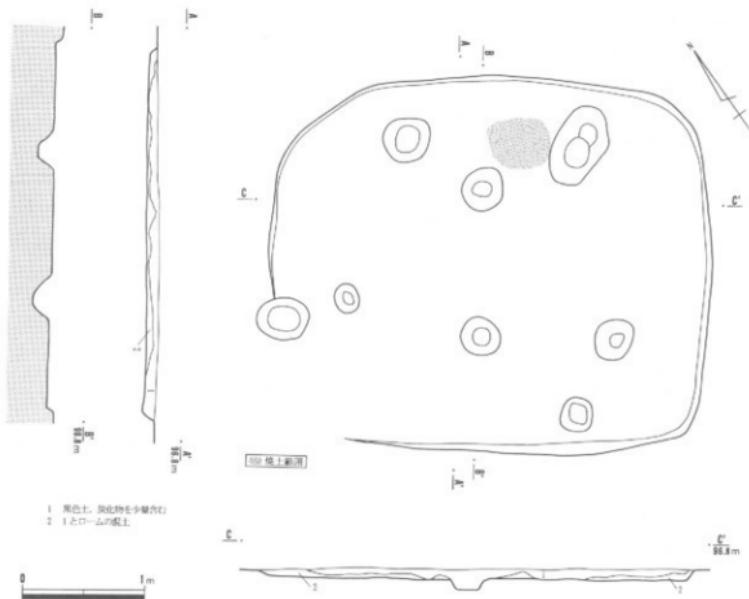
第58図 6号住居跡出土遺物



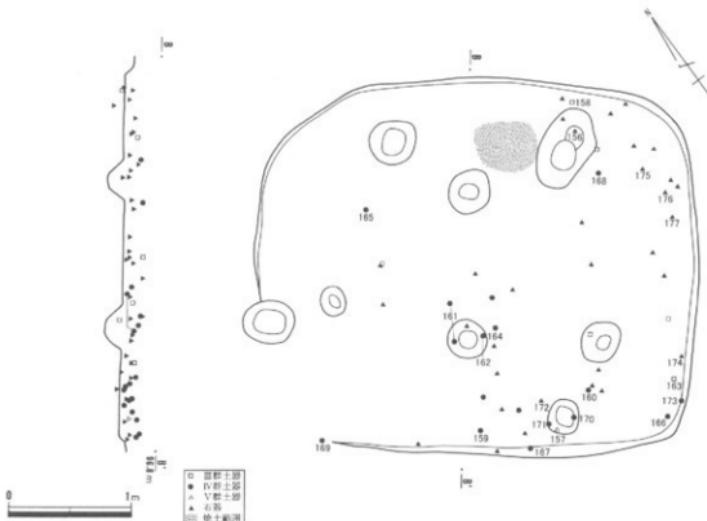
第59図 6号住居跡遺物出土状況



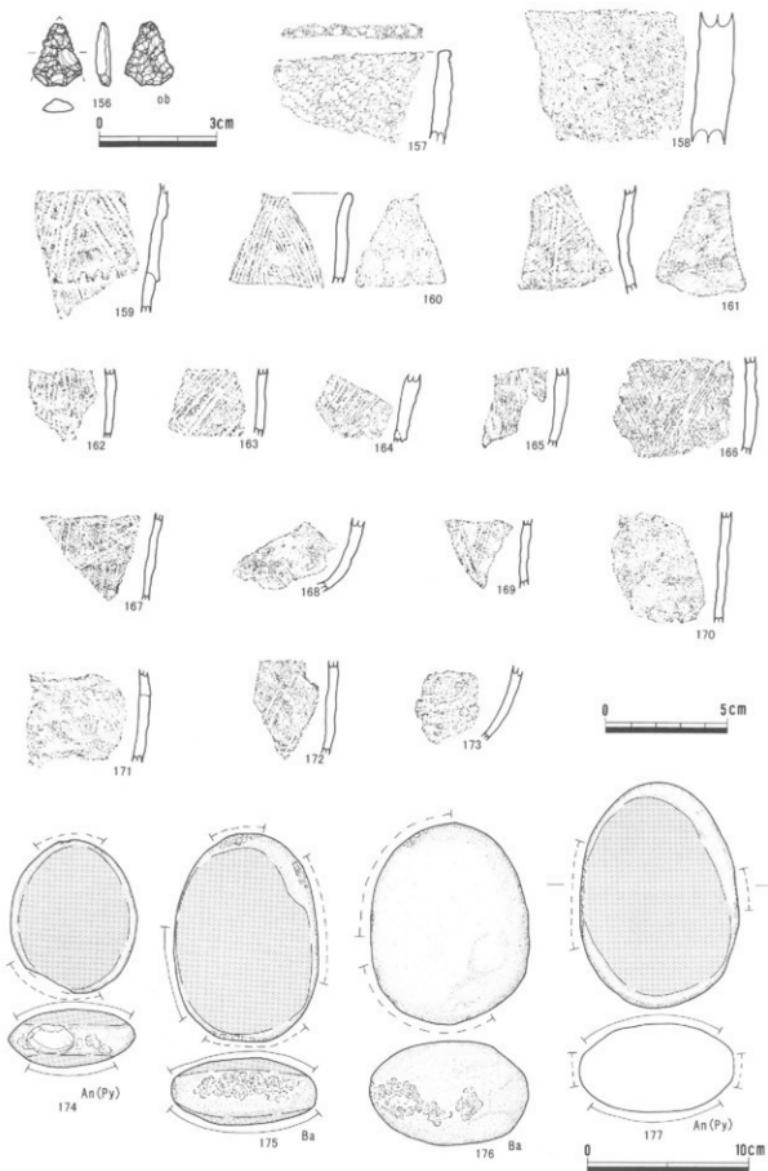
第60図 6号住居跡出土遺物



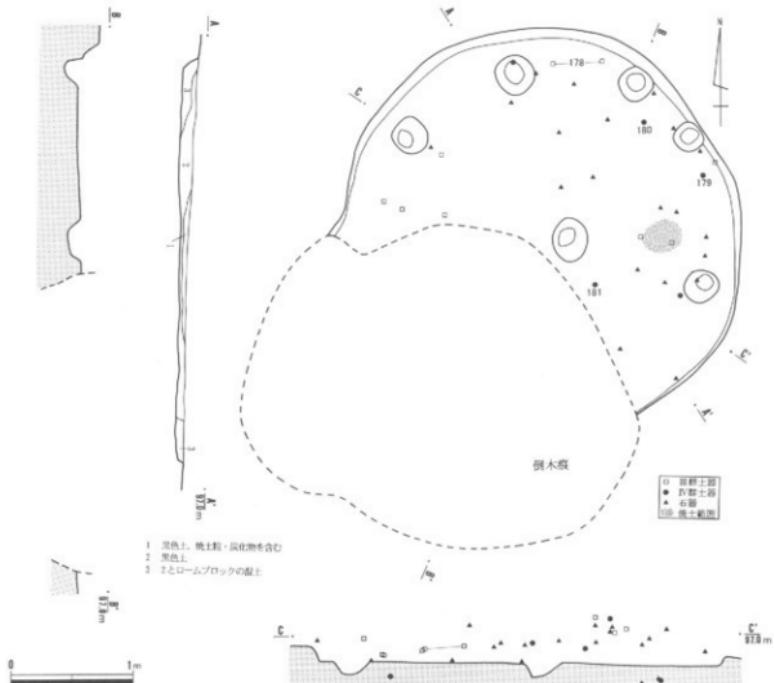
第61図 7号住居跡



第62図 7号住居跡遺物出土状況



第63図 7号住居跡出土遺物



第64図 8号住居跡

(8) 7号住居

早期末～前期初頭と考えられる。表土下でプランを確認した。耕作によって大半が失われていた。

<形状>隅丸方形 長軸3.62m、短軸3.10m

<炉>焼土範囲として確認した。他の住居跡より比較的よく焼けていたが、掘り込み状の遺構は確認できなかった。

<床>不明

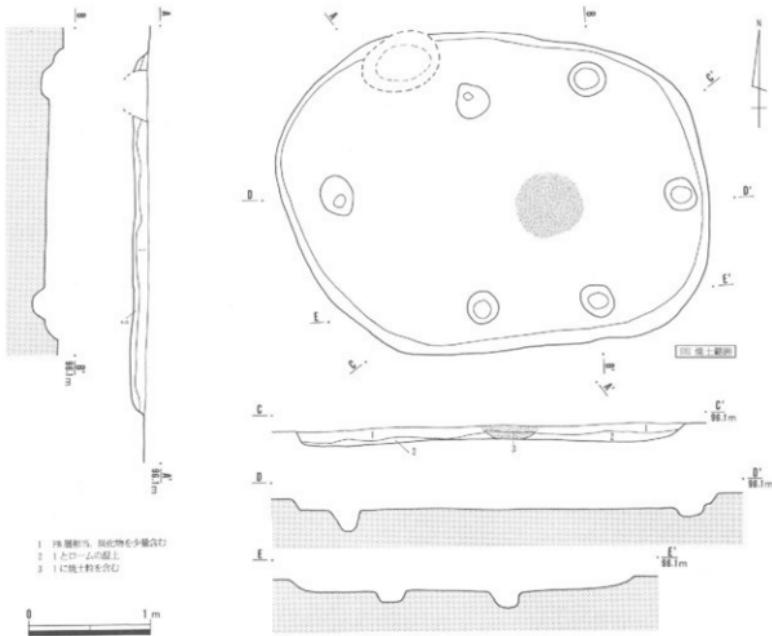
<柱穴>不明瞭なものを除いて7基を確認した。

<遺物>遺構確認面で多数の土器片が出土した。157は前期初頭の羽繩文系土器片で、口唇部には刺突が観察される。158は胎土に纖維を含んだ厚手の土器である。出土層位が低いので巻き上げと考えたい。159～173は木島式土器の胴部破片である。清水ノ上I式段階のものである。

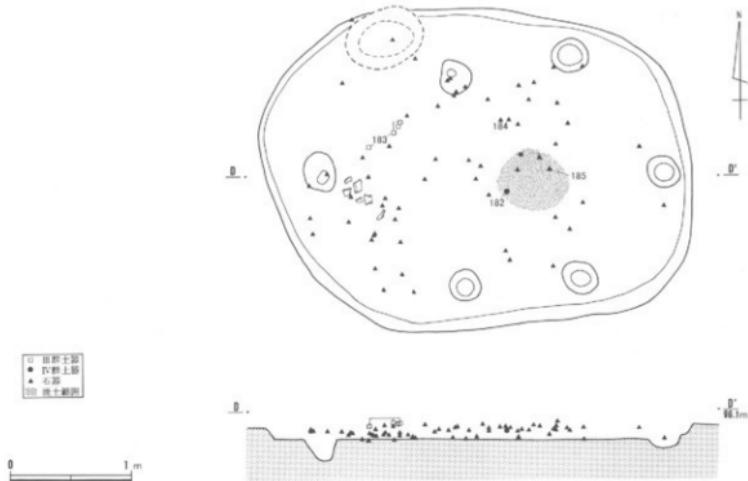
(9) 8号住居

約1/3が倒木痕によって破壊されている。遺物集中地点を精査中に焼土範囲を確認し、サブトレンチによって平面プランを確定した。

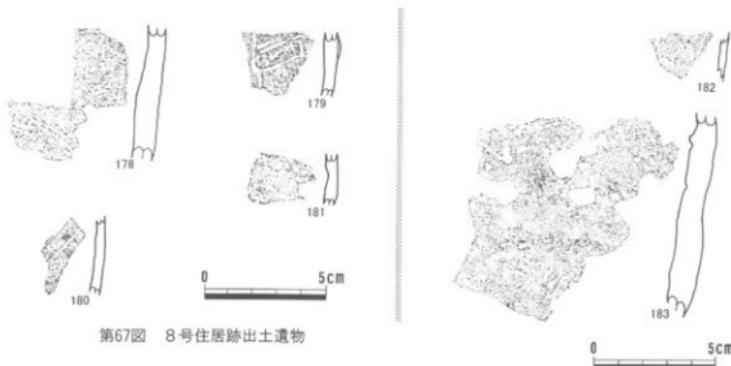
<形状>円形 長軸3.35m、短軸2.73m



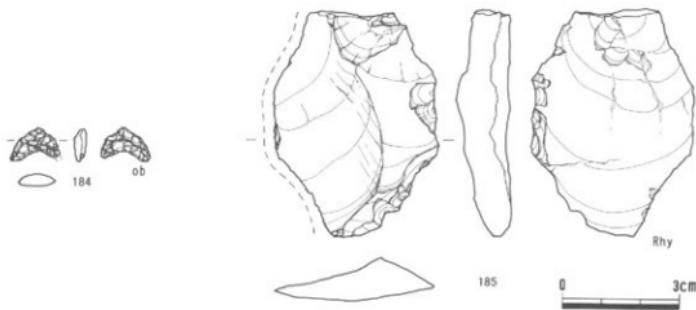
第65図 10号住居跡



第66図 10号住居跡遺物出土状況



第67図 8号住居跡出土遺物



第68図 10号住居跡出土遺物

<炉>焼土範囲として確認した。

<床>構造確認面で、炭化物粒や焼土粒を多く検出していることから、ここが生活面であったことが予想できる。

<柱穴>住居の壁際に 5 基、中心に 1 基を確認した。

<遺物>出土遺物は大変少なく、土器も細かな破片が多い。図化したものは隆帶文系土器と思われる肩部破片(178)と木島式土器 3 点である。

(10) 10号住居

漸移層に F B 層が落ち込むかたちで、比較的明瞭に確認できた。

<形状>楕円形 長軸3.49m、短軸2.66m

<炉>焼土範囲として確認した。焼土粒は少ない。

<床>不明

<柱穴>住居の壁際に 6 基を確認したが、深さは掘り方面から約10cmと大変浅い。

＜遺物＞黒耀石、ガラス質黒色安山岩のチップ類が多数出土した。また、石縫（184）と加工痕のある剥片（185）が出土している。185は縁部に使用痕が確認され、被熱による赤化が観察される。182は木鳥式土器の胸部破片で斜方向の細線文が観察される。183は降帯文系土器と思われる胸部破片である。

これらの住居跡は1号住居を除いて早期末～前期初頭に比定されるもので、尾根の頂部に位置する。住居跡内や住居跡周辺から出土している土器より、土器編年上は2・3・4・5・8・9号住居が上ノ山Z期、6・7・10号住居が清水ノ上1式期となる。

2. 集石

11基が検出されている。南側に集中し、全ての集石に土坑が伴う。集石の性格上遺構内から遺物が出土する場合は少ないが、調査区全体の遺物出土状況から、早期前半の燃糸文期の遺構と考えられる。

規模や種の状態については表11にまとめた。赤化については肉眼での観察のため図上で示していないものも受熱歴がある可能性がある。規模は、1・2・10号のように直径50cm前後のものと5・6・8・9号のように1mを越すものがある。「対象物」や「場面」の違いであろうか。なお、住居跡が集中するS5グリッドで検出された11号集石は、使用されている礫が比較的大型で、受熱の痕跡が確認されないことから調理施設以外の目的をもっていた可能性がある。

表11 集石計測表

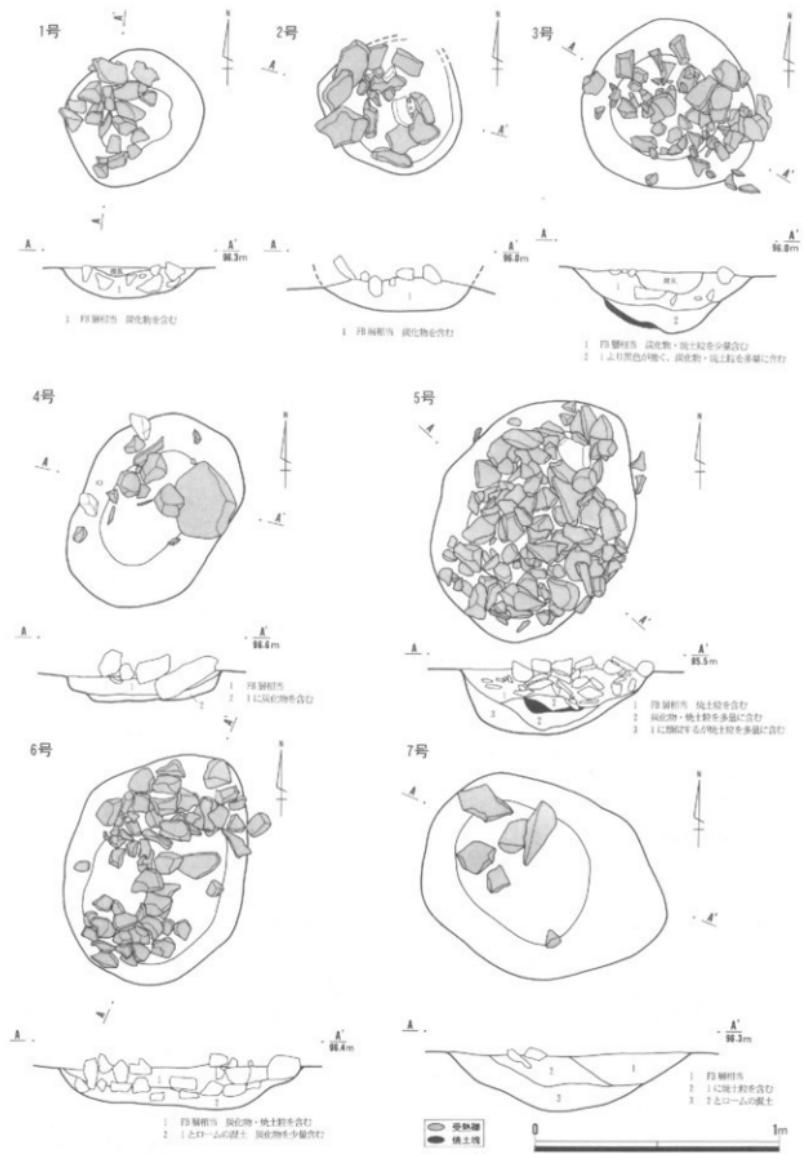
集石番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	礫数	赤化種数	特記事項
1号	0.59	0.57	0.12	19	19	
2号	0.60	(0.54)	(0.15)	18	15	
3号	0.73	0.68	0.25	61	44	燃焼面が土坑底部にある
4号	0.83	0.60	0.10	20	20	30cm程の大型礫を含む
5号	1.02	0.78	0.25	206	205	燃焼面が土坑中位にある
6号	0.98	0.75	0.17	68	68	礫が持ち出され、中央部が凹状になっている
7号	1.04	0.79	0.79	6	6	
8号	0.80	0.75	0.75	124	98	
9号	0.91	0.78	0.78	60	56	
10号	0.56	0.44	0.44	9	9	30cm程の大型礫を含む
11号	0.74	0.45	0.45	4	0	

3. 土坑

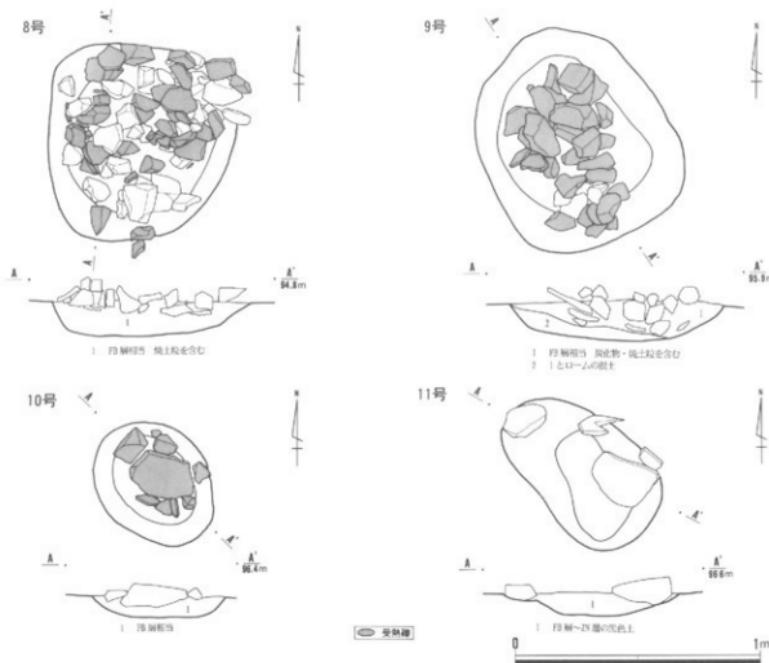
ピット状の小穴を含めて14基が検出された。1号土坑は内部より装飾品が出土している（後述）。8・12・14号のように陥り穴状のものとピット状の浅いものがある。

4. 焼土跡

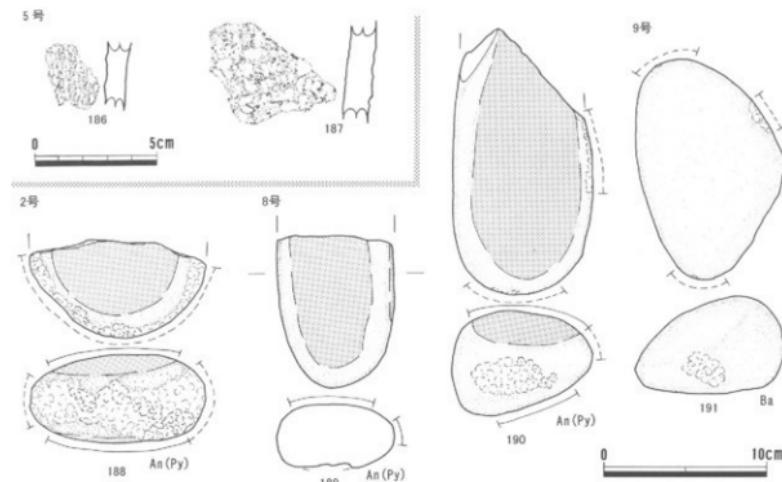
覆土に焼土粒が散漫に分布し、一部に焼土塊を含むもの（1～10）と、明確な焼成面を持つ炉跡状のもの（11～14号）がある。いずれも調査区の南側に集中する。炉跡状のものは長径が1m以上の楕円形を示し、前者より規模が大きくなる。7号焼土からは胎土に纖維を含む緻密接の山形の押型文土器が、11号からは燃糸文土器が出土している。



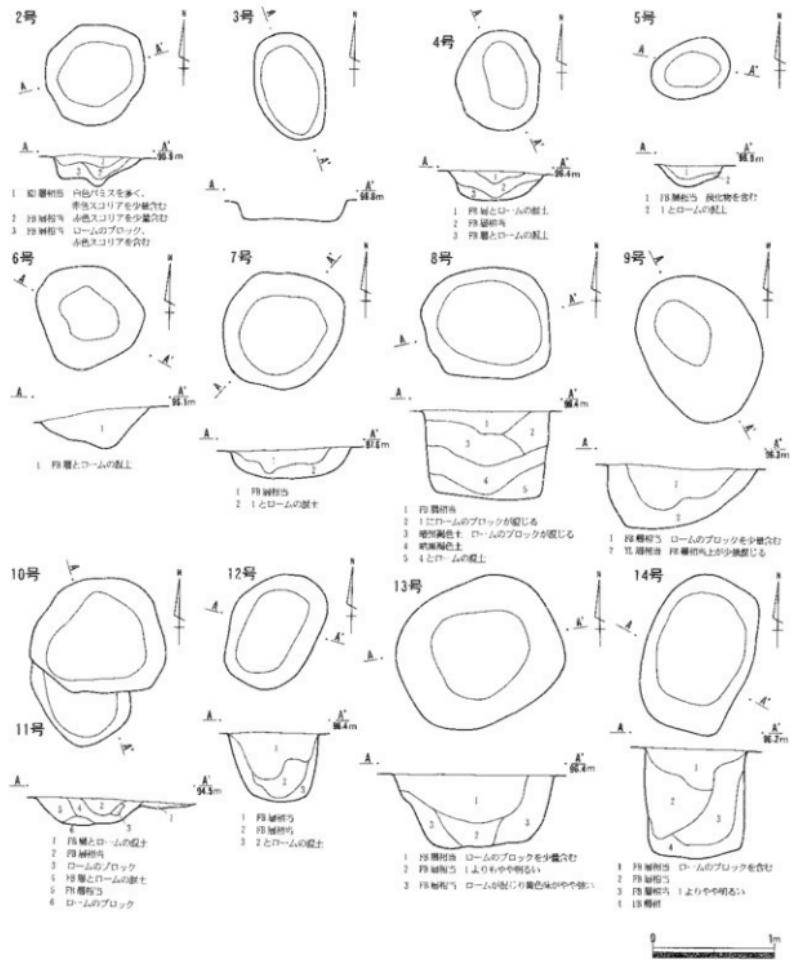
第69図 集石(1)



第70図 集石(2)



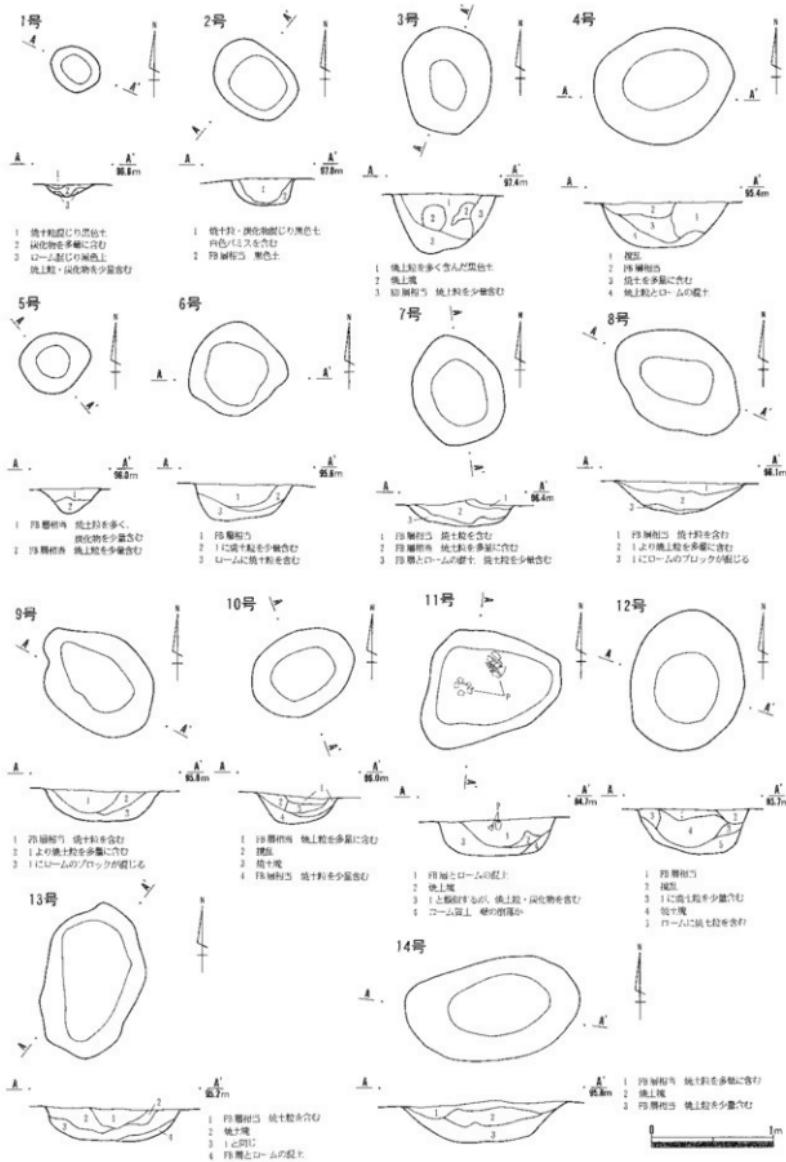
第71図 集石内出土遺物



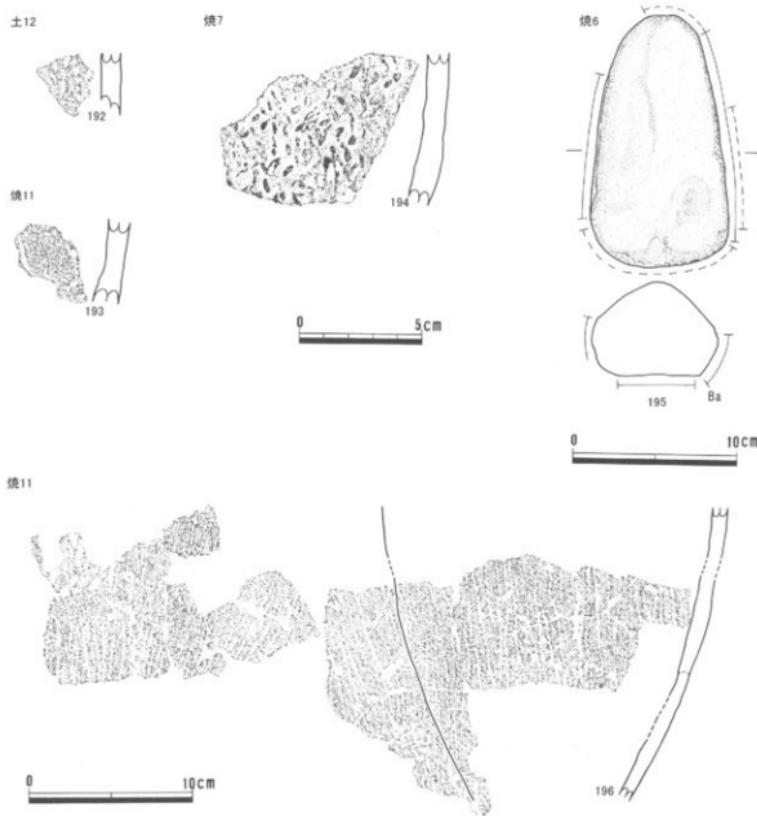
第72図 土坑平面・断面図

表12 土坑計測表

土坑番号	層位	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土坑番号	層位	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
1号	KU	0.78	0.63	0.07	8号	FB	1.03	0.92	0.73
2号	KU	0.88	0.77	0.24	9号	FB	1.24	0.94	0.52
3号	FB	0.88	0.58	0.17	10号	FB	1.42	1.18	0.22
4号	FB	0.81	0.70	0.24	11号	FB	(0.70)	0.74	0.06
5号	FB	0.65	0.46	0.17	12号	FB	1.00	0.72	0.56
6号	FB	0.90	0.83	0.30	13号	FB	1.35	1.15	0.60
7号	FB	1.06	0.93	0.23	14号	FB	1.30	0.88	0.90



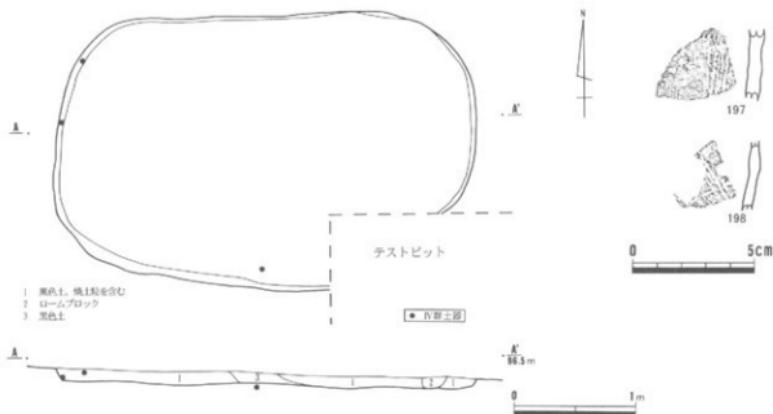
第73図 焼土跡平面・断面図



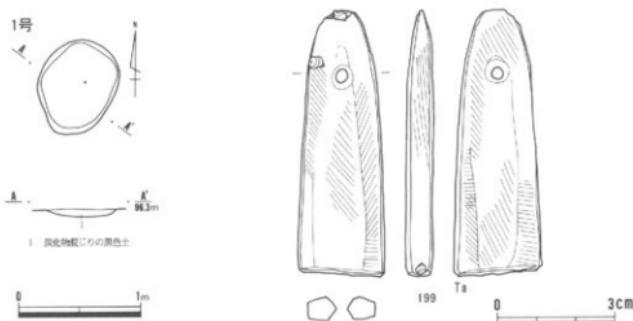
第74図 土坑・焼土内出土遺物

表13 焼土跡計測表

焼土番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	焼土番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
1号	0.43	0.35	0.10	8号	1.13	0.79	0.25
2号	0.72	0.53	0.22	9号	1.11	0.76	0.25
3号	0.84	0.72	0.50	10号	0.87	0.65	0.22
4号	1.15	0.94	0.36	11号	1.24	0.95	0.31
5号	0.54	0.49	0.21	12号	1.16	0.92	0.37
6号	0.81	0.76	0.28	13号	1.30	0.82	0.25
7号	0.90	0.74	0.21	14号	1.43	0.83	0.33



第75図 壑穴状遺構跡



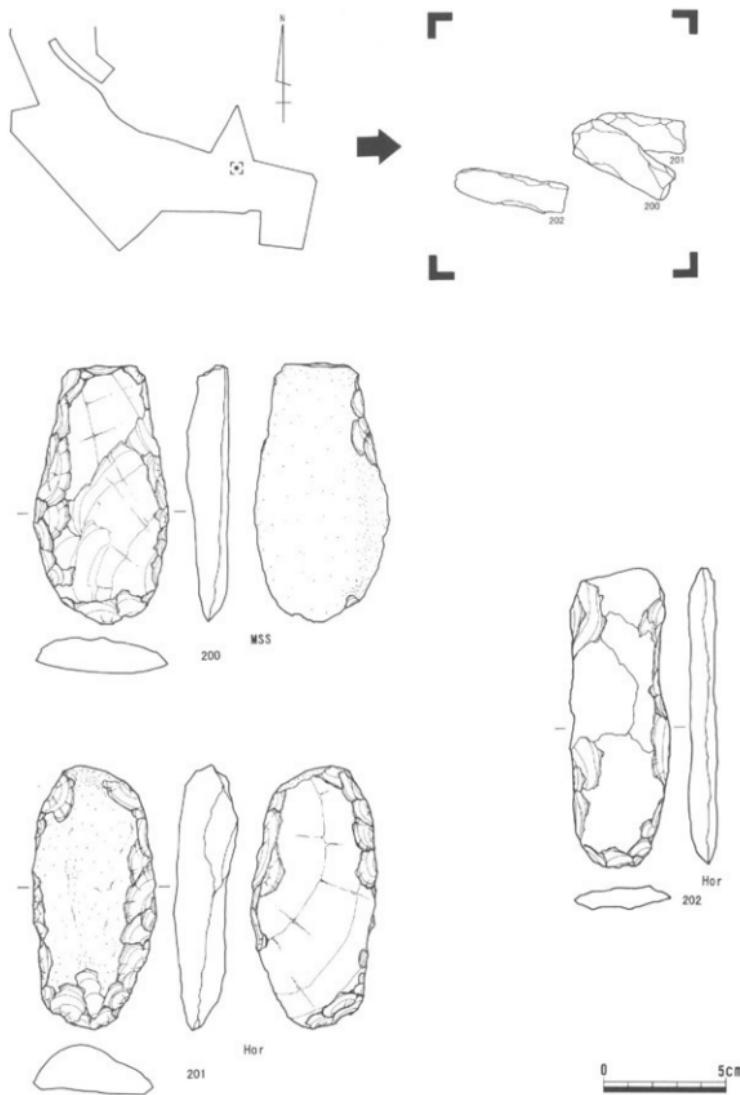
第76図 1号土坑

5. その他の遺構

壘穴状遺構が1基検出されている。隅丸の方形を呈し、長軸3.24m、短軸2.24mを測る。覆土に炭化物粒、焼土粒を含むが、柱穴や炉の痕跡が検出されなかつたため壘穴状遺構として報告する。遺物は木島式土器の破片が出土している。

1号土坑からは環形のペンドントが出土した。滑石製で下端には擦り切りによる切断痕が観察される。孔は両側より穿孔しており、上部に紐状のものを通した際の擦れが観察される。土坑は0.78×0.63mで、耕作によって削平されていたために深さは0.07mほどしか残存しておらず、底部よりこのペンドントが出土した。遺構の残存状況が悪く覆土の観察は十分ではない。

この他に遺構は検出されなかつたが、石斧が3点まとめて出土した。3点の基部が同方向を示し（柄がついたまま放置されたのか）、うち2点は上下に重なっていた。202については風化が激しく判然としないが、200と201は原礫面を残した剥片の縁辺部のみを調整することで石斧としたもので、200の先端部は使用によって刃離面が鈍くなっている。



第77図 石斧集積遺構

第2節 遺構外出土の遺物

1. 土器

遺構外出土の土器は、縄文時代早期～後期のものが約4,600点出土した。このうち遺存状態の良いものを中心に473点を図化し以下のように分類し報告する。これらは、富士黒土層を中心として漸移層から表土まで出土している。本来であれば各層位ごとに報告するべきであるが、各包含層の土層堆積が薄いことからあって遺物の浮き沈みが激しいことから、時期ごとに分類して報告する。

- I群 早期前半の撚糸文と縄文土器
- II群 押型文土器
- III群 早期末～前期初頭の陰帯文系土器
- IV群 木島式土器
- V群 前期の土器
- VI群 中期の土器
- VII群 後期の土器

(1) I群上器

撚糸文土器をa類、縄文七器をb類とした。富士黒土層下層～漸移層にかけて出土しており、平面的には調査区の南半分にかたよって分布する。

< I群 a類 > (203～301)

203～214は外面に縱（斜め）方向、口縁部内面には横方向に撚糸文を施したものである。203は胎土に纖維が多く含み、R撚りの太めの撚糸を用いているので、内面の施文は口唇部と連続しておこなっている。口縁部が強く外反し、外面の口縁部下には、施文前の指ナデによって段を有する。204もまた口縁部が外湾するもので、外面口縁部の端部に無文部を残している。胎土は黄灰色を呈し砂粒、白色粒子を含む。205～209は口唇部を平坦になじ、整えた後に横方向に施文するものである。210～213は口唇部に施文の無いものである。また214は外面が斜め方向に施文されている。215は外面胸部に縱方向の施文を施した後、口縁部に横方向に施文したものである。これらは全てRの撚糸を原体として用いる。

216～232は口唇部、内面に文様のないものである。口縁部はほぼ直面に立ち上がり、口唇部も平坦に調整されているものは少ない。229は網目状の撚糸文土器で、異なる方向に斜めの撚糸を施すことで網目状の文様を作っている。

229は暗黄褐色を呈し、胎土に纖維を殆ど含まず、岩片や白色粒子を含む。胸部は原体を斜方向に向転させることで原体幅の格子目を描き、その後口縁部に横方向の施文（2帯幅）を施したものである。230は縱方向の撚糸の地文に横円形の浮文を口縁部に付したものである。赤褐色を呈し、胎土には纖維を含む。231は胎土に纖維を少量含み、ごく僅かに雲母と長石を含む。口縁部は格子目状に撚糸を配し（縄文の押圧の可能性有り）、横方向の撚糸（押圧？）で文様帯を区画し、口縁部は横方向に、胸部は縦方向に撚糸文を密接施文したものである。231と232は原体・特徴的な胎土が類似するため接合はしないが同一個体であると考えられる。出土地点は100mほど離れている。

233～301は胸部破片を一括した。

< I群 b類 > (302～369)

302～323は外面に緻密接施文をするものの口縁部の破片である。これらには、口縁部の内面に横方向の施文をするもの（302～308、315、316）としないもの（309～314、317～320）がある。これは撚糸文

土器と同様で、内面に施文があるものは口縁部が外溝する傾向がある。原体は単節（302～312）と複節（315～320）がある。なお胎土には纖維を含み、色調は暗黄褐色～赤褐色を呈するが、319と320はオリーブ灰色～赤灰色で、重量は軽く、纖維の含有量も少ない。321～353は前述土器の胴部破片で、321～341は単節、342～353は複節の原体を用いる。なお342と343の胎土はオリーブ灰色を呈する。

354は外面の胴部に縦方向の施文を施した後、口縁部に横方向に繩文を転がすものである。口唇部、内面にも横方向の施文が見られる。

355～357は外面に繩文を縦方向の帯状に施すもので、全ての土器の色調はオリーブ灰色～赤灰色を呈する。口縁部内面には横方向の施文が認められる。

358～369は繩文を横方向に施すもので、原体には単節（358～365）と複節（366～369）がある。

（2）II群土器

押型土器をII群とした。ここでは原体によって山形文をa類、格子目文をb類、楕円文をc類として報告する。これらの分布は調査区の中央部と南側に集中し、南半部分は撚糸文系土器の分布範囲と重なる。

＜II群a類＞（370～385）

370～385は縦位に密接して山形文を施すものである。これらの胎土には纖維が含まれる。370、372～375は同一個体と考えられ、楕円の彫り込みを山形に配したものと原体としている。376、377は同一個体で、胎土に多量の纖維と白色粒子を含む。山形の振り幅が大きく、部分的に回転のずれで菱形を形作る。378は小刻みな山形文と細い撚糸文を施したもので、縦方向の施文と考えられる。撚糸の撚りは不明。纖維を少量含む。380、381は同一個体で口唇部・口縁部の裏側に横方向に、表は縦方向に施文したもので、胎土には纖維をごく少量含む。380は内面の磨耗が著しく、凶化していない。382、383はオリーブ灰色～赤灰色を呈するもので、胎土には直径3mm前後の岩片と約1mm程の白色粒子を多量に含む。383は残存状態が悪いが、縦方向の山形文を密接に施していると考えられる。384、385は山形文をすらして回転させることで作り出している菱形の変形文で、胎土に纖維を少量、白色岩片を含む。器厚はやや薄い。

＜II群b類＞（386～425）

格子目文を施文するものである。386～401は胎土が緻密で、纖維を少量含む。いずれも縦方向の密接施文である。403～407は同一個体と考えられ、やや器厚が厚く胎土に多量の纖維と白色粒子を含む粗大な格子目文である。a類の376、377の胎土に類似する。412～421は胎土に直径3mm前後の白色粒子と纖維を含むもので、粗大な格子目文を縦方向に密接に施す。焼成が悪く、残存状況が良くない。422は非常に細かい格子目の押型を縦方向に施したものである。他のものが原体に対して斜方向に格子目を彫っているのに対して、これは3cm程の短い原体に並行に格子目を彫る。色調は暗赤褐色で、纖維を含む。423～425は灰色～黄灰色を呈し、胎土は砂粒、石英粒を含み、纖維をほとんど含まない。器厚はやや薄い。これらb類土器には、口唇部や口縁部の裏側に施文してあるものではなく、よって口唇部も山形になる。

＜II群c類＞（426～431）

426～428は同一個体と考えられ、纖維を少量含み楕円文を縦位に施す。429～431は胎土に砂粒を多量に含み、纖維を少量含むものである。残存状況が悪いため判然としないが、縦位の密接施文と考えられる。

（3）III群土器

早期末～前期初頭の降帯文系土器群を本群とする。胎土には纖維を含み、胴部下半には条痕による調整痕が観察される。降帯のみのものをa類、沈線と降帯のものをb類とした。これらは下古井式を中心

と考えられる。層位的には富士黒土層を中心に出上し、平面的には調査区中央部に集中する。この分布はIV群 a 類の分布と重なる。

<III群 a 類> (432~465)

隆帶文のみが施されるものである。432は口縁と並行に2条の隆帶を施し、2条目よりT字状に隆帶を6cm程垂下させるもので、隆帶上には棒状の工具を使った刺突が観察される。神ノ木台式並行か。433~450、464、465は幅約1cmの箱状で背の高い隆帶を1条、口縁部に施すものである。隆帶上には貝殻の背面を使った押圧文がある。434は波状口縁を呈すると考えられ、先細りする口唇部には貝殻の押圧文が観察される。464、465は同一個体と考えられ、箱状の隆帶の上にこれと並行の条痕文を施したものである。

451~463は、低く潰れた隆帶を有するものである。比較的粘土が柔らかいうちに隆帶上に貝殻の背面を押し当てているようで、隆帶が貝殻のカーブに沿って凹凸をなしている。

<III群 b 類> (466~471)

口縁部に波状の沈線文があるので、沈線の下には低い隆帶が施され、文様帶を区画する。

472~479は上記 a 類、b 類の胴・底部破片である。底部はやや膨らみを持つ。

(4) IV群土器

木島式土器を本群とした。これらは、本遺跡の中で量的に中心をなすものである。口唇部を肥厚させ、そこに指頭圧痕や細線文をほどこすものを a 類、頸部に隆帶を巡らしその上に指頭圧痕を施すものを b 類、頸部～胴部の輪積み痕の上を、爪や竹管状の工具によって連続的に刺突をほどこしたものを c 類とし、a ~ c 類の胴部破片を仮に d 類とした。これらは富士黒土層中から出土し、a 類は調査区中央部、c 類は調査区南半に集中し、分布は明確に分かれれる。遺物集中地点では住居跡も検出されていることから、これらの遺構に関連する遺物であると考えられる。また a 類の平面分布はIII群 a 類のそれと重なる。

<IV群 a 類> (480~500)

口唇部に隆帶を貼ることで肥厚させたもので、480、481、484、485は口唇部に指頭圧痕が観察される。頸部には細い隆帶が巡らされ、その上から縱や斜め方向の細線が刻まれる。486~491の口唇部には細線文が施される。482、483の口縁は波状となる。隆帶は剥落したものが多い。

489~500の口縁部は残存していないが、貼られた隆帶より a 類と考えられるものである。494は隆帶下に細沈線で山形の連続模様を描いている。

<IV群 b 類> (501~503)

501と502は口縁部下の輪積み部分の上に隆帶を巡らせ、その上を指先で連続刺突（突起状に摘み上げる）したものである。口縫は内面に向かってくの字に屈曲する。503も同様に隆帶を巡らせるが、施文部の屈曲が弱く刺突の凹凸も低い。隆帶上に刺突を施すという意味で同類に分類した。

<IV群 c 類> (504~540)

口縫部下の輪積みの接合部に刺突を加えたものである。504~506は爪による刺突と考えられる。504は口端部から刺突部まで細線が縱方向に施され、この細線と刺突が一直線上にあることから、これらの文様が爪によって連続して行われていたことが予想される。508~540は半裁竹管状の工具によって口縫下部の輪積み部分に刺突を加えたもので、その間を縱方向、斜方向、矢羽状の細沈線で充填する。

<IV群 d 類> (541~643)

a 類～c 類の胴部破片を括した。前述のように a 類と c 類は平面分布が異なるため、胴部破片を出土位置に置いて分類すると、541~561のように主に縱方向の細沈線は a 類、562~599のように斜位や矢羽状のものは c 類に属すると考えられる。600~643は胴部下位の破片と考えられ、細線文がなくなり、整然と並ぶ指頭圧痕が観察される。文様施文（細線文）が土器を正位で置き、上から下へ行われたこと

がわかる。

(5) V群土器

前期の土器を当群とする。前期初頭の羽状縄文系土器を a 類、前期後半の土器を b 類として報告する。
< V群 a 類 > (644~646)

a 類は調査区の南側に分布し、IV群 c 類の平面分布と重なる。644は波状口縁を持ち、R L と L R の横方向の縄文を下段から順に施し羽状とする。胎土には纖維を多量に含む。645はR L のループ文で、胎土には纖維を少量含み、長石、雲母を含む。646も R L のループ文で、砂質の胎土には長石、雲母を多量に含む。纖維痕も観察される。これらの上器は花積下層式段階に比定される。

< V群 b 類 > (647~662)

前期後半の諸磯 b 式～十三菩提式並行の土器群である。富士黒土層上半での出土が多く、平面的には調査区北半の斜面地に分布する。ベンダント (779) が出土したのもこの周辺である。

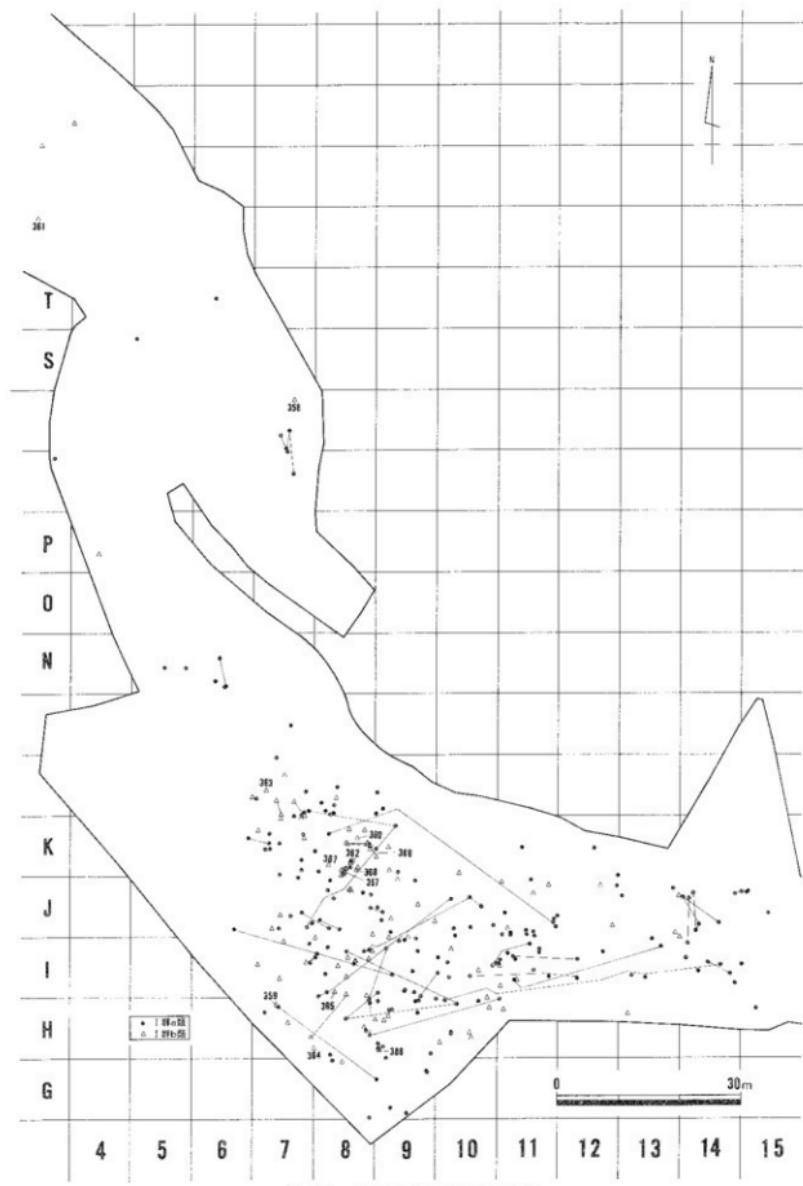
647は波状口縁を呈し、無文上に細い浮線文を施し、その上に竹管状の工具で刻みを入れたものである。諸磯 b 式である。648~650は縄文の地文上に半裁竹管で沈線を施したものである。651はバケツ形の器形で、無文の胴部に楕円形の浮文を配したもので、口縁部には墜帶を貼る。外面は丁寧なナデ調整が施されているが、内面は輪積み痕が明瞭に残る。胎土は砂質で石英粒、岩片を多く含む。口縁部の形態より、当期に属すると考えられる。654~658は縄文の深鉢で、654~657は L R の縄文を横方向に施文したもの、658は R L の縄文を横方向に施文したものである。659~662は無文土器である。

(6) VI群土器

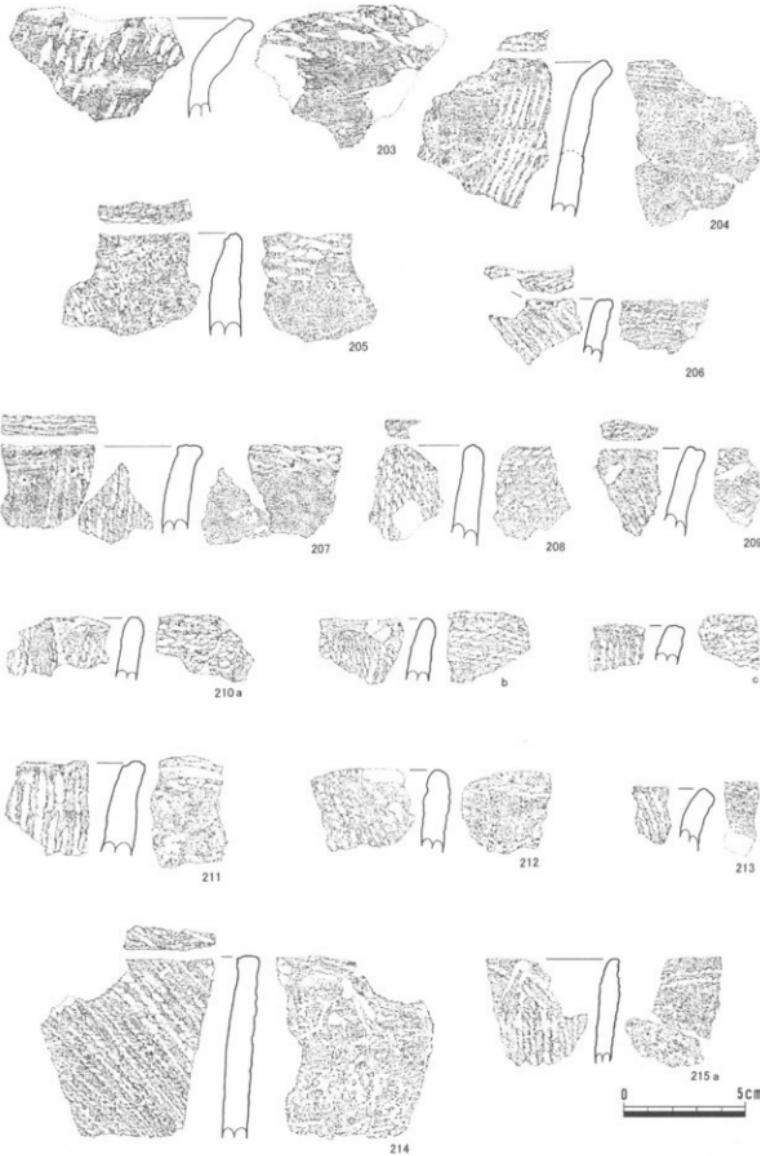
中期の土器は暗褐色土～富士黒土層上面にかけて出土した。663、664は土器円板で、藤内式土器の破片の周縁を削って作られたものである。665、666は横区画の隆起帶脇にキャタピラ文が施されるもので、底部と胴部破片である。667は縦方向に L の燃糸が施される深鉢で、口縁部が内湾する。668は井戸尻式の深鉢で、沈線で区画された中を並行沈線や三叉文で充填する。胎土は褐色で白色砂粒を多量に含む。669は条線を地文として 2 本 1 線の沈線で渦巻き文様を施すものである。曾利IV式土器。670~675は当期の底部と考えられるもの。

(7) VII群土器

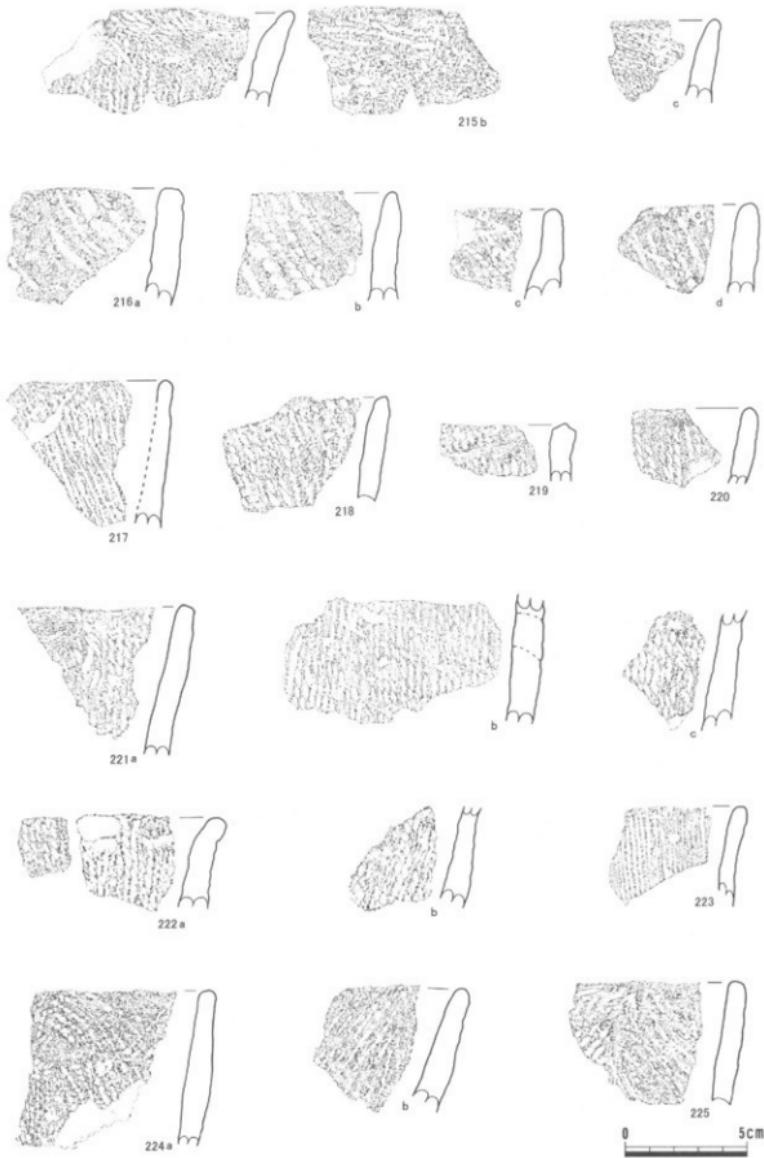
後期の掘ノ内式土器である。676は所謂朝顔形と称される深鉢で、胴上半部の横帯文様帯を 2 本単位の沈線で三角形に区画して、中を L R の縄文で充填するものである。掘ノ内 2 式。677~679は付加条の縄文を横方向に施文した上器で、676に並行すると考えられる。



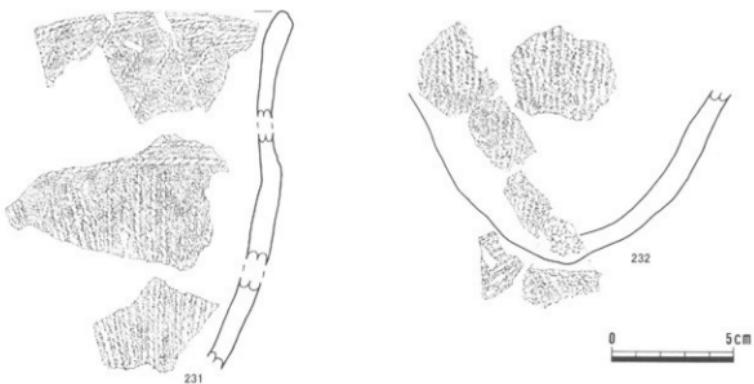
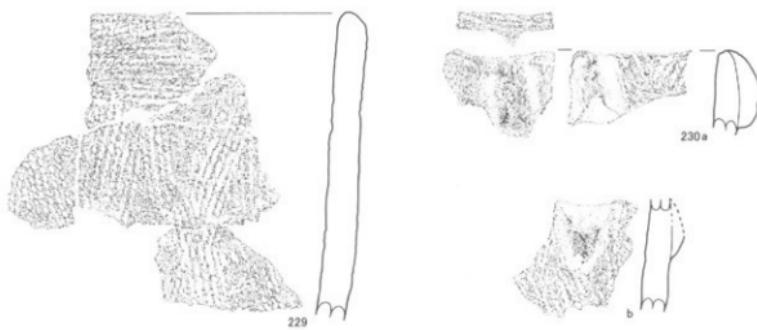
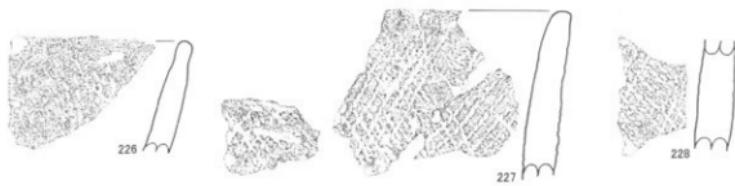
第78図 I群土器分布図 (1/800)



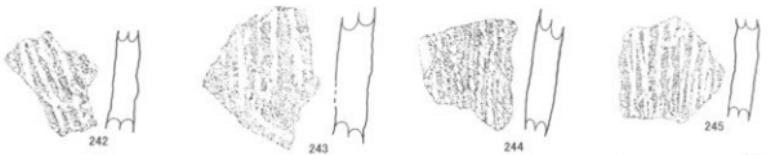
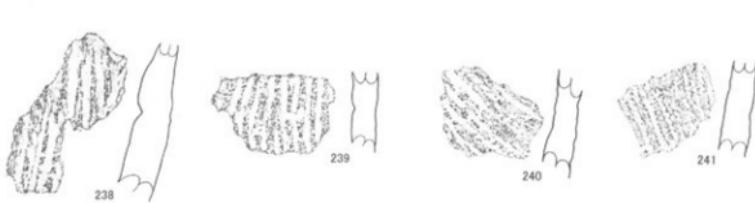
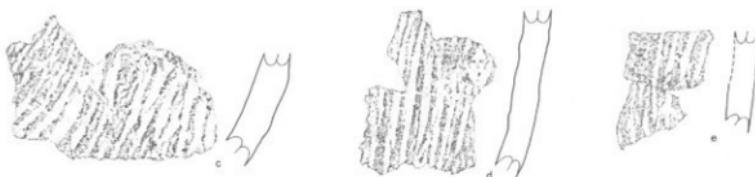
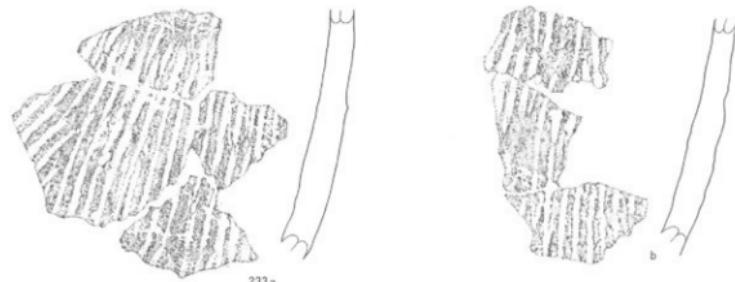
第79図 I群 a 類土器(1)



第80図 I群 a類土器(2)

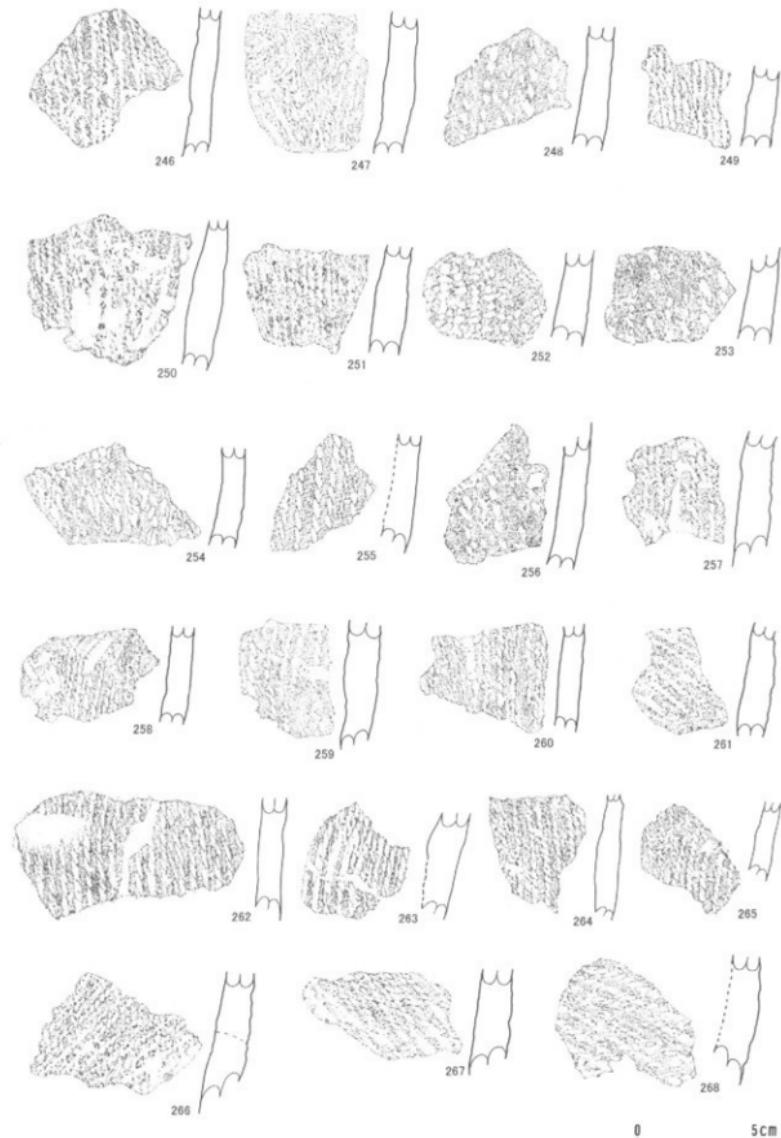


第81図 I群a類土器(3)

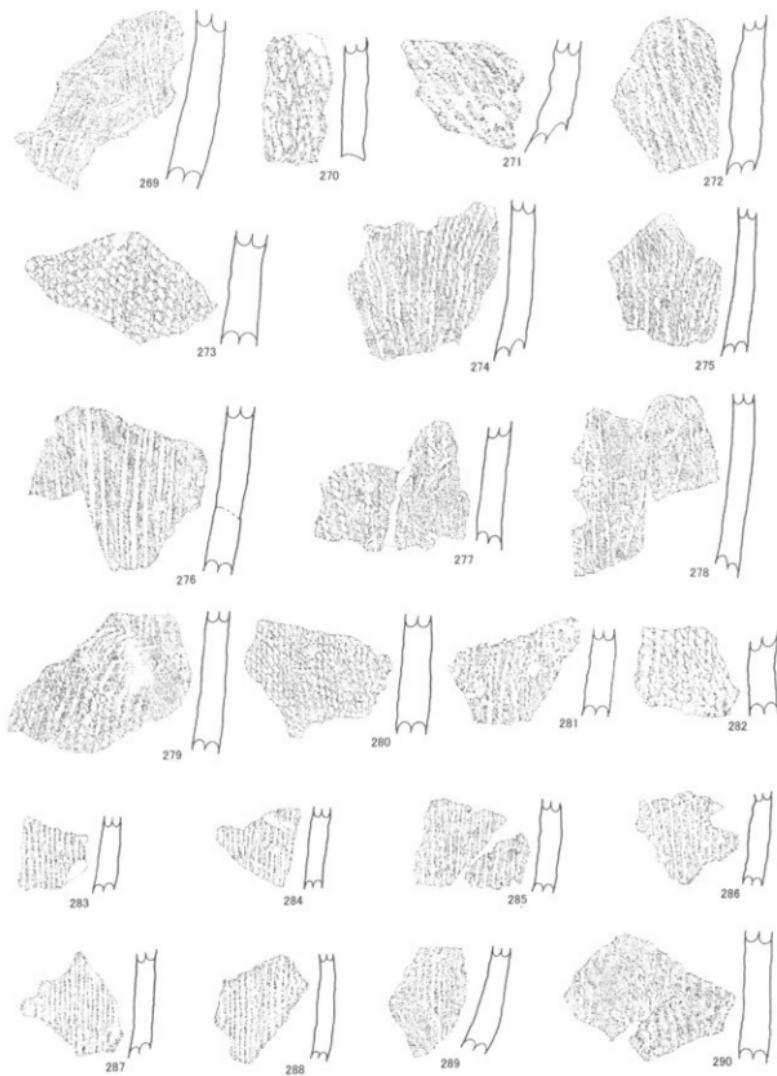


0 5cm

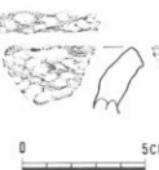
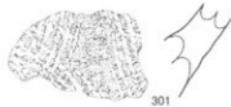
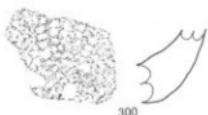
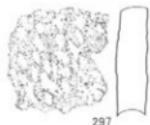
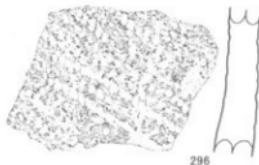
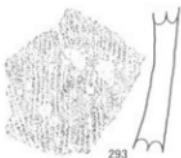
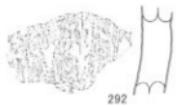
第82図 I群 a類土器(4)



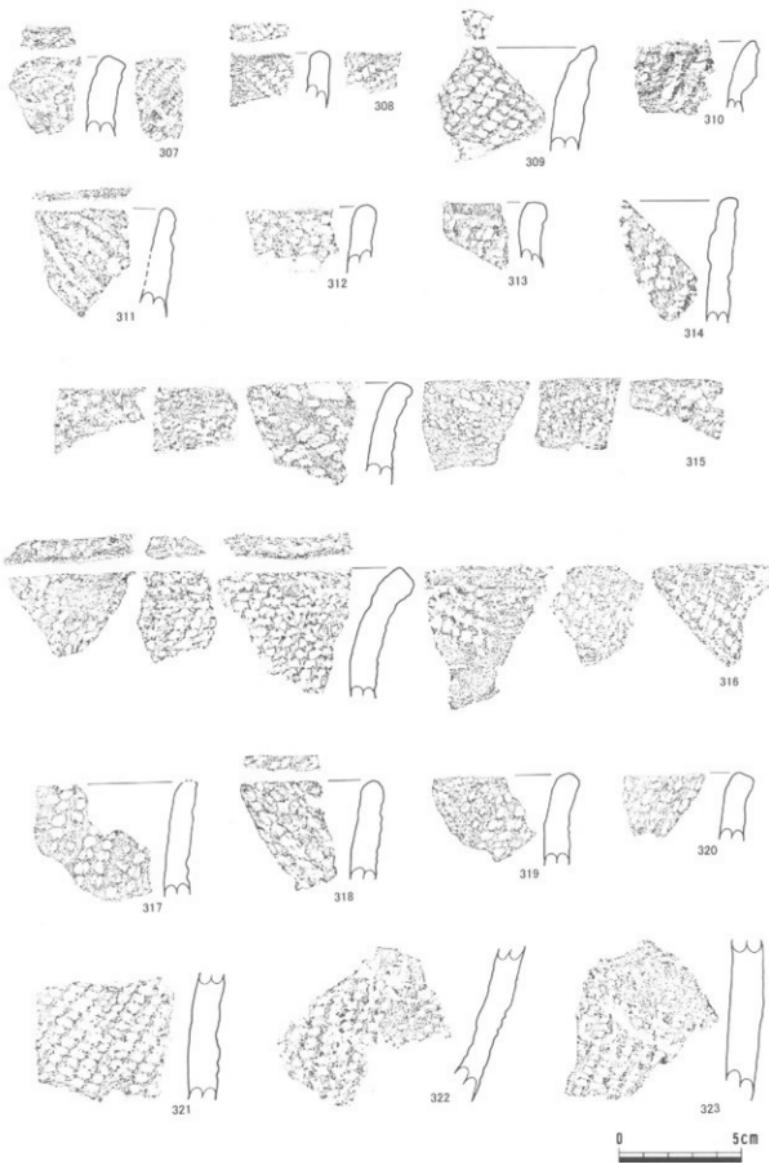
第83図 I群 a類土器(5)



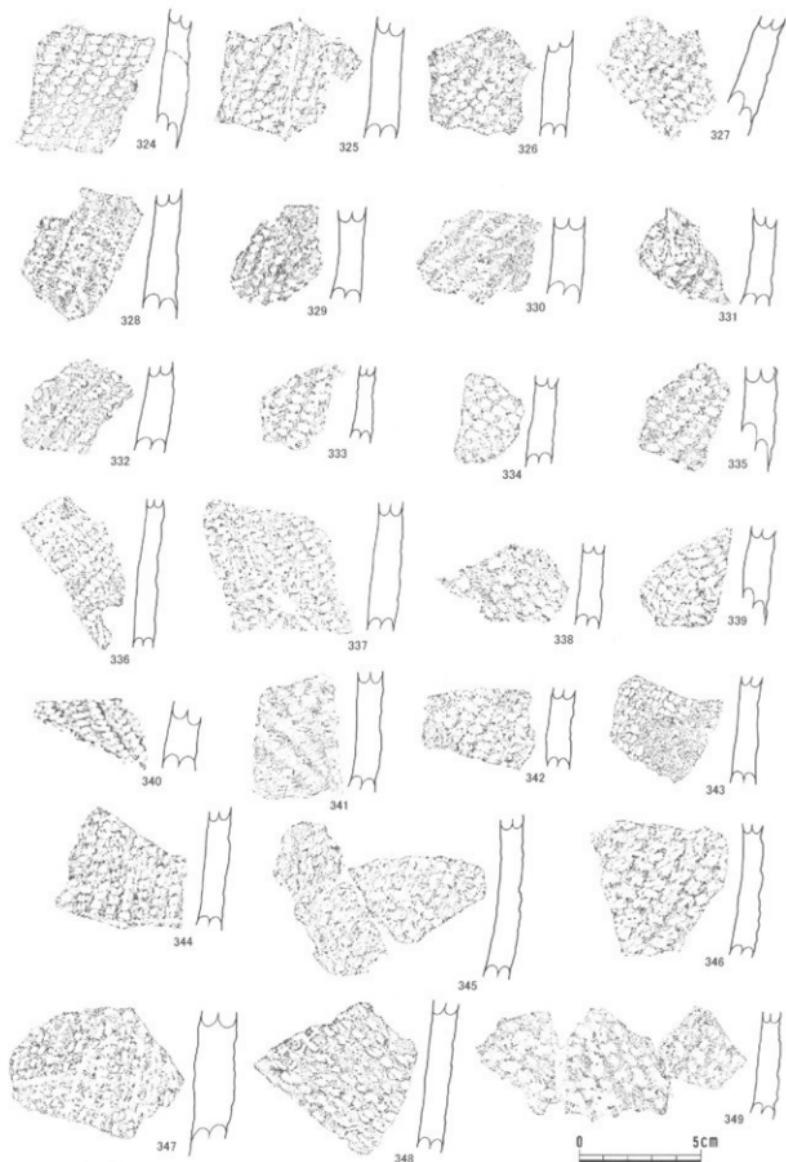
第84図 I群a類土器(6)



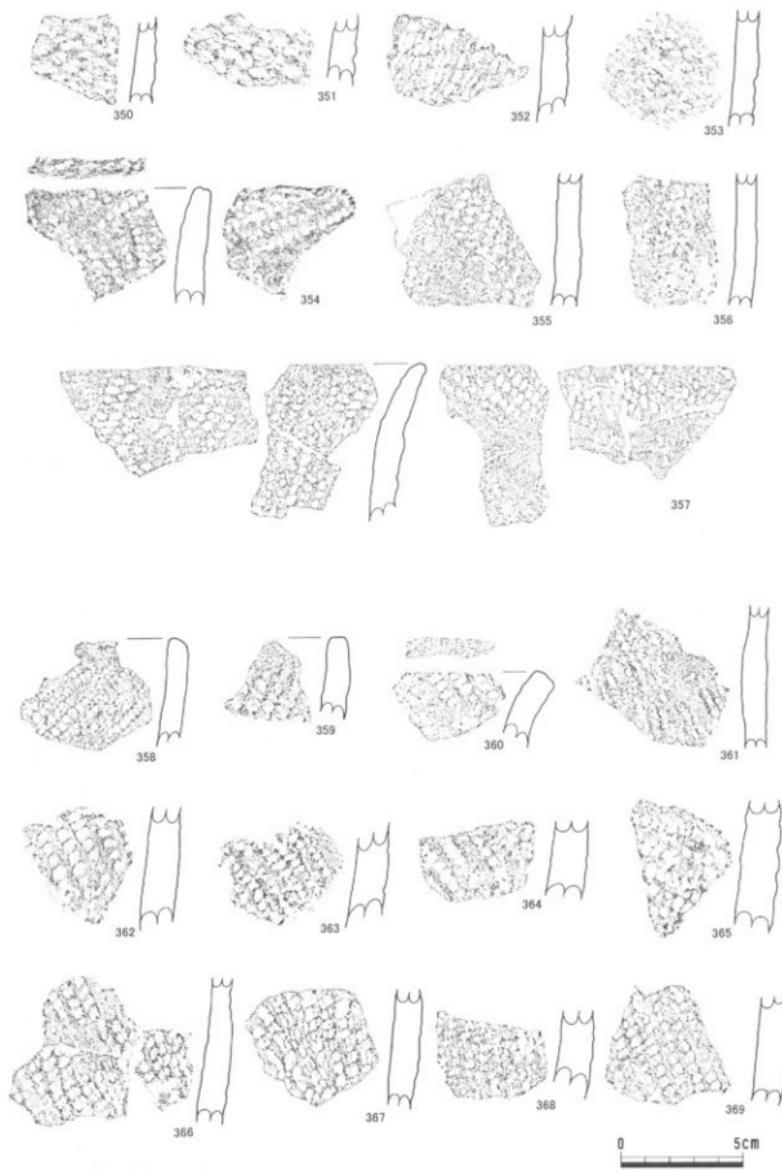
第85図 I群 a・b類土器



第86図 I群b類土器(1)



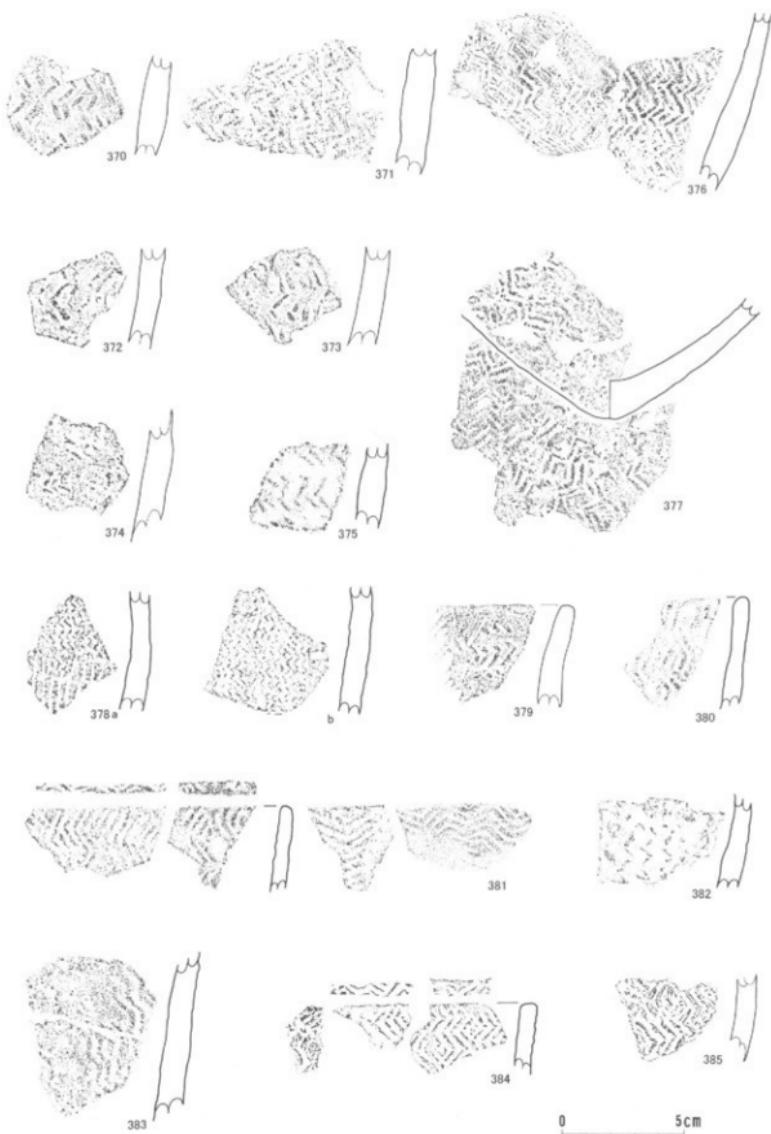
第87図 I群 b 類土器(2)



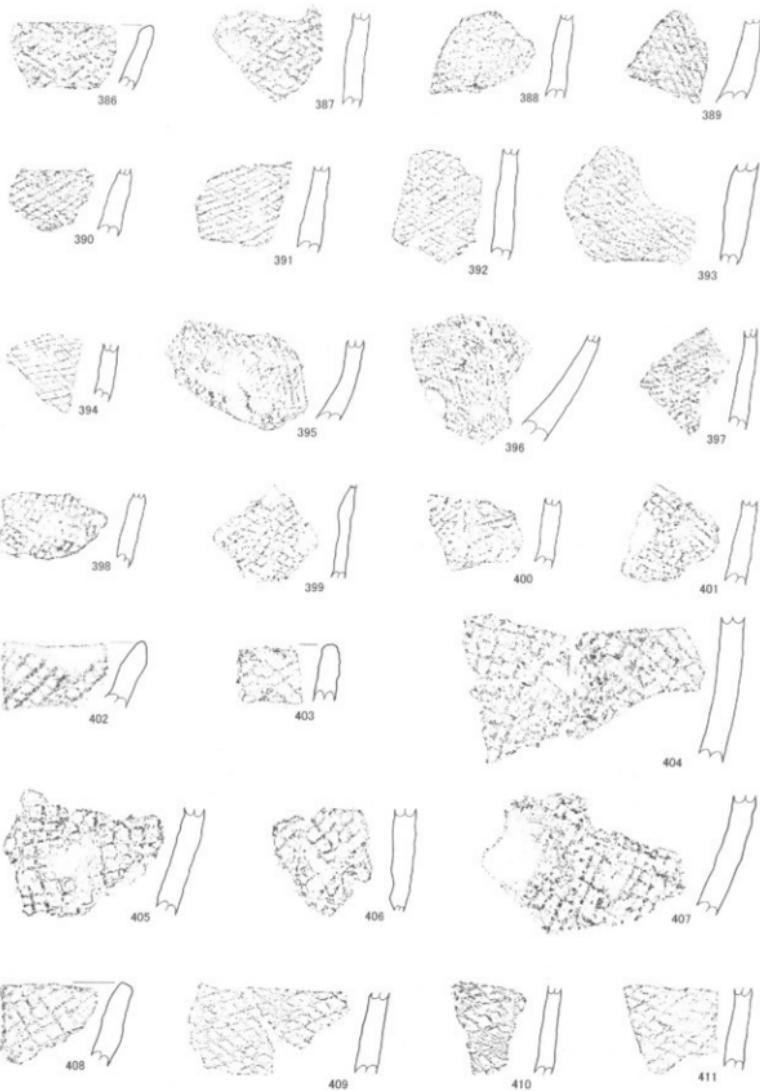
第88図 I群b類土器(3)



第89図 II群土器分布図 (1/800)

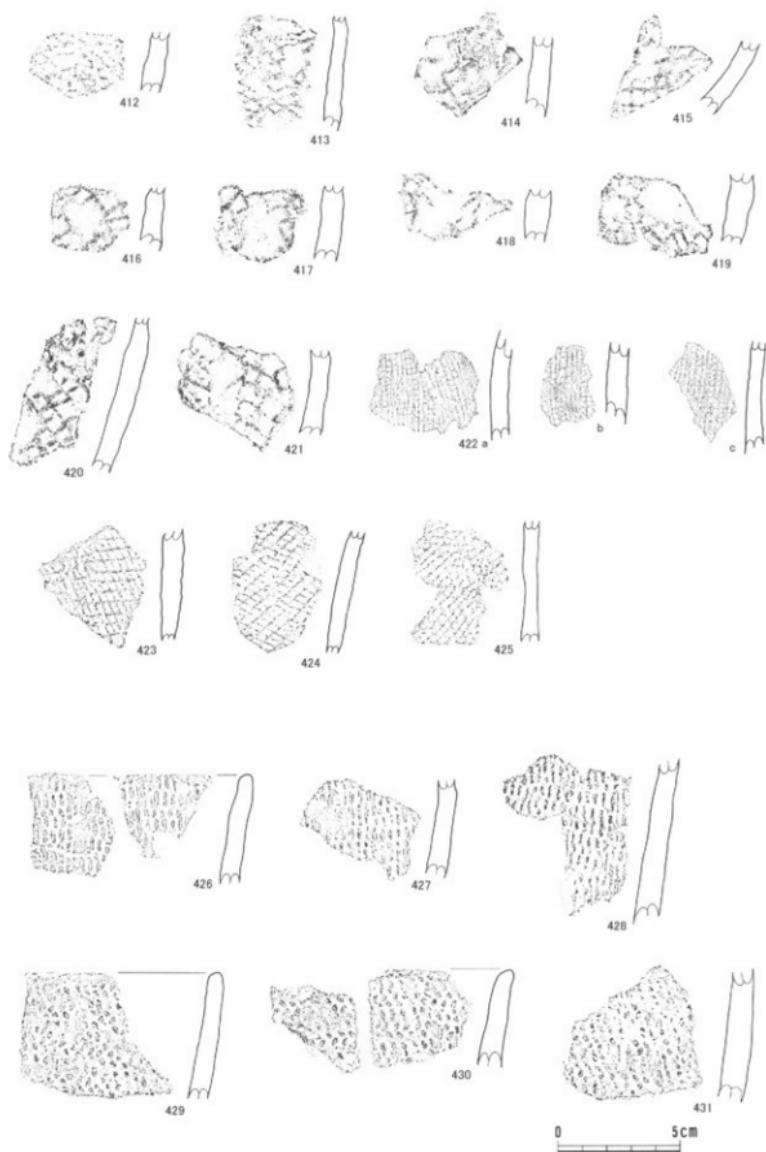


第90図 II群a類土器

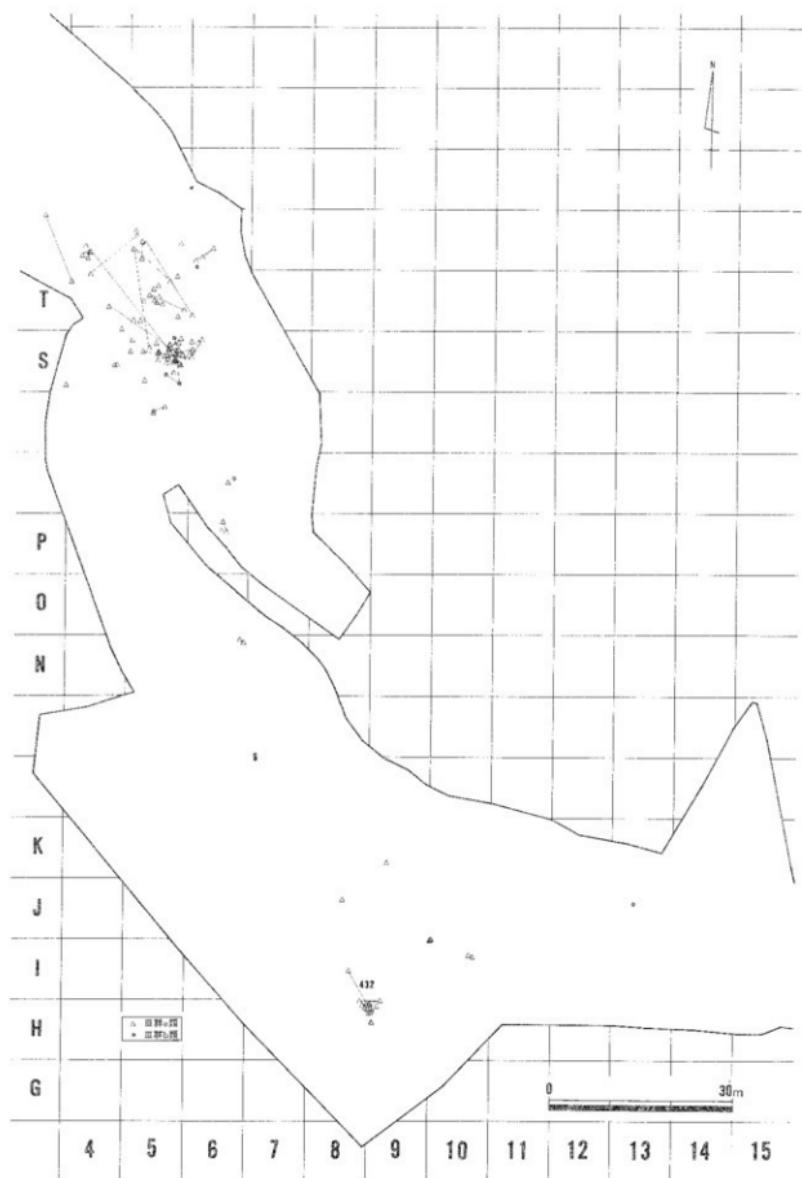


0 5cm

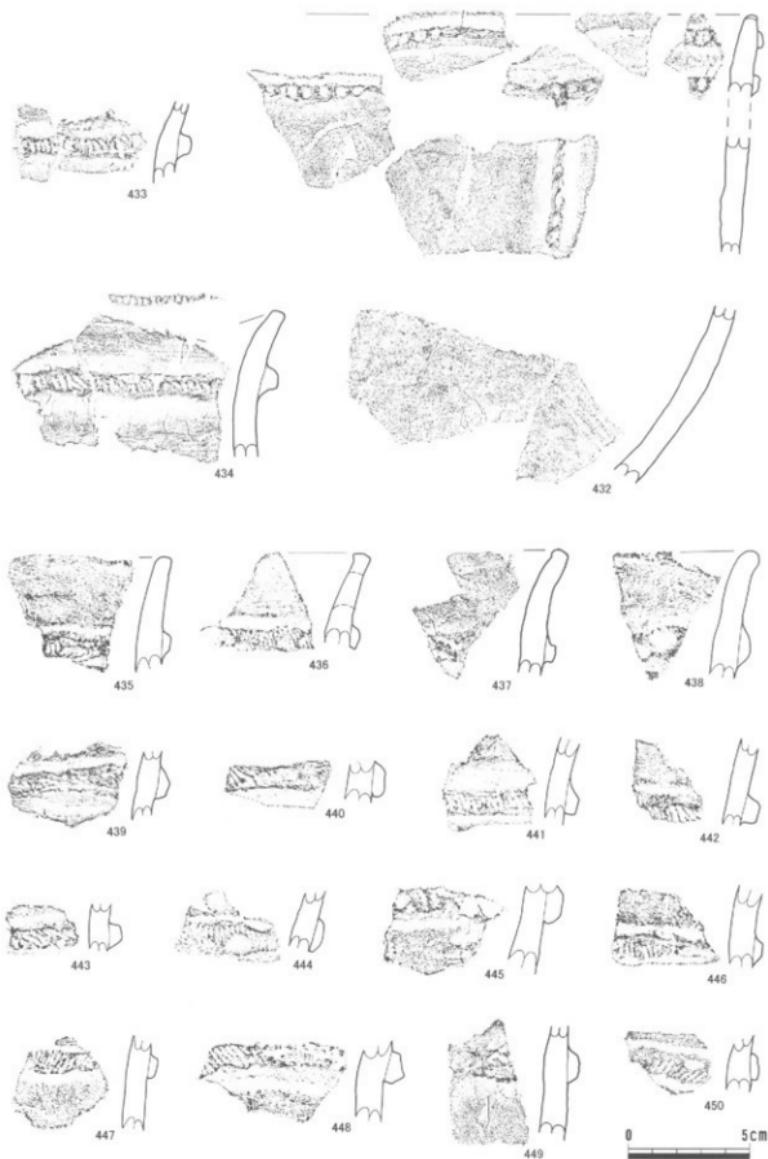
第91図 II群b類土器



第92図 II群b・c類土器



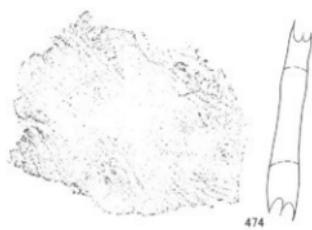
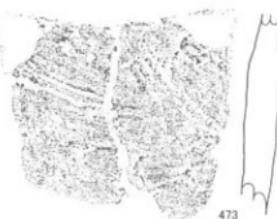
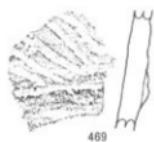
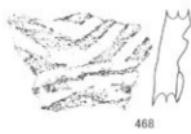
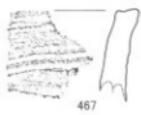
第93図 Ⅲ群土器分布図 (1/800)



第94図 III群a類土器(1)

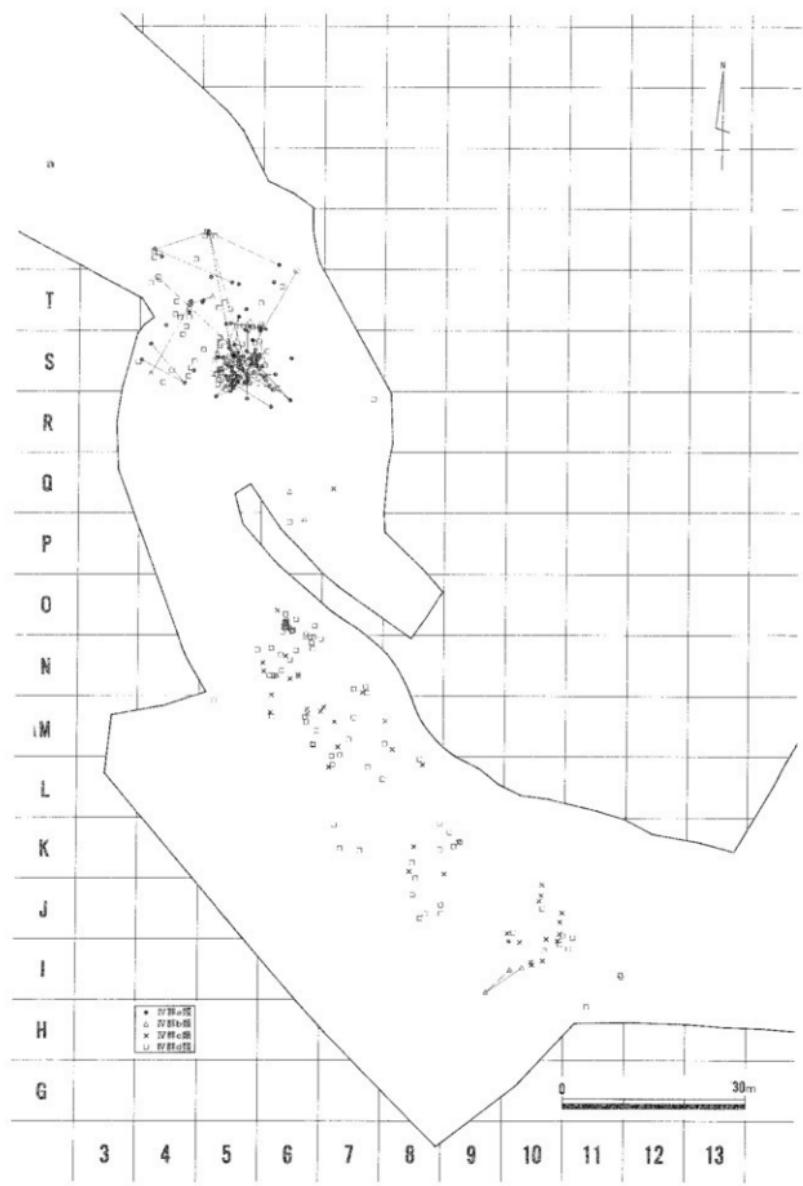


第95図 III群 a 類土器(2)



0 5cm

第96図 III群 b類・銅部



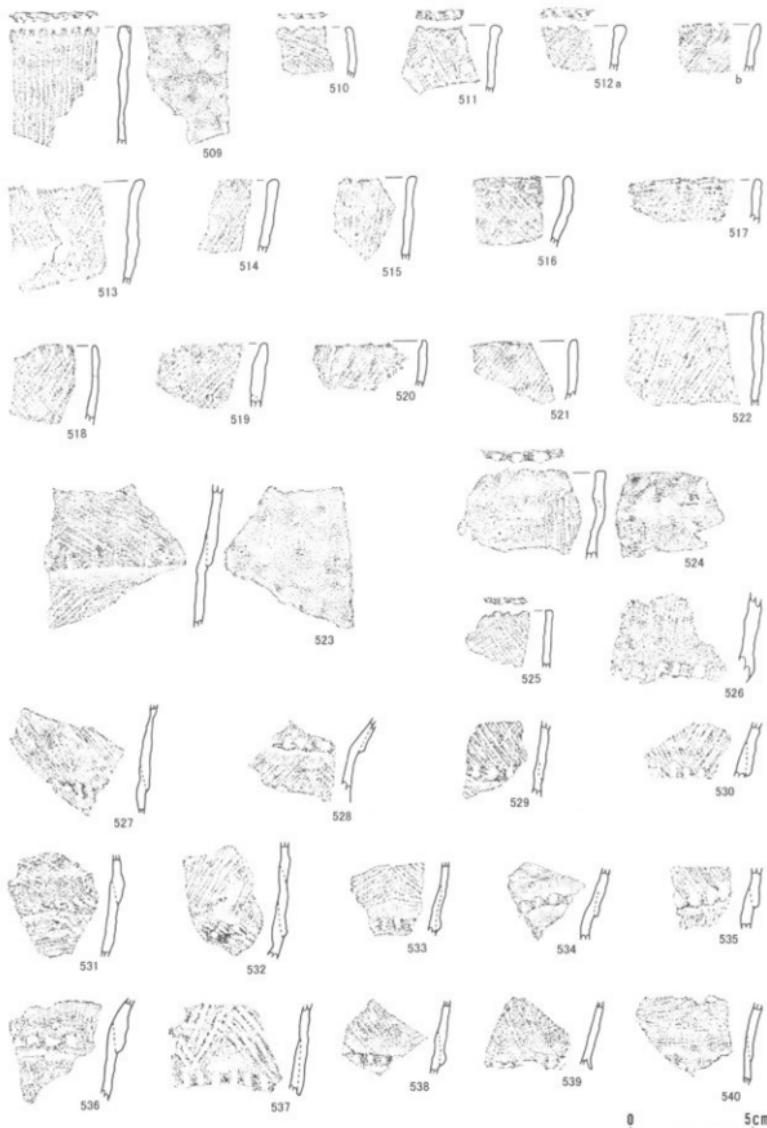
第97図 IV群土器分布図 (1/800)



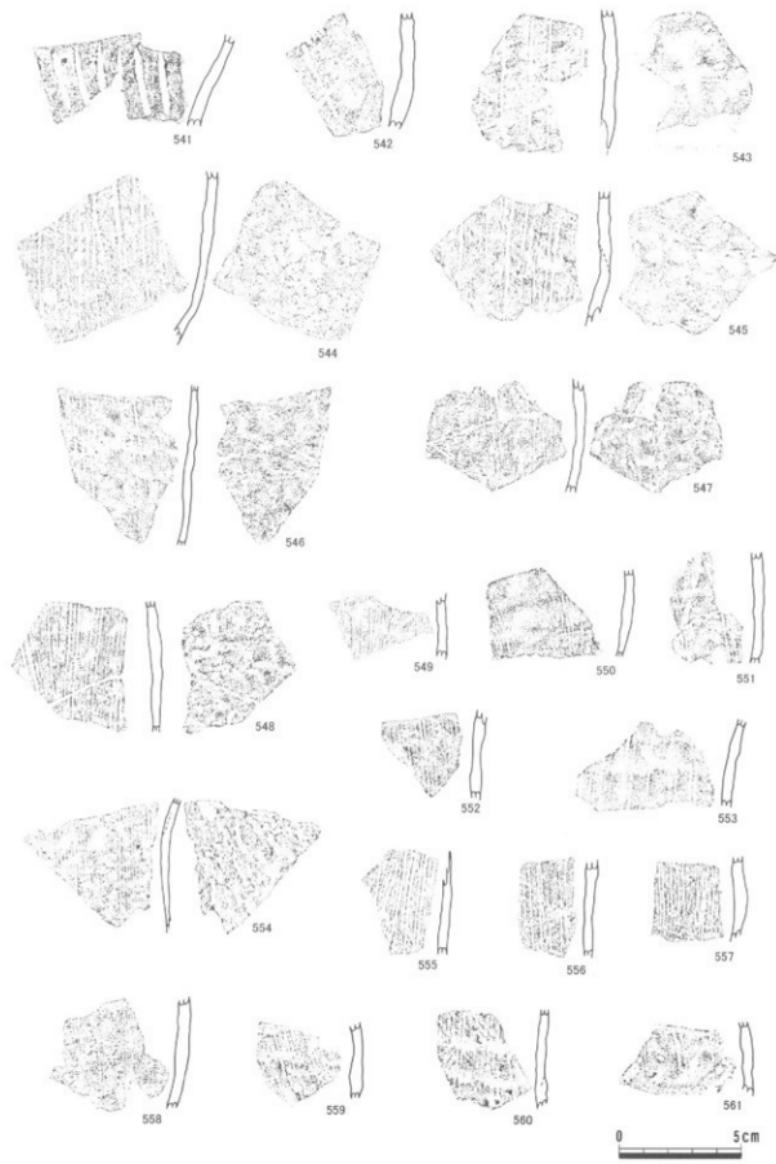
第98図 IV群 a 類土器



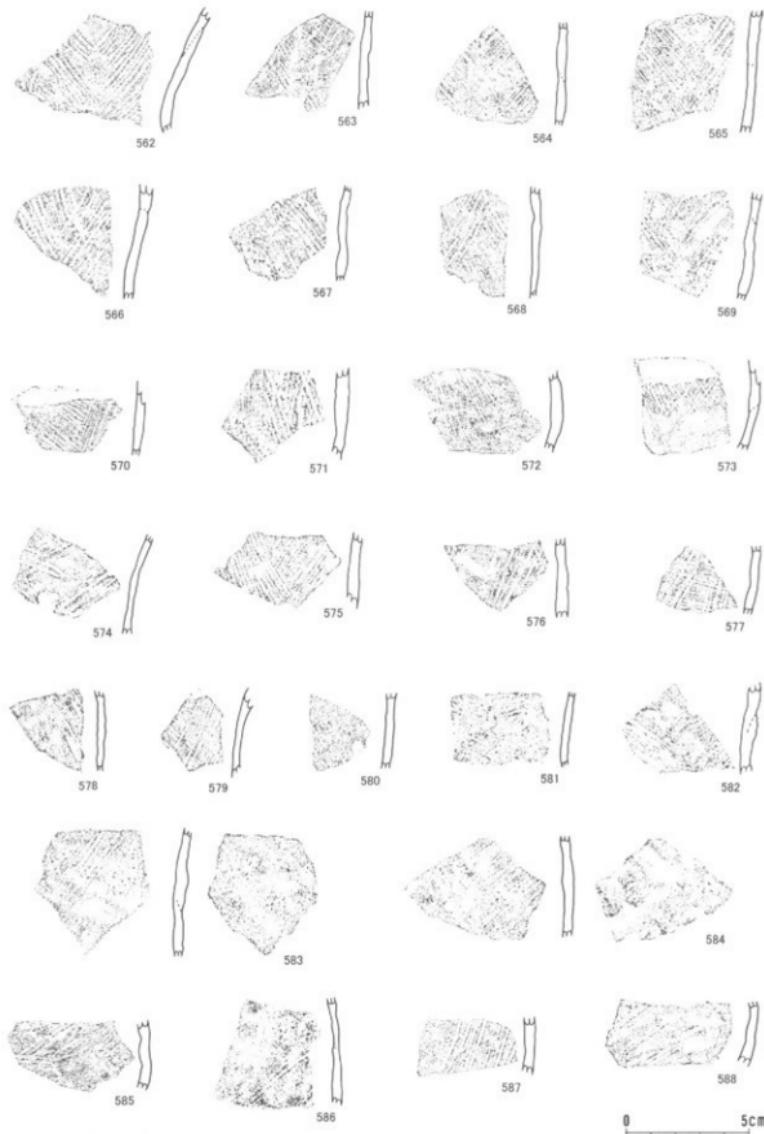
第99図 IV群 a・b・c類土器



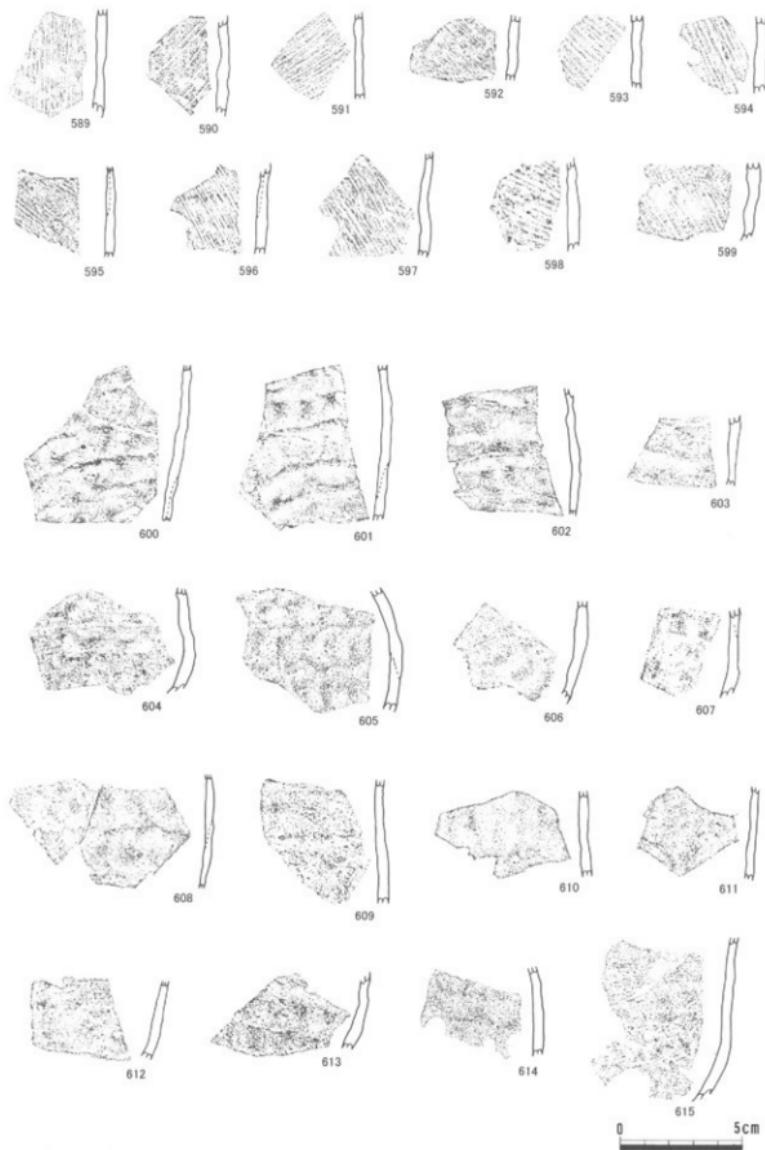
第100図 IV群c 類土器



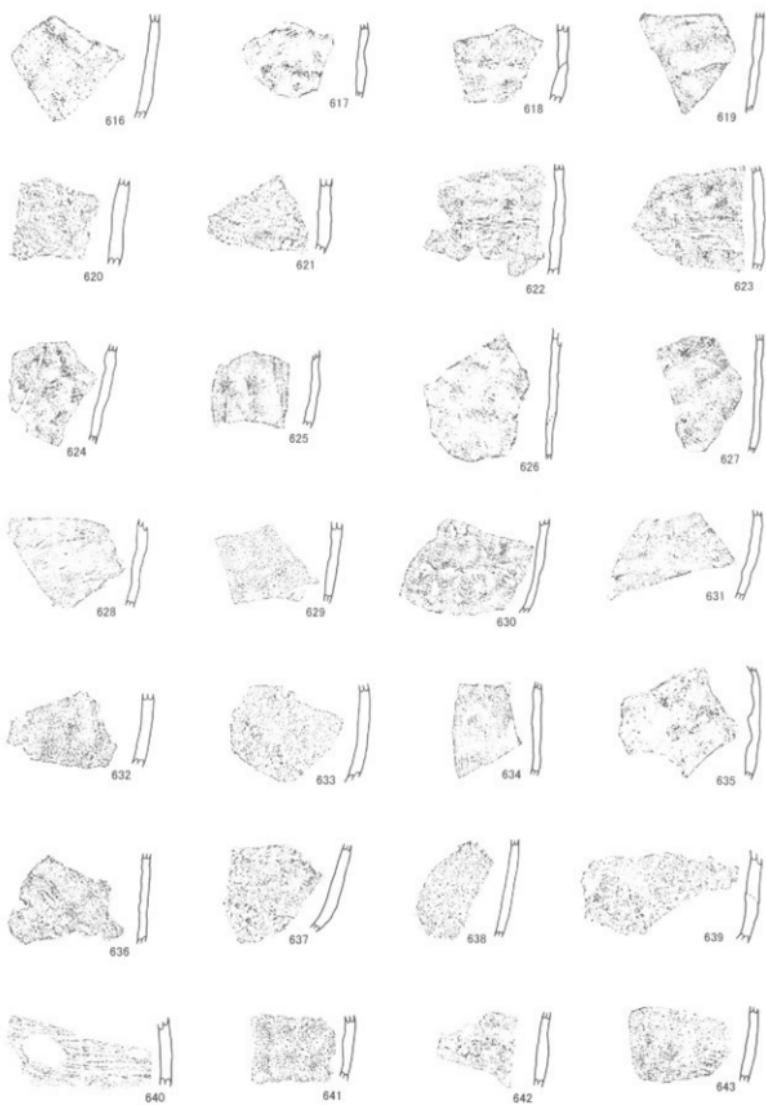
第101図 IV群d類土器(1)



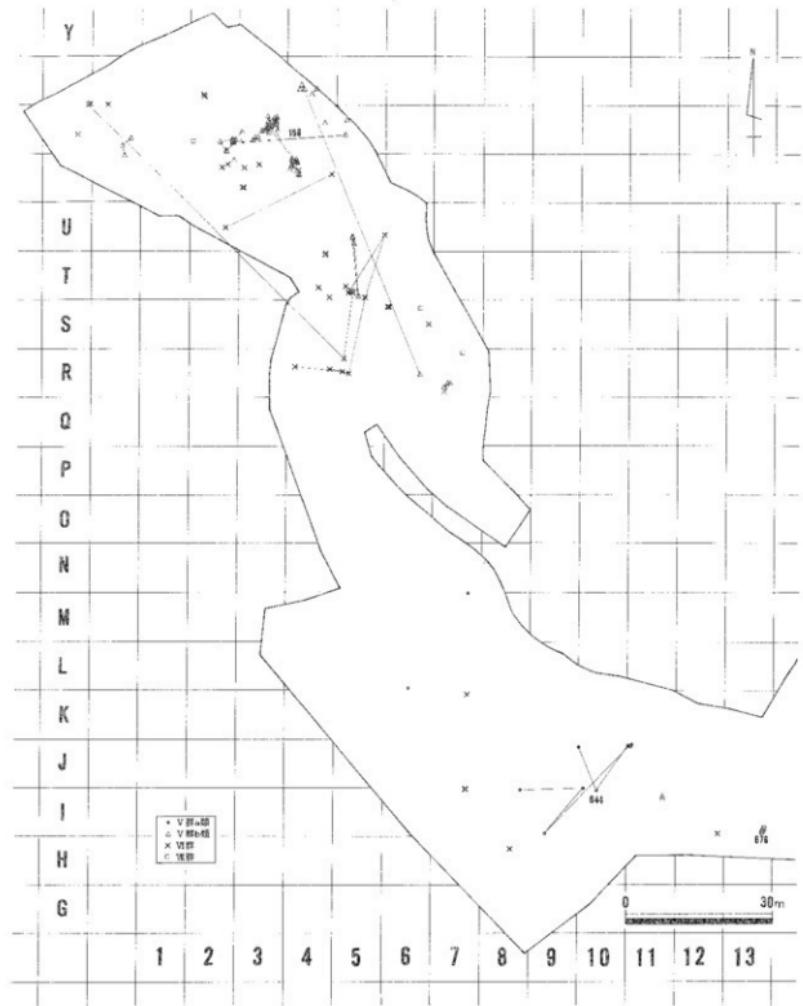
第102図 IV群d類土器(2)



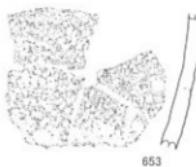
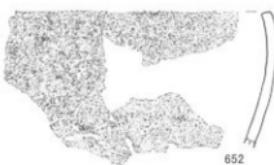
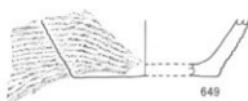
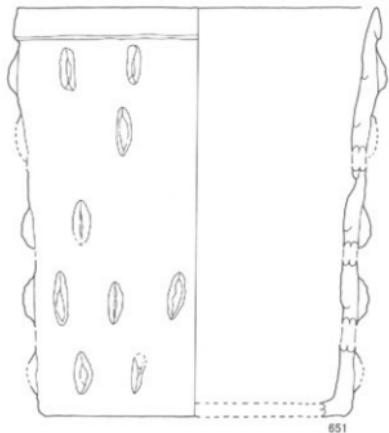
第103図 IV群 d類土器(3)



第104図 IV群 d 類土器(4)

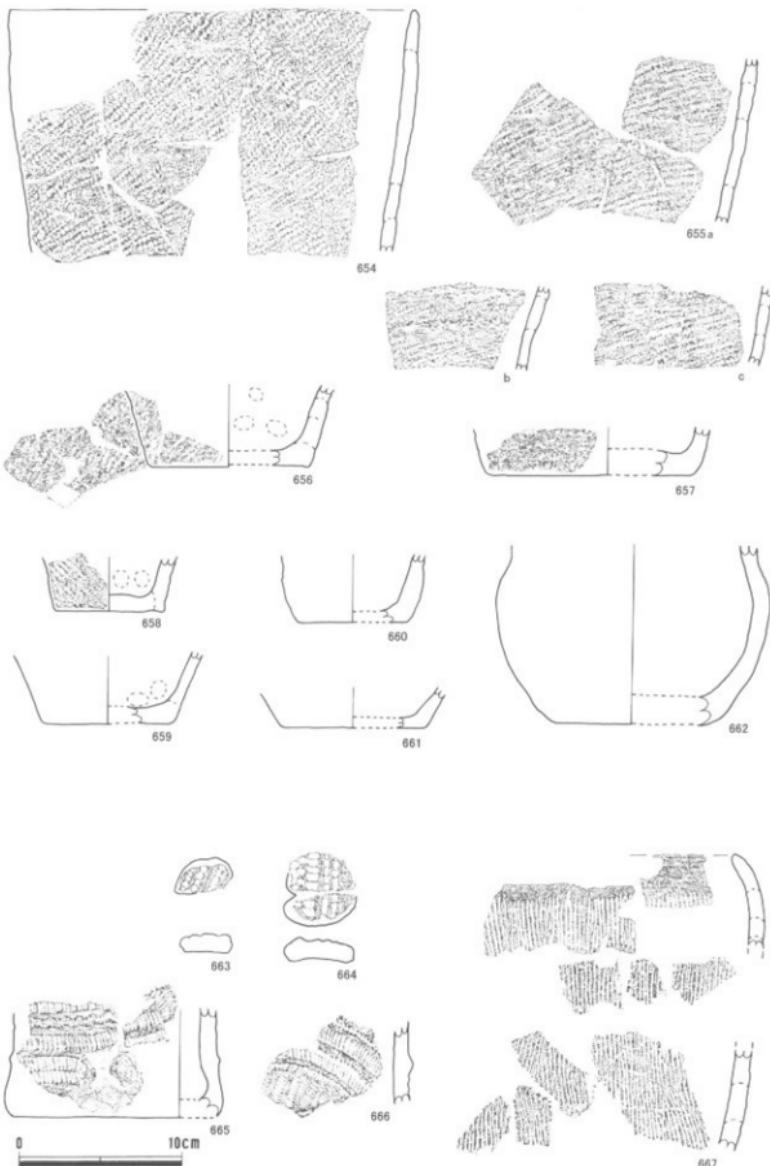


第105図 V・VI・VII群土器分布図 (1/1000)

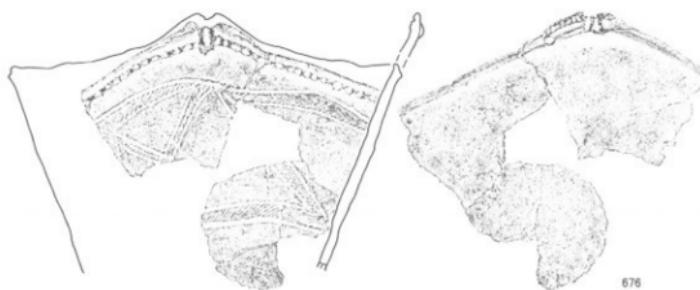
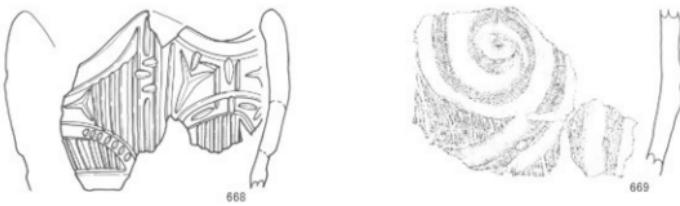


0 10 cm

第106図 V群土器



第107図 V・VI群土器



第108図 VI・VII群土器

2. 石器

富士黒土層中から出土した石器である。縄文時代早期～中期の遺物と考えられるが、遺物個々の所属時期は明確でない。よって以下に器種別分類し報告する。

(1) 石鏃

欠損品も含めて105点が出土した。このうち残存状況が良い78点を図化した。石材は70%が黒耀石である。基部の形状等より4群に分類して報告する。

I群 基部が圓状のもの (680～731)

680～692は中でも基部の抉りが全長の1/3以上になるものである。680は風化が著しいが、本来脚部が長く、内側に渦曲していたと考えられる。681～683は全長より横幅が広いものである。684、687～690、692は脚部の末端が丸く、抉りが逆U字になる。693～731は比較的抉りが浅いものである。730は脚部外縁に左右対象な抉りが観察される。これは調整とは異なりエッジの潰れのように見られることから、着柄時の緊縛痕とも考えられる。

II群 基部が平坦なもの (732～744)

二等辺三角形を呈する。素材剥片の剥離面を残すものがある。742～744は未製品である。

III群 有茎のもの (745)

IV群 胸部中央に最大幅のあるもの (746～749)

粘板岩を素材として、縁辺部より浅い調整を加えることで石鏃としたものである。基部の形状は746と747は抉りがある。また、747と749は胸部平面に研磨痕が観察される。

(2) 石ヒ

未製品も含めて5点出土した。754、755は縦型で、754は原礫面を残した縦長の剥片の縁辺を加工したものである。先端部欠損。756～759は横型で、いずれも剥片の縁辺部に加工を加えたのみのものである。759は未製品と考えたが、素材剥片の最大厚が約2cmと厚いことから石斧の一部とも考えられる。石材は縦型に黒耀石が、横型にホルンフェルスが用いられている。

(3) 石錐

黒耀石製のものが1点出土している。ドリル部分の作り出しが粗く厚みがあるが、先端の断面は三角形を呈する (760)。

(4) 石斧

包含層からは18点出土した。残存状況が悪い2点を除き、16点を図化した。このうち、12点が打製石斧で、4点が磨製石斧である。

761～773は素材となる板状の剥片の縁辺部に加工を施した打製石斧である。加工は縁辺部のみで、胴部には原礫面や素材の剥離面を残すものが多い。特に砂岩製のものは、円礫を打ち割った剥片の左右縁辺に粗い調整を加えるだけのもので、原礫面を残す。768、770は側縁部に着柄痕がある。774は大型の打製石斧で、基部や打溜部分、側縁部に調整を施すが、表面には原礫面を大きく残す。出土位置はU2グリッド付近であり、所属時期は不明である。

775～778は磨製石斧である。775は緑色凝灰岩製で、両刃のものである。上部は折損後再度調整が加えられている。また刃部には製作時の打痕が観察される。776は裏面に若干稜が観察されるが片刃の磨製石斧と考えられる。砂岩製で、裏面基部には原礫面が観察される。磨痕が観察されるのは刃部とその縁辺

部で、基部は殆ど磨かれず打撃痕を残す。777は角閃石片岩製で先端部を欠損する。磨痕は剥離面より古く、欠損後再加工された痕跡はない。また基部の剥離は側縁の剥離面に切られており、基部が欠損でないことが判る。778は緑色凝灰岩製で、片刃である。縁辺部には剥離痕を残し基部は欠損。これらの磨製石斧は、刃部を中心に磨かれており、基部や縁辺部には剥離痕を残す。

(5) 装飾品

滑石製の装飾品と考えられるものが出土している。上部に繊縛痕が観察されることから、ペンダントと考えられる。この断面は半月形になっており、裏面に擦切り痕が観察されることから、縦に分割されたものと思われる。切断面は未処理で、裏面には繊縛痕が見られない。分割後にはペンダントとしては使用されなかつたのであろう。出土層位は富士黒色土の上面、栗色土層との境部分で、前期後半の土器が集中して出土している。土坑等の施設は発見されなかつた。

(6) 石鍤

3点が出土した。いずれも偏平な円礫の対峙する2辺に片面より打撃を加えたものである。

(7) 敗石・磨石他

敗石・磨石427点、凹石21点、石皿13点が出土している。全てを図化し掲載することは不可能なので、以下の基準で分類したのち、その一部を掲載した。

A類 敗石 柱状（棒状）の石の上下端部に打痕があるもの。（A-1）

平面形が円形で縁辺部に及ぶもの（A-2）

B類 磨石 平面形が円形で偏平なもの（B-1）

C類 磨・敗石 平面形が円形で偏平なもの（C-1）

断面形が多角形のもの（C-2）

D類 凹石

E類 石皿

< A類 >

敲きの単機能を持つものは148点出土した。このうち30点を図化した。A-1類は、棒状（柱状）の石の上下端部に打痕を持つものである。783～799が該当する。このうち783～788は棒状のもので、789～799はやや横幅が太くなる。これらには、石器製作時のハンマーが含まれる。A-2類は偏平な円礫の縁辺部に打痕があるものである。800～812が該当する。

< B類 >

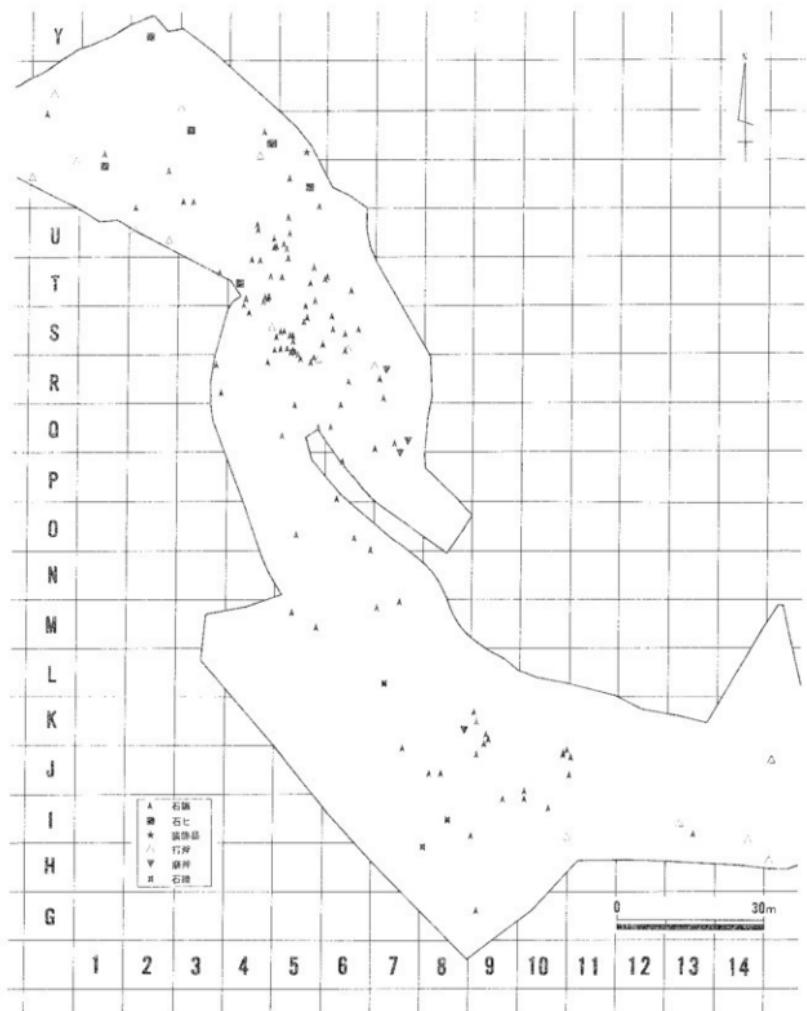
磨りの単機能を持つものは23点出土し、このうち9点を図化した（813～821）。これらは、円礫の平坦面に磨痕を持つもので、砥石あるいは石皿的に用いられたものと考えられる。

< C類 >

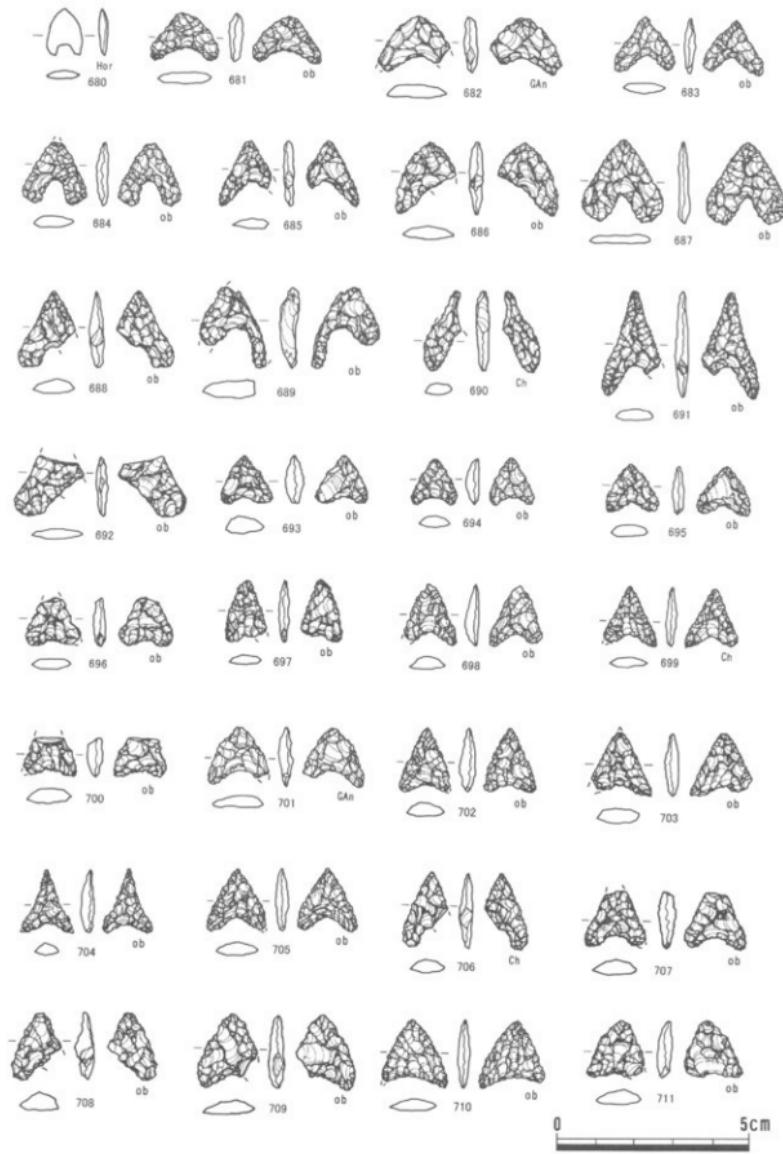
打痕と磨痕が同一石器内に観察されるものは256点出土し、このうち29点を図化した。C-1類は偏平な円礫の平坦面に磨痕が、縁辺部に打痕が観察されるものである。822～836が該当する。C-2類は柱状の円礫が研磨によって面取りされ、断面が三角形～四角形になるものである。837～850が該当する。これらは、特殊磨石とも呼ばれ、平坦面に磨痕、上下の端部に打痕が観察される。これらは手を持って用いられたものと考えられる。

< D類 >

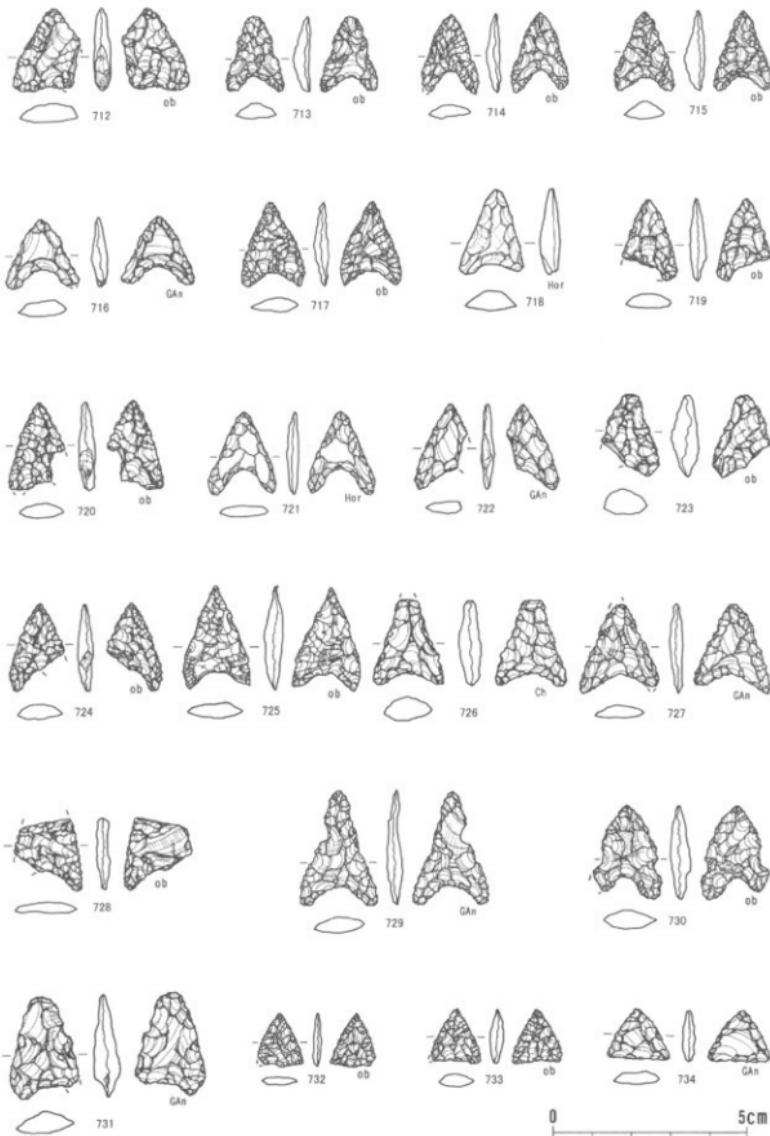
円礫の平坦面に打撃による窪みが観察されるものは21点出土し、このうち10点を図化した。851～860



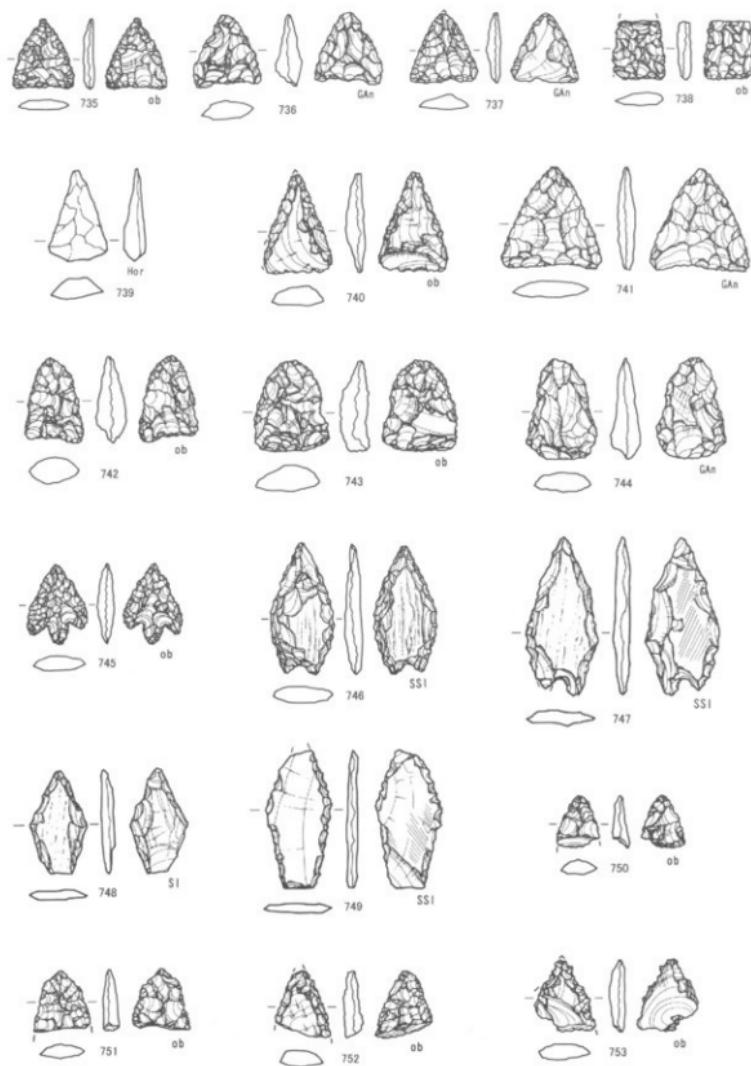
第109図 繩文時代石器分布図 (1/1000)



第110図 石鱗(1)

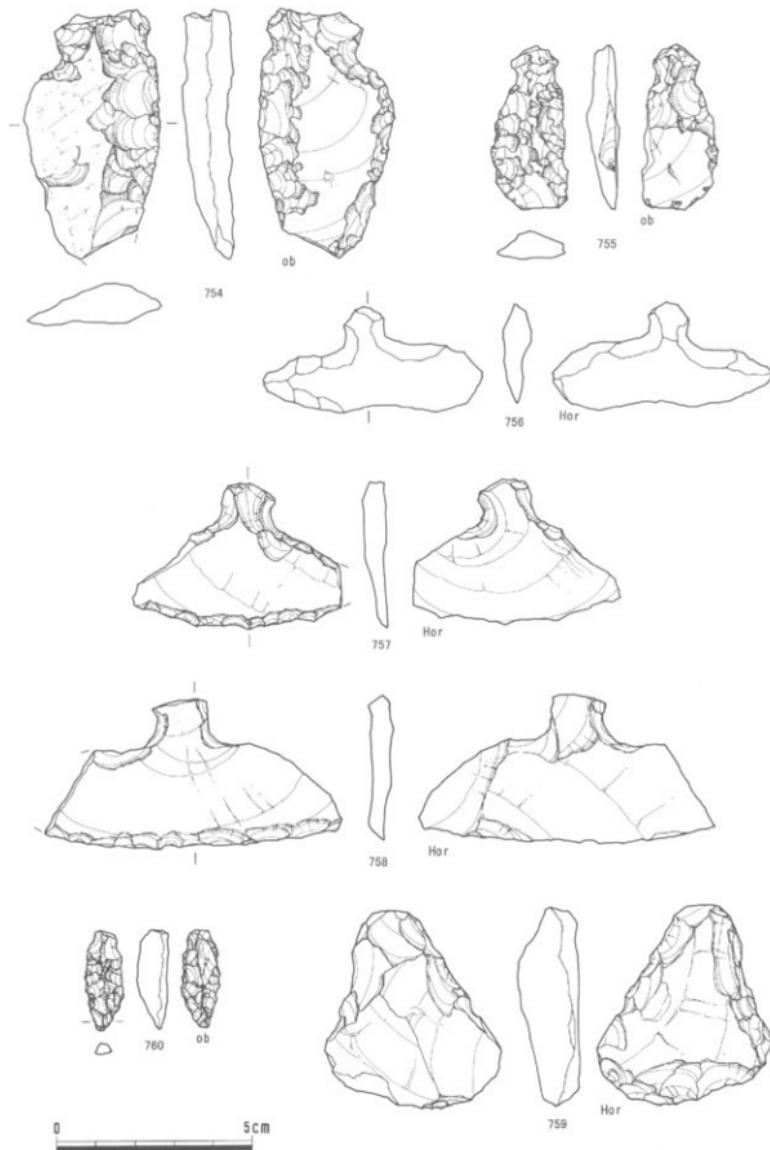


第111図 石猿(2)

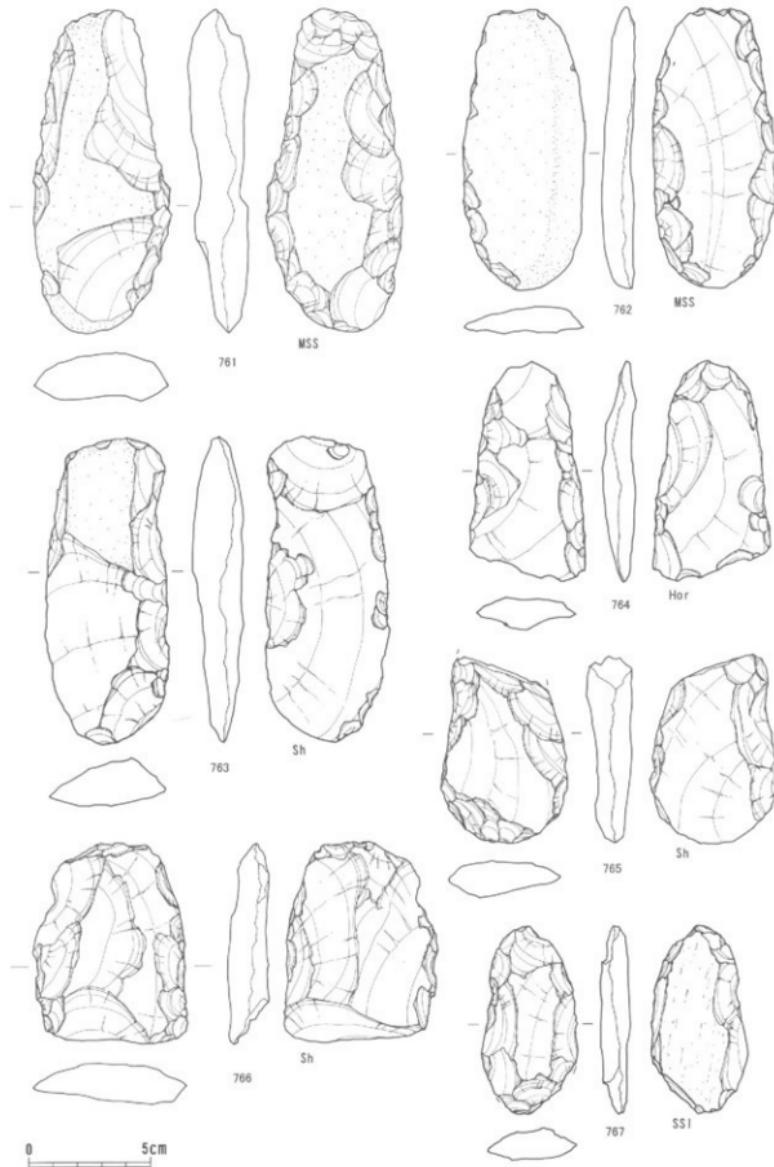


0 5cm

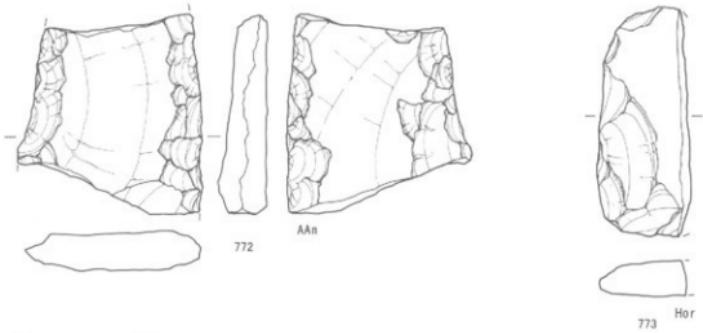
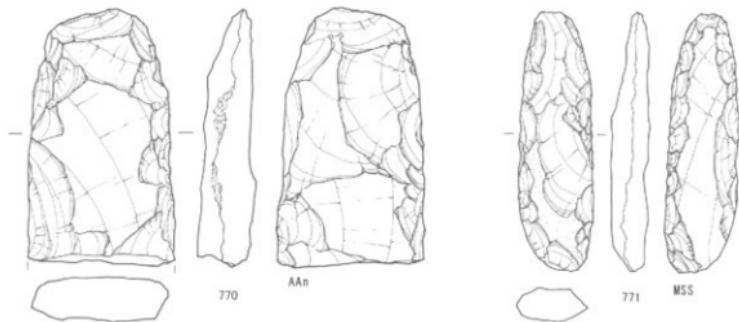
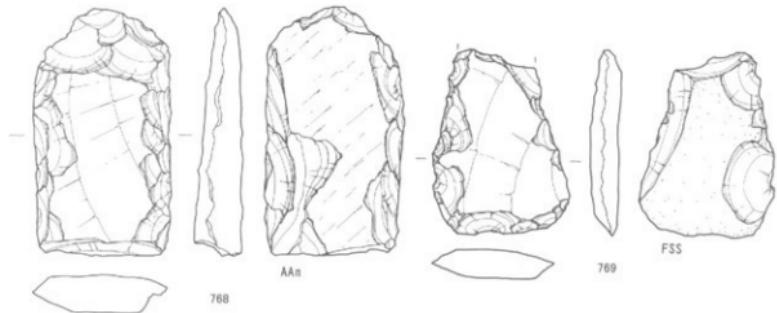
第112図 石器(3)



第113図 石七

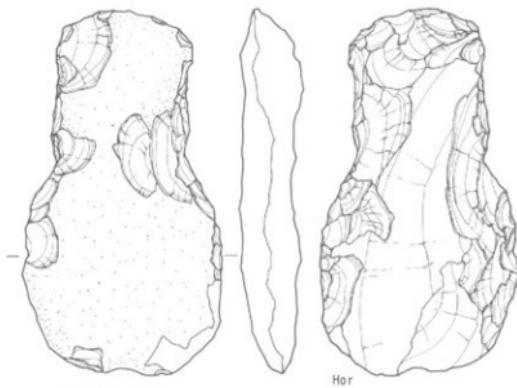


第114図 石斧(1)

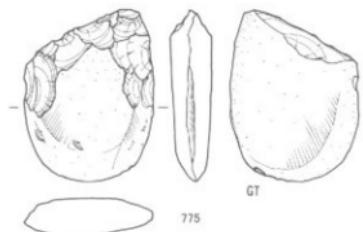


0 5cm

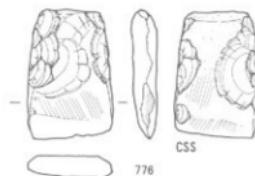
第115図 石斧(2)



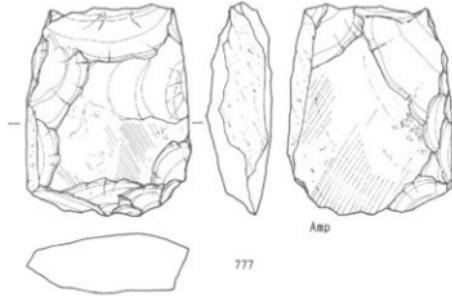
774



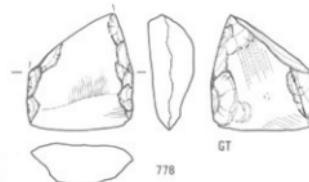
775



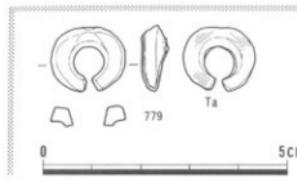
776



777



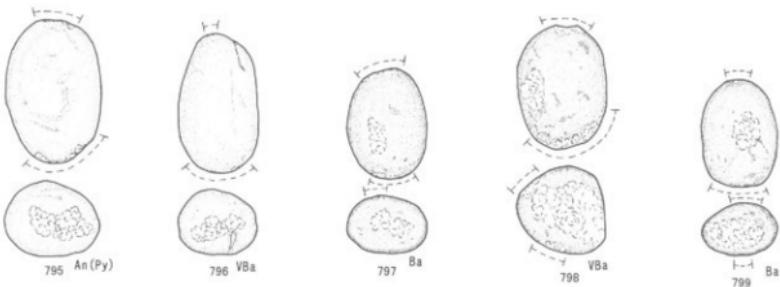
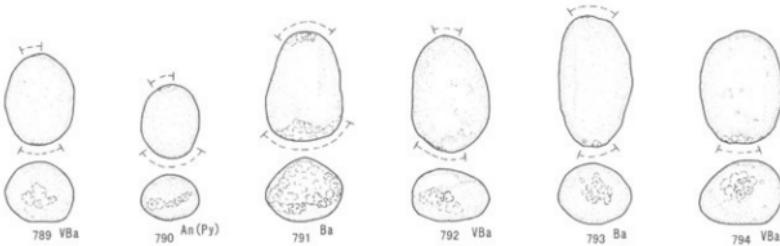
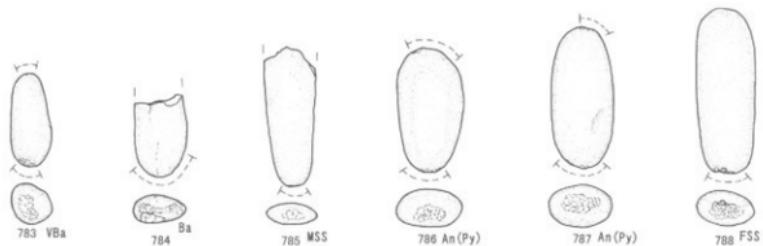
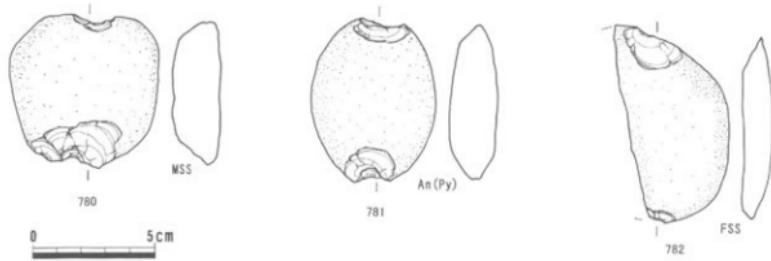
778



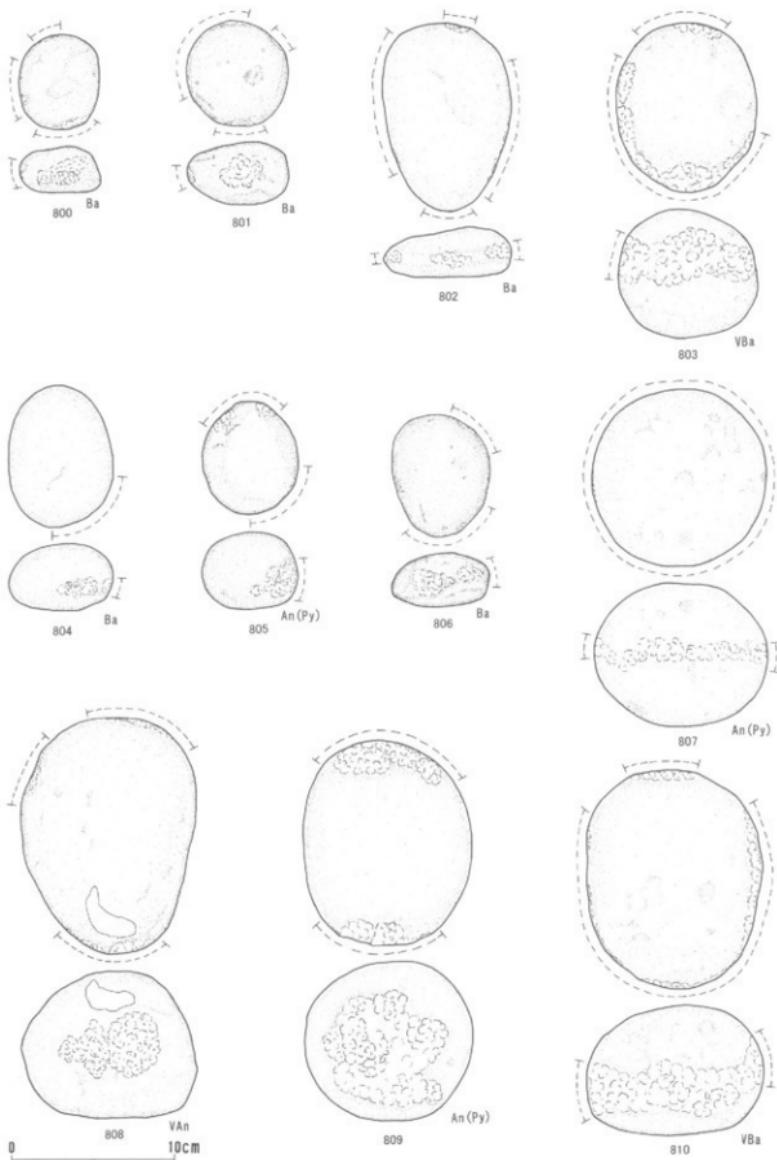
779



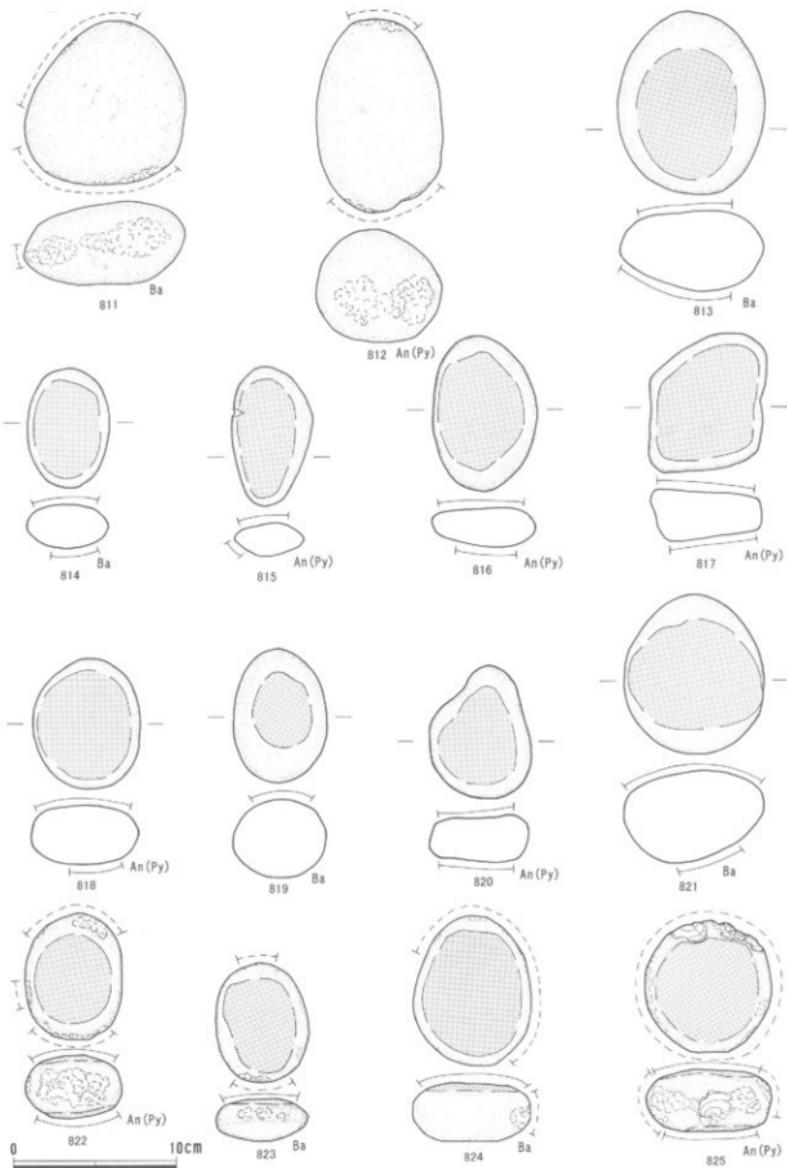
第116図 石斧・装飾品



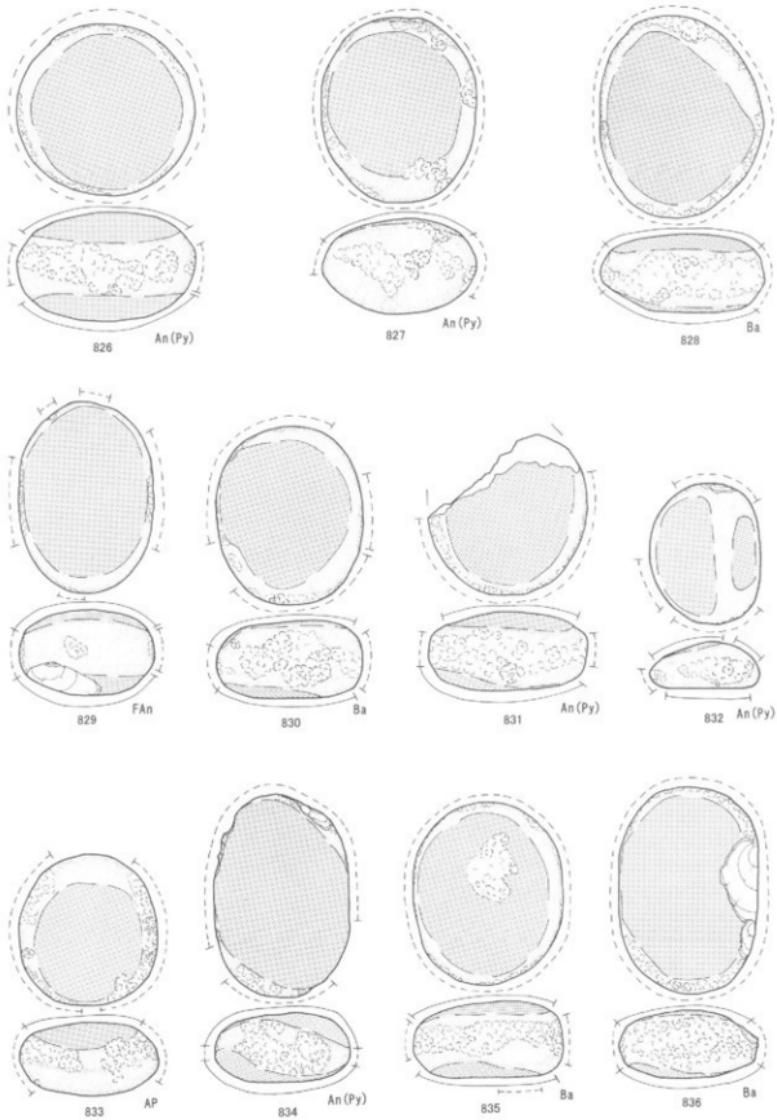
第117図 石錘・敲石



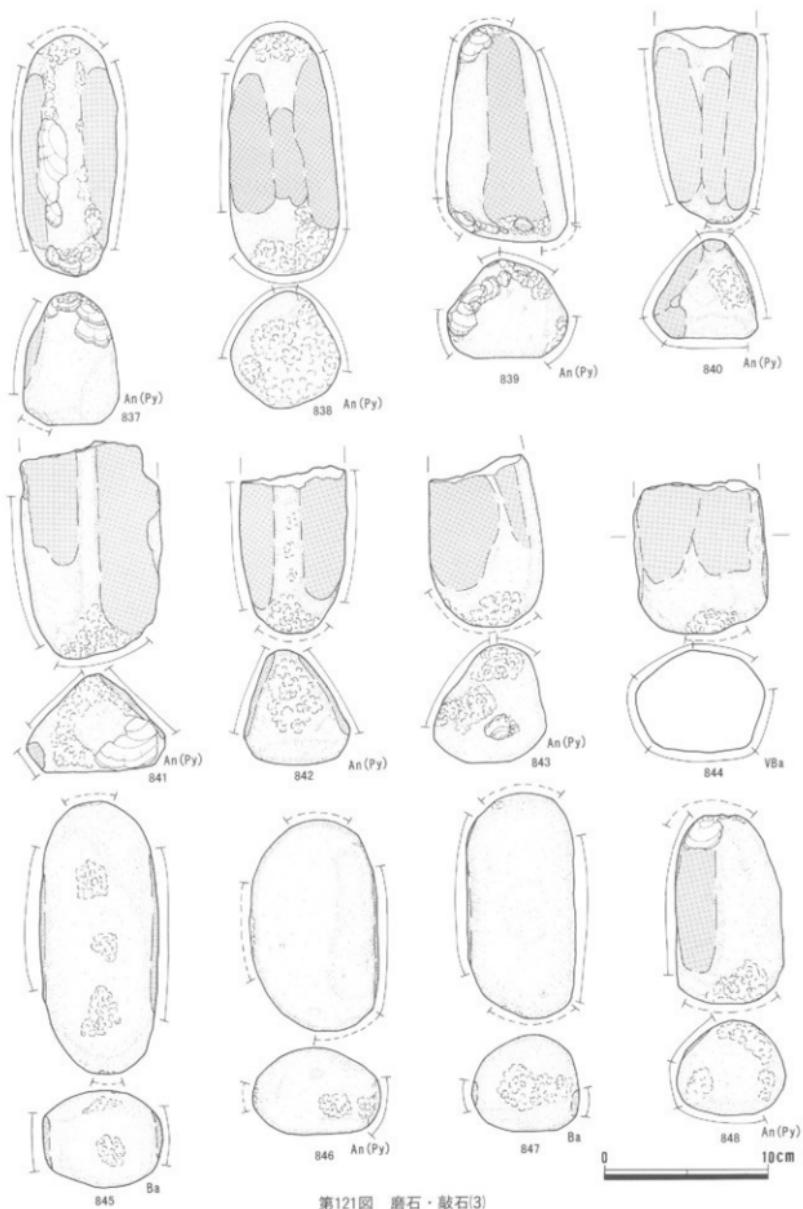
第118図 駆石



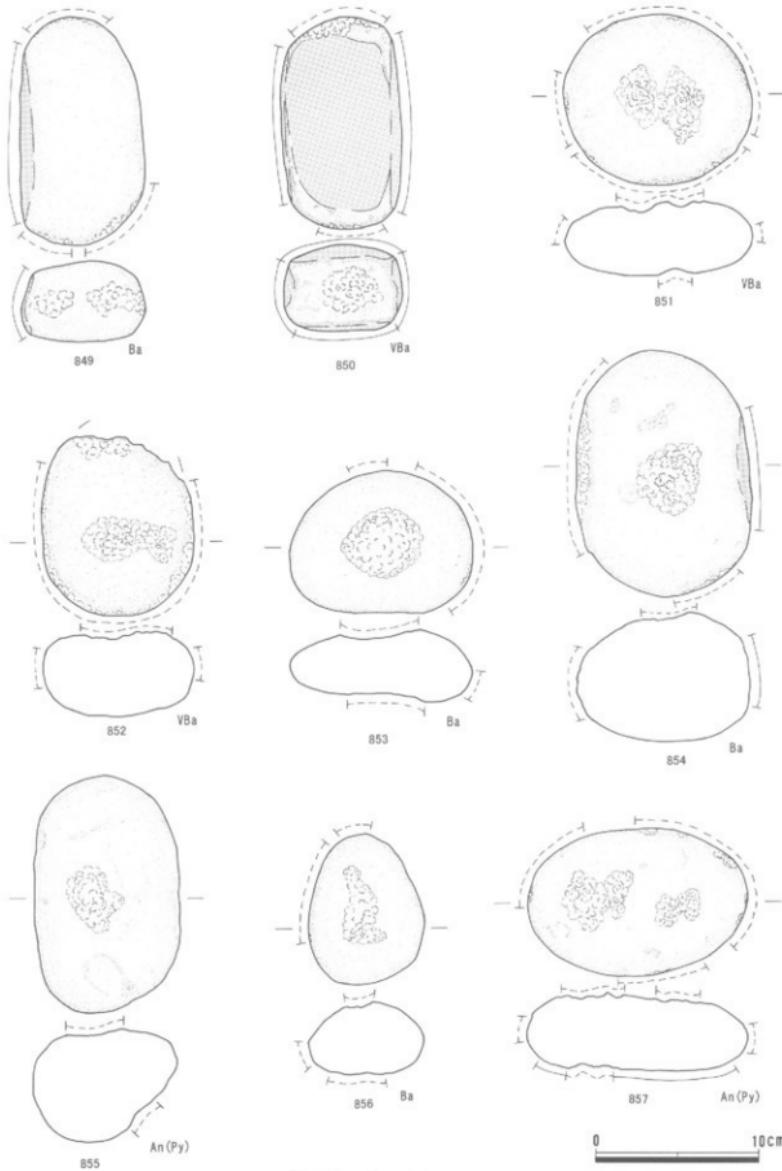
第119図 磨石・敲石(1)



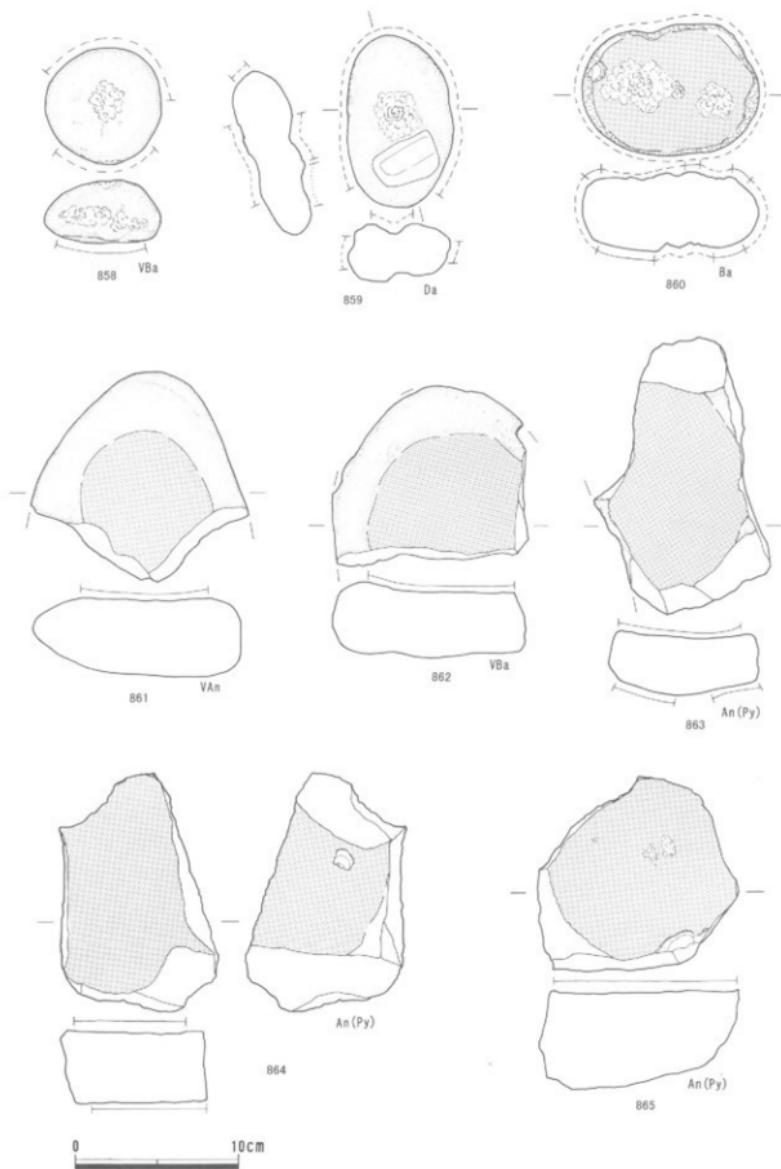
第120図 研石・敲石(2)



第121図 磨石・敲石(3)



第122図 磨石・敲石・凹石



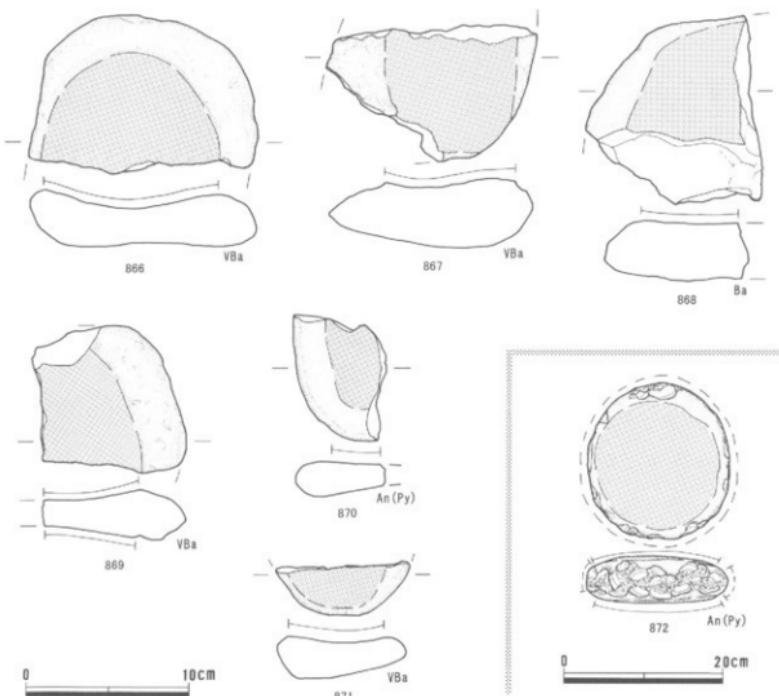
第123図 磨石・破石・凹石・石皿

が該当する。これらは、縁辺部や平坦面に打痕や磨痕が観察されるものが多く、複合石器となっている。特に859には、柄状の研ぎ痕が観察される。

<E類>

石皿である。861～871が該当する。大型の板状の礫を用いて平坦面に磨痕があるもので、全点が欠損品である。866～871のように磨面が凹面となるものと864、865のように平坦なものがある。

以上A～E類に含まれないものとして872がある。磨石と敲石の複合石器であるが、C類に挙げたものより大型で、重さは3kg以上ある。周縁部に打痕はあるものの、持ち上げて使用するには重過ぎて、その使用方法が不明のものである。

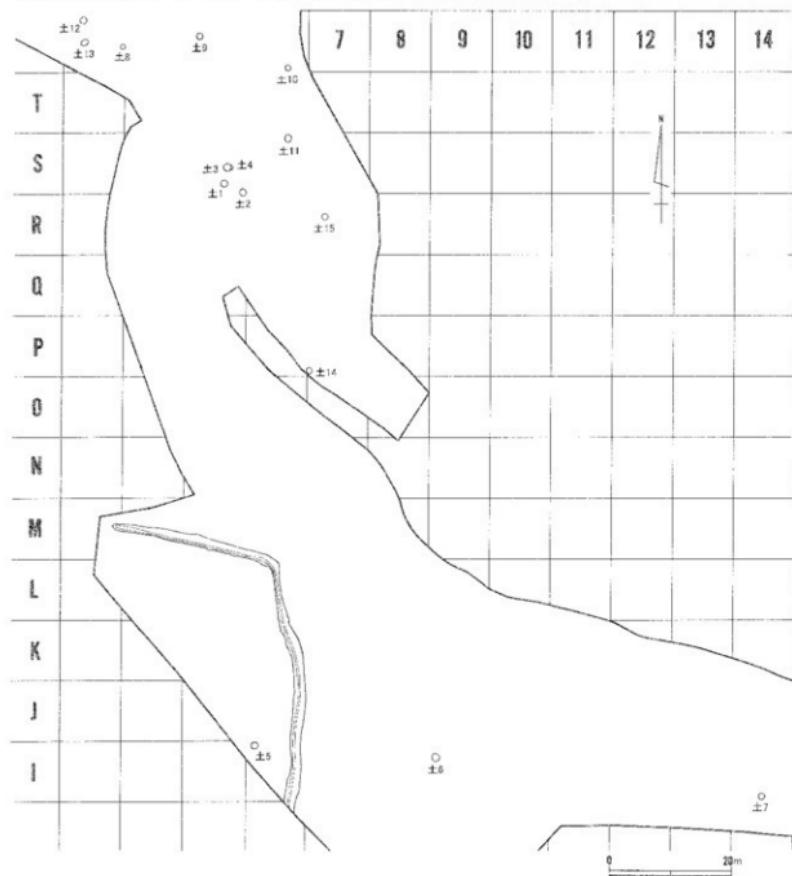


第124図 磨石・敲石・石皿

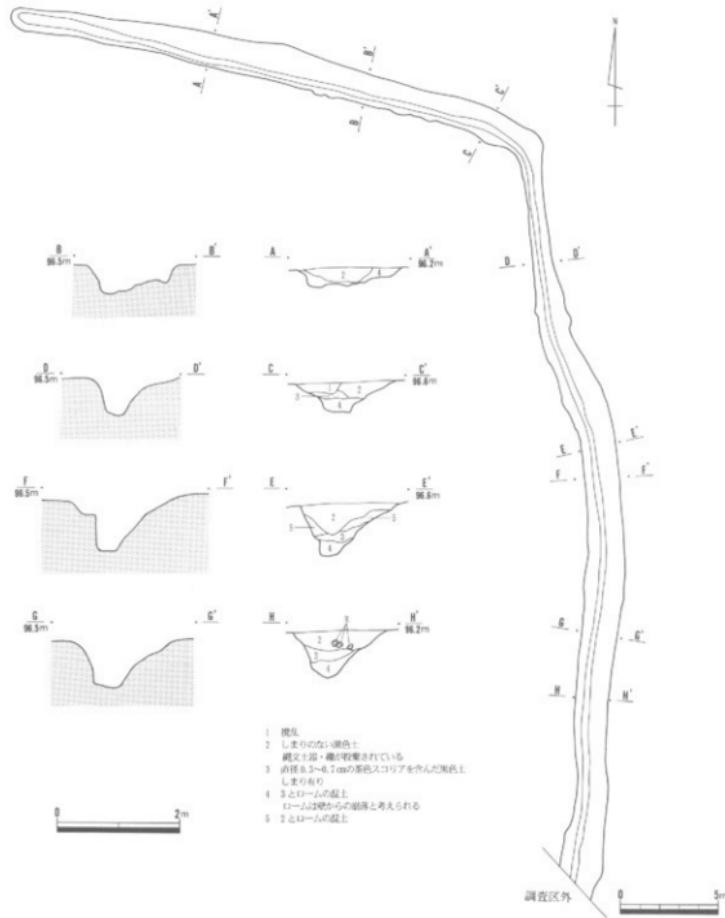
第VI章 その他の時代の遺構

正確な時期は不明であるが、溝状遺構と土坑が検出された。溝状遺構は、断面が台形で平面形がL字状のものである。遺物の出土が無いため時期の判断は不可能であるが、覆土上層の黒色土はしまりが少なく、円形土坑のものと類似する。覆土中に含まれる礫は縄文時代のものと考えられ、掘削土や隙から流れ込みと考えられる。

円形土坑は15基が検出された。平面形は直径約1~1.2mの正円を呈し、深さは0.05~0.46mである。これらは斜面地に立地し、群を成すことが多い。中世以降の墓壙とする意見が多いが、遺物等が検出されることが極めて少ないため、時期やその性格については不明の点が多い。



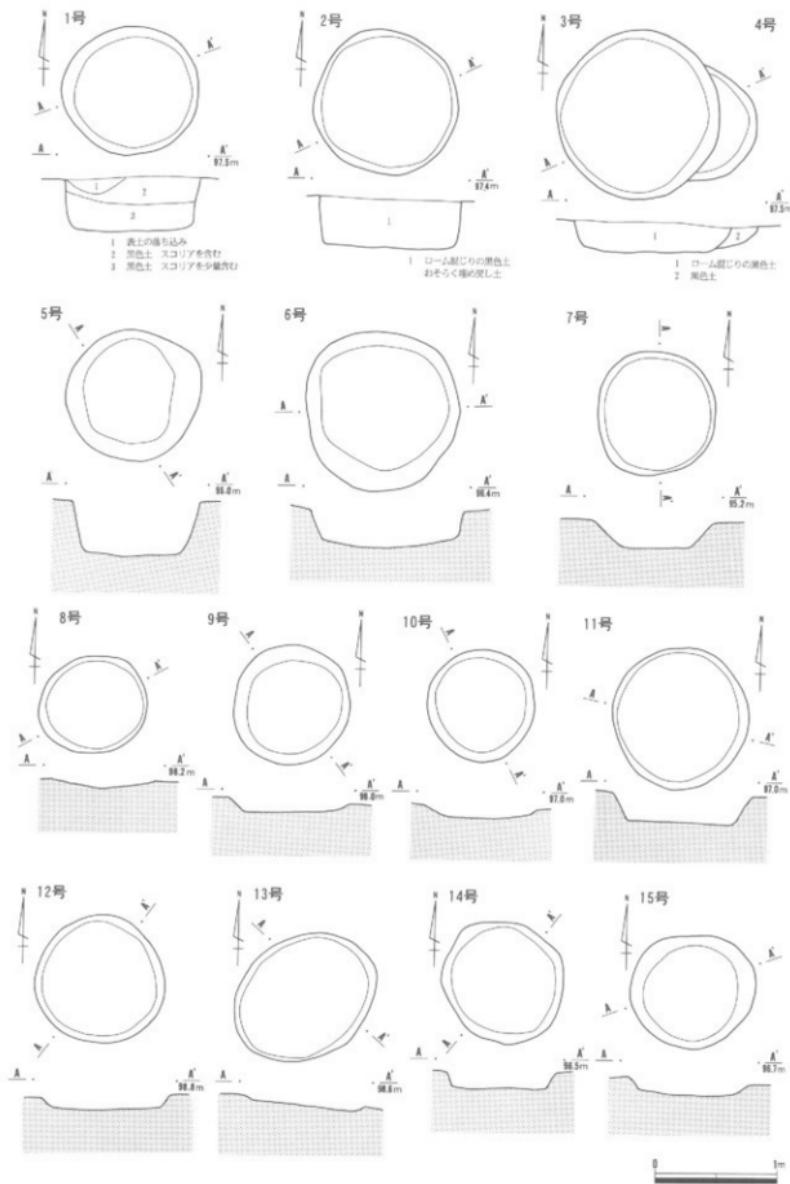
第125図 中・近世遺構分布図 (1/800)



第126図 溝状遺構平面・断面図

表14 中・近世土坑計測表

土坑番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土坑番号	長径(m)	短径(m)	深さ(m)
1号	1.12	1.04	0.44	9号	0.98	0.94	0.11
2号	1.22	1.16	0.40	10号	0.92	0.88	0.08
3号	(0.96)	(0.30)	(0.14)	11号	1.16	1.12	0.23
4号	1.38	1.34	0.24	12号	1.06	1.04	0.10
5号	1.14	1.08	0.46	13号	1.22	1.00	0.05
6号	1.30	1.24	0.30	14号	1.08	0.88	0.13
7号	1.02	0.96	0.22	15号	1.04	0.94	0.12
8号	0.90	0.80	0.07				



第127図 中・近世土坑平面・断面図

第VII章 調査の成果

1 旧石器時代

第Ⅲ黒色帯において検出された土坑は、箱根西麓の初音ヶ原遺跡を始めとして、現在百基以上が確認されている。当初、箱根山麓にのみ広がる十坑群として認識されてきたが、平成10年に当遺跡、続いて長泉町細尾遺跡、向田八遺跡、富士石遺跡などで相次いで土坑が発見され、さらに平成13年には第二東名N27地点遺跡（沼津市西野）で10基が検出された。このことによって土坑群が箱根西麓から愛鷹山南麓にわたって広範囲に分布していることが明らかになった。これらは列状に並んで検出されている例が多く、推定復元深度は1.5mを越す。また覆土は自然埋没土と考えられており、第Ⅱスコリア層が埋没の最終段階に穴をバックしている。これらのことから機能的には貯穴説が有力である。また、各土坑間には切合い関係を持つものではなく、この前後する時期には同形態の遺構は確認されていない。短期間に、この愛鷹箱根山麓に展開した文化と考えることができよう。土坑が構築された第Ⅲ黒色帯の年代は、放射性炭素年代測定から約27,000年前と考えられており、後期旧石器時代の前半にあたる。この時期に構築された遺構群としては世界的にも類がなく、地域性としても大変注目されるものである。

休場層上位では、槍先形尖頭器の文化層が確認された。これは畠宿産黒耀石を使った尖頭器の製作跡で、同一の母岩より中型と小型の尖頭器を作り出している。遺物は2ブロックに分かれており、1号ブロックは石器製作跡としてとらえることができる。2号ブロックは疊群を中心に尖頭器が点々と分布しており、剥片、碎片等は殆ど含まれない。HNHJ1の個体で作成された尖頭器も含まれており、出土した尖頭器が全て欠損品であることから、保持している石器の補充あるいは入れ替えがおこなわれた場所と考えることもできる。両ブロックで出土している尖頭器は、HNHJ1の個体が10点、その他の個体が14点であるが、HNHJ1以外のものは、一母岩一個体で、明らかに搬入品としてとらえることができる。HNHJ1の個体は、出土した剥片に原礫面を残すものがあり、残核も検出された。剥片剥離の早い段階から、当遺跡に持ち込まれていると考えられるが、接合資料が少なく、大型の剥片は残されていない。一定以上の大きさの剥片が遺跡外に持ち出されたことを示す。

尖頭器は押圧剥離の痕跡はなく、直接打撃によるものと考えられる。この点で草創期のものとは大きく異なる。小型の尖頭器に関しては、素材剥片の剥離面を残して、縁辺部や基部・先端部に調整を施すものが多い。尖頭器とともに出土したナイフ形石器は、石刃を用いることなく不定形な剥片を素材として用いており、刃部が基部に向向する傾向がある。これらのことから、当文化層の編年的位置は、愛鷹・箱根縄年第4期C段階と捉えることができる。沼津市清水柳北遺跡東尾根や長泉町八分半B遺跡と同時期のものと考えられる。

2 織文時代

草創期の遺物として有舌尖頭器と尖頭器が出土した。有舌尖頭器はS5グリッドを中心に出土しており、残存状況が良好なもの（風化によって外形が変形しているものを除く）は全て明確な返刺を持つ。また、池田B遺跡も含めて、有舌尖頭器の中でも後半期のものに位置付けられる。尖頭器は神津島産の黒耀石を用いた、身の厚い大型のものが出土している。これは池田B遺跡で出土しているものと類似しており、草創期押圧織文系の土器に共伴すると考えられているものである。本遺跡も池田B遺跡も草創期の上器は出土していない。

早期末～前期初頭の住居跡は、尾根の頂部で検出されている。これらは、土器分類IV群a類とIV群c類に属するものとに分けることができる。北側に位置するIV群a類のグループ（Aグループ）は5基の

住居からなる。切り合い関係や、遺物の廃棄のパターンが見られることから住居2～3基のグループであったと考えられる。個々の住居の時間的前後関係は上器型式からは判断できない。遺構内からの遺物出土は少ないが遺構周辺の包含層からは、IV群a類の土器とともにⅢ群a類土器が出土している。これは沈線文を施さない段階の下吉井式土器である。一方南側の住居跡のグループ（Bグループ）は、6、7号の2基の住居と約50m離れて10号住居が存在する。10号住居からの遺物出土はほとんどないが、6、7号住居からはIV群c類土器が出土した。包含層の資料は、10号住居の検出地も含めてIV群c類土器が分布する。条痕文系の土器はほとんど出土していない。

これらの遺物分布のあり方は、池谷氏の木島式上器の編年案（池谷1985）を用い、北側のAグループを第I段階、南側のBグループを第II段階として、時期差のある集落が2ヵ所で検出されたと考えると理解しやすい。同期の遺構は、当遺跡の北側、池田B遺跡において住居跡が10基検出されている。これらの住居跡からは木島式土器はほとんど検出されず、下吉井式土器が主体となった。これらは、隆帯とともに波状や渦巻状の沈線が施されるもので、Ⅲ群a類土器より新しいものと考えられる。上器型式とともにこの尾根上の集落の移り変わりを考えると、鉄平Aグループ→池田B遺跡→鉄平Bグループという変遷が考えられる。これは、渋谷氏の編年観（渋谷1994）によるとほぼ連続したものとなる。しかし、それぞれが持つ土器は、木島→下吉井→下吉井→木島と、関東の隆帯文系の上器と東海系の上器を入れ替わる様に現れる。箱根・愛鷹山麓においては、土器を製作した痕跡は未だ確認されておらず、粘土の特性から土器製作は行われていなかったとする意見もある（瀬川2000）。いずれにしても鉄平遺跡においては、狭い意味では木島式土器も下吉井式土器も搬入品である。限られた空間で、それも比較的短いと思われる時間軸の中で現れる土器消費地のこのような現象が、集団の移動の結果なのか、土器のみの移動の結果なのか、狩猟採集民の領域を考える上でも非常に興味深い。

＜参考文献＞

- 平川昭夫 1981「八分平B・富士石遺跡」長泉町教育委員会
池谷信之 1985「平沼吹上遺跡発掘調査報告書」沼津市教育委員会
渋谷昌彦 1994「上器型式より見た縄文早期と前期との境について
　—関東・中部・東海地方からの検討—」『早期終末・前期初頭の諸様相』
　　縄文セミナーの会
鈴木敏中 1999「初音ヶ原遺跡」三島市教育委員会
瀬川裕市郎・増島 淳 2000『螢光X線による縄文土器の胎土分析とその統計処理および解釈』
　　沼津市博物館紀要24

＜謝辞＞

本書をまとめるにあたり、以下の方々にご助言、ご教授を賜った。最後になったが心より感謝申し上げる。（順不同、敬称略）

池谷 信之、渋谷 昌彦、廣瀬 高文、守屋 豊人

附表1 古石器時代の石器一覧表

文化層	国名	遺物	出土 場所	石種	個体名	産地	縦長 (mm)	横幅 (mm)	厚 (mm)	重 (g)	文様	文様	文様
B	1	6569	BR2	ガラス質黒色変山石	ブレイク		6.44	3.85	1.12	29.5	-94280_360	35929_189	94.761
B	2	6958	BR2	ガルバニカル	ブレイク		3.53	3.53	0.92	12	-94247_292	35919_472	94.890
B	3	332	BR2	ガラス質黒色安山岩	石核		7.80	11.0	7.15	638.7	-94192_563	35861_078	92.126
B	4	3090	BR2	ガルバニカル	ナイフ		4.29	1.78	0.69	1.23	-94269_128	35913_716	91.975
B	5	2616	X3	黒曜石	ナイフ		2.03	1.48	0.89	1.23	-94181_415	35848_422	98.454
B	6	3986	BR2	ガラス質黒色変山石	ブレイク		6.14	3.45	1.52	24.7	-94240_421	35911_429	95.128
B	7	4023	BR2	黒曜石山石	石核		13.60	7.70	3.50	349	-94211_454	35944_853	94.932
B	8	1270	BR2	黒曜石山石	石核		20.26	27.65	7.00	8000	-94212_371	35843_456	94.945
B	9	362	BR2	黒曜石	ナイフ		2.70	1.50	0.82	1.1	-94113_681	35914_315	91.945
B	9	363	BR2	黒曜石	ブレイク(複合)	AGK10	2.70	1.50	0.52	1.2	-94112_999	35914_284	94.966
B	10	8334	BR2	黒曜石	ブレイク(複合)	AGK10	2.10	1.50	0.52	1.2	-94211_918	35963_047	98.628
B	10	8336	BR2	黒曜石	ブレイク(複合)	AGK10	1.80	1.50	0.52	1	-94211_918	35963_047	98.628
B	11a	9305	BR2	朱墨石	ブレイク(複合)	AGK12	2.35	2.00	1.05	10.5	-94210_299	35865_912	96.628
B	11b	9306	BR2	朱墨石	ブレイク(複合)	AGK12	1.75	2.00	1.73	6	-94210_376	35865_508	95.752
B	11c	8332	BR2	朱墨石	ブレイク(複合)	AGK12	1.80	2.00	0.67	2	-94209_928	35865_663	98.763
B	11d	8354	BR2	朱墨石	ブレイク(複合)	AGK12	1.40	2.00	0.68	1	-94209_771	35866_153	93.663
B	12	8922	BR2	朱墨石	ブレイク(複合)	AGK12	1.90	1.50	0.48	2	-94209_596	35865_329	95.656
B	12	4153	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94207_482	35912_592	96.521
B	13	6932	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94211_178	35898_349	96.598
B	14	8351	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94211_178	35898_349	96.598
B	15	2108	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94211_178	35898_349	96.598
B	16	7624	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94211_178	35898_349	96.598
B	17	2457	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94211_178	35898_349	96.598
B	18	2458	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94211_178	35898_349	96.598
B	19	3106	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94211_178	35898_349	96.598
B	20	1877	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94211_178	35898_349	96.598
B	21	29	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	22	1473	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	23	3947	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	24	3484	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	25	1020	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	26	3129	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	27	1755	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	28	1745	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	29	2456	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	30	1914	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	31	6848	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	32	1115	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	33	8567	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	35	4571	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	36	8445	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	37	2042	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	38	3669	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	39	2159	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	40	4650	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	41	4750	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	42	8273	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	43	1860	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	44	3624	Z3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	45	8314	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	46	584	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	47	5872	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	48	464	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	49	3599	FB	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	50	4371	FB	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	51	3478	FB	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	52	2160	FB	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	53	2706	FB	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	54	2962	FB	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	55	8106	LL	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	56	2453	LL	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	57	3294	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	58	4094	FB	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	59	8323	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	60	8118	FB	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	61	2010	FB	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	62	8112	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	63	6977	FB	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	64	8326	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	65	6957	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	66	342	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	67	8280	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	68	8195	Y3	朱墨石	ナイフ		5.00	4.00	0.60	1.2	-94212_823	35864_385	98.558
B	69	8217	Y3	朱墨石	ブレイク	AGK11	3.20	3.25	0.88	6.5	-94210_301	35865_993	98.493
B	70	8198	Y3	朱墨石	チップ	BRU11	1.65	1.30	0.28	0.3	-94210_717	35865_693	98.536
B	71	8318	Y3	朱墨石	ブレイク(複合)	BRU11	1.90	1.55	0.52	1.1	-94209_805	35868_216	98.586
B	72	7565	FB	朱墨石	ブレイク(複合)	BRU11	2.65	1.45	0.38	1.5	-94209_542	36087_602	98.526
B	73	3601	FB	朱墨石	挫形石器	AGK11	1.70	1.70	0.65	1.5	-94213_419	35914_361	95.373
B	74	8196	FB	朱墨石	石核	BRU11	4.94	5.58	3.46	63	-94210_946	35887_149	98.504
B	75	621	FB	朱墨石	石核	BRU11	3.20	3.25	0.88	6.5	-94210_301	35865_258	97.090

文化層	図版 番号	出土 位置	石材	偏体名	原产地/ 製作所	縦長 (mm)	横 (mm)	厚 (mm)	直 (mm)	X座標	Y座標	Z座標	IP種
V1	75	7313	IP	墨縞石	K2092	2.23	0.62	0.22	0.2	-94300.847	35917.224	96.246	
V1	76	3641	IP	墨縞石	K2091	1.06	0.72	0.22	0.1	-94251.280	35898.279	96.709	
V1	27	4260	IP	墨縞石	-	1.00	0.56	0.18	0.1	-94211.574	35890.707	96.953	
V1	284	IP	ガラス質黒色岩山石	フレイク	-	2.89	1.65	0.63	1.4	-91252.082	35920.377	94.848	
V1	285	IP	ホルンブルース	フレイク	-	4.40	2.93	1.13	6.4	-94250.987	35922.374	94.644	
V1	2827	IP	ホルンブルース	チップ	-	-	-	-	0.7	-94191.962	35922.926	96.203	
V1	6887	IP	墨縞石	フレイク	AGKT	2.30	2.76	1.41	5.2	-94201.713	35906.906	95.381	
V1	6893	IP	墨縞石	チップ	AGKT	-	-	-	0.5	-94286.309	35924.562	94.690	
V1	6903	IP	ホルンブルース	チップ	-	-	-	-	0.9	-94280.515	35920.244	94.696	
V1	6961	IP	ホルンブルース	フレイク	-	5.24	3.69	1.56	28.6	-94249.989	35923.628	94.515	
V1	329	IP	墨縞石	フレイク	AGKT	2.80	2.60	0.98	4.9	-94167.071	35874.608	98.351	
V1	364	IP	墨縞石	フレイク	SHD12	2.00	2.95	0.58	2.5	-94212.717	35849.489	95.141	
V1	365	IP	ホルンブルース	フレイク	-	3.50	2.20	1.12	6.6	-94212.351	35815.167	94.929	
V1	366	IP	墨縞石	チップ	-	-	-	-	0.1	-94212.733	35815.396	95.126	
V1	367	IP	墨縞石	フレイク	SHD14	2.05	1.30	0.85	1	-94213.209	35816.489	94.915	
V1	368	IP	墨縞石	チップ	AGKT	1.35	0.75	0.36	0.36	-94212.733	35815.396	94.916	
V1	369	IP	墨縞石	フレイク	SHD16	2.00	1.65	0.59	1	-94211.603	35815.203	96.079	
V1	2074	IP	ガラス質黒色岩山石	フレイク	-	3.90	2.85	0.69	6	-94182.699	35838.347	99.196	
V1	3087	IP	ホルンブルース	フレイク	-	2.85	3.60	1.23	11.6	-94211.034	35812.363	95.059	
V1	3088	IP	ホルンブルース	フレイク	-	1.60	2.23	1.00	2.8	-94211.259	35813.378	93.642	
V1	3089	IP	ホルンブルース	フレイク	-	5.28	2.49	1.67	20.2	-94211.286	35813.692	95.059	
V1	3090	IP	ホルンブルース	フレイク	-	1.80	3.00	0.89	5.2	-94210.694	35814.077	96.018	
V1	3091	IP	ホルンブルース	フレイク	-	4.05	3.70	1.22	19.1	-94210.557	35814.062	94.990	
V1	3092	IP	ホルンブルース	フレイク	-	6.24	3.88	2.89	81.8	-94210.075	35813.867	96.059	
V1	3093	IP	ホルンブルース	チップ	-	1.70	1.55	0.45	1.3	-94210.376	35814.196	94.962	
V1	3094	IP	ホルンブルース	フレイク	-	4.50	4.60	1.15	23.6	-94210.822	35814.462	94.952	
V1	3095	IP	ホルンブルース	フレイク	-	2.30	3.49	0.73	1.4	-94211.473	35814.782	94.991	
V1	3097	IP	ホルンブルース	フレイク	-	2.50	1.50	0.95	5	-94209.856	35813.653	94.984	
V1	3098	IP	墨縞石	フレイク	SHD14	1.90	1.10	0.71	0.9	-94210.371	35813.328	94.972	
V1	3099	IP	墨縞石	フレイク	SHD14	2.20	1.20	0.51	0.9	-94209.326	35814.144	94.980	
V1	4023	IP	墨縞石	フレイク	SHD13	1.70	1.80	0.65	1.5	-94211.311	35813.011	96.116	
V1	4024	IP	墨縞石	チップ	SHD15	3.10	1.70	0.72	3	-94211.069	35813.374	95.117	
V1	4026	IP	墨縞石	チップ	SHD13	1.40	0.80	0.58	0.4	-94211.699	35814.312	96.011	
V1	4027	IP	墨縞石	チップ	SHD15	5.70	1.15	1.05	3.6	-94210.023	35813.498	95.032	
V1	4028	IP	墨縞石	チップ	AGKT11	-	-	-	0.1	-94212.200	35815.547	94.894	
V1	4029	IP	墨縞石	フレイク	SHD14	2.05	1.71	0.79	3.3	-94211.404	35814.982	95.052	
V1	4421	IP	ホルンブルース	フレイク	-	1.90	3.60	0.85	3.5	-94210.564	35814.658	94.965	
V1	5338	IP	墨縞石	チップ	AGKT10	1.50	1.90	0.45	0.4	-94212.011	35883.321	95.686	
V1	5339	IP	墨縞石	パワーダー	AGKT10	-	-	-	-	-94211.966	35894.116	93.455	
V1	5340	IP	墨縞石	フレイク	-	5.80	3.05	1.76	18.4	-94211.466	35861.280	93.660	
V1	5341	IP	墨縞石	フレイク	AGKT1	3.00	2.70	1.40	8	-94211.776	35894.747	95.610	
V1	5342	IP	墨縞石	フレイク	AGKT4	1.90	2.60	0.92	1.6	-94213.597	35887.066	95.376	
V1	5343	IP	墨縞石	フレイク	-	2.63	2.15	1.28	5.2	-94213.196	35889.223	95.762	
V1	5344	IP	墨縞石	パワーダー	AGKT6	-	-	-	-	-94212.301	35880.762	95.621	
V1	5345	IP	ホルンブルース	チップ	-	1.50	0.90	0.70	0.7	-94212.193	35886.972	95.531	
V1	5346	IP	墨縞石	チップ	AGKT7	-	-	-	0.1	-94211.644	35889.494	95.476	
V1	5347	IP	墨縞石	チップ	AGKT9	1.40	0.70	0.36	0.2	-94211.675	35889.286	95.584	
V1	5348	IP	墨縞石	フレイク	AGKT3	2.80	2.90	0.86	7.5	-94212.162	35887.547	95.369	
V1	5349	IP	ホルンブルース	フレイク	-	5.40	2.70	1.78	22.4	-94211.543	35887.441	93.455	
V1	5350	IP	墨縞石	フレイク	AGKT4	2.30	2.00	0.44	1.5	-94210.075	35886.825	93.861	
V1	5351	IP	墨縞石	フレイク	AGKT6	1.30	2.60	0.53	1.8	-94210.194	35886.028	96.919	
V1	5352	IP	墨縞石	オブジェ	-	1.15	1.50	0.82	1.1	-94209.492	35887.839	95.464	
V1	5353	IP	墨縞石	チップ	AGKT2	1.20	2.10	0.65	1.1	-94210.189	35889.769	95.581	
V1	5354	IP	墨縞石	フレイク	AGKT1	1.40	3.36	0.94	2.2	-94210.941	35894.324	95.689	
V1	5355	IP	墨縞石	チップ	AGKT11	-	-	-	0.1	-94120.952	35894.742	95.416	
V1	5373	IP	墨縞石	フレイク	AGKT3	2.35	1.90	0.76	2.7	-94210.710	35885.305	95.681	
V1	5374	IP	墨縞石	チップ	AGKT2	-	-	-	0.1	-94210.067	35885.317	95.455	
V1	5375	IP	ホルンブルース	フレイク	-	5.60	3.63	1.23	17.5	-94210.066	35894.848	95.696	
V1	5376	IP	墨縞石	チップ	-	-	-	-	-	-94210.033	35895.609	95.630	
V1	5377	IP	墨縞石	パワーダー	-	-	-	-	0.9	-94209.549	35896.125	95.709	
V1	5378	IP	ホルンブルース	フレイク	-	-	-	-	-	-94209.649	35895.452	95.741	
V1	5379	IP	ホルンブルース	フレイク	AGKT2	6.50	2.50	1.25	0.1	-94209.991	35895.179	95.702	
V1	5380	IP	墨縞石	チップ	AGKT2	-	-	-	0.1	-94209.347	35895.548	95.827	
V1	5381	IP	ホルンブルース	フレイク	-	5.60	1.90	1.16	8.6	-94209.347	35895.548	95.827	
V1	5383	IP	ホルンブルース	フレイク	-	8.35	4.50	1.76	50.5	-94210.125	35893.823	95.755	
V1	5386	IP	墨縞石	チップ	AGKT7	-	-	-	0.1	-94210.533	35896.531	95.748	
V1	5397	IP	墨縞石	フレイク	SHD17	2.20	2.90	1.05	6	-94210.823	35896.076	95.642	
V1	8358	IP	墨縞石	チップ	AGKT6	1.10	1.00	0.52	0.3	-94205.972	35896.652	95.888	
V1	8359	IP	墨縞石	フレイク	AGKT6	2.30	1.50	0.45	1.1	-94204.073	35898.833	95.791	
V1	8360	IP	ホルンブルース	フレイク	SHD2	5.20	2.10	1.06	14.8	-94214.454	35891.168	95.590	
V1	8393	IP	墨縞石	パワーダー	-	-	-	-	0.1	-94209.945	35895.747	95.730	
V1	8394	IP	墨縞石	チップ	AGKT2	1.30	0.90	0.34	0.3	-94210.052	35895.825	95.734	
V1	341	YL	ホルンブルース	チップ	-	-	-	-	1.2	-94213.897	35913.652	95.299	
V1	343	YL	墨縞石	チップ	AGKT15	0.95	0.80	0.52	0.4	-94213.168	35914.594	95.290	
V1	344	YL	墨縞石	フレイク	AGKT2	2.80	3.00	0.84	3.2	-94191.869	35901.742	95.975	
V1	1429	YL	ホルンブルース	フレイク	-	2.20	2.40	0.95	7.3	-94303.784	35979.676	94.734	
V1	7065	YL	ホルンブルース	フレイク	-	5.25	3.00	1.53	18.9	-94211.929	35899.234	96.288	
V1	7067	YL	後賀賀原冠形壺	フレイク	-	2.70	2.60	1.39	6.6	-94215.525	35897.308	96.792	
V1	7068	YL	墨縞石	チップ	E2093	-	-	-	0.1	-94215.750	35898.278	95.425	
V1	7011	YL	ガラス質黒色岩山石	フレイク	-	1.45	3.00	0.79	2.4	-94212.139	35894.506	96.339	
V1	7144	YL	墨縞石	パワーダー	E2093	-	-	-	-	-94209.680	35899.344	96.366	

文化層	図版 番号	出土 位置	石材	個体名	原産地/ 個体別	縦長 (mm)	横長 (mm)	厚 (mm)	重 (kg)	X座標	Y座標	Z座標
IV	8284	YLL	ホルンフェルス	フレイク	AGKT17	4,60	3,00	1,78	18.8	-94217,071	35904,743	95,911
IV	8521	YLL	黒曜石	チップ		-	-	0.4	94213,502	35903,926	96,312	
IV	8333	YLL	黒曜石	チップ	TS115	-	-	0.7	94211,554	35893,825	96,205	
V	730	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	1,50	1,90	0,63	1.	-94225,491	35895,992	96,287
V	321	YLL	黒曜石	フレイク	HSJ18	1,55	2,10	1,05	3.3	94192,390	35900,805	96,945
V	4787	FBL	黒曜石	フレイク	HSJ19	2,30	1,30	0,48	1	-94222,111	35886,979	96,718
V	6841	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	4,70	3,70	1,58	22.3	-94211,873	35889,609	96,532
V	6842	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	1,25	0,80	0,48	0.3	-94211,939	35889,712	96,554
V	6843	YLL	ガラス質黑色安山岩	フレイク		3,00	2,10	0,61	2.4	-94210,799	35886,355	96,636
V	6844	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	0,95	1,75	0,51	0.5	-94210,710	35890,853	96,612
V	6845	YLL	チャート	フレイク		2,90	1,10	0,34	0.8	-94211,876	35891,031	96,636
V	6846	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	1,80	1,60	0,38	0.7	-94210,777	35892,264	96,428
V	6848	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	1,80	1,35	0,27	0.6	-94211,116	35889,657	96,373
V	6849	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	-	-	-	0.2	-94211,340	35890,049	96,504
V	6850	YLL	黒曜石	チップ		-	-	-	0.1	-94212,892	35891,311	96,481
V	6851	YLL	黒曜石	チップ	TS115	0,85	1,70	0,89	0.6	-94212,243	35891,120	96,459
V	6852	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	0,85	1,20	0,35	0.2	-94211,660	35889,956	96,458
V	6853	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	1,50	2,00	0,83	1.6	-94210,368	35890,593	96,456
V	6854	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	-	-	-	0.1	-94210,898	35891,757	96,191
V	6889	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	1,20	1,70	0,41	0.4	-94122,322	35891,450	96,321
V	6890	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	-	-	-	0.1	-94122,866	35890,351	96,372
V	6891	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	-	-	-	0.1	-94122,950	35890,277	96,370
V	6892	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	2,60	2,20	0,64	2.3	-94222,758	35890,728	96,327
V	7006	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	1,40	1,60	0,49	0.6	-94214,885	35897,298	96,321
V	7028	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	2,75	2,50	1,06	3.4	-94216,723	35896,342	96,262
V	7204	YLL	ガラス質黑色安山岩	月鉈		9,71	3,34	1,87	36.5	-94009,842	35898,396	96,576
V	7205	YLL	黒曜石	パウダー	HSU11	-	-	-	-	-94009,897	35890,699	96,587
V	7206	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	4,45	2,80	0,88	2.8	-94209,632	35890,577	96,618
V	7207	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	3,55	5,20	0,26	28.1	-94209,693	35890,694	96,635
V	7994	YLL	ホルンフェルス	フレイク	HSU11	3,25	4,00	1,53	20.6	-94205,352	35704,715	96,496
V	7995	YLL	黒曜石	フレイク	HSU18	4,70	4,00	1,49	24.7	-94206,343	35695,207	96,330
V	7997	YLL	チート	フレイク	HSU11	1,00	2,50	0,42	0.8	-94208,303	35894,941	96,146
V	7998	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	1,85	1,10	0,42	0.5	-94208,154	35898,726	96,352
V	7999	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	1,15	1,40	0,74	1.2	-94208,231	35895,022	96,351
V	8000	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	1,20	1,50	0,41	0.4	-94209,177	35895,100	96,147
V	8002	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	-	-	-	0.1	-94209,483	35896,046	96,310
V	8003	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	-	-	-	0.3	-94211,804	35896,669	96,197
V	8007	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	2,30	1,40	0,79	1.7	-94220,860	35906,331	96,273
V	8938	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	2,20	1,60	0,90	2	-94223,990	35898,261	96,264
V	8009	YLL	ホルンフェルス	フレイク		2,85	1,50	0,64	1.9	-94224,334	35911,347	95,901
V	8015	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	1,80	2,30	0,70	1.4	-94209,106	35892,994	96,422
V	8163	YLL	チート	フレイク	HSU11	7,40	4,10	1,65	44.4	-94118,830	35695,575	96,181
V	8164	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	7,00	4,65	2,29	49.2	-94218,602	35695,752	96,165
V	8165	YLL	ホルンフェルス	フレイク	HSU11	5,45	5,00	1,29	42.2	-94217,430	35691,532	96,210
V	8167	YLL	チート	フレイク	HSU18	3,20	1,95	0,77	2.9	-94222,514	35697,051	95,974
V	8168	YLL	黒曜石	フレイク	HSU18	1,20	1,85	0,77	1.3	-94203,701	35886,461	96,822
V	8166	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	1,80	1,70	0,72	2	-94207,241	35886,819	96,626
V	8187	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	1,95	2,10	1,56	4.3	-94006,776	35885,998	96,696
V	8188	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	-	-	-	0.3	-94208,401	35886,679	96,612
V	8189	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	-	-	-	0.7	-94209,802	35886,322	96,629
V	8190	YLL	ホルンフェルス	チップ		-	-	-	1.1	-94206,565	35886,081	96,655
V	8192	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	1,60	2,20	0,58	1	-94210,598	35886,155	96,507
V	8193	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	-	-	-	0.6	-94213,399	35886,143	96,497
V	8194	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	-	-	-	0.8	-94210,210	35887,687	96,526
V	8195	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	-	-	-	0.5	-94210,867	35887,236	96,547
V	8199	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	1,35	1,70	1,03	2	-94210,657	35886,180	96,561
V	8200	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	1,80	2,10	0,70	2	-94210,732	35886,155	96,531
V	8201	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	3,50	3,60	1,13	18.8	-94211,260	35887,754	96,537
V	8202	YLL	チート	チップ	HSU11	-	-	-	0.1	-94211,675	35887,622	96,540
V	8203	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	1,00	1,70	0,45	1.2	-94211,331	35886,275	96,512
V	8206	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	-	-	-	0.5	-94211,896	35886,151	96,542
V	8208	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	1,90	1,10	0,43	0.8	-94211,560	35886,217	96,506
V	8209	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	2,00	1,20	0,51	0.7	-94212,245	35886,097	96,496
V	8209	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	1,50	2,10	0,47	1	-94213,961	35886,847	96,463
V	8210	YLL	ガラス質黑色安山岩	チップ		-	-	-	0.2	-94214,560	35886,395	96,401
V	8213	YLL	黒曜石	パウダー	HSU11	-	-	-	-	-94217,210	35882,284	96,269
V	8214	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	2,95	1,40	0,73	2.5	-94213,207	35884,121	96,494
V	8215	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	2,50	3,50	1,09	9.7	-94215,111	35881,990	96,434
V	8216	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	1,80	2,20	0,79	2.4	-94214,924	35885,161	96,446
V	8218	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	-	-	-	0.1	-94214,392	35886,568	96,526
V	8220	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	2,70	2,30	0,61	2.4	-94244,687	35891,036	95,765
V	8251	YLL	ホルンフェルス	フレイク		4,00	6,05	0,98	15.7	-94216,798	35887,995	95,153
V	8256	YLL	ガラス質黑色安山岩	フレイク		4,40	3,30	0,89	13.1	-94216,626	35887,806	95,509
V	8257	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	-	-	-	0.3	-94216,497	35887,045	95,476
V	8258	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	-	-	-	0.1	-94216,838	35886,907	95,453
V	8259	YLL	黒曜石	チップ	HSU11	-	-	-	0.5	-94216,941	35886,904	95,502
V	8260	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	-	-	-	0.1	-94211,685	35886,797	95,483
V	8261	YLL	黒曜石	フレイク	HSU11	-	-	-	0.4	-94211,590	35887,512	95,442

文化層 No.	遺物 番号	出土 場所	石材	形状 類別	出発地/ 個体別	幅長 (mm)	横長 (mm)	厚 (mm)	重 (kg)	X座標	Y座標	Z座標	
V	826	YLU	ガラス質黒色安山岩	フレイク	WAKI	9.10	5.20	1.36	33.9	-9422.538	35886.815	96.460	
V	8263	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	-	-	0.1	-	-9425.373	35869.181	96.308	
V	8270	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	3.30	1.10	0.12	0.5	-9426.643	35886.440	96.381	
V	8271	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.4	-	-9423.277	35886.395	96.338	
V	8272	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.1	-	-9423.397	35886.047	96.388	
V	8274	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	-	-	0.6	-	-9420.495	35887.762	96.407	
V	8275	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.1	-	-9420.559	35886.964	96.421	
V	8276	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	-	-	0.5	-	-9421.552	35882.515	96.372	
V	8277	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.4	-	-9422.743	35884.204	96.409	
V	8278	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	-	-	0.1	-	-9421.123	35884.373	96.375	
V	8279	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	2.60	1.85	0.50	2.2	-9420.367	35881.286	96.338	
V	8281	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	3.60	1.90	0.70	2.3	-9421.941	35886.416	96.326	
V	8282	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.8	-	-9419.376	35885.175	96.313	
V	8283	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	-	-	0.3	-	-9421.863	35895.631	95.993	
V	8286	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.3	-	-9425.413	35887.297	96.660	
V	8287	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.8	-	-9422.277	35884.569	96.467	
V	8288	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	2.50	1.60	0.70	2	-9422.047	35886.695	96.350	
V	8289	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	2.30	1.50	0.68	0.8	-9420.754	35886.948	96.340	
V	8290	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	4.20	3.35	2.08	15.3	-9420.503	35886.026	95.351	
V	8291	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.1	-	-9410.691	35886.233	96.295	
V	8292	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.4	-	-9421.957	35885.461	96.358	
V	8293	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	-	-	0.3	-	-9423.579	35887.667	96.288	
V	8295	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	1.50	0.95	0.48	1	-9423.786	35885.582	96.311	
V	8296	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.2	-	-9421.539	35886.948	96.257	
V	8297	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.1	-	-9421.506	35884.675	96.434	
V	8298	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.2	-	-9421.331	35884.463	96.400	
V	8299	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	1.35	1.70	0.30	0.5	-9424.166	35881.238	96.391	
V	8300	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.3	-	-9424.224	35883.791	96.365	
V	8301	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	2.50	1.60	0.67	1.3	-9421.875	35880.308	96.392	
V	8302	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	2.70	2.23	1.18	6	-9421.637	35882.172	96.331	
V	8303	YLU	黒曜石	ハウマー	WAKI	-	-	-	-	-9425.665	35892.207	96.283	
V	8304	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.3	-	-9418.076	35884.056	96.503	
V	8305	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	1.60	1.40	0.62	1	-9422.309	35885.709	95.256	
V	8306	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	2.20	1.40	0.62	1.1	-9421.748	35885.609	96.249	
V	8308	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	1.70	1.70	0.40	0.5	-9421.458	35880.616	96.677	
V	8309	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.3	-	-9421.962	35896.789	96.239	
V	8310	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	-	2.40	3.30	1.02	7.5	-9420.789	35895.200	96.596
V	8311	YLU	黒曜石	ハウマー	WAKI	-	-	-	-	-9420.637	35897.470	96.593	
V	8319	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	1.75	2.80	1.02	3.8	-9420.619	35888.405	96.568	
V	8320	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	3.00	1.89	1.13	5.4	-9420.552	35888.532	96.662	
V	8322	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.3	-	-9423.060	35882.051	96.285	
V	8324	YLU	黒曜石	ハウマー	WAKI	-	-	-	-	-9421.886	35882.787	96.394	
V	8325	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	2.20	1.30	0.50	0.9	-9421.333	35882.829	96.245	
V	8327	YLU	黒曜石	ハウマー	WAKI	1.90	1.95	0.87	2.3	-9421.236	35884.939	96.243	
V	8328	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	1.90	2.00	1.07	2.1	-9421.037	35883.779	96.176	
V	8329	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	2.00	2.70	1.10	5.7	-9420.918	35885.819	96.626	
V	8330	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	4.15	1.50	2.12	6.7	-9420.651	35888.132	99.564	
V	8332	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.1	-	-9420.344	35884.806	99.178	
V	8344	YLU	黒曜石	チップ	AGK14	-	-	0.1	-	-9420.324	35887.658	96.546	
V	8345	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.6	-	-9420.072	35887.156	96.501	
V	8346	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.3	-	-9421.275	35886.419	96.323	
V	8347	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.2	-	-9421.844	35886.982	96.262	
V	8348	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	2.40	1.95	0.50	1.4	-9421.931	35886.491	96.230	
V	8349	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	2.20	1.60	0.45	1.6	-9421.180	35886.274	96.177	
V	8350	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.1	-	-9423.821	35888.877	96.277	
V	8351	YLU	黒曜石	フレイク	WAKI	2.75	2.10	1.04	3.7	-9420.563	35884.232	96.297	
V	8352	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.3	-	-9421.415	35883.779	96.294	
V	8353	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	1.40	1.50	0.33	0.8	-9422.455	35886.203	99.463	
V	8354	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	1.30	1.70	0.40	1.1	-9424.556	35884.223	96.209	
V	8356	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.9	-	-9422.819	35881.924	96.072	
V	8357	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	0.3	-	-9423.879	35881.500	96.122	
V	8358	YLU	黒曜石	チップ	AGK16	-	-	0.1	-	-9422.367	35880.254	99.861	
V	8396	YLU	黒曜石	チップ	WAKI	-	-	1	-	-9423.965	35884.187	96.143	

附表2 旧石器時代の砾一覧表

文化層	遺物番号	出土層位	年代	形態	生長	理鑑		
IV	36	YL	○	10	-94203_490	35900_711	95.919	
IV	37	YL	○	80	-94301_459	35900_982	95.914	
IV	38	YL	○	90	-94201_672	35900_510	95.972	
IV	60	—	YL	○	200	-94301_026	35900_981	95.821
IV	61	—	YL	○	620	-94202_772	35900_809	95.640
IV	69	YL	×	278	-94211_606	35978_177	95.967	
IV	70	YL	×	310	-94209_776	35879_852	95.950	
IV	319	YL	○	20	-94242_840	36011_376	93.993	
IV	320	YL	○	60	-94243_046	35911_169	93.748	
IV	2879	YL	○	230	-94173_127	35871_300	96.913	
IV	2880	YL	○	196	-94178_035	35871_358	96.960	
IV	2581	YL	○	670	-94172_946	35871_289	98.954	
IV	2852	YL	○	508	-94172_756	35871_388	98.931	
IV	2883	YL	○	830	-94172_756	35871_386	98.969	
IV	2884	YL	○	170	-94172_732	35871_472	98.979	
IV	2883	YL	○	170	-94172_912	35871_672	98.056	
IV	2866	YL	○	440	-94173_111	35871_798	98.923	
IV	2887	YL	○	110	-94172_409	35871_785	98.993	
IV	2888	YL	○	260	-94171_828	35871_161	99.024	
IV	2889	YL	○	450	-94170_965	35871_681	99.076	
IV	2890	YL	○	360	-94170_072	35871_756	99.139	
IV	2891	YL	○	560	-94169_937	35871_278	99.175	
IV	2892	YL	○	330	-94169_541	35871_236	99.188	
IV	2893	YL	○	390	-94169_485	35871_066	99.198	
IV	2894	YL	○	280	-94169_922	35871_018	99.224	
IV	2895	YL	○	550	-94171_163	35869_369	99.153	
IV	2896	YL	○	440	-94171_541	35869_306	99.198	
IV	2899	YL	○	130	-94183_077	35869_256	98.011	
IV	2900	YL	○	30	-94183_815	35869_142	98.032	
IV	7785	YLM	○	180	-94213_391	35884_707	96.370	
IV	7786	YLM	○	210	-94213_371	35897_394	96.387	
IV	7787	YL	○	50	-94213_299	35894_186	96.410	
IV	7788	YLM	○	40	-94213_717	35894_639	96.378	
IV	7789	YLM	○	100	-94213_759	35893_914	96.365	
IV	7790	YLM	○	20	-94213_439	35893_961	96.362	
IV	7803	YLM	○	160	-94210_826	35897_876	96.341	
IV	7804	YLM	○	410	-94210_861	35897_699	96.368	
IV	7805	YLM	○	90	-94210_883	35897_769	96.356	
IV	7806	YLM	○	390	-94210_915	35897_839	96.348	
IV	7807	YLM	○	450	-94211_031	35897_658	96.353	
IV	7808	YLM	○	20	-94210_972	35897_664	96.362	
IV	7809	YLM	○	820	-94211_070	35897_748	96.338	
IV	7810	YLM	○	1235	-94211_394	35897_490	96.343	
IV	7811	YLM	○	880	-94211_204	35897_369	96.323	
IV	7812	YLM	○	170	-94210_621	35896_903	96.403	
IV	7813	YLM	○	550	-94210_494	35896_982	96.395	
IV	7815	YLM	○	4100	-94221_775	35896_611	96.365	
IV	7816	YLM	○	1950	-94211_914	35896_721	96.411	
IV	7817	YLM	○	1010	-94215_478	35897_822	96.313	
IV	7818	YLM	○	5000	-94215_612	35896_829	96.309	
IV	7819	YLM	○	80	-94212_692	35894_466	96.256	
IV	7820	YLM	○	110	-94212_845	35894_410	96.243	
IV	7821	YLM	○	110	-94212_730	35894_318	96.263	
IV	7822	YLM	○	150	-94212_941	35894_241	96.261	
IV	7823	YLM	○	90	-94213_670	35894_124	96.259	
IV	7824	YLM	○	150	-94212_983	35894_054	96.247	
IV	7825	YLM	○	170	-94213_135	35894_506	96.268	
IV	7826	YLM	○	2280	-94213_478	35894_397	96.265	
IV	7827	YLM	○	470	-94213_470	35894_233	96.269	
IV	7828	YLM	○	160	-94213_457	35894_065	96.290	
IV	7829	YLM	○	290	-94213_316	35894_976	96.241	
IV	7830	YLM	○	110	-94213_588	35894_010	96.311	
IV	7831	YLM	○	130	-94213_569	35894_893	96.233	
IV	7832	YLM	○	270	-94213_701	35893_895	96.298	
IV	7833	YLM	○	160	-94213_778	35893_931	96.320	
IV	7834	YLM	○	210	-94213_933	35893_855	96.291	
IV	7835	YLM	○	1050	-94213_743	35894_034	96.270	
IV	7836	YLM	○	560	-94214_080	35894_416	96.271	
IV	7837	YLM	○	20	-94214_248	35894_137	96.287	
IV	7838	YLM	○	190	-94213_231	35893_599	96.306	
IV	7839	YLM	○	180	-94213_617	35893_431	96.312	

文化層	遺物番号	土居剖面	組化	重(g)	X座標	Y座標	Z座標
IV	7840	YLL	○	250	-94213_819	35890_288	96.313
IV	7841	YLL	○	100	-94213_725	35893_131	96.318
IV	7842	YLL	○	200	-94213_912	35893_101	96.290
IV	7846	YLL	○	40	-94213_619	35893_090	96.261
IV	7847	YLL	○	180	-94215_262	35898_132	96.271
IV	7848	YLL	○	490	-94215_310	35898_289	96.230
IV	7849	YLL	○	90	-94215_372	35898_329	96.231
IV	7850	YLL	×	50	-94218_159	35893_987	96.259
IV	7851	YLL	×	100	-94218_239	35893_695	96.225
IV	7852	YLL	○	1000	-94216_790	35893_646	96.217
IV	7853	YLL	○	200	-94216_730	35893_714	96.091
IV	7854	YLL	○	60	-94222_891	35892_681	96.071
IV	7855	YLL	○	100	-94222_878	35891_966	96.070
IV	7856	YLM	○	220	-94210_716	35901_854	96.190
IV	7857	YLM	○	20	-94212_674	35897_188	96.218
IV	7858	YLM	○	50	-94208_411	35895_996	96.471
IV	7859	YLM	○	90	-94209_211	35895_180	96.224
IV	7860	YLM	○	600	-94206_388	35897_433	96.428
IV	7861	YLM	○	50	-94208_097	35894_153	96.495
IV	7862	YLM	○	180	-94210_037	35895_024	96.495
IV	7863	YLM	○	970	-94209_822	35895_097	96.395
IV	7871	YLM	○	180	-94209_733	35895_938	96.382
IV	7872	YLM	○	320	-94208_808	35895_846	96.425
IV	7873	YLM	○	1050	-94208_808	35895_846	96.425
IV	7874	YLM	○	200	-94208_416	35895_766	96.437
IV	7875	YLM	○	800	-94207_671	35895_826	96.133
IV	7876	YLM	○	400	-94208_531	35895_992	96.438
IV	7877	YLM	○	450	-94209_189	35896_189	96.409
IV	7878	YLM	○	360	-94209_070	35896_180	96.421
IV	7879	YLM	○	160	-94208_944	35896_244	96.423
IV	7880	YLM	○	940	-94208_918	35896_156	96.117
IV	7881	YLM	○	310	-94208_891	35896_087	96.128
IV	7882	YLM	○	280	-94208_827	35896_182	96.426
IV	7883	YLM	○	120	-94208_878	35896_319	96.426
IV	7884	YLM	○	350	-94208_878	35896_322	96.438
IV	7885	YLM	○	50	-94208_687	35896_312	96.439
IV	7886	YLM	○	30	-94208_602	35896_331	96.404
IV	7887	YLM	○	60	-94208_620	35896_207	96.426
IV	7888	YLM	○	330	-94208_574	35896_234	96.428
IV	7889	YLM	○	290	-94208_504	35896_322	96.437
IV	7890	YLM	○	380	-94208_741	35896_022	96.437
IV	7891	YLM	○	450	-94208_766	35896_102	96.428
IV	7892	YLM	○	240	-94208_651	35896_119	96.427
IV	7893	YLM	○	60	-94208_715	35896_119	96.415
IV	7894	YLM	○	210	-94208_601	35896_130	96.427
IV	7895	YLM	○	90	-94208_588	35895_972	96.440
IV	7896	YLM	○	230	-94208_497	35895_988	96.428
IV	7897	YLM	○	200	-94208_630	35896_436	96.428
IV	7898	YLM	○	250	-94208_681	35896_195	96.413
IV	7899	YLM	○	220	-94208_364	35896_035	96.420
IV	7900	YLM	○	740	-94208_350	35895_976	96.434
IV	7901	YLM	○	270	-94208_810	35896_615	96.445
IV	7902	YLM	○	850	-94208_722	35912_918	95.446
IV	7903	YLM	○	1350	-94208_497	35942_859	95.478
IV	7904	YLM	○	180	-94210_202	35942_547	96.302
IV	7905	YLM	○	10	-94210_914	35942_310	96.285
IV	7906	YLM	○	30	-94210_817	35941_814	96.311
IV	7907	YLM	○	20	-94211_441	35941_269	96.254
IV	7908	YLM	○	160	-94211_629	35942_546	96.270
IV	7909	YLM	○	40	-94211_255	35905_975	96.236
IV	7910	YLM	○	1450	-94225_566	35902_628	96.247
IV	7911	YLM	○	50	-94224_869	35906_650	96.179
IV	7912	YLM	○	100	-94224_537	35901_958	96.062
IV	7913	YLM	○	120	-94224_470	35901_976	96.083
IV	7914	YLM	○	360	-94224_252	35901_343	96.122
IV	7915	YLM	○	140	-94224_128	35900_866	96.129
IV	7916	YLM	○	100	-94224_084	35900_636	96.153

文化層	遺物番号	出土層位	年代	性別	年齢	性別	
IV	9356	YLU	○	50	-94223, 815	35900, 678	95, 198
IV	9357	YLU	×	50	-94223, 491	35900, 927	96, 191
IV	9358	YLU	×	50	-94223, 755	35901, 320	96, 126
IV	9359	YLU	○	50	-94223, 299	35901, 458	96, 102
IV	9360	YLU	○	50	-94223, 738	35901, 456	96, 082
IV	9361	YLU	○	50	-94223, 622	35901, 773	94, 091
IV	9362	YLU	○	100	-94223, 661	35901, 774	96, 082
IV	9363	YLU	○	100	-94223, 709	35901, 810	96, 069
IV	9364	YLU	○	120	-94223, 741	35901, 880	96, 085
IV	9365	YLU	×	150	-94223, 758	35901, 908	96, 074
IV	9366	YLU	○	50	-94223, 795	35902, 041	96, 050
IV	9367	YLU	×	60	-94223, 815	35902, 108	96, 035
IV	9368	YLU	×	50	-94223, 665	35902, 058	96, 103
IV	9369	YLU	×	20	-94223, 656	35902, 171	96, 088
IV	9370	YLU	○	10	-94223, 551	35902, 138	96, 050
IV	9371	YLU	○	50	-94223, 578	35902, 113	96, 040
IV	9372	YLU	○	120	-94223, 549	35902, 044	96, 079
IV	9373	YLU	○	50	-94223, 327	35902, 082	96, 067
IV	9374	YLU	○	20	-94223, 474	35901, 797	96, 083
IV	9375	YLU	○	110	-94223, 516	35901, 737	96, 061
IV	9376	YLU	○	270	-94223, 481	35901, 392	96, 070
IV	9377	YLU	○	60	-94223, 363	35901, 163	96, 084
IV	9378	YLU	○	110	-94223, 333	35901, 326	96, 094
IV	9379	YLU	○	100	-94223, 430	35901, 325	96, 097
IV	9380	YLU	○	40	-94223, 553	35901, 152	96, 082
IV	9381	YLU	○	20	-94223, 516	35901, 199	96, 091
IV	9382	YLU	○	40	-94223, 563	35901, 995	96, 080
IV	9383	YLU	○	430	-94223, 124	35901, 971	96, 052
IV	9384	YLU	○	20	-94223, 213	35902, 013	96, 054
IV	9385	YLU	○	60	-94223, 176	35902, 074	96, 073
IV	9386	YLU	○	180	-94223, 037	35902, 208	96, 085
IV	9387	YLU	○	70	-94223, 249	35902, 115	96, 070
IV	9388	YLU	○	160	-94223, 311	35902, 033	96, 040
IV	9389	YLU	○	110	-94223, 384	35902, 191	96, 077
IV	9390	YLU	○	50	-94223, 553	35902, 240	96, 101
IV	9391	YLU	○	20	-94223, 493	35902, 209	96, 094
IV	9392	YLU	○	30	-94223, 567	35902, 233	96, 102
IV	9393	YLU	○	100	-94223, 515	35902, 333	96, 072
IV	9394	YLU	○	30	-94223, 406	35902, 310	96, 068
IV	9395	YLU	○	10	-94223, 339	35902, 600	96, 135
IV	9396	YLU	○	40	-94223, 207	35902, 826	96, 076
IV	9416	YLU	○	690	-94219, 812	35904, 369	95, 928
IV	9424	YLU	○	910	-94243, 580	35911, 332	95, 728
IV	9425	YLU	○	100	-94244, 289	35911, 621	95, 809
IV	9426	YLU	○	60	-94244, 186	35911, 515	95, 821
IV	9427	YLU	○	100	-94244, 125	35911, 716	95, 801
IV	9428	YLU	○	160	-94244, 175	35911, 928	95, 747
IV	9429	YLU	○	20	-94243, 567	35912, 166	95, 752
IV	9430	YLU	○	290	-94243, 261	35912, 265	95, 808
IV	9431	YLU	○	230	-94243, 468	35911, 028	95, 784
IV	9464	YLU	○	50	-94225, 383	35902, 674	96, 226
IV	9465	YLU	○	100	-94223, 473	35901, 379	96, 008
IV	9466	YLU	○	80	-94223, 698	35909, 934	95, 237
V	8074	YLU	×	3569	-94209, 760	35981, 271	96, 573
V	8085	YLU	○	220	-94209, 919	35980, 874	96, 589
V	8099	YLU	○	360	-94210, 033	35980, 898	96, 588
V	8100	YLU	○	610	-94210, 087	35980, 896	96, 580
V	8101	YLU	○	400	-94210, 023	35980, 781	96, 580
V	8102	YLU	○	160	-94209, 938	35980, 753	96, 579
V	8103	YLU	○	300	-94209, 861	35980, 798	96, 568
V	8104	YLU	○	1600	-94209, 666	35980, 968	96, 556
V	8105	YLU	○	410	-94209, 569	35981, 046	96, 507
V	8106	YLU	×	4500	-94209, 513	35980, 927	96, 583
V	8107	YLU	○	710	-94209, 072	35980, 624	96, 609
V	8115	YLU	○	110	-94209, 771	35984, 985	96, 252
V	9258	YLU	○	30	-94209, 457	35985, 812	95, 400
V	9397	YLU	○	860	-94217, 022	35981, 907	95, 161
V	9398	YLU	○	3000	-94217, 776	35982, 081	96, 170
V	9399	YLU	○	300	-94218, 105	35985, 934	96, 170
V	9400	YLU	○	170	-94218, 132	35985, 899	96, 151
V	9401	YLU	○	150	-94218, 318	35985, 723	96, 177

文化層	遺物番号	出土層位	年代	性別	年齢	性別	
V	9402	YLU	×	100	-94218, 294	35905, 970	96, 158
V	9403	YLU	○	240	-94218, 163	35906, 061	96, 138
V	9404	YLU	○	360	-94218, 209	35906, 194	96, 191
V	9405	YLU	○	1000	-94218, 293	35906, 141	96, 117
V	9406	YLU	○	290	-94218, 607	35906, 076	96, 139
V	9407	YLU	×	130	-94218, 479	35906, 089	96, 141
V	9408	YLU	×	130	-94218, 487	35905, 923	96, 125
V	9409	YLU	○	340	-94218, 490	35906, 161	96, 114
V	9410	YLU	○	550	-94218, 397	35906, 285	96, 087
V	9411	YLU	×	70	-94218, 420	35906, 369	96, 130
V	9412	YLU	×	250	-94218, 067	35906, 477	96, 096
V	9413	YLU	×	120	-94218, 152	35906, 930	96, 112
V	9414	YLU	○	650	-94218, 580	35906, 904	96, 082
V	9415	YLU	○	1180	-94218, 792	35906, 516	96, 098
V	9464	YLU	○	620	-94203, 319	35887, 693	96, 848
V	9465	YLU	○	250	-94203, 324	35887, 184	96, 875
V	9466	YLU	○	320	-94203, 176	35887, 227	96, 867
V	9467	YLU	×	350	-94203, 096	35887, 237	96, 878
V	9468	YLU	○	200	-94202, 989	35887, 131	96, 901
V	9469	YLU	○	130	-94202, 989	35887, 117	96, 916
V	9470	YLU	○	520	-94202, 864	35887, 144	96, 901
V	9471	YLU	○	380	-94202, 806	35887, 195	96, 905
V	9472	YLU	○	1040	-94202, 736	35886, 990	96, 890
V	9473	YLU	○	1300	-94202, 871	35886, 855	96, 912
V	9474	YLU	○	730	-94203, 177	35886, 882	96, 903
V	9475	YLU	×	400	-94203, 098	35887, 021	96, 896
V	9476	YLU	○	690	-94203, 305	35887, 087	96, 866
V	9477	YLU	○	720	-94203, 533	35886, 897	96, 806
V	9478	YLU	○	180	-94203, 446	35886, 700	96, 873
V	9479	YLU	○	490	-94203, 389	35886, 873	96, 853
V	9480	YLU	○	1300	-94203, 413	35886, 961	96, 841
V	9481	YLU	○	890	-94203, 349	35886, 696	96, 819
V	9482	YLU	○	260	-94203, 395	35886, 381	96, 862
V	9483	YLU	○	250	-94203, 047	35886, 665	96, 890
V	9484	YLU	○	1030	-94204, 123	35887, 803	96, 734
V	9485	YLU	○	1220	-94202, 209	35888, 094	96, 912
V	9486	YLU	○	60	-94204, 075	35887, 647	96, 807
V	9487	YLU	○	30	-94204, 143	35887, 159	96, 759
V	9488	YLU	○	60	-94204, 565	35887, 526	96, 740
V	9489	YLU	○	870	-94212, 365	35887, 261	96, 498
V	9490	YLU	○	90	-94204, 520	35886, 812	96, 795
V	9491	YLU	○	90	-94201, 592	35886, 777	96, 784
V	9492	YLU	○	1430	-94254, 262	35886, 581	96, 771
V	9493	YLU	○	100	-94254, 358	35886, 601	96, 770
V	9494	YLU	○	890	-94255, 016	35886, 616	96, 712
V	9495	YLU	×	320	-94203, 221	35886, 183	96, 954
V	9496	YLU	×	1320	-94211, 608	35886, 193	96, 954
V	9497	YLU	○	870	-94212, 365	35887, 261	96, 498
V	9498	YLU	○	510	-94211, 916	35886, 464	96, 498
V	9499	YLU	○	210	-94212, 321	35886, 698	96, 475
V	9501	YLU	○	1150	-94212, 346	35886, 112	96, 459
V	9502	YLU	○	5300	-94212, 166	35886, 298	96, 060
V	9503	YLU	○	710	-94213, 661	35887, 274	96, 096
V	9504	YLU	○	3110	-94213, 572	35887, 036	96, 406
V	9505	YLU	○	120	-94202, 911	35886, 402	96, 809
V	9506	YLU	○	50	-94204, 632	35887, 265	96, 728
V	9600	YLU	○	250	-94254, 676	35887, 837	96, 681
V	9601	YLU	○	10	-94203, 151	35887, 165	96, 669
V	9602	YLU	○	260	-94208, 861	35888, 070	96, 563
V	9603	YLU	○	10	-94207, 853	35888, 908	96, 509

附表3 繩文時代の石器計測表

図版番号	遺物番号	出土層位	石材	細体名	幅員 (mm)	横長 (mm)	厚 (mm)	重 (g)
78	5950	FB	墨縁石	尖頭器	9.40	2.05	1.00	15.3
79	5959	ZL	墨縁石	尖頭器	9.70	2.50	0.90	17
80	6098	FB	ホルンフェルス	尖頭器	(6.45)	(1.60)	(0.65)	(7.7)
81	5444	FB	ホルンフェルス	尖頭器	(6.61)	(2.04)	(0.85)	(11.5)
82	7127	FB	ホルンフェルス	尖頭器	8.06	3.36	1.18	36.3
83	7786	FB	灰岩	尖頭器	5.90	1.73	0.50	3.9
84	2517	FB	ガラス質黒色安山岩	有孔尖頭器	3.51	1.82	0.61	2.9
85	7309	FB	ガラス質黒色安山岩	有孔尖頭器	3.75	2.00	0.68	2.5
86	5184	FB	ホルンフェルス	有孔尖頭器	(7.84)	(1.40)	(0.62)	(8.1)
87	7784	FB	ホルンフェルス	有孔尖頭器	(8.60)	(1.75)	(0.75)	(6.9)
88	4851	FB	ホルンフェルス	有孔尖頭器	(6.46)	(1.80)	(0.74)	(8.6)
89	1174	FB	ホルンフェルス	有孔尖頭器	(3.74)	(1.65)	(0.71)	(7.5)
90	743	KD	ホルンフェルス	有孔尖頭器	4.94	1.12	0.62	3.3
91	6442	FB	ホルンフェルス	有孔尖頭器	5.12	1.26	0.62	2.9
92	4479	F5	ホルンフェルス	有孔尖頭器	(4.38)	(1.11)	(0.54)	(3.1)
93	4241	FB	ホルンフェルス	有孔尖頭器	(6.42)	(1.73)	(0.49)	(3.3)
94	4460	FB	ホルンフェルス	有孔尖頭器	(6.53)	(1.65)	(0.49)	(5.4)
95	3051	FB	ホルンフェルス	有孔尖頭器	(3.45)	(1.60)	(0.68)	(5.8)
96	9191	YL	ホルンフェルス	有孔尖頭器	(4.10)	(1.58)	(0.58)	(4.2)
97	2746	FB	ホルンフェルス	有孔尖頭器	(2.35)	(1.29)	(0.38)	(0.9)
98	4538	FB	ガラス質黒色安山岩	有孔尖頭器	(3.40)	(1.80)	(0.60)	(3.2)
99	4660	FB	ガラス質黒色安山岩	有孔尖頭器	(3.40)	(2.00)	(0.65)	(3.8)
100	1151	KD	ホルンフェルス	有孔尖頭器	(3.14)	(1.64)	(0.45)	(2.9)
108	978	KD	墨縁石	石器	(3.41)	(1.72)	(0.61)	(2.9)
109	2390	KD	墨縁石	石器	6.06	4.50	2.70	160
110	2395	KZ	輝石安山岩	石器	6.06	4.50	2.70	160
111	2411	KD	輝石安山岩	石器	9.90	6.90	3.60	380
112	2392	KD	輝石安山岩	石器	9.60	6.30	4.40	335
113	2399	KD	輝石安山岩	石器	9.10	6.65	3.80	330
114	2395	KZ	輝石安山岩	石器	14.30	8.35	5.80	975
115	2381	KZ	輝石安山岩	石器	(11.00)	(5.70)	(5.70)	(435)
123	154	KD	輝石安山岩	石器	6.40	5.33	4.49	200
138	4628	FB	輝石安山岩	石器	(13.40)	(10.05)	(6.200)	(1175)
140	4273	FB	黒縫石	石器	(1.18)	(1.62)	(0.41)	(0.6)
151	3895	FB	輝石安山岩	四石	9.35	10.13	5.60	709
152	4238	FB	輝石安山岩	鳥嘴	10.15	8.40	3.80	485
153	3902	FB	輝石安山岩	鳥嘴	17.80	7.65	6.30	1190
154	3889	FB	多色質火武岩	石器	(27.70)	(16.20)	(8.40)	(12500)
155	4661	FB	灰岩	石器	24.75	23.20	6.10	5695
156	2901	FB	墨縁石	石器	(1.64)	(1.22)	0.41	(0.5)
174	4028	FB	輝石安山岩	石器	(9.40)	(7.70)	(3.60)	(350)
175	4031	FB	玄武岩	石器	13.75	8.75	4.10	640
176	4029	FB	玄武岩	石器	12.40	9.70	6.40	1035
177	3828	FB	輝石安山岩	石器	18.55	9.70	6.40	1050
184	7806	FB	墨縁石	石器	0.86	1.25	0.31	0.2
185	8404	FB	流紋岩	石器	5.79	4.20	1.40	26.6
188	7761	FB	輝石安山岩	石器	(6.05)	(6.70)	(5.40)	(385)
189	842	FB	輝石安山岩	石器	(6.30)	(7.20)	(4.10)	(135)
190	802	FB	輝石安山岩	石器	(18.20)	(8.40)	(5.40)	(1140)
191	8405	FB	灰岩	石器	13.50	9.10	6.00	930
195	7588	ZL	玄武岩	石器	15.35	8.50	5.70	940
199	458	FB	滑石	装饰品	6.86	2.29	7.9	13.8
200	271	FB	砂岩	打斧	10.60	5.50	1.70	125
201	272	FB	ホルンフェルス	打斧	10.90	5.10	2.70	159.4
202	270	FB	ホルンフェルス	打斧	12.28	4.10	1.15	69.7
680	2442	ZL	ホルンフェルス	石器	1.20	0.87	0.22	0.2
681	5935	FB	墨縁石	石器	1.20	1.70	0.30	0.5
682	2562	FB	ガラス質黒色安山岩	石器	(1.46)	(1.82)	(0.36)	(0.6)
683	1332	KD	墨縁石	石器	1.40	1.53	0.30	0.3
684	723	KD	墨縁石	石器	(1.60)	(1.60)	(0.30)	(0.4)
685	3666	FB	墨縁石	石器	(1.68)	(1.34)	(0.27)	(0.3)
686	2179	FB	墨縁石	石器	(1.86)	(1.40)	(0.34)	(0.5)
687	3376	FB	墨縁石	石器	2.14	2.08	0.32	0.8
688	5881	FB	墨縁石	石器	(1.97)	(1.42)	(0.40)	(0.6)
689	3667	KD	墨縁石	石器	(2.02)	(1.68)	(0.39)	(0.7)
690	4756	KD	チャート	石器	(2.01)	(0.92)	(0.33)	(0.4)
691	8071	FB	墨縁石	石器	(2.67)	(1.37)	(0.38)	(0.7)

固有番号	遺物番号	出土削化	材料	個体名前	縦長 (mm)	横長 (mm)	厚 (mm)	重 (g)
692	1815	石	黒曜石	石頭	(1.53)	(1.73)	(0.31)	(0.4)
693	3681	FB	黒曜石	石頭	1.24	1.23	0.49	0.5
694	6095	FB	黒曜石	石頭	1.20	1.15	0.39	0.1
695	2853	FB	黒曜石	石頭	1.27	1.32	0.35	0.3
696	6538	FB	黒曜石	石頭	(1.22)	(1.32)	(0.31)	(0.4)
697	3630	石	黒曜石	石頭	(1.55)	(1.60)	(0.31)	(0.3)
698	3741	KU	黒曜石	石頭	(1.59)	(1.30)	(0.36)	(0.4)
699	3813	ZN	チャート	石頭	(1.50)	(1.35)	(0.25)	(0.2)
700	6812	FB	黒曜石	石頭	(0.99)	(1.33)	(0.40)	(0.8)
701	4430	FB	ガラス質黑色安山岩	石頭	(1.50)	(1.60)	(0.33)	(0.3)
702	4495	FB	黒曜石	石頭	1.60	1.30	0.40	0.5
703	53	ZN	黒曜石	石頭	(1.04)	(1.53)	(0.41)	(0.5)
704	6811	FB	黒曜石	石頭	1.60	1.30	0.30	0.3
705	4048	FB	黒曜石	石頭	1.60	1.50	0.35	0.4
706	3459	ZN	チャート	石頭	(1.96)	(1.10)	(0.33)	(0.4)
707	1184	KU	黒曜石	石頭	(1.49)	(1.55)	(0.52)	(0.6)
708	4300	FB	黒曜石	石頭	(1.71)	(1.22)	(0.50)	(0.5)
709	1184	KU	黒曜石	石頭	(1.93)	(1.82)	(0.49)	(0.8)
710	7071	FB	黒曜石	石頭	(1.75)	(1.60)	(0.39)	(0.6)
711	4502	FB	黒曜石	石頭	(1.41)	(1.11)	(0.42)	(0.4)
712	3732	FB	黒曜石	石頭	(2.12)	(1.70)	(0.43)	(1.3)
713	1372	KU	黒曜石	石頭	1.95	1.40	0.40	0.6
714	4968	FB	黒曜石	石頭	(2.00)	(1.40)	(0.35)	(0.6)
715	6314	FB	黒曜石	石頭	2.00	1.50	0.45	0.8
716	3666	FB	ガラス質黑色安山岩	石頭	(1.71)	(1.80)	(0.42)	(0.7)
717	1958	FB	黒曜石	石頭	2.20	1.80	0.42	0.7
718	3691	FB	ホルンブリス	石頭	(2.10)	(1.62)	(0.51)	(1.3)
719	927	FB	黒曜石	石頭	(2.00)	(1.60)	(0.42)	(0.7)
720	3673	FB	黒曜石	石頭	(2.20)	(1.43)	(0.37)	(0.8)
721	3299	FB	ホルンブリス	石頭	2.10	1.70	0.30	0.7
722	7996	YU	ガラス質黑色安山岩	石頭	(2.17)	(1.33)	(0.33)	(0.6)
723	6637	FB	黒曜石	石頭	(2.12)	(1.43)	(0.72)	(1.3)
724	2328	FB	黒曜石	石頭	(2.20)	(1.37)	(0.41)	(0.8)
725	1993	KU	黒曜石	石頭	2.65	1.80	0.20	1.6
726	3631	FB	チャート	石頭	(2.18)	(1.80)	(0.62)	(1.1)
727	1201	FB	ガラス質黑色安山岩	石頭	(2.39)	(2.00)	(0.49)	(1.1)
728	8221	ZN	黒曜石	石頭	(1.85)	(1.70)	(0.33)	(0.4)
729	5673	FB	ガラス質黑色安山岩	石頭	3.09	1.95	0.40	1.3
730	710	KU	黒曜石	石頭	(2.40)	(1.70)	(0.65)	(1.1)
731	2288	FB	ガラス質黑色安山岩	石頭	(2.62)	(1.75)	(0.68)	(2.2)
732	3669	FB	黒曜石	石頭	(1.35)	(1.20)	(0.20)	(0.1)
733	8222	ZN	石編石	石頭	(1.40)	(1.25)	(0.30)	(0.4)
734	9143	ZN	ガラス質黑色安山岩	石頭	1.33	1.57	0.35	0.3
735	2136	FB	黒曜石	石頭	1.80	1.60	0.30	0.6
736	2749	FB	ガラス質黑色安山岩	石頭	(2.92)	(1.73)	(0.70)	(1.1)
737	4155	ZN	ガラス質黑色安山岩	石頭	(1.80)	(1.70)	(0.4)	(0.8)
738	4405	FB	黒曜石	石頭	(1.51)	(1.36)	(0.37)	(0.8)
739	5827	FB	ホルンブリス	石頭	2.33	1.45	0.59	1.4
740	2294	FB	黒曜石	石頭	(2.50)	(1.71)	(0.51)	(1.4)
741	3699	FB	ガラス質黑色安山岩	石頭	2.61	2.50	0.44	2.2
742	484	FB	黒曜石	石頭	2.23	1.50	0.80	1.7
743	492	FB	黒曜石	石頭	2.35	1.92	0.75	2.7
744	2130	FB	ガラス質黑色安山岩	石頭	2.57	1.71	0.75	2.5
745	2094	FB	黒曜石	石頭	2.05	1.35	0.40	0.8
746	2550	FB	豆青粒板岩	石頭	3.35	1.65	0.40	2.2
747	3671	KU	叶質形板岩	石頭	3.92	1.75	0.40	2.6
748	2183	FB	粘板岩	石頭	2.61	1.45	0.30	0.9
749	2310	FB	叶質形板岩	石頭	(3.51)	(1.60)	(0.25)	(1.5)
750	2246	FB	叶質形板岩	石頭	(3.32)	(1.08)	(0.45)	(0.3)
751	714	KU	黒曜石	石頭	(1.59)	(1.47)	(0.41)	(0.7)
752	726	KU	黒曜石	石頭	(1.72)	(1.34)	(0.32)	(0.8)
753	228	FB	黒曜石	石頭	(1.85)	(1.53)	(0.42)	(0.8)
754	1786	FB	黒曜石	石七	(6.41)	(3.48)	(1.49)	(24.7)
755	1512	KU	黒曜石	石七	4.20	1.95	0.70	5.8
756	1967	FB	ホルンブリス	石七	(2.85)	(5.71)	(0.85)	(7.7)
757	1916	FB	ホルンブリス	石七	(3.67)	(3.40)	(0.67)	(0.7)
758	299	FB	ホルンブリス	石七	(3.85)	(7.99)	(0.71)	(15.9)

固形番号	遺物番号	出土施設	石材	個体名	厚さ (mm)	横長 (mm)	縦 (mm)	重 (g)
759	1892	KL	ボルンフェルス	石匕	8.20	7.22	2.51	128.1
760	7556	FB	墨綠石	石劍	2.52	6.97	6.82	1.7
761		表盤	砂岩	打斧	12.22	5.64	2.51	216
762	458	FB	砂岩	打斧	11.49	5.05	1.38	163.1
763	2077	FB	真石	月矛	(12.55)	(6.08)	(2.15)	(142.6)
764	6544	FB	ホルンフェルス	打斧	9.05	4.73	1.39	62.6
765		表盤	真石	打斧	(7.93)	(5.19)	(1.81)	(14.7)
766	952	FB	真石	打斧	(5.27)	(7.23)	(1.63)	(113.6)
767	1487	SL	硅質軽板岩	打斧	(7.60)	(3.93)	(1.18)	(43)
768	3636	FB	無風質玄山岩	打斧	(10.25)	(5.69)	(2.10)	(171.3)
769	963	KL	砂岩(鉛灰)	打斧	(7.99)	(5.63)	(1.16)	(64.1)
770	1737	FB	無風質玄山岩	打斧	(10.53)	(6.00)	(1.42)	(215.3)
771	919	FB	鈍器	打斧	11.02	2.93	1.53	66.7
772	2728	FB	無風質玄山岩	打斧	(8.25)	(7.22)	(1.96)	(114.2)
773	2865	FB	ボルンフェルス	打斧	(9.45)	(3.98)	(1.88)	(106.9)
774	1011	FB	ボルンフェルス	打斧	14.85	8.29	2.51	329.3
775	5855	FB	緑色板状岩	磨斧	(7.04)	(5.27)	(1.68)	(96.1)
776	3108	KL	砂岩(鉛灰)	磨斧	8.38	3.44	1.12	33.9
777	3596	FB	青閃岩片岩	磨斧	(8.79)	(6.89)	(2.72)	(244.2)
778	2468	FB	緑色板状岩	磨斧	(4.20)	(4.41)	(1.89)	(44)
779	327	FB	滑石	磨輪	1.72	1.96	0.73	2.1
780	5820	FB	砂岩	石鍬	8.13	6.21	2.18	123.5
781	7753	FB	無風質玄山岩	石鍬	5.07	6.80	2.16	85.7
782	6554	FB	砂岩(細粒)	石鍬	(4.77)	(6.17)	(1.34)	(63.8)
783	1897	SL	多孔質玄武岩	鐵石	5.70	2.55	2.80	40
784	279	FB	玄武岩	鐵石	(5.10)	(3.30)	(1.70)	(40)
785	6419	FB	砂岩	鐵石	(8.50)	(2.20)	(1.30)	(56)
786	2503	FB	輝石安山岩	鐵石	7.60	4.16	2.20	100
787	121	FB	輝石安山岩	紫石	8.60	3.85	2.60	120
788	7104	FB	砂岩(細粒)	紫石	10.10	3.69	2.20	130
789	2696	FB	多孔質玄武岩	鐵石	5.60	4.20	3.70	110
790	1927	FB	輝石安山岩	鐵石	4.30	3.65	2.80	55
791	6552	FB	玄武岩	鐵石	6.75	1.70	3.90	155
792	3559	FB	多孔質玄武岩	鐵石	7.15	4.80	3.20	110
793	6986	FB	玄武岩	鐵石	8.60	4.50	3.70	170
794	1298	FB	多孔質玄武岩	鐵石	8.90	5.15	3.90	180
795	2276	FB	輝石安山岩	鐵石	8.80	5.90	1.40	315
796	6550	FB	多孔質玄武岩	鐵石	8.50	4.90	4.00	210
797	4684	FB	玄武岩	鐵石	6.80	4.90	3.60	120
798	3823	FB	多孔質玄武岩	鐵石	7.60	5.50	5.40	240
799	5998	FB	玄武岩	鐵石	6.60	4.70	3.20	140
800	864	FB	玄武岩	鐵石	5.80	5.00	2.90	110
801	3527	FB	玄武岩	鐵石	6.40	6.20	3.80	185
802	2778	FB	玄武岩	鐵石	11.50	7.70	3.00	350
803	1654	SL	多孔質玄武岩	鐵石	10.40	8.50	7.90	740
804	5554	FB	玄武岩	鐵石	8.70	6.40	5.10	345
805	1727	FB	輝石安山岩	鐵石	7.00	6.00	4.70	265
806	3496	FB	玄武岩	鐵石	7.40	6.90	3.30	180
807	459	FB	輝石安山岩	鐵石	10.80	10.60	8.80	1450
808	3669	KL	多孔質玄山岩	鐵石	14.40	10.80	9.00	1690
809	7095	FB	輝石安山岩	鐵石	12.50	10.30	10.00	1790
810	H403	FB	多孔質玄武岩	鐵石	13.10	10.80	7.90	1390
811	5688	FB	玄武岩	鐵石	10.00	9.90	5.10	670
812	661	FB	輝石安山岩	鐵石	11.80	7.70	6.90	990
813	5714	FB	玄武岩	鐵石	11.25	9.05	6.10	860
814	6860	FB	玄武岩	鐵石	7.30	5.00	2.70	150
815	787	FB	輝石安山岩	鐵石	8.50	5.00	2.25	130
816	5626	FB	輝石安山岩	鐵石	9.50	6.45	2.40	220
817	437	SL	輝石安山岩	鐵石	8.50	7.25	3.20	315
818	6002	FB	輝石安山岩	鐵石	8.00	6.60	3.60	250
819	3619	FB	玄武岩	鐵石	8.20	6.75	4.80	250
820	5974	FB	輝石安山岩	鐵石	8.15	6.30	3.10	230
821	5663	FB	玄武岩	鐵石	9.70	8.80	5.40	540
822	1553	KL	輝石安山岩	鐵石	7.85	5.95	3.80	280
823	2753	FB	玄武岩	鐵石	7.35	6.60	2.60	130
824	6271	FB	玄武岩	鐵石	9.20	7.20	3.60	375
825	253	FB	輝石安山岩	鐵石	8.10	7.85	3.80	260

剖面番号	遺物番号	出土部位	石種	個体条件	組数 (nm)	標準 (nm)	厚 (mm)	重 (g)
826	1446	KU	輝石安山岩	敲打	10.56	11.00	6.60	1110
827	7097	FB	輝石安山岩	敲打	11.30	9.55	5.30	910
828	5602	FB	玄武岩	敲打	12.40	10.10	4.80	870
829	1539	XU	輝石安山岩	敲打	11.70	8.30	5.20	735
830	673	FB	玄武岩	敲打	10.95	9.00	4.70	715
831	3497	FB	輝石安山岩	敲打	(9.70)	(9.70)	(4.80)	(575)
832	421	FB	輝石安山岩	敲打	8.65	6.85	2.90	250
833	4771	FB	アブリイト	敲打	9.30	8.50	4.50	510
834	6169	FB	輝石安山岩	敲打	12.46	8.30	4.20	660
835	2184	FB	玄武岩	敲打	11.20	9.10	4.60	770
836	3419	FB	玄武岩	敲打	13.65	8.60	4.10	680
837	7381	FB	輝石安山岩	敲打	14.80	8.85	8.05	965
838	7932	FB	輝石安山岩	敲打	15.90	6.70	7.10	995
839	7878	FB	輝石安山岩	敲打	13.40	7.40	6.00	860
840	6276	FB	輝石安山岩	敲打	(12.05)	(6.45)	(6.00)	(645)
841	899	FB	輝石安山岩	敲打	(13.25)	(8.50)	(5.90)	(940)
842	6198	FB	輝石安山岩	敲打	(10.30)	(6.50)	(7.00)	(610)
843	6322	FB	輝石安山岩	敲打	(10.45)	(6.95)	(7.20)	(680)
844	4165	FB	多孔質玄武岩	敲打	(9.40)	(8.10)	(6.80)	(725)
845	6213	FB	玄武岩	敲打	16.65	7.30	5.90	1135
846	1436	Z4	輝石安山岩	敲打	12.90	7.80	6.30	810
847	7494	FB	玄武岩	敲打	13.80	6.60	5.90	840
848	6470	FB	輝石安山岩	敲打	11.65	6.20	5.80	610
849	6354	FB	玄武岩	敲打	14.00	7.65	4.90	760
850	520	FB	多孔質玄武岩	敲打	12.95	7.30	6.20	760
851	4943	FB	多孔質玄武岩	刮削	11.50	10.40	5.50	790
852	1728	FB	多孔質玄武岩	刮削	(11.00)	(9.30)	(5.20)	(690)
853	6434	FB	玄武岩	刮削	11.30	8.70	4.45	525
854	281	FB	輝石安山岩	刮削	15.00	10.25	7.80	1615
855	435	FB	輝石安山岩	刮削	14.60	8.95	7.10	1260
856	5347	FB	玄武岩	刮削	9.30	7.10	4.50	390
857	6290	FB	輝石安山岩	刮削	13.50	9.00	5.00	830
858	772	FB	多孔質玄武岩	刮削	7.10	7.20	3.80	280
859	21	FB	ダイヤモンド	刮削	10.60	6.30	3.50	225
860	456	FB	玄武岩	刮削	10.80	8.05	4.85	620
861	8159	FB	多孔質玄武岩	石墨	(28.10)	(27.10)	(9.90)	(8600)
862	5268	FB	多孔質玄武岩	石墨	(22.40)	(24.40)	(10.90)	(6600)
863	1945	FB	輝石安山岩	石墨	(34.40)	(21.90)	(8.30)	(7000)
864	1961	FB	輝石安山岩	石墨	29.90	19.70	9.20	8600
865	1960	FB	輝石安山岩	石墨	(24.30)	(24.60)	(13.00)	(1050)
866	329	FB	多孔質玄武岩	石墨	(19.80)	(28.80)	(7.20)	(6300)
867	1055	KU	多孔質玄武岩	石墨	(17.0)	(26.20)	(9.20)	(3500)
868	6863	FB	玄武岩	石墨	(23.30)	(22.60)	(8.20)	(5000)
869	6215	FB	多孔質玄武岩	石墨	(20.50)	(19.20)	(6.30)	(3600)
870	5849	FB	輝石安山岩	石墨	(15.75)	(11.35)	(3.10)	(1110)
871	1560	KU	輝石安山岩	石墨	(6.75)	(16.25)	(5.30)	(3900)
872	6650	FB	輝石安山岩	敲打	19.40	17.70	5.70	3230

附表4 個体別分類一覧表

個体別番号	色調	含有物・その他	光沢	自然面	剥片面	石器種・遺物出土層位
1 HNH11	黒色不透明～半透明	暗灰色の鱗状の繊維と0.5mm程度の太さの全体に見られる。0.5mm～2mm程度、黒いの珪藻・石英を全体に少量含む	不明	微細な割れが見られる	131	FR YLL YLM YLL
2 HNH12	黒色不透明～透透明	0.5程度の石英を全体に少量含む	やや鋭い	不明	微細な割れが立つ、なめらか	1 FB
3 HNH13	黒色不透明	0.5mm程度の石英を全体に少量含む	やや鋭い	不明	なめらか	1 FB
4 HNH16	黒色不透明	0.5mm程度の石英を全体に少量含む	鋭い	不明	微細な割れが立つ	2 YLL
5 AGK17	黒色不透明～透透明	0.5mm程度の珪藻を全体に少量含む	やや鋭い	不明	微細な割れが少し見られる	1 YLU
6 HNH18	黒色不透明～半透明	暗灰色の花状の繊が全体に見られる。0.5mm～1mm程度の珪藻・石英を全体に極少量含む	不明	微細な割れが少し見られる。なめらか	3	YLL
7 HNH19	黒色不透明	暗灰色の花状の繊が一部に見られる。0.5mm程度の珪藻を全体に少量含む	鋭い	不明	微細な割れが少し見られる	1 FB
8 HNH21	暗灰色不透明	なし	鋭い	不明	なめらか	1 YLL
9 HNK11	黒色半透明	0.5mm程度の珪藻・石英を全体に少量含む	鋭い	不明	微細な割れが立つ	1 FB
10 AGK11	黒色不透明	0.5mm～1mm程度の珪藻を多量に含む	鋭い	なめらか、一掃式ガラス状	1	BB I
11 AGK12	不透明～半透明	灰褐色の帯状の繊が全体に目立つ。2mm～3mm程度の珪藻を多量に含む	鋭い	シリガラス状	12	BB I
12 AGK13	暗灰色不透明	0.5mm程度の石英を少量含む	鋭い	滑らか	1	BB I
13 AGK14	暗色不透明～透透明	灰褐色の帶状の繊が一部に見られる。0.5mm程度の珪藻・石英を少量含む	鋭い	不明	なめらか	3 BB I
14 AGK15	暗灰色不透明	0.5mm程度の珪藻・石英を少量含む	鋭い	風化の鳥糞状	1	BB I
15 AGK16	暗灰色不透明	灰褐色の繊が全体に見られる。0.5mm程度の石英を少量含む	鋭い	不明	なめらか	4 BB I
16 AGK17	灰色不透明	0.5mm程度の石英を少量含む	鋭い	滑らか	2	BB I
17 AGK18	黑色不透明	灰色の繊が全体に見られる。0.5mm程度の珪藻・石英を少量含む	やや鋭い	不明	なめらか	2 BB I
18 AGK19	暗灰色半透明～透透明	暗灰色の繊維状スジ状(0.5mm以下の骨縫)の繊が全体に見られる	鋭い	小明	なめらか	3 BB I
19 AGK20	黑色不透明～半透明	暗灰色の繊維状の繊(1mm以下)が全体に見られる	やや鋭い	アバタ状	1	YLU
20 AGK21	暗灰色不透明～透透明	なし	鋭い	不明	なめらか	2 BB I
21 AGK22	暗灰色半透明～透透明	暗灰色の繊維状の繊が全体に見られる。0.5mm程度の石英を少量含む	鋭い	小明	なめらか	1 YLU
22 AGK23	墨色不透明	0.5mm～5mm程度の珪藻が全体に少量見られる	やや鋭い	スラガラス状	1	YLU
23 AGK24	墨色(黑色が強い)	暗灰色の花状の繊が一部に見られる。0.5mm程度の石英を少量含む	鋭い	不明	なめらか	1 YLU
24 AGK25	暗灰色不透明	暗色の繊が全体に見られる。0.5mm程度の石英を少量含む	鋭い	不明	なめらか	1 YLU
25 AGK26	灰色不透明	0.5mm程度の珪藻を少量含む	鋭い	不明	なめらか	1 YLU
26 AGK27	暗灰色不透明	0.5mm程度の石英を少量含む	なし	不明	なめらか	2 YLU
27 AGK28	暗灰色不透明	0.5mm～1mm程度の珪藻を全体に多量含む	鋭い	アバタ状	1	FB
28 KDN1	暗灰色半透明	なし	やや鋭い	小明	なめらか	1 RU
29 KDN2	暗灰色半透明	なし	やや鋭い	不明	なめらか	1 FB
30 KDN3	暗灰色半透明～透透明	なし	やや鋭い	不明	なめらか	2 YLU
31 KDT11	透明(薄黒色がかる)	うろこ状の黑色微粒子が全体に目立つ	鋭い	不明	なめらか	1 RU
32 KDT2	透明(薄黒色がかる)	なし	鋭い	不明	なめらか	1 RU
33 KDT13	透明(薄黒色がかる)	母岩色～灰色のほきけた繊が全体に見られる。0.5mm～1mm程度の珪藻を少量含む	鋭い	不明	なめらか	1 TLL
34 KDT14	透明(薄黒色がかる)～墨色	うろこ状の黑色微粒子が全体に見られる。0.5mm程度の珪藻の密集部が一部に見隠される	鋭い	不明	なめらか	1 ZS
35 KDT15	透明(薄黒色がかる)	うろこ状の黑色微粒子が全体に目立つ	鋭い	不明	なめらか	1 RU
36 KDT16	透明(薄黒色がかる)	母岩色の繊が一部に見られる	鋭い	不明	なめらか	1 FB

割別番号	色調	含有物・その他の特徴	光沢	質地面	剥片面	石記載	遺物出土層位
37 TSUT2	透明(薄灰色の調り有り)	なし	無い	シリガラス状	なめらか	1	YL
38 TSUT3	透明(薄灰色がかる)	なし	無い	不明	なめらか	1	YL
39 TSUT4	透明(薄黒色がかる)	微細な黑色が全体に見られる。0.5mm程度の成膜を全体に見受けた。	無い	不明	なめらか	1	PB
40 TSUT5	透明(薄黒色がかる)	0.5mm程度の成膜が少量含まれる。細色の粒子が全体に散在する。	無い	不明	なめらか	1	PB
41 TSUT6	透明(薄黒色がかる)	0.5mm程度の成膜を極少量含む	無い	不明	なめらか	1	PB
42 TSUT7	透明(薄黒色がかる)	0.5mm程度の成膜が極少量含まれる。黑色の微細な成膜が見られ、見つけた所で見られる。	無	不明	なめらか	1	NL
43 TSUT8	透明(薄黒色がかる)	微細な気泡が結晶として全体に見られる。0.5mm程度の成膜を全体に多量に含む。	無い	不明	なめらか	2	YL, YL
44 TSUT9	透明(薄黒色がかる)	0.5mm程度の成膜を極少量含む	無い	不明	なめらか	3	YL
45 SWB01	透明(薄灰色の調りをもつ)	灰色の調子が全体に見られる。0.5mm程度の成膜を極少量含む	無い	不明	なめらか	1	BL
46 SWB02	透明(薄黒色がかる)	なし	無い	不明	なめらか	1	PB
47 SWB03	透明(薄黒色がかる)	黒色へ黒褐色の微細な成膜が全体に見られる。	無い	不明	なめらか	1	BL
48 SWB04	透明(薄黒褐色がかる)	黑色微粒子がうろこ状態で全体に散在する。	無い	不明	なめらか	1	PB
49 SWB05	透明(薄黒色がかる)	黒色へ黒褐色の微細なスジ状の成膜が全体に見られる。	無い	不明	なめらか	1	PB
50 SWB06	黑色至透明	なし	無い	不明	なめらか	1	PB
51 SWB07	透明(薄黒色がかる)	灰色の微細な成膜が全体に見られる。0.5mm程度の成膜が一部に見られる。	無い	不明	なめらか	1	PB
52 SWB08	黑色至透明	黑色の微細な成膜が全体に見られる。一部に黒褐色や灰色の成膜が見られる。	無い	不明	なめらか	1	ZS
53 SWB09	透明(薄黒色がかる)	黑色の成膜が一部に見られる。	無い	不明	なめらか	1	BL
54 SWB10	透明(薄黒色がかる)	灰白色の微細な成膜が全体に見られる。	無い	不明	なめらか	2	YL
55 SWB11	透明(薄黒色がかった調り有り)	灰白色の調子が全体に見られる。	無い	不明	なめらか	1	YL
56 SWB12	透明(薄黒色がかる)一端黒 色	一端黒、うちこぶしの黒色微粒子が全体に見られる。	無い	不明	なめらか	1	YL
57 SWB13	透明(薄黒色がかる)	黑色の微細な成膜が全体に見られる。一部に0.5mm程度の成膜を含む。	無い	シリガラス状	なめらか	3	BB I
58 SWB14	透明(薄黒色がかる)	暗灰色の微細なスジ状の成膜が全体に見られる。	無い	不明	なめらか	4	BB I
59 SWB15	黑色不透明~透明	うろこ状の黒色微粒子が全体に見られる。	無い	不明	なめらか	1	BB I
60 SWB16	透明(薄黒色がかる)	なし	無い	不明	なめらか	1	BB I
61 SWB17	透明(黑色がかる)	0.5mm程度の成膜が一部に見られる。	無い	不明	なめらか	1	BB I
62 SWB18	透明(薄出色がかる)	黑色へ墨黒色の微細なスジ状の成膜が全体に見られる。	無い	不明	なめらか	1	YL
63 SWB19	透明(薄黒色がかる)	黑色の微細な成膜が全体に見られる。0.5mm～1mm程度の成膜を極少量含む。	無い	不明	なめらか	1	YL
64 SWB20	透明(薄黒色がかる)	灰白色の微細な成膜が全体に見られる。	無い	不明	なめらか	1	YL
65 SWB21	透明(薄黒色がかる)	なし	無い	不明	なめらか	1	BL
66 SWB22	透明(薄黒色がかる)	なし	やや無い	不明	なめらか	1	BL
67 SWB23	透明(薄黒色がかる)	なし	無い	不明	なめらか	1	BL
68 SWB24	透明(薄黒色がかる)	なし	無い	不明	なめらか	1	ZS
69 SWB25	透明(薄黒色がかる)	暗褐色の微細なスジ状の成膜が一部に見られる。	無い	不明	なめらか	1	ZS
70 SWB26	透明(薄黒色がかる)	暗褐色の成膜が一部に見られる。	無い	不明	なめらか	2	YL

附 編

附編1 黒曜石原産地分析

国立沿津工業専門学校教授 望月 昭彦

1. 産地原石判別群 (SEIKO SEA -2110L 蛍光X線分析装置による)

都道府県	原石No.	クリア	番号別群	別判別群	新記号	組記号	原石採取地(分類数)
北海道	1	白羅	八号灰岩群	STHG			赤石山山麓(19), 八号灰岩群(31), 八号灰(79), 黒礁の沢(5),
	2	上半性	黒礁力岩群		STNT		幌加木村(1)
	3	夏井	半灰岩群		KSMW		トノ表(10)
北海道	4	旗川	島崎台群		QDAZ		安田(15), 清水ノ沢(9)
	5	七等	青木台群		AKTA		高砂丘(6), 須森(6), 無光台(3)
	6	断子瀬川	南岸群		STSD		布川(10)
	7	涼子川	南岸群		AMK		面川(25), 千木川(15)
青森	8	草深	黒礁群		TUFI		夏井(16)
	9	不道	田代灰岩群		KDOK		大森島海岸(3)
	10	深浦	八森山群		SHAM		八森山公園(6), 八角灰(3), 向崎浜(4)
秋田	11	男鹿	伊勢谷群		OOGS		金ヶ崎海岸(31), 鹿田海岸(9)
	12	羽黒	日向群		HOGS		雄物海岸(6)
山形	13	所沢	小野川群		HOGN		月山山麓(10), 鶴日町田代(15), 鶴引町中央(18)
	14	所沢	北波群		NTKT		今野川(10), 大鶴川(3)
福島	15	所沢	板山群		SBY		金峰(2)
	16	葛原山	萬葉山群		THAY	TKH	葛原牧場(6)
栃木	17	葛原山	萬葉山群		THNH	TKH2	萬葉牧場(3), 板波(29)
	18	葛原山	萬葉山群		WDLY	WDT	七尋沢(9), 自然の森(9)
	19	葛原山	萬葉山群		WDKJ	WDT2	
群馬	20	小野沢群	和田沢群		WDTK	WDT3	葛原山(33), 小夜沢(5), 東野屋(38), 美春ライ(37), 古峰(30), 十星橋(20), 上野原西(29), 上野原東(68), 一丁目駒(18)
	21	上野原西群	和田沢群		WDTN	WDT4	
	22	上野原東群	和田沢群		WDTM	WDT5	
長野	23	古御	上野原群		WDHT	WDT6	
	24	古御群	伊奈曾群		WDHT	WDT7	
	25	古御群	伊奈曾群		WDHT	WDT8	
岐阜	26	和田沢群	男女曾群		WOMD	OMG1	ゾウワク(36), ブリウチ右岸(18), 牧ヶ原上(3), 牧ヶ原下(36), 高根(10)
	27	和田沢群	男女曾2群		WOMS	OMG2	
	28	和田沢群	男女曾3群		WOTM	OMG3	
愛知	29	諏訪	星ヶ崎群		SWID	KRM	星ヶ崎第1駒(3), 星ヶ崎第2駒(3), 星ヶ駒(3), 星ヶ駒(1), 木戸重慶(3), 木戸公信(3), 木戸駒(2)
	30	諏訪	春山群		TSTY	FTS	冷山(33), 木戸駒(36), 安賀岬東(3), 沢ノ原(29), 安賀森(4), ルケ岳(31), ハヤガ岳(38), 双子池(34)
静岡	31	諏訪	双子山群		TSBG		双子池(26)
	32	諏訪	双子山群		TSSB		横浜山(3,), 鳥甲池(6)
神奈川	33	芦ノ湖群	芦ノ湖		LBAY	ASV	芦ノ湖(54)
	34	諏訪	諏訪		HSB2	HTJ	諏訪(7)
神奈川	35	諏訪	諏訪		HSKJ	HKNA	諏訪湖(5)
	36	諏訪	諏訪		HSKJ	KJY	諏訪湖(3)
神奈川	37	大城	上多賀群		HMKT	KMT	上多賀(18)
	38	大城	上多賀群		AGKT	KSW	相模(3)
神奈川	39	神奈川	神奈川群		KZOB	KOZ1	足跡込(10), 佐浦(43), 武沢(20)
	40	神奈川	神奈川群		KZON	KOZ2	御殿崎(40), 長瀬(8)
神奈川	41	久見群	久見群		OKAM		久見(ペラード)(10), 久見海岸(後援)(10)
	42	久見群	久見群		OKAM		某浦海岸(30), 加須(9), 伊根(25)
鳥取	43	通岐	通岐		OKMT		通岐地区(16)
	44	通岐	通岐		OKMT		中ノ瀬(1), BC(通岐試料), 原石产地(未免観)



2. 土出土黒曜石製石器産地推定結果

判別図法・判別分析からの最終推定結果判別図法による推定結果と判別分析による推定結果

分類番号	遺物番号	推定地	判別分析						
			判別数	基準	標準	判別数	基準	標準	
0002-253	TIR-1	203	鹿島灘・台原	SB01	5.92	1	SB01	77.34	0
0002-256	TIR-2	32P	天城船出村	AG01	10.01	1	WB01	133.13	0
0002-257	TIR-3	330	鹿島灘・台原	WB01	1.52	1	WB01	90.63	0
0002-258	TIR-4	331	鹿島灘・台原	SB01	6.92	1	WB01	141.94	0
0002-259	TIR-5	342	天城船出村	AG01	6.92	1	WB01	117.17	0
0002-260	TIR-6	215	天城船出村	AG01	6.92	1	WB01	127.91	0
0002-261	TIR-7	344	天城船出村	AG01	6.92	1	WB01	117.65	0
0002-262	TIR-8	345	天城船出村	AG01	6.92	1	WB01	118.47	0
0002-263	TIR-9	302	天城船出村	AG01	6.92	1	WB01	140.05	0
0002-264	TIR-10	384	鹿島灘・台原	SB01	6.92	1	SB01	88.27	0
0002-265	TIR-11	349	天城船出村	AG01	27.22	1	WB01	56.71	0
0002-266	TIR-12	327	鹿島灘・台原	SB01	6.92	1	SB01	84.58	0
0002-267	TIR-13	349	天城船出村	AG01	2.31	1	WB01	118.93	0
0002-268	TIR-14	269	鹿島灘・台原	SB01	6.92	1	SB01	52.56	0
0002-269	TIR-15	318	鹿島灘・台原	WB01	1.19	1	WB01	79.31	0
0002-270	TIR-16	382	鹿島灘・台原	SB01	6.92	1	SB01	123.94	0
0002-271	TIR-17	320	鹿島灘・台原	SB01	6.92	1	SB01	123.94	0
0002-272	TIR-18	320	鹿島灘・台原	AG01	6.92	1	SB01	123.94	0
0002-273	TIR-19	373	鹿島灘・台原	SB01	6.92	1	SB01	81.76	0
0002-274	TIR-20	326	鹿島灘・台原	WB01	2.05	1	SB01	108.15	0
0002-275	TIR-21	275	鹿島灘・台原	SB01	6.92	1	SB01	117.76	0
0002-276	TIR-22	1948	鹿島灘・台原	SB01	2.73	1	SB01	74.18	0
0002-277	TIR-23	1877	鹿島灘・台原	SB01	7.52	1	SB01	104.65	0
0002-278	TIR-24	2456	和泉上屋新井野	WB01	6.84	1	SB01	97.82	0
0002-279	TIR-25	2437	鹿島灘・台原	SB01	12.9	1	SB01	123.92	0
0002-280	TIR-26	2458	鹿島灘・台原	SB01	6.9	1	SB01	119.14	0
0002-281	TIR-27	2675	鹿島灘・台原	TS01	6.05	1	TS01	26.42	0
0002-282	TIR-28	2106	鹿島灘・台原	WB01	6.68	1	WB01	27.5	0
0002-283	TIR-29	2105	鹿島灘・台原	WB01	2.31	1	WB01	10.05	0
0002-284	TIR-30	2103	鹿島灘・台原	WB01	1.41	1	WB01	105.16	0
0002-285	TIR-31	2484	鹿島灘・台原	WB01	1.78	1	SB01	96.65	0
0002-286	TIR-32	2635	鹿島灘・台原	WB01	1.92	1	SB01	123.92	0
0002-287	TIR-33	2438	鹿島灘・台原	SB01	6.92	1	SB01	119.14	0
0002-288	TIR-34	2601	鹿島灘・台原	WB01	1.99	1	SB01	66.91	0
0002-289	TIR-35	3628	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	SB01	23.56	0
0002-290	TIR-36	3684	沖縄鳴門鳥羽	WB01	6.88	1	WB01	11.33	0
0002-291	TIR-37	2485	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-292	TIR-38	2437	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-293	TIR-39	2437	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-294	TIR-40	2438	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-295	TIR-41	2438	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-296	TIR-42	4574	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-297	TIR-43	4588	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-298	TIR-44	4588	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-299	TIR-45	4588	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-300	TIR-46	4588	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-301	TIR-47	4587	天城船出村	TS01	6.05	1	TS01	115.63	0
0002-302	TIR-48	4589	鹿島灘・台原	WB01	6.87	1	WB01	76.70	0
0002-303	TIR-49	4571	鹿島灘・台原	WB01	6.13	1	WB01	85.24	0
0002-304	TIR-50	4571	大森	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-305	TIR-51	1720	鹿島灘・台原	WB01	4	1	WB01	90.31	0
0002-306	TIR-52	4787	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-307	TIR-53	4787	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-308	TIR-54	4787	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-309	TIR-55	4787	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-310	TIR-56	4787	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-311	TIR-57	4641	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-312	TIR-58	4642	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-313	TIR-59	4642	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-314	TIR-60	4644	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-315	TIR-61	6889	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-316	TIR-62	6889	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-317	TIR-63	6889	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-318	TIR-64	6889	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-319	TIR-65	6889	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-320	TIR-66	6889	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-321	TIR-67	6889	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-322	TIR-68	6889	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-323	TIR-69	6889	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-324	TIR-70	6889	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-325	TIR-71	7010	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-326	TIR-72	6901	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-327	TIR-73	6902	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-328	TIR-74	6903	鹿島灘・台原	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-329	TIR-75	6912	天城船出村	TS01	2.71	1	TS01	24.82	0
0002-330	TIR-76	6913	鹿島灘・台原	WB01	18.96	1	WB01	58.11	0
0002-331	TIR-77	6914	鹿島灘・台原	WB01	2.57	1	WB01	38.84	0
0002-332	TIR-78	6915	沖縄那覇市那覇	WB01	1.89	1	WB01	130.45	0
0002-333	TIR-79	6915	鹿島灘・台原	WB01	8.39	1	WB01	60.05	0
0002-334	TIR-80	6915	鹿島灘・台原	WB01	2.59	1	WB01	63.82	0
0002-335	TIR-81	6915	大森	WB01	4	1	WB01	90.31	0
0002-336	TIR-82	6915	大森	WB01	3.02	1	WB01	26.00	0
0002-337	TIR-83	6915	大森	WB01	4.16	1	WB01	116.98	0
0002-338	TIR-84	6915	大森	WB01	6.88	1	WB01	123.92	0
0002-339	TIR-85	6917	鹿島灘・台原	TS01	2.21	1	TS01	24.82	0
0002-340	TIR-86	6917	鹿島灘・台原	TS01	18.96	1	TS01	58.11	0
0002-341	TIR-87	6917	鹿島灘・台原	WB01	2.57	1	WB01	38.84	0
0002-342	TIR-88	6917	鹿島灘・台原	WB01	1.89	1	WB01	130.45	0
0002-343	TIR-89	6917	鹿島灘・台原	WB01	15.31	1	WB01	126.69	0
0002-344	TIR-90	6917	鹿島灘・台原	WB01	4.66	1	WB01	144.73	0
0002-345	TIR-91	6917	鹿島灘・台原	WB01	8.07	1	WB01	108.47	0
0002-346	TIR-92	6917	鹿島灘・台原	WB01	8.61	1	WB01	67.73	0
0002-347	TIR-93	6917	鹿島灘・台原	WB01	6.9	1	WB01	123.92	0
0002-348	TIR-94	6917	鹿島灘・台原	WB01	3.23	1	WB01	123.92	0
0002-349	TIR-95	6917	鹿島灘・台原	WB01	18.68	1	WB01	123.92	0
0002-350	TIR-96	6917	鹿島灘・台原	WB01	5.79	1	WB01	127.4	0
0002-351	TIR-97	6917	鹿島灘・台原	WB01	2.49	1	WB01	123.21	0.0001
0002-352	TIR-98	6917	鹿島灘・台原	WB01	4.61	1	WB01	123.92	0
0002-353	TIR-99	6917	鹿島灘・台原	WB01	15.27	1	WB01	123.92	0
0002-354	TIR-100	6917	鹿島灘・台原	WB01	6.99	1	WB01	51.42	0
0002-355	TIR-101	6917	鹿島灘・台原	WB01	6.37	0.9999	WB01	19.84	0.0001
0002-356	TIR-102	6917	鹿島灘・台原	WB01	1.8	0.9999	WB01	12.95	0.0001
0002-357	TIR-103	6917	鹿島灘・台原	WB01	6.97	1	WB01	147.45	0
0002-358	TIR-104	6917	鹿島灘・台原	WB01	12.74	1	WB01	76.04	0
0002-359	TIR-105	6917	鹿島灘・台原	WB01	8.57	1	WB01	26.49	0
0002-360	TIR-106	6917	鹿島灘・台原	WB01	7.71	1	WB01	92.7	0

262年 通草年	分析器年	波物年份	推定年地	判別分析			
				判別式 可視部	第1次判別 可視部	第2次判別 可視部	標準
ME02-249	TH0-83	7296	其他海岸群	ME01	16.92	1	ME01
ME02-249	TH0-66	7261	其他海岸群	ME01	16.14	1	ME01
ME02-241	TH0-97	7213	神奈川縣海岸群	ME01	7.45	1	ME01
ME02-242	TH0-68	7214	神奈川縣海岸群	ME01	7.45	1	ME01
ME02-242	TH0-92	7563	其他海岸群	ME01	15.12	1	ME01
ME02-244	TH0-93	7495	海岸系水生植物群	ME01	2.37	1	ME01
ME02-245	TH0-91	7397	青青礁石群	ME01	2.38	1	ME01
ME02-246	TH0-92	7397	藍綠藻帶群	ME01	6.66	1	ME01
ME02-247	TH0-95	7393	藍綠藻帶群	ME01	2.19	1	ME01
ME02-248	TH0-94	7399	藍綠藻帶群	ME01	10.22	1	ME01
ME02-249	TH0-95	8040	藍綠藻帶群	ME01	15.99	1	ME01
ME02-250	TH0-96	8021	海帶藻帶群	ME01	15.14	1	ME01
ME02-251	TH0-97	8002	海帶藻帶群	ME01	26.9	1	ME01
ME02-252	TH0-98	8002	海帶藻帶群	ME01	1.13	1	ME01
ME02-253	TH0-99	8005	海帶藻帶群	ME01	1.59	1	ME01
ME02-254	TH0-100	8005	海帶藻帶群	ME01	4.76	1	ME01
ME02-255	TH0-101	9113	海帶藻帶群	ME01	—	—	ME01
ME02-256	TH0-102	—	水草	ME01	—	—	ME01
ME02-257	TH0-102	8183	附着藻-苔類	ME01	15.31	1	ME01
ME02-258	TH0-104	8164	海帶藻帶群	ME01	7.76	1	ME01
ME02-259	TH0-105	8160	海帶藻帶群	ME01	11.33	1	ME01
ME02-260	TH0-105	8160	海帶藻帶群	ME01	11.43	1	ME01
ME02-304	TH0-107	8104	海帶藻帶群	ME01	9.67	1	ME01
ME02-305	TH0-108	8105	海帶藻帶群	ME01	9.15	1	ME01
ME02-340	TH0-109	8106	海帶藻帶群	ME01	16.14	1	ME01
ME02-344	TH0-110	8107	海帶藻帶群	ME01	1.45	1	ME01
ME02-345	TH0-110	8108	海帶藻帶群	ME01	7.15	1	ME01
ME02-346	TH0-111	8108	海帶藻帶群	ME01	2.5	1	ME01
ME02-347	TH0-112	8109	海帶藻帶群	ME01	7.09	1	ME01
ME02-348	TH0-112	8109	海帶藻帶群	ME01	12.39	1	ME01
ME02-349	TH0-114	8109	海帶藻帶群	ME01	1.4	1	ME01
ME02-350	TH0-115	8104	海帶藻帶群	ME01	8.01	1	ME01
ME02-370	TH0-116	8195	海帶藻帶群	ME01	3.64	1	ME01
ME02-371	TH0-117	8195	海帶藻帶群	ME01	14.96	1	ME01
ME02-372	TH0-118	8195	海帶藻帶群	ME01	11.67	1	ME01
ME02-373	TH0-119	8195	海帶藻帶群	ME01	3.28	1	ME01
ME02-374	TH0-120	8195	海帶藻帶群	ME01	2.45	1	ME01
ME02-375	TH0-121	8195	海帶藻帶群	ME01	7.13	1	ME01
ME02-376	TH0-122	8195	海帶藻帶群	ME01	10.54	1	ME01
ME02-377	TH0-123	8195	海帶藻帶群	ME01	4.54	1	ME01
ME02-378	TH0-124	8194	海帶藻帶群	ME01	4.18	1	ME01
ME02-379	TH0-125	8205	海帶藻帶群	ME01	6.36	1	ME01
ME02-380	TH0-126	8206	海帶藻帶群	ME01	8	1	ME01
ME02-381	TH0-127	8209	海帶藻帶群	ME01	1.41	1	ME01
ME02-382	TH0-128	8210	海帶藻帶群	ME01	—	—	ME01
ME02-383	TH0-129	8210	紫菜藻帶	ME01	—	—	ME01
ME02-384	TH0-130	8210	大藻	ME01	—	—	ME01
ME02-385	TH0-131	8212	海帶藻帶群	ME01	1.5	1	ME01
ME02-386	TH0-132	8212	海帶藻帶群	ME01	7.24	1	ME01
ME02-387	TH0-132	8214	海帶藻帶群	ME01	3.56	1	ME01
ME02-388	TH0-134	8215	海帶藻帶群	ME01	1.95	1	ME01
ME02-389	TH0-135	8216	海帶藻帶群	ME01	3.05	1	ME01
ME02-390	TH0-136	8217	海帶藻帶群	ME01	6.15	1	ME01
ME02-391	TH0-137	8218	海帶藻帶群	ME01	2.82	1	ME01
ME02-392	TH0-138	8220	海帶藻帶群	ME01	7.79	1	ME01
ME02-393	TH0-139	8227	海帶藻帶群	ME01	4.29	1	ME01
ME02-394	TH0-140	8251	海帶藻帶群	ME01	6.12	1	ME01
ME02-395	TH0-141	8257	海帶藻帶群	ME01	11.54	1	ME01
ME02-396	TH0-142	8258	海帶藻帶群	ME01	2.71	1	ME01
ME02-397	TH0-143	8259	海帶藻帶群	ME01	17.36	1	ME01
ME02-398	TH0-144	8260	海帶藻帶群	ME01	8.51	2	ME01
ME02-399	TH0-145	8261	海帶藻帶群	ME01	4.25	1	ME01
ME02-400	TH0-146	8263	海帶藻帶群	ME01	1.61	1	ME01
ME02-401	TH0-147	—	大藻	ME01	—	—	ME01
ME02-402	TH0-148	8279	海帶藻帶群	ME01	10.65	1	ME01
ME02-403	TH0-149	8271	海帶藻帶群	ME01	11.19	1	ME01
ME02-404	TH0-150	8272	海帶藻帶群	ME01	5.61	1	ME01
ME02-405	TH0-151	8273	海帶藻帶群	ME01	14.61	1	ME01
ME02-406	TH0-152	8274	海帶藻帶群	ME01	13.42	1	ME01
ME02-407	TH0-153	8275	海帶藻帶群	ME01	20.77	1	ME01
ME02-408	TH0-154	8276	海帶藻帶群	ME01	10.61	1	ME01
ME02-409	TH0-155	8277	海帶藻帶群	ME01	1.99	1	ME01
ME02-410	TH0-156	8278	海帶藻帶群	ME01	3.16	1	ME01
ME02-411	TH0-157	8279	海帶藻帶群	ME01	7.62	1	ME01
ME02-412	TH0-158	8280	海帶藻帶群	ME01	2.08	1	ME01
ME02-413	TH0-159	8281	海帶藻帶群	ME01	1.44	1	ME01
ME02-414	TH0-160	8282	海帶藻帶群	ME01	5.29	1	ME01
ME02-415	TH0-161	8283	海帶藻帶群	ME01	4.43	1	ME01
ME02-416	TH0-162	8286	海帶藻帶群	ME01	4.18	1	ME01
ME02-417	TH0-163	8287	海帶藻帶群	ME01	3.64	1	ME01
ME02-418	TH0-164	8288	海帶藻帶群	ME01	9	1	ME01
ME02-419	TH0-165	8289	海帶藻帶群	ME01	6.02	1	ME01
ME02-420	TH0-166	8290	海帶藻帶群	ME01	3.52	1	ME01
ME02-421	TH0-167	8291	海帶藻帶群	ME01	7.41	1	ME01
ME02-422	TH0-168	8292	海帶藻帶群	ME01	12.74	1	ME01
ME02-423	TH0-169	8293	海帶藻帶群	ME01	1.03	1	ME01
ME02-424	TH0-170	8294	海帶藻帶群	ME01	15.43	1	ME01
ME02-425	TH0-171	8295	海帶藻帶群	ME01	7.08	1	ME01
ME02-426	TH0-172	8296	海帶藻帶群	ME01	2.49	2	ME01
ME02-427	TH0-173	8297	海帶藻帶群	ME01	3.62	1	ME01

分析年份	分析年份号	测点番号	测定地址	时间	时间间隔		时间间隔		时间间隔	
					测时	测时	测时	测时	测时	测时
1982-01	1982-01	1000	深水井	1982-01-01	2.10	1	1982-01-01	1.00	1	1982-01-01
1982-02	1982-02	1001	深水井	1982-02-01	4.17	1	1982-02-01	2.00	1	1982-02-01
1982-03	1982-03	1002	深水井	1982-03-01	17.10	1	1982-03-01	8.00	1	1982-03-01
1982-04	1982-04	1003	深水井	1982-04-01	3.72	1	1982-04-01	1.88	1	1982-04-01
1982-05	1982-05	1004	深水井	1982-05-01	18.25	1	1982-05-01	9.00	1	1982-05-01
1982-06	1982-06	1005	深水井	1982-06-01	7.85	1	1982-06-01	3.88	1	1982-06-01
1982-07	1982-07	1006	深水井	1982-07-01	3.00	1	1982-07-01	1.50	1	1982-07-01
1982-08	1982-08	1007	深水井	1982-08-01	8.02	1	1982-08-01	4.00	1	1982-08-01
1982-09	1982-09	1008	深水井	1982-09-01	4.29	1	1982-09-01	2.00	1	1982-09-01
1982-10	1982-10	1009	深水井	1982-10-01	9.39	1	1982-10-01	4.63	1	1982-10-01
1982-11	1982-11	1010	深水井	1982-11-01	2.16	1	1982-11-01	1.00	1	1982-11-01
1982-12	1982-12	1011	深水井	1982-12-01	28.63	1	1982-12-01	14.00	1	1982-12-01
1983-01	1983-01	1012	深水井	1983-01-01	16.62	1	1983-01-01	8.00	1	1983-01-01
1983-02	1983-02	1013	深水井	1983-02-01	2.00	1	1983-02-01	1.00	1	1983-02-01
1983-03	1983-03	1014	深水井	1983-03-01	3.85	1	1983-03-01	1.88	1	1983-03-01
1983-04	1983-04	1015	深水井	1983-04-01	3.7	1	1983-04-01	1.88	1	1983-04-01
1983-05	1983-05	1016	深水井	1983-05-01	1.56	1	1983-05-01	0.80	1	1983-05-01
1983-06	1983-06	1017	深水井	1983-06-01	2.64	1	1983-06-01	1.32	1	1983-06-01
1983-07	1983-07	1018	深水井	1983-07-01	15.13	1	1983-07-01	7.56	1	1983-07-01
1983-08	1983-08	1019	深水井	1983-08-01	2.18	1	1983-08-01	1.00	1	1983-08-01
1983-09	1983-09	1020	深水井	1983-09-01	3.7	1	1983-09-01	1.88	1	1983-09-01
1983-10	1983-10	1021	深水井	1983-10-01	1.56	1	1983-10-01	0.80	1	1983-10-01
1983-11	1983-11	1022	深水井	1983-11-01	2.64	1	1983-11-01	1.32	1	1983-11-01
1983-12	1983-12	1023	深水井	1983-12-01	15.13	1	1983-12-01	7.56	1	1983-12-01
1984-01	1984-01	1024	深水井	1984-01-01	2.18	1	1984-01-01	1.00	1	1984-01-01
1984-02	1984-02	1025	深水井	1984-02-01	3.7	1	1984-02-01	1.88	1	1984-02-01
1984-03	1984-03	1026	深水井	1984-03-01	1.56	1	1984-03-01	0.80	1	1984-03-01
1984-04	1984-04	1027	深水井	1984-04-01	2.64	1	1984-04-01	1.32	1	1984-04-01
1984-05	1984-05	1028	深水井	1984-05-01	15.13	1	1984-05-01	7.56	1	1984-05-01
1984-06	1984-06	1029	深水井	1984-06-01	2.18	1	1984-06-01	1.00	1	1984-06-01
1984-07	1984-07	1030	深水井	1984-07-01	3.7	1	1984-07-01	1.88	1	1984-07-01
1984-08	1984-08	1031	深水井	1984-08-01	1.56	1	1984-08-01	0.80	1	1984-08-01
1984-09	1984-09	1032	深水井	1984-09-01	2.64	1	1984-09-01	1.32	1	1984-09-01
1984-10	1984-10	1033	深水井	1984-10-01	15.13	1	1984-10-01	7.56	1	1984-10-01
1984-11	1984-11	1034	深水井	1984-11-01	2.18	1	1984-11-01	1.00	1	1984-11-01
1984-12	1984-12	1035	深水井	1984-12-01	3.7	1	1984-12-01	1.88	1	1984-12-01
1985-01	1985-01	1036	深水井	1985-01-01	1.56	1	1985-01-01	0.80	1	1985-01-01
1985-02	1985-02	1037	深水井	1985-02-01	2.64	1	1985-02-01	1.32	1	1985-02-01
1985-03	1985-03	1038	深水井	1985-03-01	15.13	1	1985-03-01	7.56	1	1985-03-01
1985-04	1985-04	1039	深水井	1985-04-01	2.18	1	1985-04-01	1.00	1	1985-04-01
1985-05	1985-05	1040	深水井	1985-05-01	3.7	1	1985-05-01	1.88	1	1985-05-01
1985-06	1985-06	1041	深水井	1985-06-01	1.56	1	1985-06-01	0.80	1	1985-06-01
1985-07	1985-07	1042	深水井	1985-07-01	2.64	1	1985-07-01	1.32	1	1985-07-01
1985-08	1985-08	1043	深水井	1985-08-01	15.13	1	1985-08-01	7.56	1	1985-08-01
1985-09	1985-09	1044	深水井	1985-09-01	2.18	1	1985-09-01	1.00	1	1985-09-01
1985-10	1985-10	1045	深水井	1985-10-01	3.7	1	1985-10-01	1.88	1	1985-10-01
1985-11	1985-11	1046	深水井	1985-11-01	1.56	1	1985-11-01	0.80	1	1985-11-01
1985-12	1985-12	1047	深水井	1985-12-01	2.64	1	1985-12-01	1.32	1	1985-12-01
1986-01	1986-01	1048	深水井	1986-01-01	15.13	1	1986-01-01	7.56	1	1986-01-01
1986-02	1986-02	1049	深水井	1986-02-01	2.18	1	1986-02-01	1.00	1	1986-02-01
1986-03	1986-03	1050	深水井	1986-03-01	3.7	1	1986-03-01	1.88	1	1986-03-01
1986-04	1986-04	1051	深水井	1986-04-01	1.56	1	1986-04-01	0.80	1	1986-04-01
1986-05	1986-05	1052	深水井	1986-05-01	2.64	1	1986-05-01	1.32	1	1986-05-01
1986-06	1986-06	1053	深水井	1986-06-01	15.13	1	1986-06-01	7.56	1	1986-06-01
1986-07	1986-07	1054	深水井	1986-07-01	2.18	1	1986-07-01	1.00	1	1986-07-01
1986-08	1986-08	1055	深水井	1986-08-01	3.7	1	1986-08-01	1.88	1	1986-08-01
1986-09	1986-09	1056	深水井	1986-09-01	1.56	1	1986-09-01	0.80	1	1986-09-01
1986-10	1986-10	1057	深水井	1986-10-01	2.64	1	1986-10-01	1.32	1	1986-10-01
1986-11	1986-11	1058	深水井	1986-11-01	15.13	1	1986-11-01	7.56	1	1986-11-01
1986-12	1986-12	1059	深水井	1986-12-01	2.18	1	1986-12-01	1.00	1	1986-12-01
1987-01	1987-01	1060	深水井	1987-01-01	3.7	1	1987-01-01	1.88	1	1987-01-01
1987-02	1987-02	1061	深水井	1987-02-01	1.56	1	1987-02-01	0.80	1	1987-02-01
1987-03	1987-03	1062	深水井	1987-03-01	2.64	1	1987-03-01	1.32	1	1987-03-01
1987-04	1987-04	1063	深水井	1987-04-01	15.13	1	1987-04-01	7.56	1	1987-04-01
1987-05	1987-05	1064	深水井	1987-05-01	2.18	1	1987-05-01	1.00	1	1987-05-01
1987-06	1987-06	1065	深水井	1987-06-01	3.7	1	1987-06-01	1.88	1	1987-06-01
1987-07	1987-07	1066	深水井	1987-07-01	1.56	1	1987-07-01	0.80	1	1987-07-01
1987-08	1987-08	1067	深水井	1987-08-01	2.64	1	1987-08-01	1.32	1	1987-08-01
1987-09	1987-09	1068	深水井	1987-09-01	15.13	1	1987-09-01	7.56	1	1987-09-01
1987-10	1987-10	1069	深水井	1987-10-01	2.18	1	1987-10-01	1.00	1	1987-10-01
1987-11	1987-11	1070	深水井	1987-11-01	3.7	1	1987-11-01	1.88	1	1987-11-01
1987-12	1987-12	1071	深水井	1987-12-01	1.56	1	1987-12-01	0.80	1	1987-12-01
1988-01	1988-01	1072	深水井	1988-01-01	2.64	1	1988-01-01	1.32	1	1988-01-01
1988-02	1988-02	1073	深水井	1988-02-01	15.13	1	1988-02-01	7.56	1	1988-02-01
1988-03	1988-03	1074	深水井	1988-03-01	2.18	1	1988-03-01	1.00	1	1988-03-01
1988-04	1988-04	1075	深水井	1988-04-01	3.7	1	1988-04-01	1.88	1	1988-04-01
1988-05	1988-05	1076	深水井	1988-05-01	1.56	1	1988-05-01	0.80	1	1988-05-01
1988-06	1988-06	1077	深水井	1988-06-01	2.64	1	1988-06-01	1.32	1	1988-06-01
1988-07	1988-07	1078	深水井	1988-07-01	15.13	1	1988-07-01	7.56	1	1988-07-01
1988-08	1988-08	1079	深水井	1988-08-01	2.18	1	1988-08-01	1.00	1	1988-08-01
1988-09	1988-09	1080	深水井	1988-09-01	3.7	1	1988-09-01	1.88	1	1988-09-01
1988-10	1988-10	1081	深水井	1988-10-01	1.56	1	1988-10-01	0.80	1	1988-10-01
1988-11	1988-11	1082	深水井	1988-11-01	2.64	1	1988-11-01	1.32	1	1988-11-01
1988-12	1988-12	1083	深水井	1988-12-01	15.13	1	1988-12-01	7.56	1	1988-12-01
1989-01	1989-01	1084	深水井	1989-01-01	2.18	1	1989-01-01	1.00	1	1989-01-01
1989-02	1989-02	1085	深水井	1989-02-01	3.7	1	1989-02-01	1.88	1	1989-02-01
1989-03	1989-03	1086	深水井	1989-03-01	1.56	1	1989-03-01	0.80	1	1989-03-01
1989-04	1989-04	1087	深水井	1989-04-01	2.64	1	1989-04-01	1.32	1	1989-04-01
1989-05	1989-05	1088	深水井	1989-05-01	15.13	1	1989-05-01	7.56	1	1989-05-01
1989-06	1989-06	1089	深水井	1989-06-01	2.18	1	1989-06-01	1.00	1	1989-06-01
1989-07	1989-07	1090	深水井	1989-07-01	3.7	1	1989-07-01	1.88	1	1989-07-01
1989-08	1989-08	1091	深水井	1989-08-01	1.56	1	1989-08-01	0.80	1	1989-08-01
1989-09	1989-09	1092	深水井	1989-09-01	2.64	1	1989-09-01	1.32	1	1989-09-01
1989-10	1989-10	1093	深水井	1989-10-01	15.13	1	1989-10-01	7.56	1	1989-10-01
1989-11	1989-11	1094	深水井	1989-11-01	2.18	1	1989-11-01	1.00	1	1989-11-01
1989-12	1989-12	1095	深水井	1989-12-01	3.7	1	1989-12-01	1.88	1	1989-12-01
1990-01	1990-01	1096	深水井	1990-01-01	1.56	1	1990-01-01	0.80	1	1990-01-01
1990-02	1990-02	1097	深水井	1990-02-01	2.64	1	1990-02-01	1.32	1	1990-02-01

附編2 鉄平遺跡の陥穴に関する自然科学調査

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

鉄平遺跡は、愛媛山南麓の尾根上に立地する。今回の発掘調査によって、箱根西麓と同じ形態の岩屑（山石器）時代の陥穴が愛媛山麓で初めて検出され、注目されている。

当社では、箱根西麓の下原遺跡や加茂ノ洞B遺跡で、当時の陥穴に関する分析調査を実施し、旧地表面であるB B III層の植生景観の推定や、構築から埋積に至る過程に関する情報提供などをおこなった（土本・植木 1996、植木ほか 1996）。

今回も同様に、植物珪酸体分析を実施し、本遺跡で当該期の陥穴が構築された当時の景観を検討する。また、箱根西麓の下原遺跡や加茂ノ洞B遺跡の調査成果との比較検討を行う。

1. 試料

調査対象は、調査区北壁と3号土坑断ち割り断面にあらわれた、基本土層である。前者ではN L層からS C III s 1層最上部までが、後者ではS C III s 1層からペアスコリア層までが確認された。

試料として、N L層からペアスコリア層まで、5cm厚で連続的に採取した。これらの試料から、S C III s 4層～B B II層を中心に、9点を分析試料として選択した（図1）。

なお、3号土坑は、B B III層から掘りこまれたと考えられ、底部及び底部直上の壁面にペアスコリア層が認められた。内部は、壁面から崩落したと見られるS C III s 4層や、S C III s 1層、B B III層に由来する土壤で埋積されていた。

2. 分析方法

湿重5g前後の試料について、過酸化水素水・塩酸処理、超音波処理(70w, 250kHz, 1分間)、沈定法、重液分離法(ポリタングステン酸ナトリウム、比重2.5)の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これを検鏡し易い濃度に希釈し、カバーガラス上に滴下・乾燥する。乾燥後、ブリュウラックスで封入しプレパラートを作成する。400倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部(葉身と葉鞘)の葉部短細胞に由來した植物珪酸体(以下、短細胞珪酸体と呼ぶ)および葉身機動細胞に由來した植物珪酸体(以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ)を、近藤・佐瀬(1986)の分類に基づいて同定・計数する。

結果は、検出された種類とその個数の一覧表で示す。また、検出された植物珪酸体の出現傾向から古植生について検討するために、植物珪酸体の層位的分布図を作成した。各種類の出現率は、短細胞珪酸体と機動細胞珪酸体の各珪酸体毎に、それぞれの総数を基数とする百分率で求めた。

各試料からは、保存状態が悪いものの、植物珪酸体が検出される。S C III s 4層～B B II層では、特にタケ亜科の産出が目立ち、その中にはネザサ節も含まれる。この他、ウシクサ属(スキ属を含む)やイチゴツナギ亜科などが、わずかに認められる。なお、樹木に由来する植物珪酸体は、いずれの層位からも全く認められない。

しかし、下原遺跡や加茂ノ洞B遺跡と異なり、B B III層やB B II層でウシクサ属(スキ属を含む)の出現率が低い。

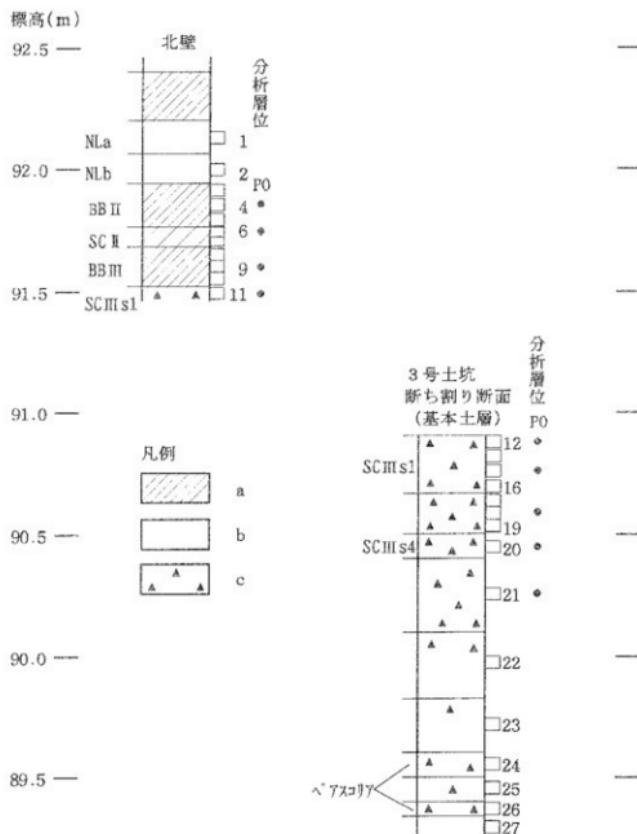


図1 調査区北壁の分析層位
層区分は、現地所見に基づく。
a : 暗色帶, b : ローム, c : スコリア
● : 分析試料, P O : 植物珪酸体分析

3. 植物珪酸体の産状

結果を表1、図2に示す。

表1 調査区北壁の植物珪酸体分析結果

種類	北壁					3号土坑断ち割り壁 (基本土層)					
	試料番号	4	6	9	11	12	15	18	20	21	
イネ科葉部短細胞珪酸体											
タケ亜科ネザサ節		11	12	8	14	7	17	21	21	6	
タケ亜科	201	203	209	187	210	217	221	215	234		
ウシクサ族ススキ属	2	2	-	8	-	-	6	2	2		
イチゴツナガ草科	-	-	-	2	-	-	-	-	-		
不明キビ型	6	1	1	9	1	2	4	5	7		
小明ヒゲンバ型	2	4	1	3	1	1	2	5	4		
不明ダンチ型	3	1	1	9	1	1	3	3	3		
イネ科葉身機動細胞珪酸体											
タケ亜科ネザサ節		28	15	11	15	15	6	21	18	12	
タケ亜科	87	90	91	81	95	114	104	109	105		
ウシクサ族	4	5	7	6	5	1	7	12	3		
不明	8	3	3	4	4	2	4	2	7		
合計											
イネ科葉部短細胞珪酸体		225	223	220	232	220	238	257	251	256	
イネ科葉身機動細胞珪酸体	127	113	112	106	119	123	136	141	127		
総計	352	336	332	338	339	361	393	392	383		

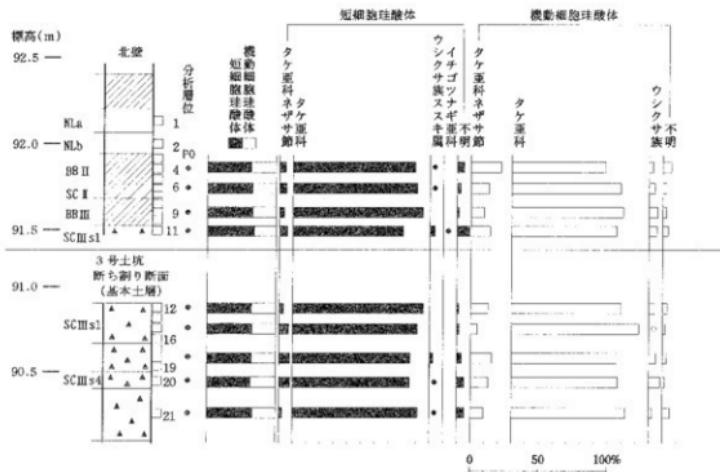


図2 調査区北壁での植物珪酸体の層位的分布

出現率は、イネ科葉部短細胞珪酸体、イネ科葉身機動細胞珪酸体の総数を基数として百分率で算出した。なお、●○は1%未満を示す。

4. 審察

調査区北壁に見られたS C III s 4層～B B II層では、植物珪酸体の保存状況が悪いものの、ネザサ節を含むタケ亜科の産出が目立った。タケ亜科の植物珪酸体が、他の種類より土壤中に残留しやすい（近藤1982：杉山・藤原1986）ことを考慮すれば、これらの層では他の種類よりもタケ亜科の植物珪酸体の比率が強調されていると考えられる。

また、検出されたタケ亜科やウシクサ族は、丘陵上など高燥な場所に生育可能な種類である。また、ネザサ節は開けた場所に生育する種類である。本遺跡の立地を考慮すると、今回の産状から、ネザサ節を含むタケ亜科が繁茂し、ウシクサ族などが生育していたことが伺える。なお、樹木に由来する植物珪酸体は、いずれの層位からも全く認められなかった。概して植物珪酸体の保存状態が悪いことから、今回分析対象とした上層は植物珪酸体の残留土壤であると考えられるので、樹木が全く生育していなかつたとは言いきれないが、生育していたとしても森林のように密集成していなかつた可能性がある。これらの点から、陥穴はネザサ節などの草木類が繁茂する中で構築されたことが示唆される。

ところで、下原遺跡や加茂ノ洞B遺跡の陥穴が構築されたB B II層形成当初は、それ以前に比較して、ウシクサ族ススキ属の出現率が増加したことが指摘され、ススキ属が生育するような開けた場所で土壌腐食の集積が促進されたと考えられている（植木ほか、1996）。今回の産状は下原遺跡や加茂ノ洞B遺跡とは異なり、B B III層やB B II層の形成時期にウシクサ族（ススキ属を含む）は目立たない。そのため、本遺跡で構築された陥穴は、下原遺跡や加茂ノ洞B遺跡とは草木類の種類が異なっていた可能性がある。

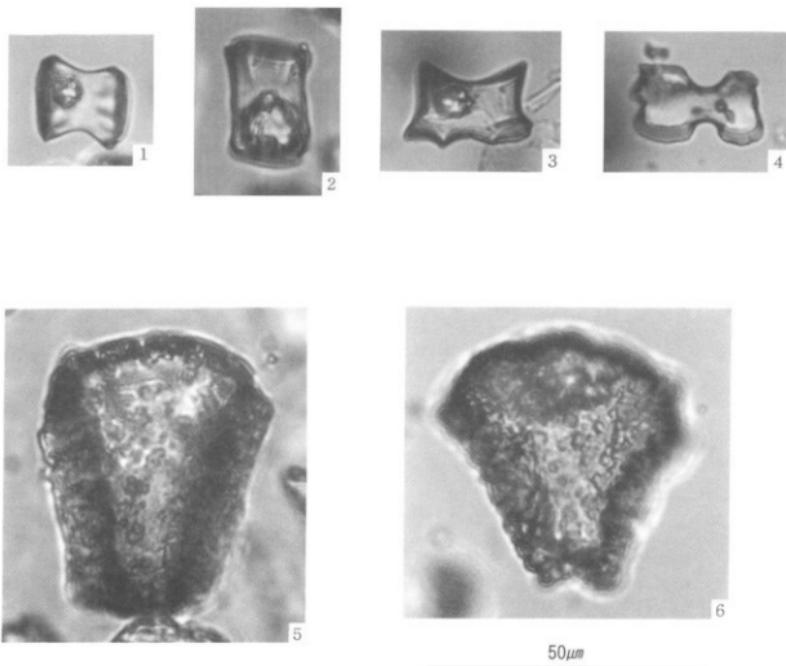
しかし、ススキ属やネザサなどのササ類は、ともに地表面を覆うように生育することから、遺構の開口部を覆い隠すのは容易と思われる。そのため、本遺跡の陥穴も、ネザサ節が生育するような、上坑の存在をわかりにくくするような場所を選んで構築された可能性がある。

なお、箱根西麓と生育する草木の種類の違いが生じた要因として、土壤の母材や物理・化学性の違い、立地、標高等などが考えられる。この点については、周辺の尾根上や谷斜面の堆積物を対象として、土壤理化分析や植物珪酸体分析などの自然科学調査を進め、土壤学的性質や包含される微化石の種類を明らかにし、これまでの調査例と比較・検討することで明らかにしたい。

引用文献

- 近藤謙三（1982）Plant opal分析による黒色腐植層の成因究明に関する研究。昭和56年度科学的研究費（一般研究C）研究成果報告書、32P。
- 近藤謙三・佐瀬 隆（1986）植物珪酸体分析、その特性と応用。第四紀研究、25,p.31-64。
- 杉山真二・藤原宏志（1986）機動細胞珪酸体の形態によるタケ亜科植物の同定—古環境推定の基礎資料として一、考古学と自然科学、19,p.69-84。
- 辻本崇夫・植木真吾（1996）陥穴状土坑の埋積過程と埋積時期。静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告第72集「下原遺跡II」, p.51-59, 静岡県埋蔵文化財調査研究所。
- 植木真吾・馬場健司・中根秀二（1996）陥穴状土坑をとりいた古環境。静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告第72集「下原遺跡II」, p.62-86, 静岡県埋蔵文化財調査研究所。

図版 1 植物珪酸体

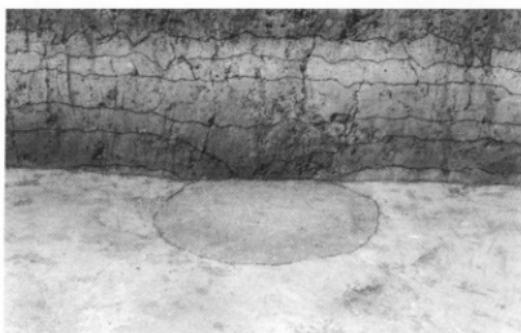


1. ネザサ節短細胞珪酸体（北壁：11）
2. タケ亜科短細胞珪酸体（3号土坑断ち割り断面：15）
3. タケ亜科短細胞珪酸体（3号土坑断ち割り断面：21）
4. ススキ属短細胞珪酸体（北壁：11）
5. タケ亜科機動細胞珪酸体（3号土坑断ち割り断面：15）
6. タケ亜科機動細胞珪酸体（3号土坑断ち割り断面：21）

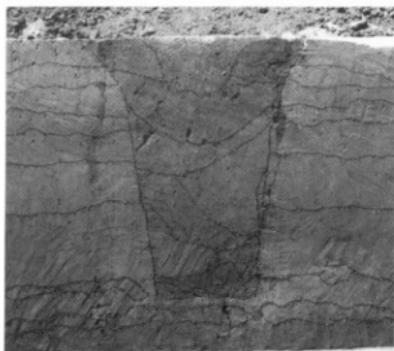
写 真 図 版



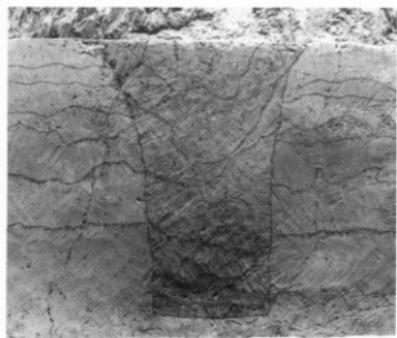
BB III層土坑検出状況



7号土坑検出状況



7号土坑土層断面



6号土坑土層断面

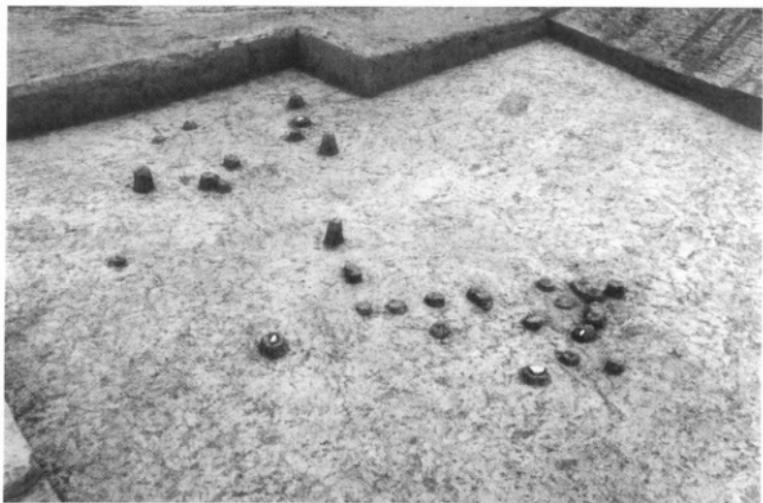
図版 2



第Ⅱ文化層遺物出土状況 1



第Ⅱ文化層遺物出土状況 2

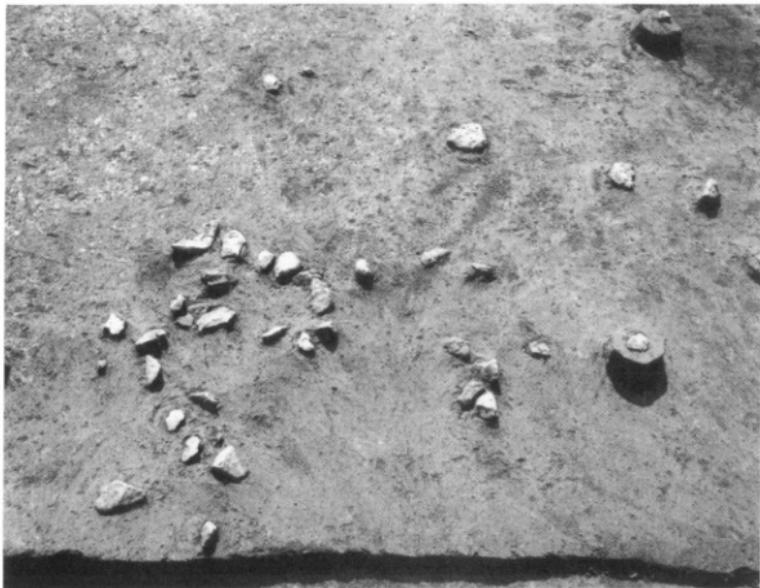


第Ⅲ文化層2・3号石器ブロック



第Ⅲ文化層1号石器ブロック

図版 4



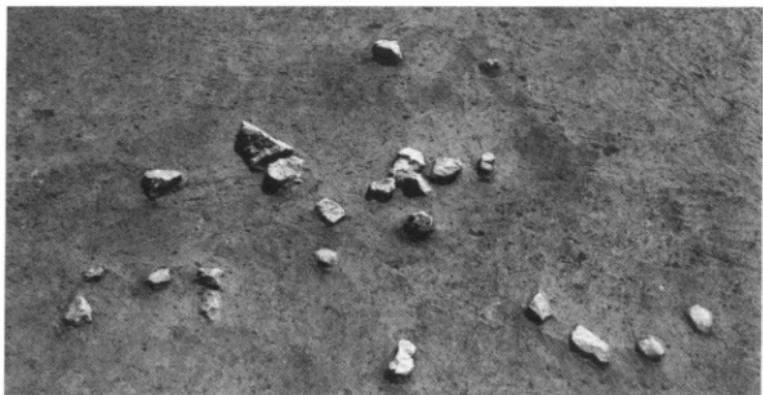
第IV文化層 1号礫群



第IV文化層 2号礫群



第IV文化層 3号礫群



第IV文化層 4号砾群



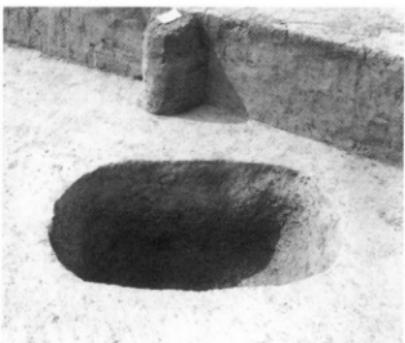
第V文化層 1号砾群



第V文化層 2号砾群



第V文化層 3号砾群

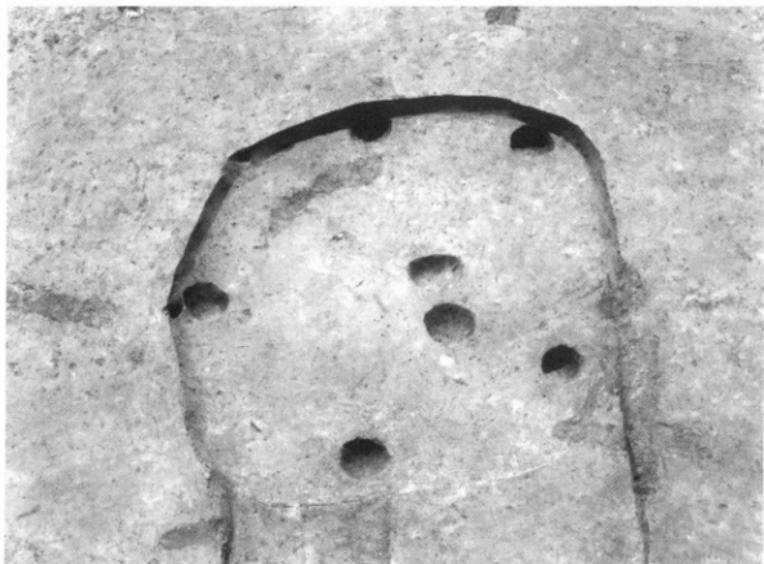


YLU層 6号土坑

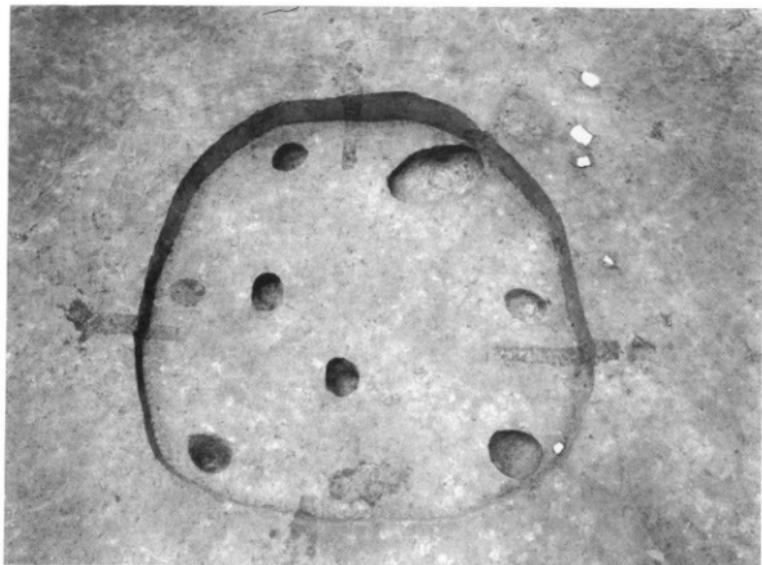
図版 6



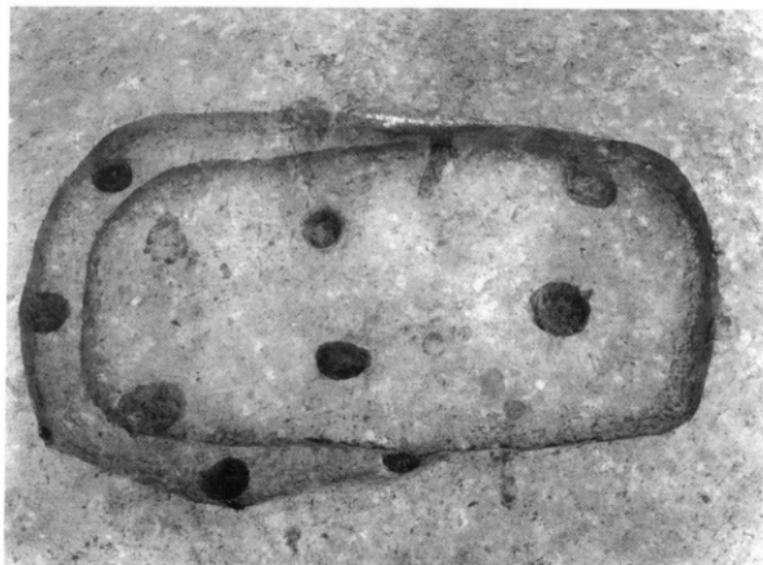
2～5号住居検出状況



2号住居跡

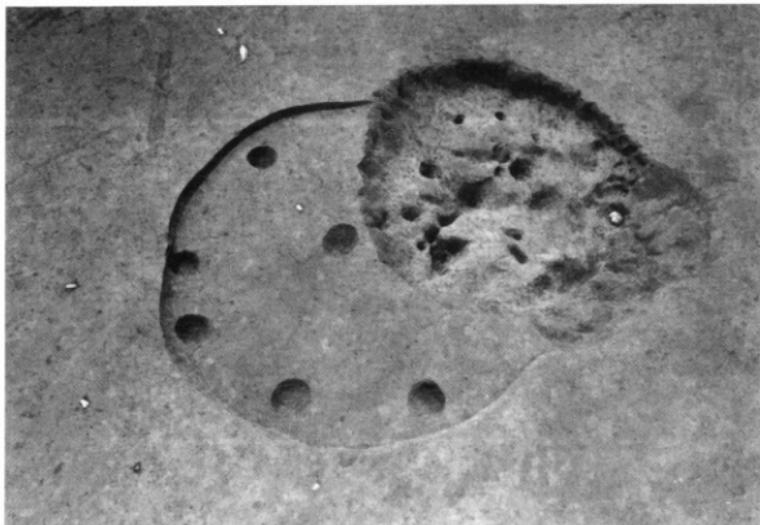


3号住居跡

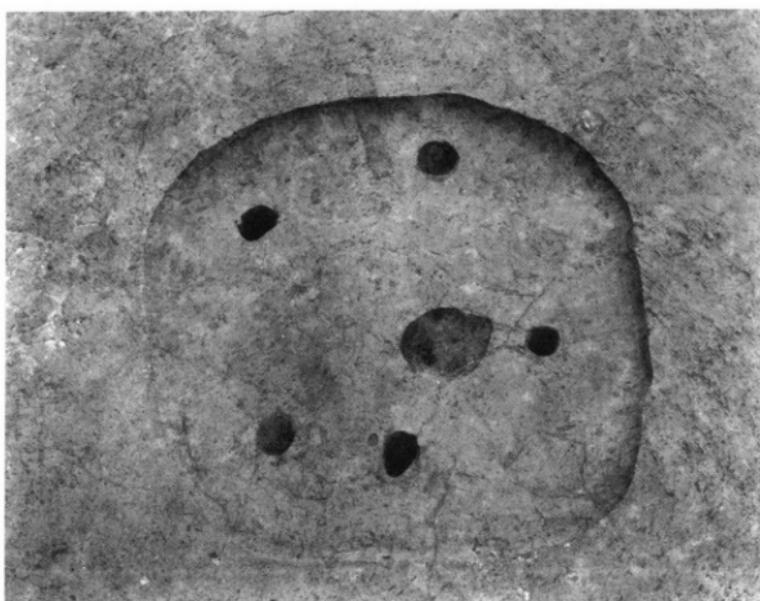


4号住居跡

図版 8



8号住居跡



5号住居跡



6・7号住居跡

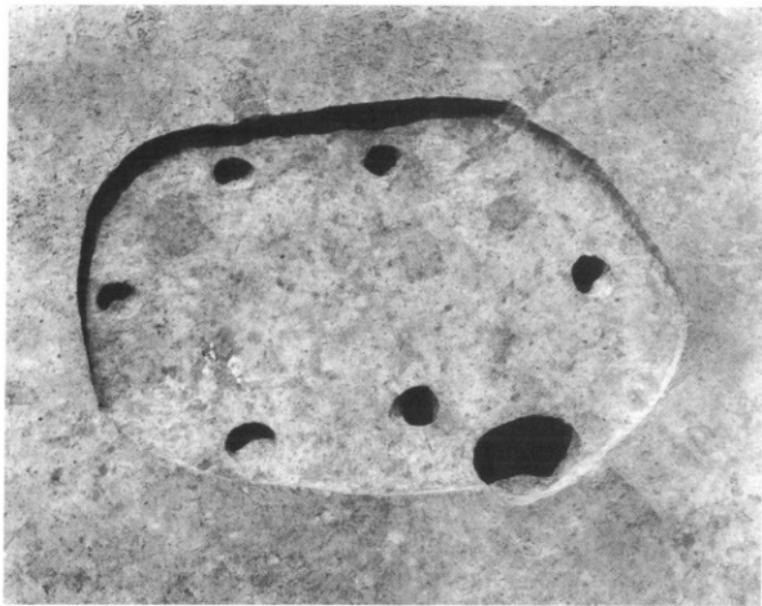


6号住居跡石皿出土状況

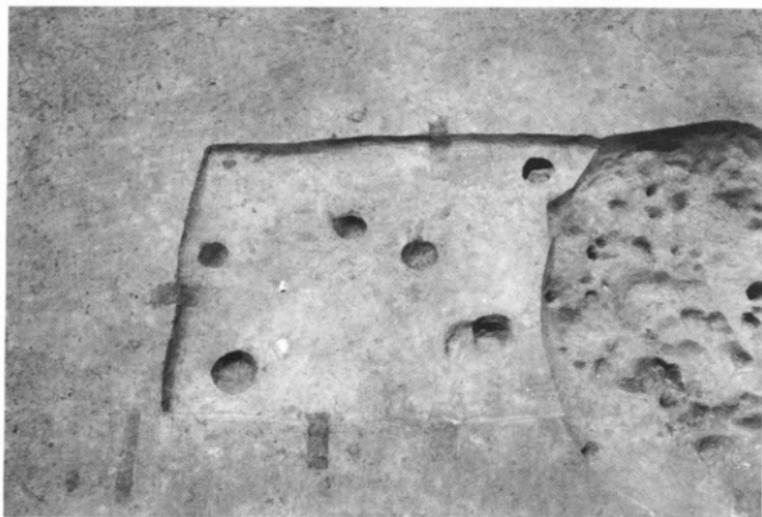


9号住居跡土器出土状況

図版10



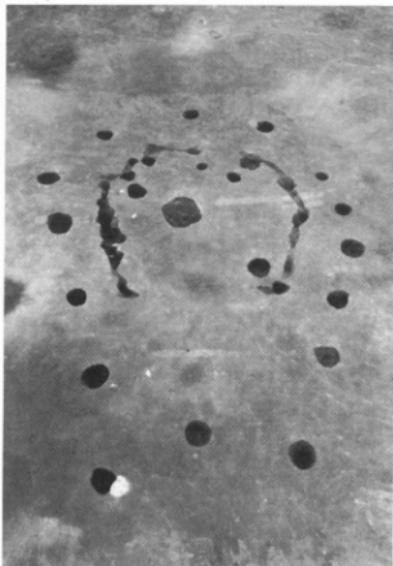
10号住居跡



9号住居跡



1号住居跡遺物出土状況



1号住居跡柱穴と壁溝



1号住居跡石圓い炉

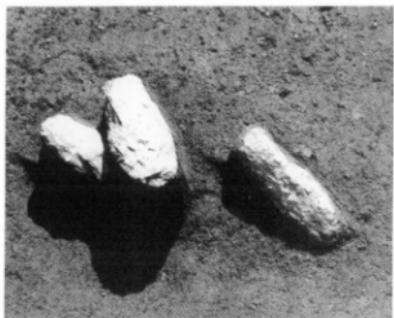


1号住居跡敷石と埋甃

図版12



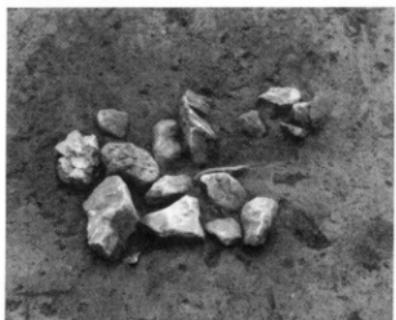
ペンダント出土状況



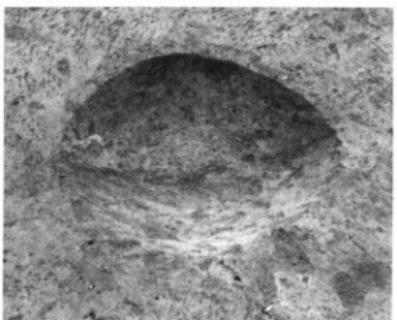
石斧出土状況



11号焼土跡出土土器



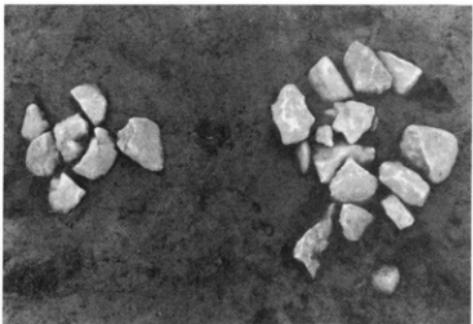
1号集石



1号集石完掘



2号集石



6号集石



5号集石



4号集石



8号集石



8号集石（断面）

図版14



9号集石



9号集石完掘



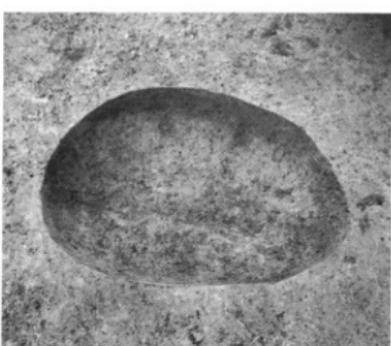
10号集石



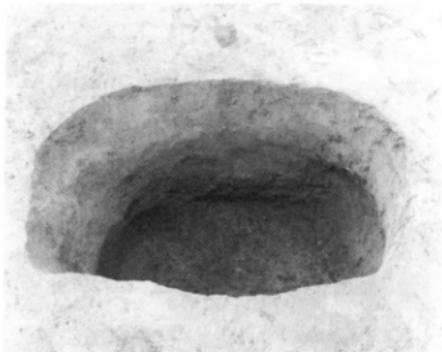
10号集石完掘



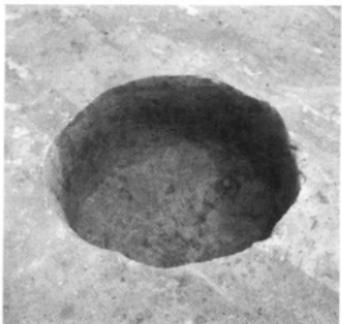
10号焼土跡完掘



29号土坑完掘



14号土坑完掘



中近世土坑

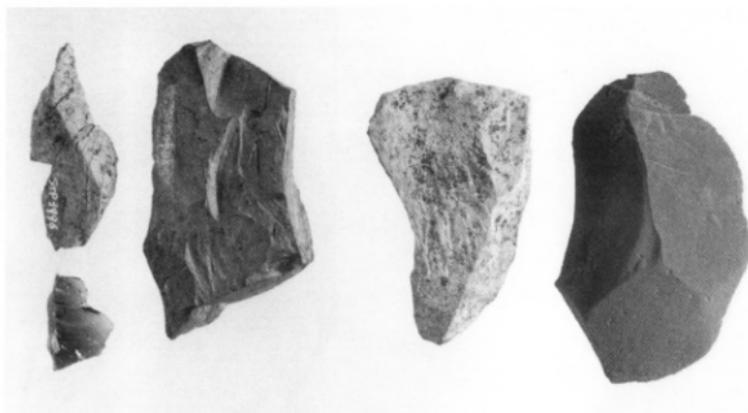


近世溝



近世溝土層断面

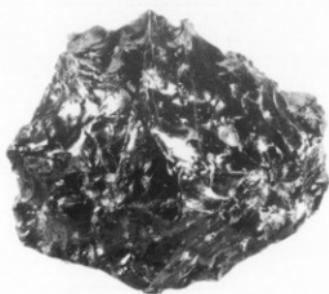
図版16



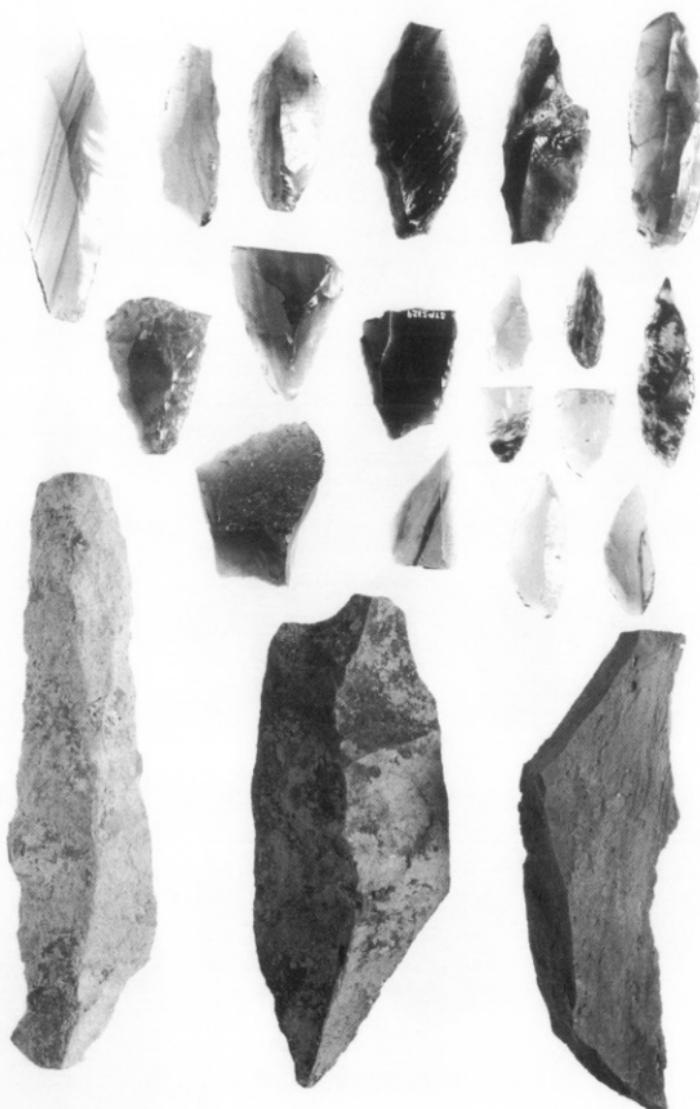
第Ⅱ・第Ⅲ文化層出土石器



第Ⅱ文化層石核



第Ⅴ文化層石核



第IV文化層の石器（YL M～YL L層）

図版18



第V文化層の石器（YLU層）



細石刃

細石刃石核



縄文時代草創期槍先形尖頭器

図版20



有舌尖頭器



1号住居跡埋甕



1号住居跡出土土器

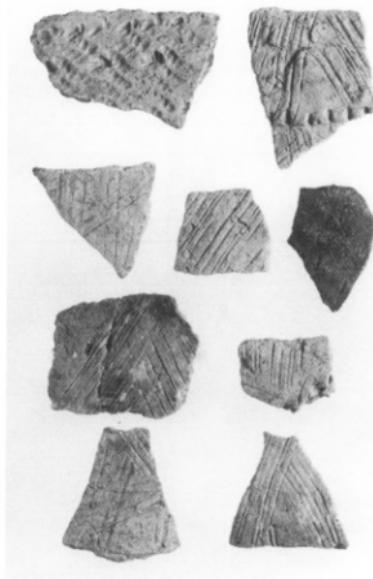
図版22



3・9号住居跡出土土器



3号住居跡出土土器



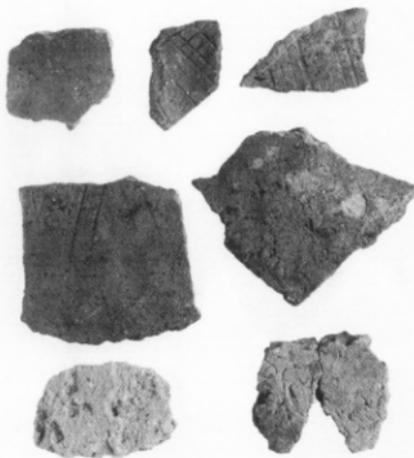
7号住居跡出土土器



2・4号住居跡出土土器



5号住居跡出土土器



6号住居跡出土土器



10号住居跡出土土器

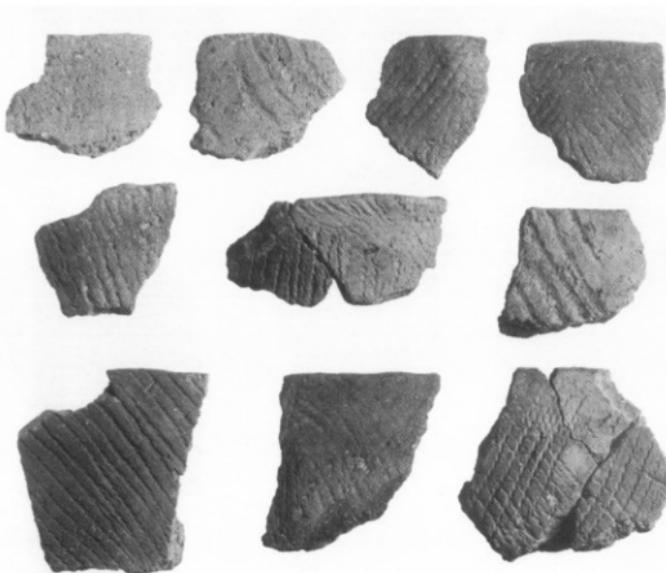


7号焼土跡出土土器

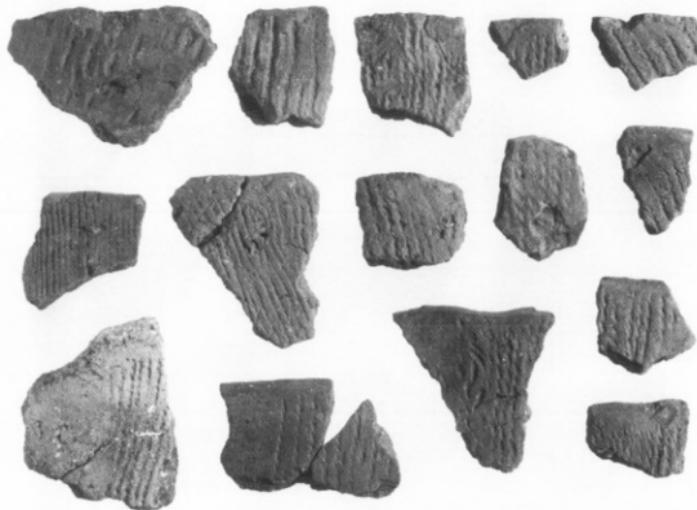
図版24



11号焼土跡出土土器

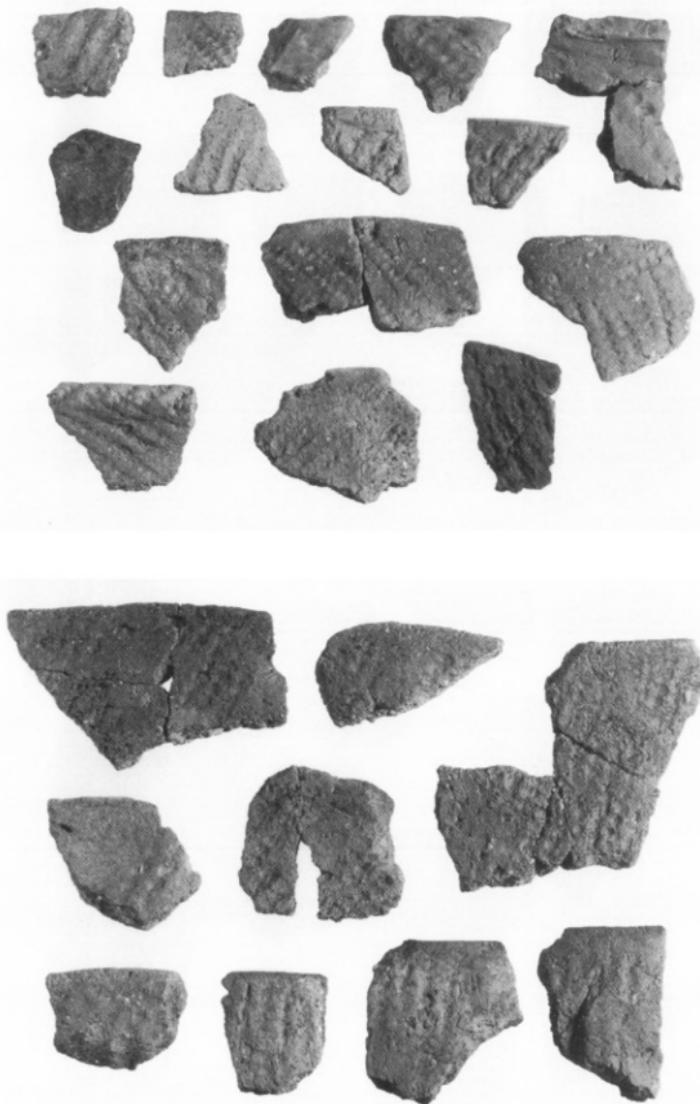


I群 a 類土器 1

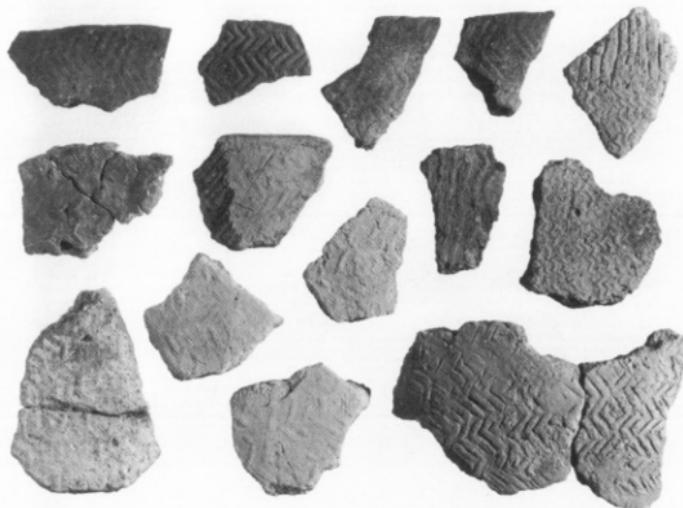


I群a類土器2

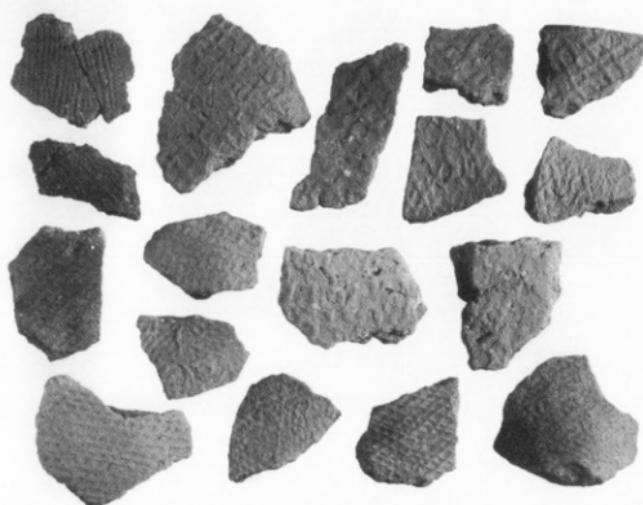
図版26



I群 b 類土器

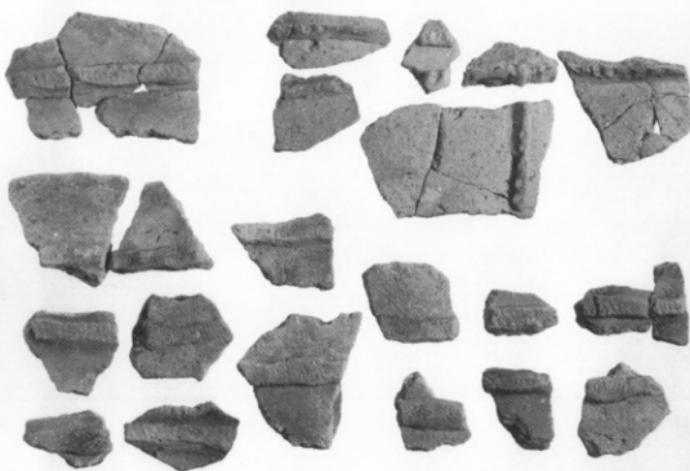


II群a類土器

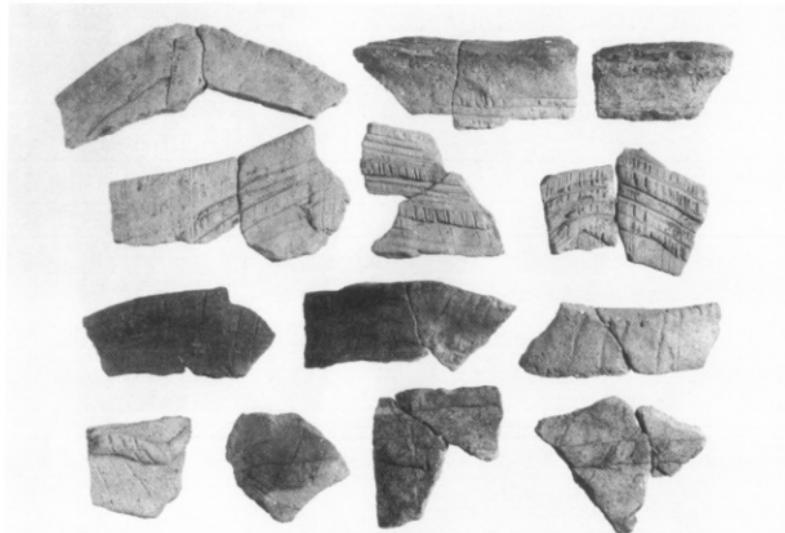


II群b類土器

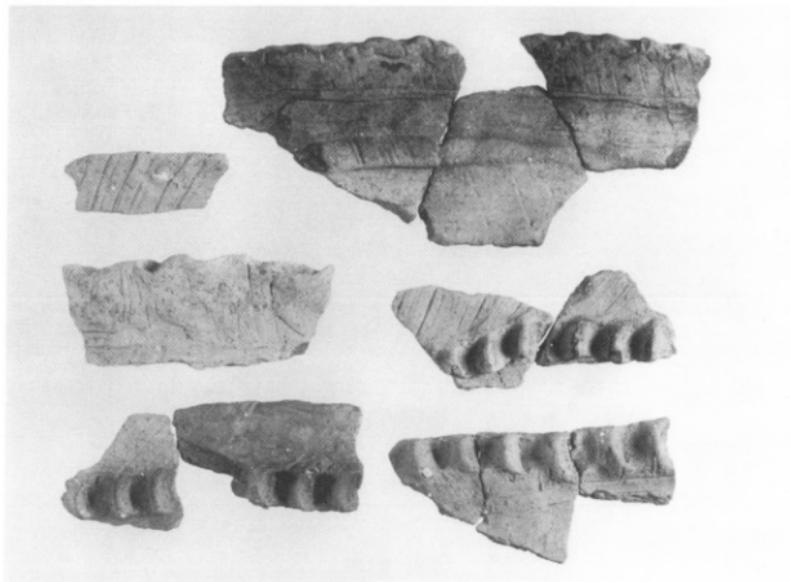
図版28



Ⅲ群土器

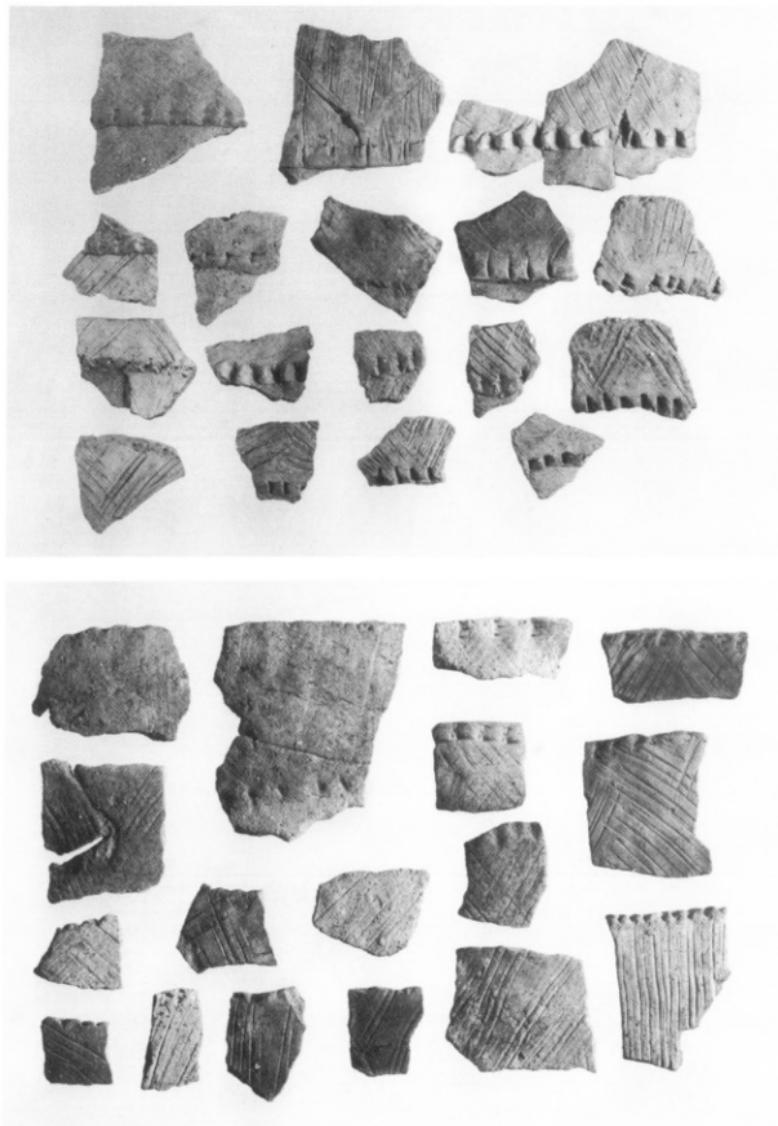


IV群 a 類土器



IV群 a + b 類土器

図版30



IV群c類土器



V群a類土器



V群b類土器



VII群土器



VI群土器



石製装飾品

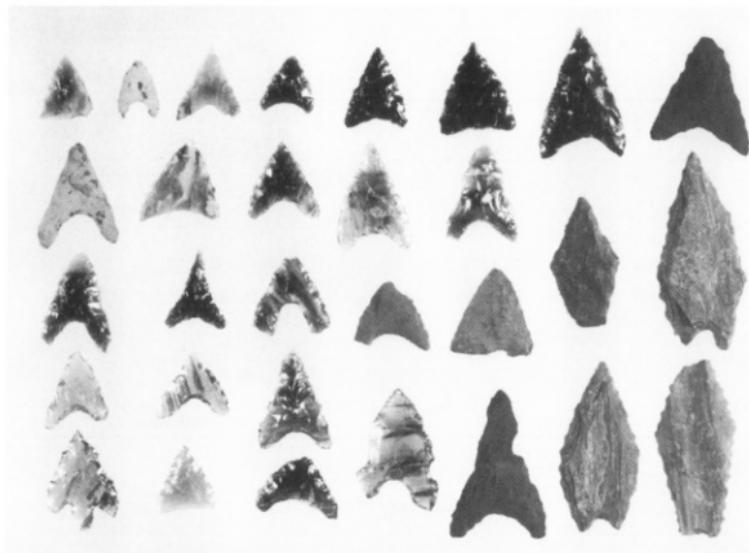


石錐

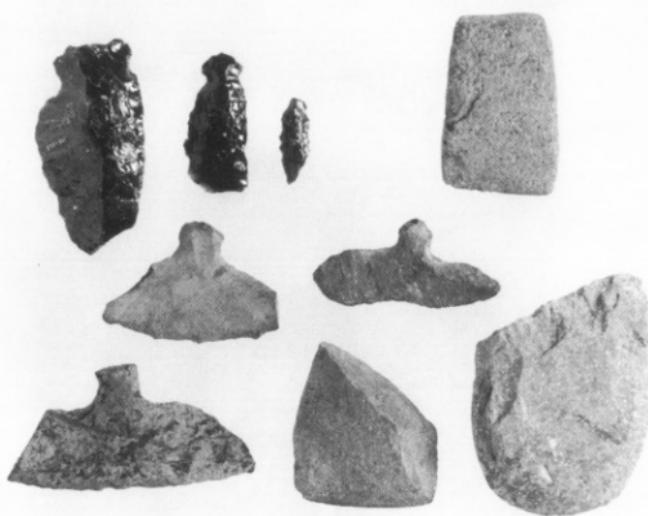


敲石

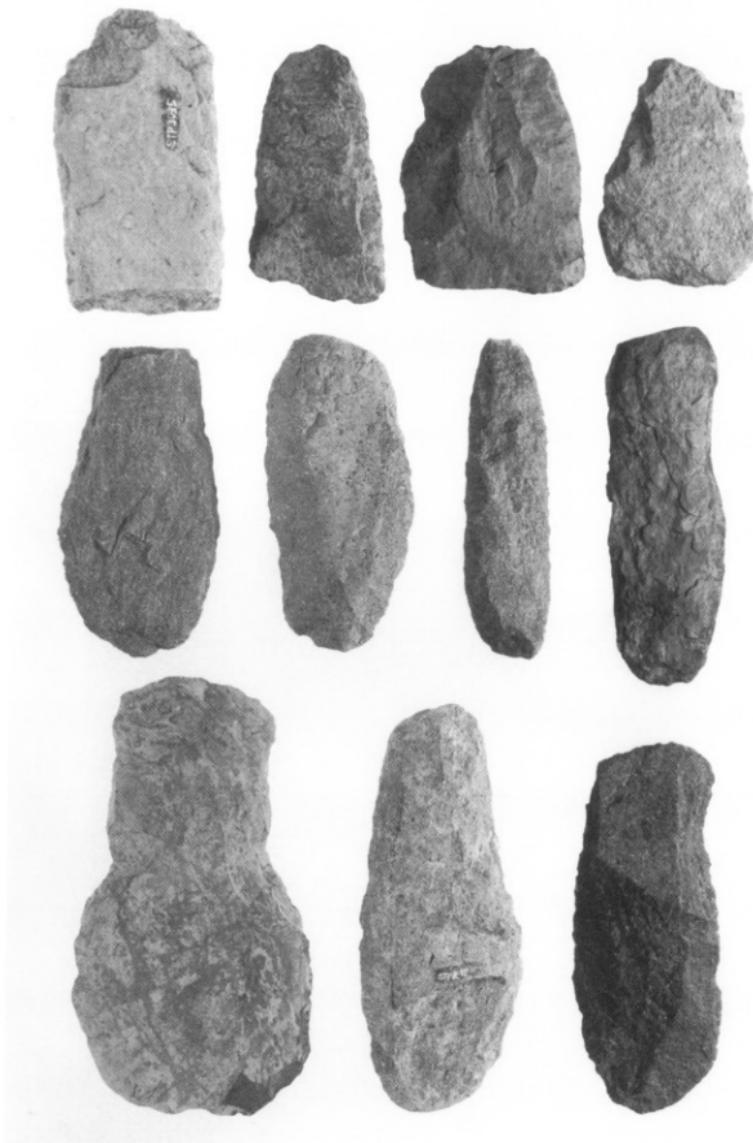
図版34



石鏃



石匕・磨製石斧



打製石斧

報告書抄録

ふりがな 書名	てっぴらいせき 鉄平遺跡							
副書名	平成14年度 東駿河湾環状道路建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
卷次								
シリーズ名	静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告書							
シリーズ番号	第137集							
編著者名	笹原千賀子 古村たまみ							
編集機関	財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所							
所在地	〒422-8002 静岡県静岡市谷田23-20 TEL054-262-4261							
発行年月日	西暦2003年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯 °'\"	東経 °'\"	調査期間	調査面積 m ²	調査原因	
鉄平	駿東郡 長泉町 下長瀬 字鉄平 1138-1他	22342	35° 9' 00"	138° 53' 40"	1998年8月～ 2000年2月～ 12月 10月	600m ² 10,190m ²	東駿河湾環状 道路建設に伴 う緊急調査	
所収遺跡名	種別	主な年代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
鉄平遺跡	集落	旧石器時代	BBⅢ層	土坑	7基		土壤の植物珪酸 体分析(附録)	
			砂川期	礫群	4基	ナイフ形石器	13	
			尖頭器 文化期	石器ブロック 砾群	2基 6基	尖頭器 ナイフ形石器	24 8	槍先形尖頭器製 作跡 黒曜石原産地分 析(附録)
			草創期			有舌尖頭器 尖頭器	17 6	
			早期	住居跡(木島式) 集石	9基 11基	撚糸文系十器、押型文土器 下吉井式土器、木島式土器 石鏃 打製石斧 磨製石斧 石匕	105 21 4 6	
		前期	包含層					
		中期	敷石住居跡	1基	井戸尻式土器 曾利V式土器			
		時期不明	石斧集積	1基	ペンドント	2		

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第137集

鉄 平 遺 跡

平成14年度東駿河湾環状道路建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

平成15年3月31日

発 行 所 財団法人
静岡県埋蔵文化財調査研究所

TEL (054)262-4261㈹

印 刷 所 みどり美術印刷株式会社
沼津市沼北町2丁目16番19号
TEL (055)921-1839㈹